

鹿児島大学構内遺跡

釘田遺跡第一地点

(鹿児島大学構内遺跡郡元団地J-4区)

2011年3月

鹿児島大学埋蔵文化財調査室

序文

鹿児島大学キャンパスは、後期旧石器時代から現代までの時期にわたる多くの貴重な埋蔵文化財が包蔵されている遺跡です。なかでも鹿児島大学郡元団地では、主に弥生時代から古墳時代まで続く集落跡、河川跡や水田跡が検出されており、当時の農耕文化の様相を知ることができる貴重な遺跡です。

本書で報告している調査地点は現在の共通教育棟1号館の東側にあたり、古墳時代の竪穴建物跡29基や溝跡が検出されました。鹿児島大学構内遺跡が全国的に注目される契機となった調査でもあります。

現在も、キャンパス内の施設整備・周辺環境整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査が行われており、キャンパス全域に広がる当時の様相が明らかになりつつあり、広範囲の様相を把握することが出来る貴重な遺跡となっています。さらに近年、埋蔵文化財調査室では、増加する発掘調査や報告書作成業務、遺物管理体制、研究体制について十分な対応ができるよう徐々に状況が整えられつつあり、本書による成果報告もそのひとつです。

今後も、充実した調査成果を迅速に公表できるよう尽力していきますので、関係者の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

鹿児島大学埋蔵文化財調査室長
鹿児島大学埋蔵文化財調査室委員長
新田 栄治

例 言

1. 本報告書は、調査主体者である鹿児島大学の委嘱によって、鹿児島県教育委員会文化課が昭和 50（1975）年 4 月から 6 月にかけて鹿児島大学教養部校舎増築地において実施した埋蔵文化財発掘調査の報告である。

2. 本地点は、小字名により調査当時は「釘田第 1 遺跡」と呼称されたが、昭和 60（1985）年 6 月 1 日の鹿児島大学埋蔵文化財調査室設置以後は、郡元団地では国土座標第 2 座標系（ $X = -158,200$, $Y = -42,400$ ）を基点として大学構内に一辺 50 m の方形地区割りを行い、各地点を表示している。本地点は J - 4 区である。

3. 本地点調査については、遺構及び遺構内出土遺物の一部については既に報告されている

（鹿児島大学埋蔵文化財調査室 1992「付編 釘田第一地点（鹿児島大学教養部）遺跡発掘調査報告

—遺構及び遺構出土遺物編—」『南九州地域における原始・古代の諸様相に関する総合的研究』

鹿児島大学埋蔵文化財調査室 1995「釘田第一地点（鹿児島大学教養部）遺跡発掘調査報告

—住居址出土遺物の概要—」『平成 6 年度教育研究内特別経費研究成果報告書』）。

本報告では、遺構内出土遺物について可能な限り各遺物の出土地点・出土状況の照合を行い、上記報告書の未掲載分と一部訂正・再録を行っている。また、未報告であった包含層出土遺物についての報告も行う。

4. 調査時における図面作成・写真撮影の担当は以下のとおりである。

平田信芳・中村耕治・吉永正史・池畑耕一・新東晃一・出口浩

5. 本書の作成にあたっては、埋蔵文化財調査室が行った。担当者は以下のとおりである。

遺物実測 寒川朋枝・中村直子・大西智和・赤尾和洋・篠原美智子・濱田綾子・東友子・福永美保子・
河野祐次・長野陽介・恵島瑛子・大原彩・深川祐子・川越まゆみ・桐木平雅代・柴田恵子・
下田まき子

製図 寒川・河野・篠原・東・濱田・福永・松永幸男・中村・栗林文夫・有馬孝一

作表 寒川・河野・篠原・濱田・東・福永

写真・執筆・編集 寒川

付篇 執筆・写真 真邊彩・寒川

5. 本報告の内容について、調査時の概要については中村耕治氏、須恵器については大西智和氏の御教示をいただいた。

6. 本書で報告している遺物の保管は、埋蔵文化財調査室の管理のもと、学内にて保管している。また、図版・写真などの資料は埋蔵文化財調査室に保管している。

凡 例

1. 昭和60年6月1日の埋蔵文化財調査室の設置を機として、鹿児島大学構内におけるこれからの埋蔵文化財調査室に便であるように、鹿児島大学構内座標を郡元団地と桜ヶ丘団地（旧宇宿団地）とに設定した。郡元団地では、国土座標第2座標系（ $X = -158,200$, $Y = -42,400$ ）を基点として一辺50mの方形地区割りを行った（Fig.2参照）。

2. 本報告書におけるレベル高は、すべて海拔を表し、方位は真北方向を示す。



3. 本書の「1～31号竪穴建物」は、既報告（鹿児島大学埋蔵文化財調査室1992「付編 釘田第一地点（鹿児島大学教養部）遺跡発掘調査報告—遺構及び遺構出土遺物編—」『南九州地域における原始・古代の諸様相に関する総合的研究』）の「1～31号住居」に該当する。観察表内では、竪穴建物をSK表示とする。また、本文中のP表示はピットを示す。

4. 遺物に関しては観察表を作成した。その標記、表現については以下の通りである。

調整：調整名称の前の()は、調整方向を表す。(—)；横位方向，(|)；縦位，(\)；左上がりの斜位，(/)；右上がりの斜位，(?)；方向不明，とした。→は、調整の新旧関係を表す。

色調：『新版標準土色帖』（農林水産技術会議事務局監修）を使用し、この色調に当てはまらないものについては、「～に類似」と表記した。

5. 遺物実測図中、—— — — — はスス付着の、—— — — — は釉の境界ラインを示す。

6. 赤色顔料の塗布範囲は  ，石器類などの磨面は  で図示する。

7. 本文中の遺物番号は通し番号を付し、挿図・図版・遺物観察表と一致している。

本文目次

| | |
|---|-----|
| 1 遺跡の位置と環境 | 1 |
| 2 調査に至る経過 | 1 |
| 3 調査の概要と経過 | 5 |
| 4 整理・報告書作成の作業の概要と経過 | 5 |
| 5 層位 | 6 |
| 6 各層遺構と出土遺物 | 6 |
| 6-1. 1・2層包含層出土遺物 | 6 |
| 6-2. 3層包含層出土遺物 | 8 |
| 6-3. 4・5層検出遺構・出土遺物 | 6 |
| 6-4. 4・5層包含層出土遺物 | 79 |
| 7 総括 | 145 |
| 付編 レプリカ法による鹿児島大学構内遺跡郡元団地 釘田遺跡第1地点出土土器の圧痕調査 | 148 |

挿図目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| Fig.1 鹿児島大学構内遺跡位置図 | 2 |
| Fig.2 鹿児島大学構内遺跡郡元団地弥生時代～ 古墳時代の遺跡立地 | 3 |
| Fig.3 鹿児島大学郡元団地内字図 | 4 |
| Fig.4 調査区北壁土層図 | 6 |
| Fig.5 1・2層出土遺物 | 7 |
| Fig.6 3層出土遺物 | 8 |
| Fig.7 5層上面検出遺構完掘状況全体図 | 9 |
| Fig.8 2・10号竪穴建物跡遺物出土状況 | 14 |
| Fig.9 2号竪穴建物跡出土遺物 | 16 |
| Fig.10 10号竪穴建物跡出土遺物 | 18 |
| Fig.11 10・31号竪穴建物跡出土遺物 | 20 |
| Fig.12 3・4号竪穴建物跡遺物出土状況 | 22 |
| Fig.13 3・4号竪穴建物跡出土遺物 | 23 |
| Fig.14 5・6号竪穴建物跡 | 25 |
| Fig.15 5・6号竪穴建物跡出土遺物 | 26 |
| Fig.16 7～9号竪穴建物跡 | 28 |
| Fig.17 7・8号竪穴建物跡出土遺物 | 29 |
| Fig.18 9号竪穴建物跡出土遺物 | 31 |
| Fig.19 9号竪穴建物跡出土遺物 | 33 |
| Fig.20 11～15号竪穴建物跡 | 34 |
| Fig.21 11・12号竪穴建物跡出土遺物 | 35 |
| Fig.22 15号竪穴建物跡遺物出土状況 | 37 |
| Fig.23 15号竪穴建物跡上層出土遺物 | 40 |
| Fig.24 15号竪穴建物跡上層出土遺物 | 42 |
| Fig.25 15号竪穴建物跡上層出土遺物 | 44 |
| Fig.26 15号竪穴建物跡出土遺物 | 46 |
| Fig.27 16号竪穴建物跡 | 47 |

| | |
|------------------------------|-----|
| Fig.28 16号竪穴建物跡出土遺物 | 48 |
| Fig.29 18～20・22～25号竪穴建物跡 | 49 |
| Fig.30 18・19号竪穴建物跡出土遺物 | 50 |
| Fig.31 20号竪穴建物跡遺物出土状況 | 51 |
| Fig.32 20号竪穴建物跡出土遺物 | 52 |
| Fig.33 20号竪穴建物跡出土遺物 | 54 |
| Fig.34 24～26号竪穴建物跡出土遺物 | 56 |
| Fig.35 17・27～30号竪穴建物跡 | 58 |
| Fig.36 17・27号竪穴建物跡出土遺物 | 59 |
| Fig.37 27・28号竪穴建物跡遺物出土状況 | 60 |
| Fig.38 28号竪穴建物跡上層出土遺物 | 64 |
| Fig.39 28号竪穴建物周辺・竪穴内出土遺物 | 66 |
| Fig.40 28号竪穴建物内出土遺物 | 68 |
| Fig.41 28号竪穴建物内出土遺物 | 70 |
| Fig.42 5層上面検出溝内出土遺物 | 72 |
| Fig.43 4.5層包含層出土遺物分布図 | 79 |
| Fig.44 4層出土土器(1) 弥生土器 | 82 |
| Fig.45 4層出土土器(2) 古墳時代・甕 | 83 |
| Fig.46 4層出土土器(3) 古墳時代・甕 | 85 |
| Fig.47 4層出土土器(4) 古墳時代・甕 | 87 |
| Fig.48 4層出土土器(5) 古墳時代・甕 | 89 |
| Fig.49 4層出土土器(6) 古墳時代・鉢 | 92 |
| Fig.50 4層出土土器(7) 古墳時代・鉢 | 95 |
| Fig.51 4層出土土器(8) 古墳時代・壺 | 97 |
| Fig.52 4層出土土器(9) 古墳時代・壺 | 99 |
| Fig.53 4層出土土器(10) 古墳時代・壺 | 101 |
| Fig.54 4層出土土器(11) 古墳時代・高坏 | 104 |
| Fig.55 4層出土土器(12) 古墳時代・高坏, 埴 | 106 |
| Fig.56 4層出土土器(13) 古墳時代 | 108 |
| Fig.57 4層出土須恵器(1) | 110 |
| Fig.58 4層出土須恵器(2) | 112 |
| Fig.59 4層出土須恵器(3) | 114 |
| Fig.60 4層出土須恵器(4) | 116 |
| Fig.61 4層出土須恵器(5) | 118 |
| Fig.62 4層出土石器(1) | 120 |
| Fig.63 4層出土石器(2) | 122 |
| Fig.64 4層出土石器(3) | 124 |
| Fig.65 4層出土石器(4) 軽石加工品 | 126 |
| Fig.66 4層出土石器(5) 軽石加工品 | 128 |
| Fig.67 5層出土土器(1) | 132 |
| Fig.68 5層出土土器・石器(2) | 134 |
| Fig.69 釘田遺跡第1地点周辺の遺構配置図 | 147 |

表目次

Tab. 1 各竪穴建物跡出土遺物総重量 …………… 9
 Tab. 2 1～3層出土遺物観察表 …………… 72
 Tab. 3-8 5層検出遺構内出土遺物観察表 …………… 73-78
 Tab. 9 4・5層包含層出土土器重量表 …………… 80
 Tab.10 各土器器種別部位・形態 …………… 80
 Tab.11 4層包含層出土土器器種別個体点数 …… 81
 Tab.12 5層包含層出土土器器種別個体点数 …… 131
 Tab.13-21 4・5層包含層出土遺物観察表
 …………… 136～144

図版目次

PL. 1 1・2層出土遺物 …………… 7
 PL. 2 3層出土遺物 …………… 8
 PL. 3 調査風景・4層上面遺物出土状況 …………… 10
 PL. 4 4層上面遺物出土状況 …………… 11
 PL. 5 5層遺構検出・掘削状況 …………… 12
 PL. 6 5層遺構掘削状況 …………… 13
 PL. 7 10号竪穴建物跡遺物出土状況,
 2～4・10号竪穴建物跡検出状況 …………… 15
 PL. 8 2号竪穴建物跡出土遺物 …………… 17
 PL. 9 10号竪穴建物跡出土遺物 …………… 19
 PL.10 10号竪穴建物跡出土遺物 …………… 21
 PL.11 3・4号竪穴建物跡出土遺物 …………… 24
 PL.12 5号竪穴建物跡検出状況 …………… 25
 PL.13 5・6号竪穴建物跡出土遺物 …………… 27
 PL.14 7～9号竪穴建物跡検出状況・遺物出土状況 28
 PL.15 7・8号竪穴建物跡出土遺物 …………… 30
 PL.16 9号竪穴建物跡出土遺物 …………… 31
 PL.17 9号竪穴建物跡出土遺物 …………… 33
 PL.18 11・12号竪穴建物跡出土遺物 …………… 36
 PL.19 15号竪穴建物跡上層遺物出土状況 …………… 38
 PL.20 遺構完掘状況 …………… 39
 PL.21 15号竪穴建物跡上層出土遺物 …………… 41
 PL.22 15号竪穴建物跡上層出土遺物 …………… 43
 PL.23 15号竪穴建物跡上層出土遺物 …………… 45
 PL.24 15号竪穴建物跡上層出土遺物 …………… 46
 PL.25 16号竪穴建物跡出土状況 …………… 47
 PL.26 16号竪穴建物跡出土遺物 …………… 48
 PL.27 18・19号竪穴建物跡出土遺物 …………… 50
 PL.28 20号竪穴建物跡出土遺物 …………… 53
 PL.29 20号竪穴建物跡出土遺物 …………… 54
 PL.30 C～E-2～4区遺物出土状況・竪穴建物完掘
 状況 …………… 55

PL.31 24～26号竪穴建物跡出土遺物・石器使用痕… 57
 PL.32 17・27号竪穴建物跡出土遺物 …………… 59
 PL.33 28号竪穴建物跡上層出土遺物 …………… 62
 PL.34 28号竪穴建物跡出土遺物・遺構検出状況 … 63
 PL.35 28号竪穴建物跡上層出土遺物 …………… 65
 PL.36 28号竪穴建物周辺出土・28号竪穴建物内
 出土遺物 …………… 67
 PL.37 28号竪穴建物内出土遺物 …………… 69
 PL.38 28号竪穴建物内出土遺物 …………… 71
 PL.39 5層上面検出溝内出土遺物 …………… 72
 PL.40 4層出土土器(1) 弥生土器 …………… 82
 PL.41 4層出土土器(2) 古墳時代・甕 …………… 84
 PL.42 4層出土土器(3) 古墳時代・甕 …………… 86
 PL.43 4層出土土器(4) 古墳時代・甕 …………… 88
 PL.44 4層出土土器(5) 古墳時代・甕 …………… 90
 PL.45 4層出土土器(6) 古墳時代・甕 …………… 91
 PL.46 4層出土土器(7) 古墳時代・鉢 …………… 93
 PL.47 4層出土土器(8) 古墳時代・鉢 …………… 94
 PL.48 4層出土土器(9) 古墳時代・鉢類 …………… 96
 PL.49 4層出土土器(10) 古墳時代・壺 …………… 98
 PL.50 4層出土土器(11) 古墳時代・壺 …………… 100
 PL.51 4層出土土器(12) 古墳時代・壺類 …………… 102
 PL.52 4層出土土器(13) 古墳時代・高坏 …………… 105
 PL.53 4層出土土器(14) 古墳時代・高坏 …………… 107
 PL.54 4層出土土器(15) 古墳時代・埴その他 …… 109
 PL.55 4層出土須恵器(1) …………… 111
 PL.56 4層出土須恵器(2) …………… 113
 PL.57 4層出土須恵器(3) …………… 115
 PL.58 4層出土須恵器(4) …………… 117
 PL.59 4層出土須恵器(5) …………… 119
 PL.60 4層出土石器(1) …………… 121
 PL.61 4層出土石器(2) …………… 122
 PL.62 4層出土石器使用痕・その他石器類 …………… 123
 PL.63 4層出土石器(3) …………… 125
 PL.64 4層出土石器(4) 軽石加工品 …………… 127
 PL.65 4層出土石器(5) 軽石加工品 …………… 129
 PL.66 5層出土土器(1) …………… 133
 PL.67 5層出土土器・石器(2) …………… 135

| ふりがな | くぎたいせきだいいちちてん (かごしまだいがくこうないいせきこおりもとだんちJ-4く) | | | | | | | |
|---|--|------|---------------------|----------------|--|-----------------------------|---------------------------|------|
| シリーズ名 | 鹿児島大学埋蔵文化財調査室調査報告書 第6集 | | | | | | | |
| 書名 | 釘田遺跡第一地点 (鹿児島大学構内遺跡郡元団地J-4区) | | | | | | | |
| 編著者 | 寒川朋枝・松永幸男・中村直子・新里貴之 | | | | | | | |
| 編集機関 | 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 | | | | | | | |
| 所在地 | 〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21番24号 TEL 099-285-7270 Fax 099-285-7271 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 2011年3月 | | | | | | | |
| 所収遺跡 | 所在地 | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 (m ²) | 調査起因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| 釘田遺跡 第1地点 (鹿児島大学 構内遺跡 郡元団地 J-4区) | 鹿児島市 郡元一丁 目21-24 | 4620 | 1-23-0 | 31° 34' 13" | 130° 32' 45" | 1975年 4月28 日～7月 5日 | 360 | 校舎建築 |
| | 主な時代 | | 主な遺構 | | 主な遺物 | | | 特記事項 |
| | 近世～近代 弥生時代 古墳時代 | | 縦穴建物跡, 溝状 遺構, 土壙 | | 磁器 弥生土器 成川式土器 (笹貫式) 須恵器, 土師器, 砥石, 凹石, 石斧片, 軽石加工品 | | | 居住域 |

1 遺跡の位置と環境

鹿児島大学構内遺跡が所在する鹿児島市は、薩摩半島の北東部に位置する。東側には鹿児島湾（錦江湾）が広がり、他の三方は始良カルデラに由来するシラス台地に囲まれている。鹿児島大学構内は、郡元キャンパス、桜ヶ丘キャンパス、入来牧場、唐湊学生寮において遺構や遺物がみられ、郡元キャンパス内の遺跡を鹿児島大学構内遺跡郡元団地、桜ヶ丘キャンパス内の遺跡を鹿児島大学桜ヶ丘団地と呼称している。

郡元団地は、沖積平野部の自然堤防帯に立地し、現在の標高は約7mである。昭和26年の県立医大遺跡（現在の鹿児島大学附属中学校敷地内）の調査¹⁾以降、現在までに50回に及ぶ本調査が行われている。また、埋蔵文化財調査室設置以前の昭和59年までは、「釘田」遺跡や「水町」遺跡など旧小字名等が遺跡の名称として用いられてきた²⁾ (Fig. 3)。

郡元団地は、縄文時代前期～近世の複合遺跡であるが、特に古墳時代の竪穴建物跡群が多数発掘されている。現在、5ヶ所の居住域が確認でき、いずれも微高地上に立地している (Fig.2)。郡元団地中央部には東西方向に河川流路がみられ、河川跡埋土からは弥生～古墳時代の木製品や木杭などの遺物が出土している。また、河川南側の工学部の調査では弥生時代の水田跡が確認されている。古墳時代の水田跡は検出されていないが、古墳時代包含層には、多量のイネプラントオパールが含まれている³⁾。古墳時代の遺物・遺構包含層の上位層では、古代から近代に至るまでの水田・畑地跡が連続的に認められ、この地では継続的に農耕が行われていたことが推定される。

- 註 1) 河口貞徳 1969 「弥生時代」『鹿児島市史』I 鹿児島市史編纂委員会 pp.58-75
2) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 1986 『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報 I』
3) 藤原宏志 2004 「郡元団地 L-6 区 (中央図書館増築地 A 地点北壁) におけるプラント・オパール分析結果報告」『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報』18 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 pp.75-77

2 調査に至る経過

昭和50年4月2日、鹿児島大学教養部校舎増築基礎工事現場において、土器片が出土しているのを鹿児島大学考古学研究会の学生が発見し、鹿児島大学当局に知らせた。鹿児島大学は、鹿児島県教育委員会に埋蔵文化財の確認調査を依頼し、鹿児島県教育委員会では、これを受けて昭和50年4月10日に確認調査を実施して遺物・遺構包含層を確認した結果、校舎増築地約360㎡の全面調査が必要である、と判断した。

鹿児島大学は鹿児島県教育委員会と協議の上、緊急調査を鹿児島県教育委員会に委嘱した。調査は鹿児島大学が主体者となり、鹿児島県教育委員会文化課主任文化財研究員平田信芳・同主事村耕治・同主事吉永正史を調査担当者として、昭和50年4月28日～7月5日にかけて実施された。

本調査地点の所在する鹿児島大学構内遺跡郡元団地は、昭和27年刊行「鹿児島県考古学紀要」第2号の遺跡地名表に「鹿児島高農遺跡」の遺跡名で挙げられている。遺跡名は小字名によって付けられるのが通例であるが、鹿児島大学構内の一連の遺跡に別の小字名を付するのは混乱を招くため、当初手がけた第1地点の小字名である「釘田」で遺跡名を代表させることとなった。そして、昭和50年9月に校舎建設予定地8ヶ所の予備調査を行った際、本報告の地点を第1地点とし、以下第9地点まで連番で付すこととなった⁴⁾。遺跡名称としては釘田遺跡や釘田第1地点遺跡と呼称されているが、本報告では釘田遺跡第1地点とする。

また、この釘田遺跡第1～9地点を始めとして昭和50年代に行われた発掘調査により、大学構内における各種多量の遺構・遺物の様相が注目されるようになる⁵⁾。今後も膨大な資料の蓄積が予想されただけでなく、現状では文化財保護法の規定を遵守することが危ぶまれ、さらに大学の施設計画が円滑に推進できないことが予想された。そのため、他大学同様に本学においても埋蔵文化財調査を実施する大学独自の調査機関を確立する必要性が生じた。こうした経緯により、大学の施設計画を円滑に実施する目的で埋蔵文化財調査室が昭和60年6月に設置されることとなった⁶⁾。

- 註 4) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 1986 『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報 I』
5) 「考古ニュース 鹿児島大構内から弥生～古墳期の遺跡」1975 『考古学ジャーナル』111
6) 前掲4) 参照



Fig. 1 鹿児島大学構内遺跡位置図 (S = 1 / 50000)

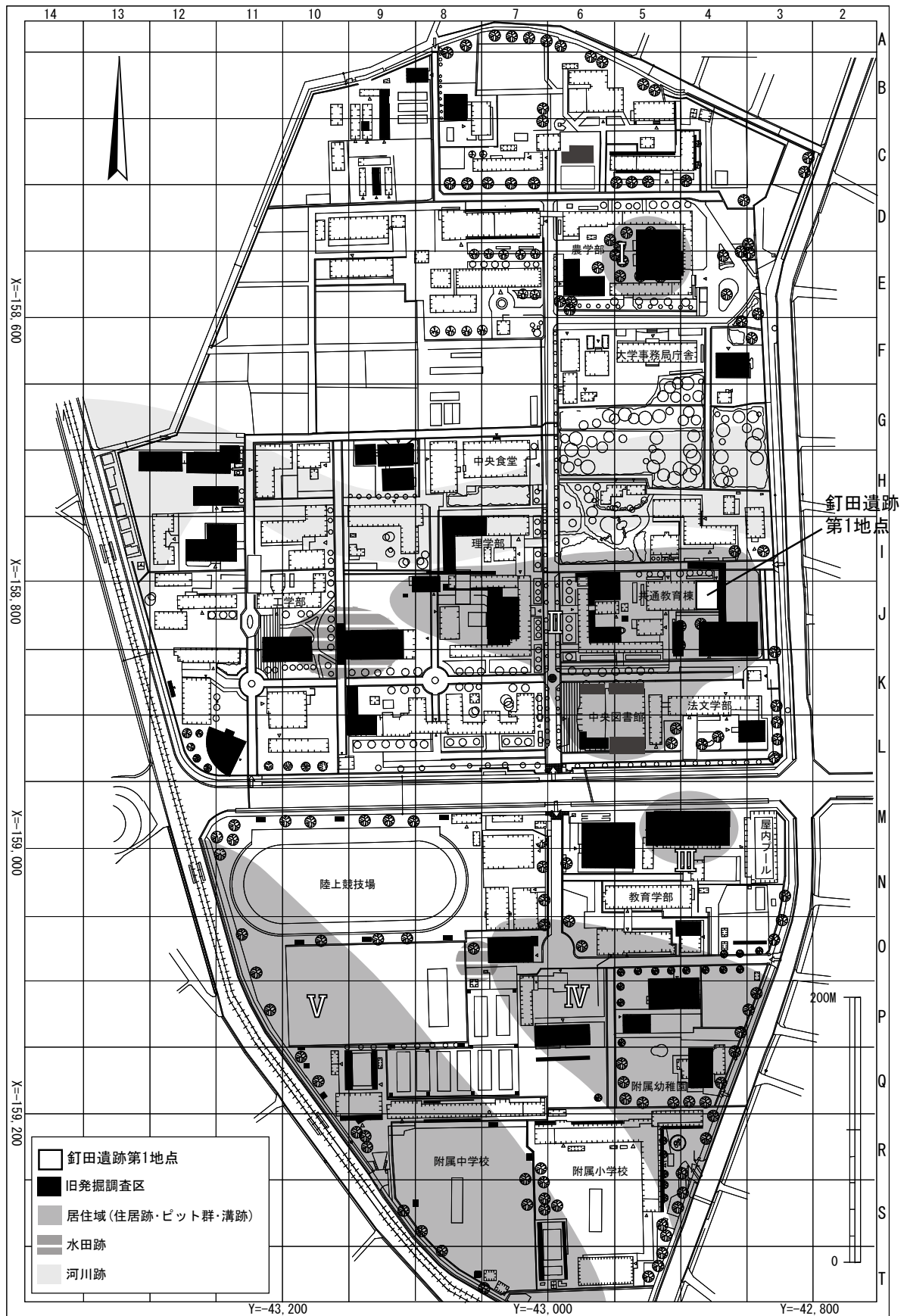


Fig. 2 鹿児島大学構内遺跡郡元団地弥生時代～古墳時代の遺跡立地 (S = 1 / 4000)

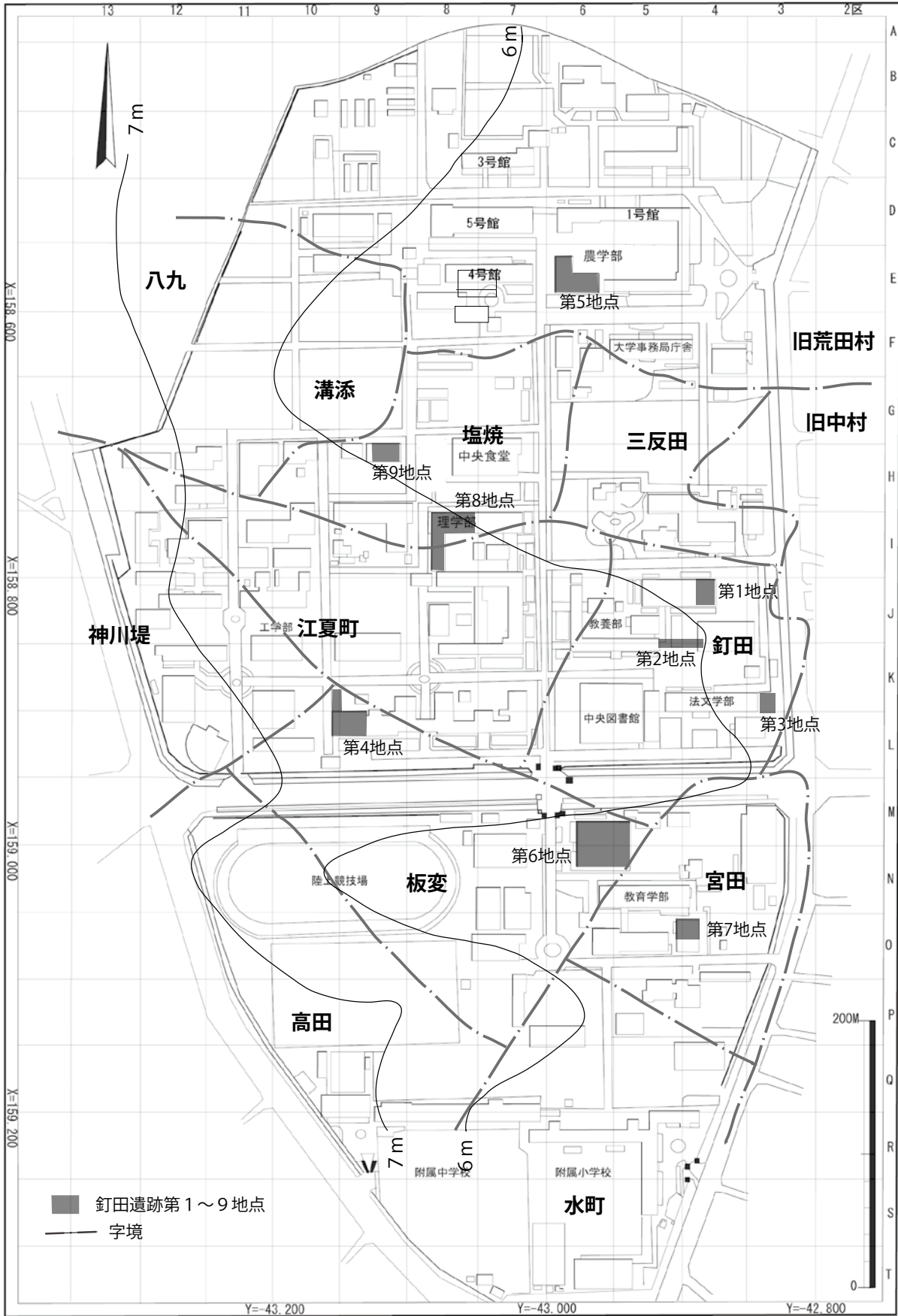


Fig. 3 鹿児島大学郡元団地内字図 (S = 1 / 5000)

3 調査の概要と経過

調査地点は、現在の共通教育棟一号館にあたり、調査区北壁は構内座標の(X = 158.800, Y = 42.870 ~ 42.890) にほぼ該当する。

本調査は、昭和 50 年 4 月 10 日に実施された確認調査結果を受けて、昭和 50 年 4 月 28 日から 7 月 5 日にかけて実施された。調査区域には、教養部校舎の方位に合わせて 5 m グリッドが設定され、北から南へ A ~ E 区、西から東へ 1 ~ 4 区と呼称された。調査面積は約 360㎡である。

調査は、1・2層を重機で掘削し、3層より掘り下げを行った。4層上部は成川式・土師器等の小片が全面にびっしりと出土しており、一部実測並びに写真撮影を行った。さらに、5層上面で重複する 29 軒の建物跡と U 字状溝 1 本が検出された。竪穴建物内出土遺物が多くみられる一部のものについては、上位文化層と下位文化層ごとに出土状況の実測・写真撮影を行った。発掘調査時には、遺物は特別遺物と一般遺物に分けて取り上げられている。残存状況のよいものや須恵器片などが特別遺物として取り上げられている。土器小片などは一般遺物として取り扱われ、出土遺物の大半を占める。それぞれにナンバリングされているが、平板測量で出土地点の測量が行われているのは特別遺物のみである。最後に土層観察用の深掘りを行い、調査を終了した。

4 整理・報告書作成作業の概要と経過

釘田遺跡第 1 地点は、注記などの整理作業については発掘調査後に鹿児島県教育委員会文化課が行っており、調査成果報告については発掘担当者の指導を受け、1986 年以降埋蔵文化財調査室が概要報告を行っている。⁷⁾ 1992 年には鹿児島大学教育研究学内特別経費を受け、遺構及び遺構内出土遺物の整理・報告を行ったが、遺物取り上げと遺物台帳との照合が徹底しなかったこともあり、未報告分が残されていた。⁸⁾

1995 年に同じく教育研究学内特別経費を受け、竪穴建物跡出土遺物の再整理を行った。遺物は調査の際に特別遺物と一般遺物に分けて取り上げられており、それぞれにナンバリングされ台帳に記入されている。特別遺物は台帳番号のみを付され、一般遺物は台帳番号は記入されず竪穴建物跡の番号及び出土した日付が付されているものが大半であった。また、小さな胴部片のみを集めたものがビニール袋に入れられており、注記されていないものも多くみられた。整理の手順としては、1. 特別遺物として台帳番号のみが付されているものの出土地点を確認し、竪穴建物跡ごとに遺物を分類 2. 注記の補正 3. 竪穴建物跡出土の遺物の器種を把握するため、部位の判別できるもののカード化 を行った。出土土器は小片が多いため、竪穴建物跡ごとに出土した各器種の部位別出土数を一覧表として示している⁹⁾。各竪穴建物跡出土器種・点数については、そちらを参照されたい。なお、その際に遺物の図化は行われていなかった。

そして未報告資料を整理・報告すべく、2009 年 1 ~ 3 月にわたり、再度本調査地点の遺物の再注記、接合を行い(整理事業員：川越まゆみ・桐木平雅代・柴田恵子・下田まき子・園山トミエ・矢住純子・吉永幸子)、2010 年より遺物実測、報告書作成を行った。本報告では、竪穴建物跡内出土遺物でこれまでに未報告であったものを一部図化し、注目される出土状況などについて掲載する。また、包含層遺物については、これまで未報告であった。一括取り上げのものがほとんどであるが、今回はその様相についても報告を行う。

註 7) 「第三章 鹿児島大学埋蔵文化財調査室設置以前の調査」 1986 『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報 1』鹿児島大学埋蔵文化財調査室

8) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 1992 「付編 釘田第一地点(鹿児島大学教養部)遺跡発掘調査報告—遺構及び遺構出土遺物編—」『南九州地域における原始・古代の諸様相に関する総合的研究』

9) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 1995 「釘田第一地点(鹿児島大学教養部)遺跡発掘調査報告—竪穴建物址出土遺物の概要—」『平成 6 年度教育研究内特別経費研究成果報告書』

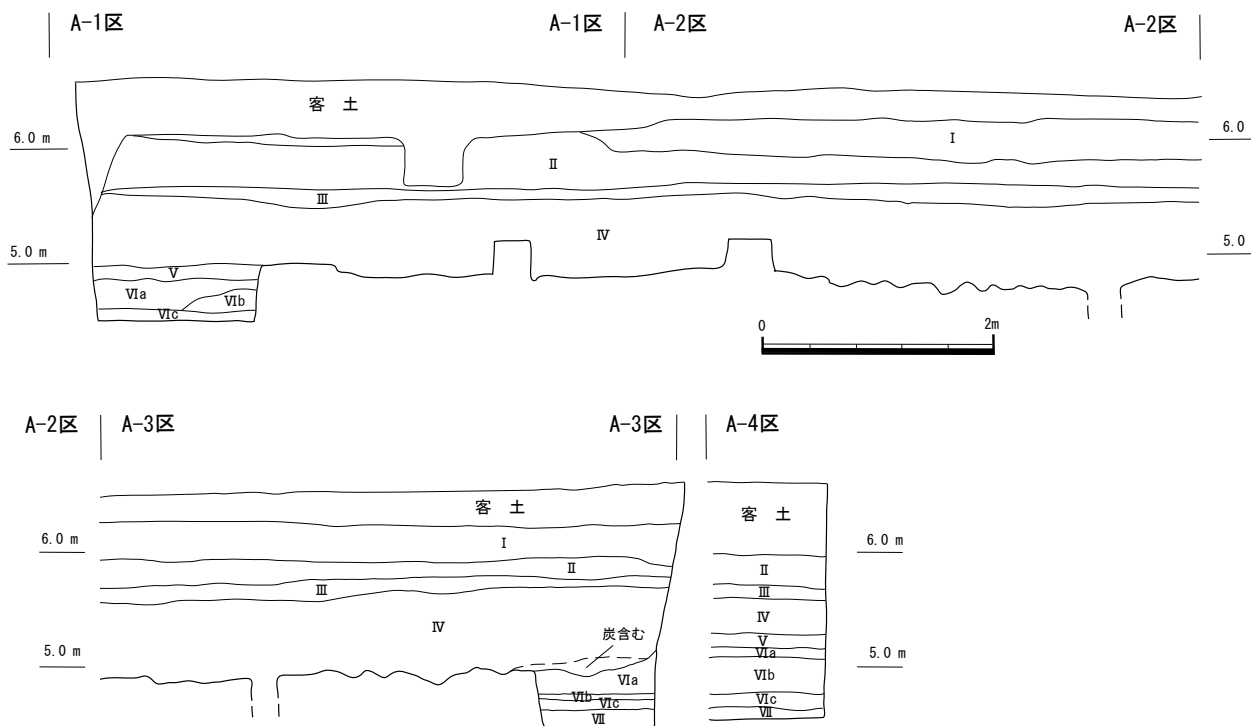


Fig. 4 調査区北壁土層図 (S = 1 / 60)

5 層位

基本土層として1～6層が認められている。

- 1層；灰褐色砂質土
- 2層；黄褐色砂質土層
- 3層；茶褐色土層
- 4層；黒褐色粘質土層
- 5層；黒色粘質土
- 6層；黄褐色砂層

周辺の調査では、2層は近代～中世の遺物包含層、3層は中世～古墳時代の遺物包含層に該当し、3層上面では中世のものと思われる畝跡が検出されている。主な遺物包含層は第4層である。4層上面では須恵器や土器小片、軽石などが出土している。これは、近辺の1999-1 総合研究棟建設に伴う発掘調査J・K-3・4区(平成11年度調査)で、調査区中央部の4層上面で検出された土器集積遺構の一部であると考えられる¹⁰⁾。土器集積遺構の中心部は、径約5mの範囲にわたって土器が積み重なり塚状になっている。本調査区はその集積遺構から約20m離れた周辺部となり、約80m離れた2009-2 共通教育棟樹木移植に伴う発掘調査J-5区の調査¹¹⁾においても4層上面で土器小片などが確認されている。4層上面出土遺物のほとんどは笹貫式土器であり、須恵器片も含まれていた。5層上面においては、竪穴建物跡と溝跡が検出され、本調査の主要な遺構・遺物が認められる。

註 10) 1999年調査, 未報告。

中村直子・新里貴之 2003「鹿児島大学構内遺跡郡元団地における古墳時代の様相」

『九州前方後円墳築造周縁域における古墳時代社会の多様性』九州前方後円墳研究会 2003年度第6回大会

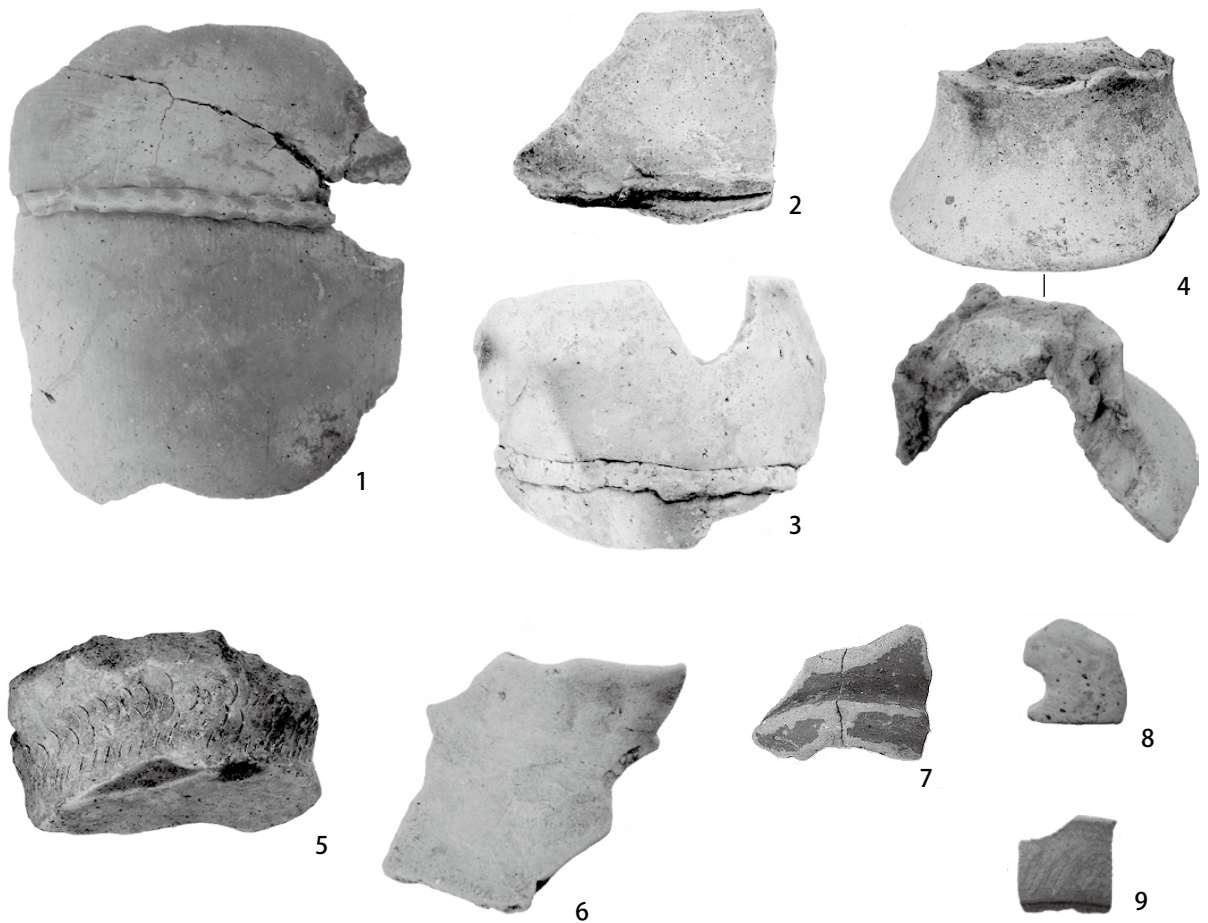
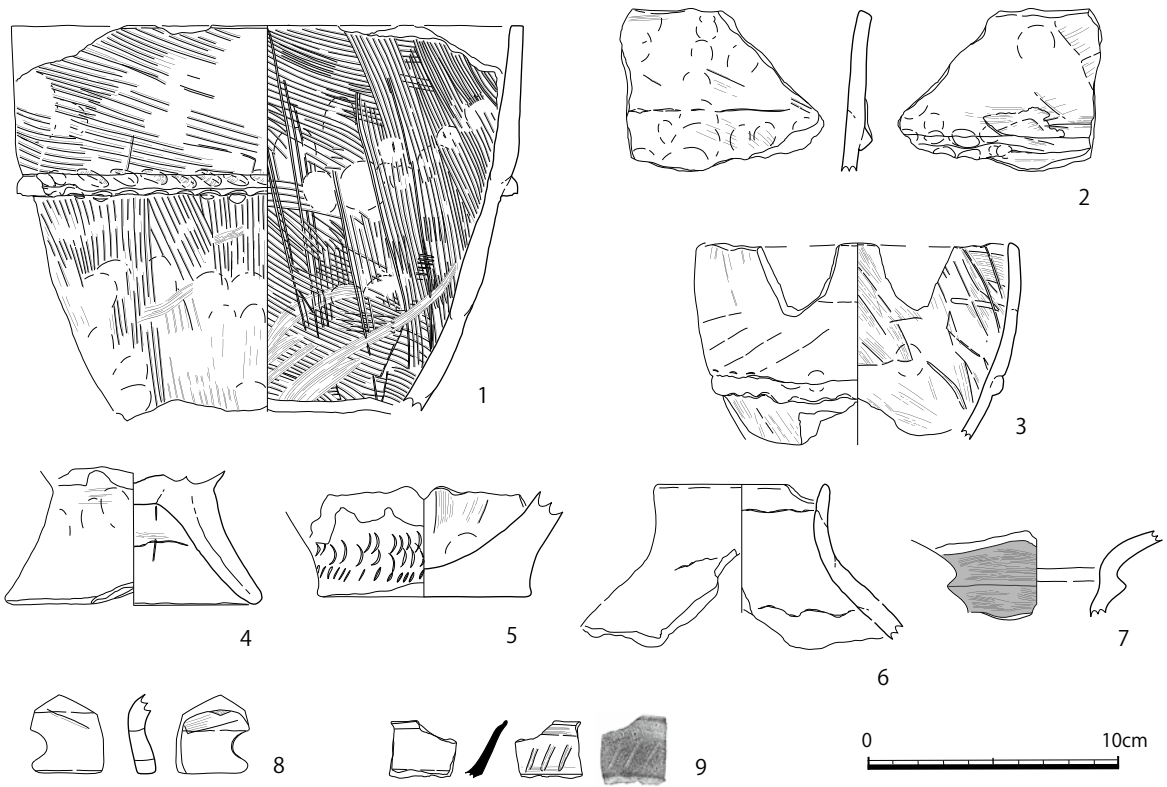
11) 2009年調査, 未報告。

6 遺構と遺構内出土遺物

上層より各層ごとに、遺構と遺構内遺物・包含層出土遺物について述べる。

6-1. 1・2層包含層出土遺物 (Fig 5. 1～9)

後世の水田層によると思われる鉄分の浸透がみられ、調査時は1・2層は重機により掘削されている。周辺の



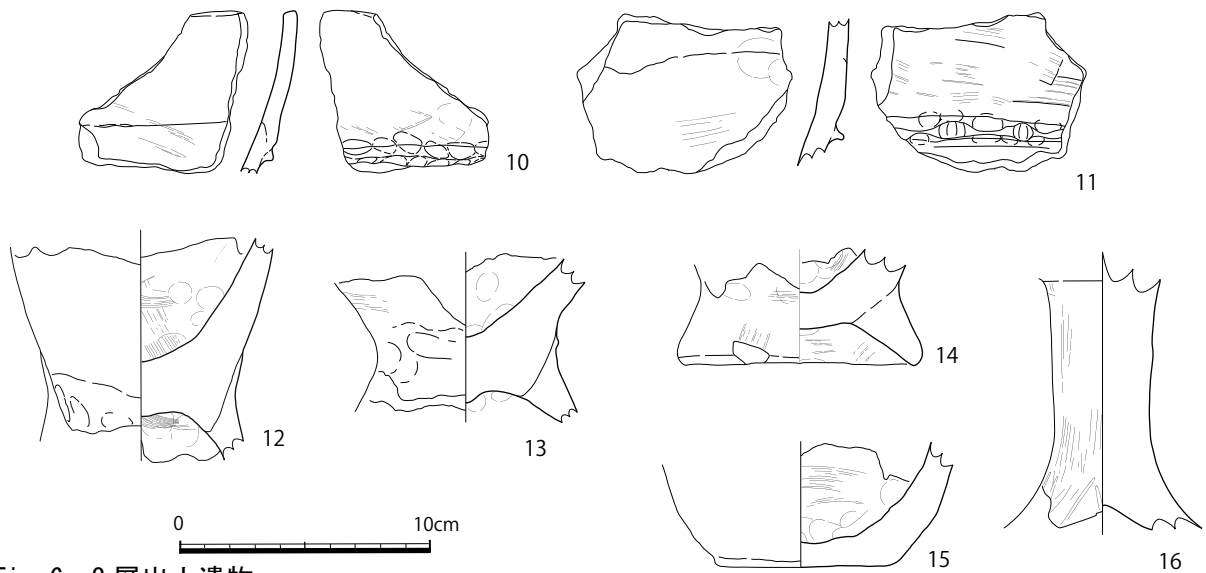
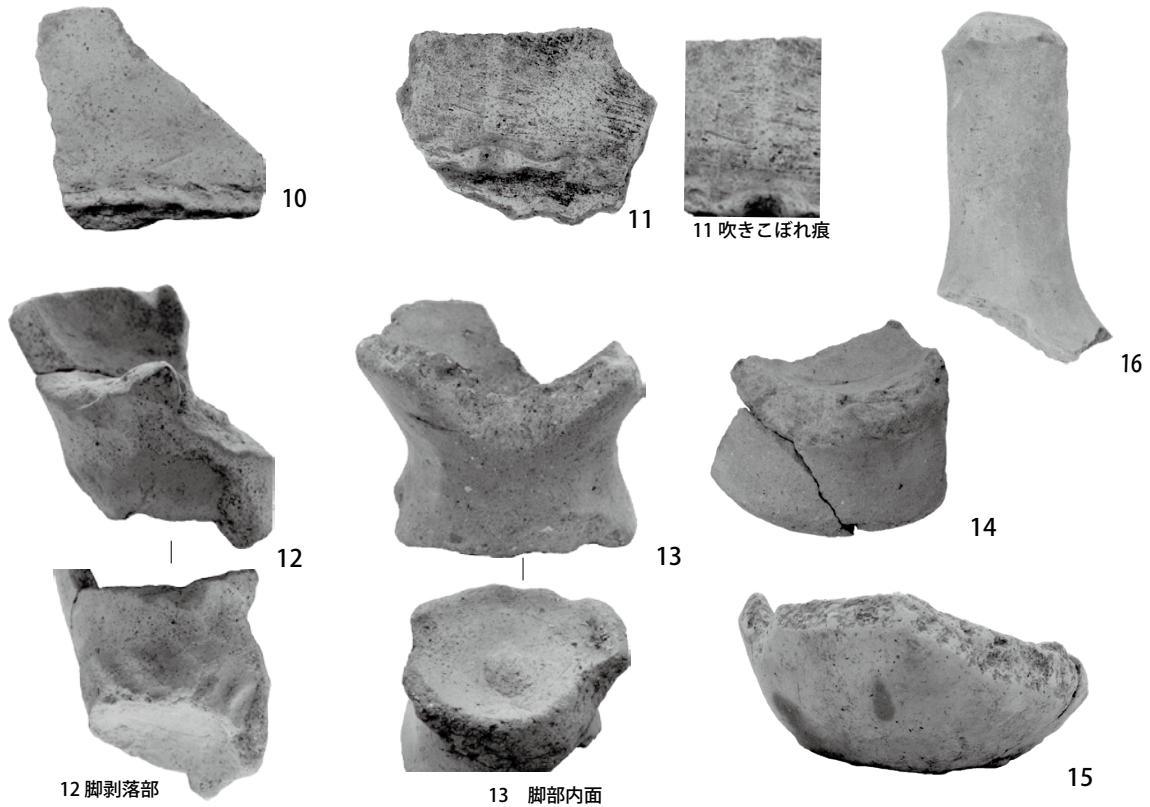


Fig. 6 3層出土遺物



PL. 2 3層出土遺物

調査では近代～中世の遺物が出土しているが、一部古墳時代の遺物も混入している。取り上げの際には分層はされておらず、表採と注記されているのみである。1・2は甕の口縁～胴部片である。3は薄手の鉢であるが、口唇部に補修のためか粘土を部分的に塗りつけている。4は甕の脚台である。接合痕が確認でき、二度にわたり粘土を塗り重ねて整形された様子がうかがえる。5は底部に2, 3列の爪跡が確認される。6は頸部が短い薄手の壺である。内面に接合線が明瞭にみられる。7は柑の頸から口縁部周辺の破片である。8は、高坏と思われる破片に穿孔が施されたものであり、二次的な利用の可能性はある。9は須恵器であり甕の口唇部と思われる。

6-2. 3層包含層出土遺物 (Fig. 6 10～16)

2層と同じく、鉄分の浸透が見られる。周辺調査では、3層上面で畑の畝跡が検出されている。10は緩やか

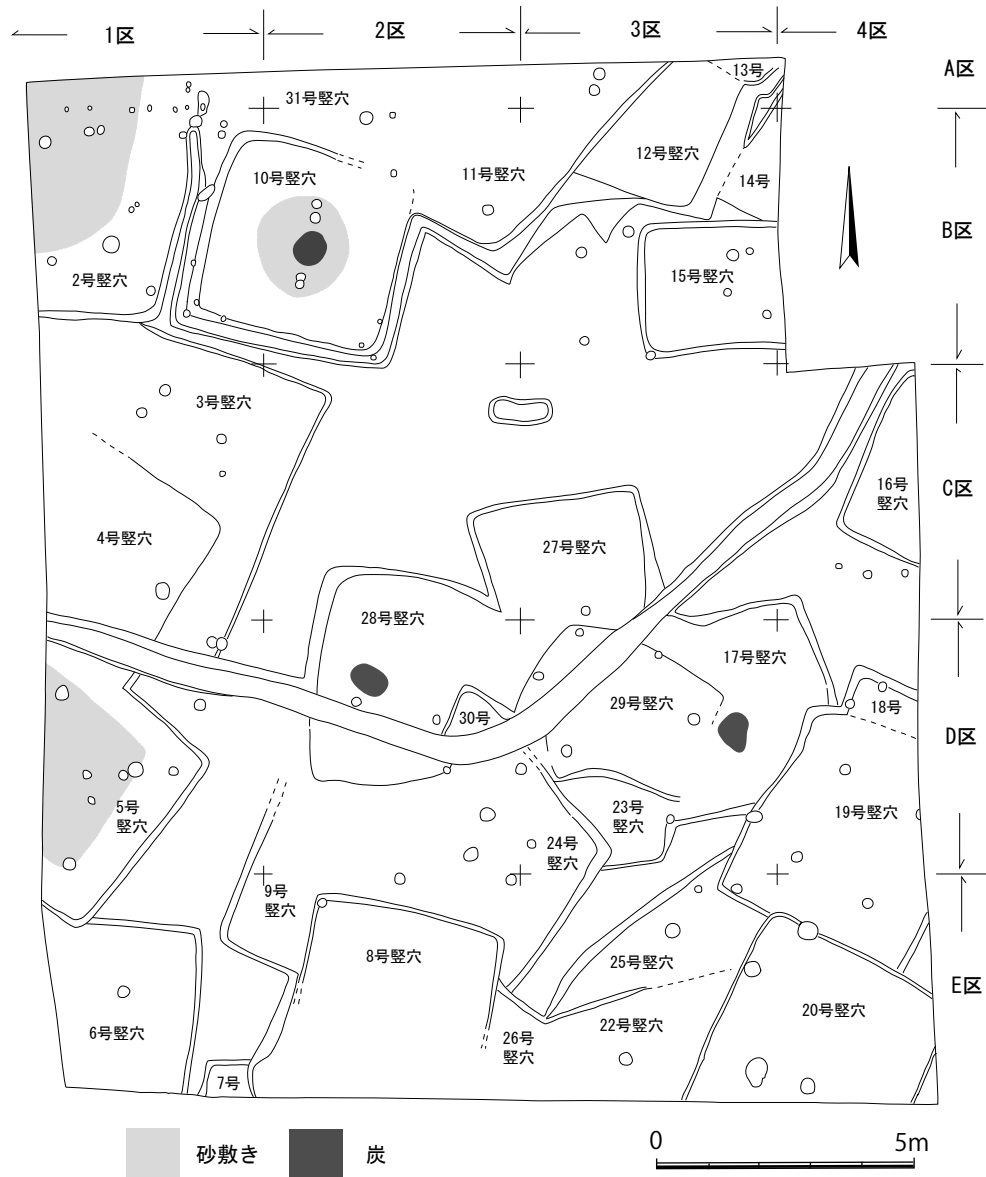


Fig. 7 5層上面検出遺構完掘状況全体図

Tab. 1 各竖穴建物跡出土遺物総重量

| | | | | | | | | |
|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 竖穴建物跡 重量 (Kg) | 2号竖穴 4.405 | 3号竖穴 3.970 | 4号竖穴 4.270 | 5号竖穴 5.150 | 6号竖穴 1.395 | 7号竖穴 1.700 | 8号竖穴 12.35 | 9号竖穴 8.450 |
| 竖穴建物跡 重量 (Kg) | 10号竖穴 15.13 | 11号竖穴 7.88 | 12号竖穴 4.225 | 13号竖穴 0.02 | 14号竖穴 0.23 | 15号竖穴 0.47 | 16号竖穴 1.04 | 17号竖穴 2.3 |
| 竖穴建物跡 重量 (Kg) | 18号竖穴 1.655 | 19号竖穴 2.475 | 20号竖穴 1.575 | 22号竖穴 0.435 | 23号竖穴 — | 24号竖穴 4.385 | 25号竖穴 2.585 | 26号竖穴 5.66 |
| 竖穴建物跡 重量 (Kg) | 27号竖穴 1.82 | 28号竖穴 5.76 | 29号竖穴 2.83 | 30号竖穴 1.27 | 31号竖穴 0.315 | 溝 7.16 | | |



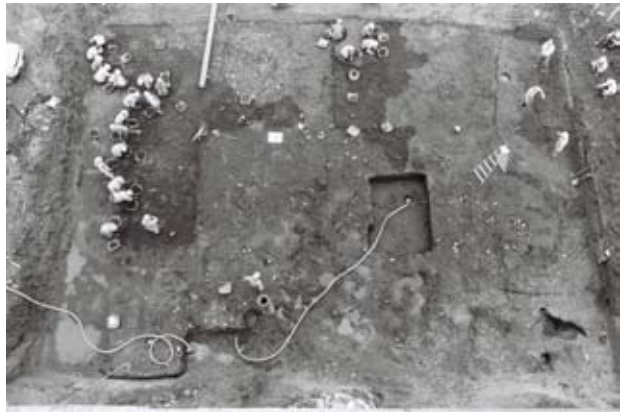
調査前風景



調査区周辺風景



調査風景



調査風景



調査風景・4層上面遺物出土状況

PL. 3 調査風景・4層上面遺物出土状況



4層上面遺物出土状況



4層上面遺物出土状況



4層上面調査風景



4層上面遺物出土状況, 4層掘下げ状況 西側より



B・C- 2・3区 4層上面遺物出土状況

PL. 4 4層上面遺物出土状況



5層上面遺構検出状況



5層上面遺構掘削状況

PL. 5 5層遺構検出・掘削状況



5層上面遺構掘削狀況



5層上面遺構掘削狀況・遺跡遠景

PL. 6 5層遺構掘削狀況

にやや内湾する甕の口縁部である。11も甕の胴部であり、口唇部は欠損しているが外面に内容物の吹きこぼれ痕と思われる白い筋がみられる (PL.2)。12～14は甕もしくは鉢の底～脚部である。12は脚部の剥落部に指頭痕が認められる。15は鉢と思われる底部である。

6-3.4・5層検出遺構・出土遺物 (Fig. 8～42)

a) 4層検出遺構 (PL. 3・4)

調査当時の日誌には「IV層上面全面に成川・須恵の小片が敷きつめられたように出土 (1975年5月2日)」と記載されている。本調査区に隣接する郡元団地J・K-3・4区総合研究棟建設に伴う調査¹¹⁾においては、4層上面で調査区の中央部に径5mの塚状の土器集積遺構が確認されている。そしてこの塚状の遺構を中心として4層上面に貼り付くように土器や須恵器、自然礫、軽石などが周辺に広がっていた。本調査において確認された小片の広がりもその一部と思われる (PL. 3・4)。6-4.の項で4層包含層出土遺物として取り上げたものもこの土器集積遺構の一部であるものが含まれていると考えられるが、その出土状況が不明であるものが多いため、4層包含層遺物として取り扱っている。そしてその後の周辺の調査により、出土土器のほとんどは笹貫式であるが8世紀代の須恵器も含まれていることが分かり、遺構自体は古墳時代より新しい時期の遺構と考えられる。

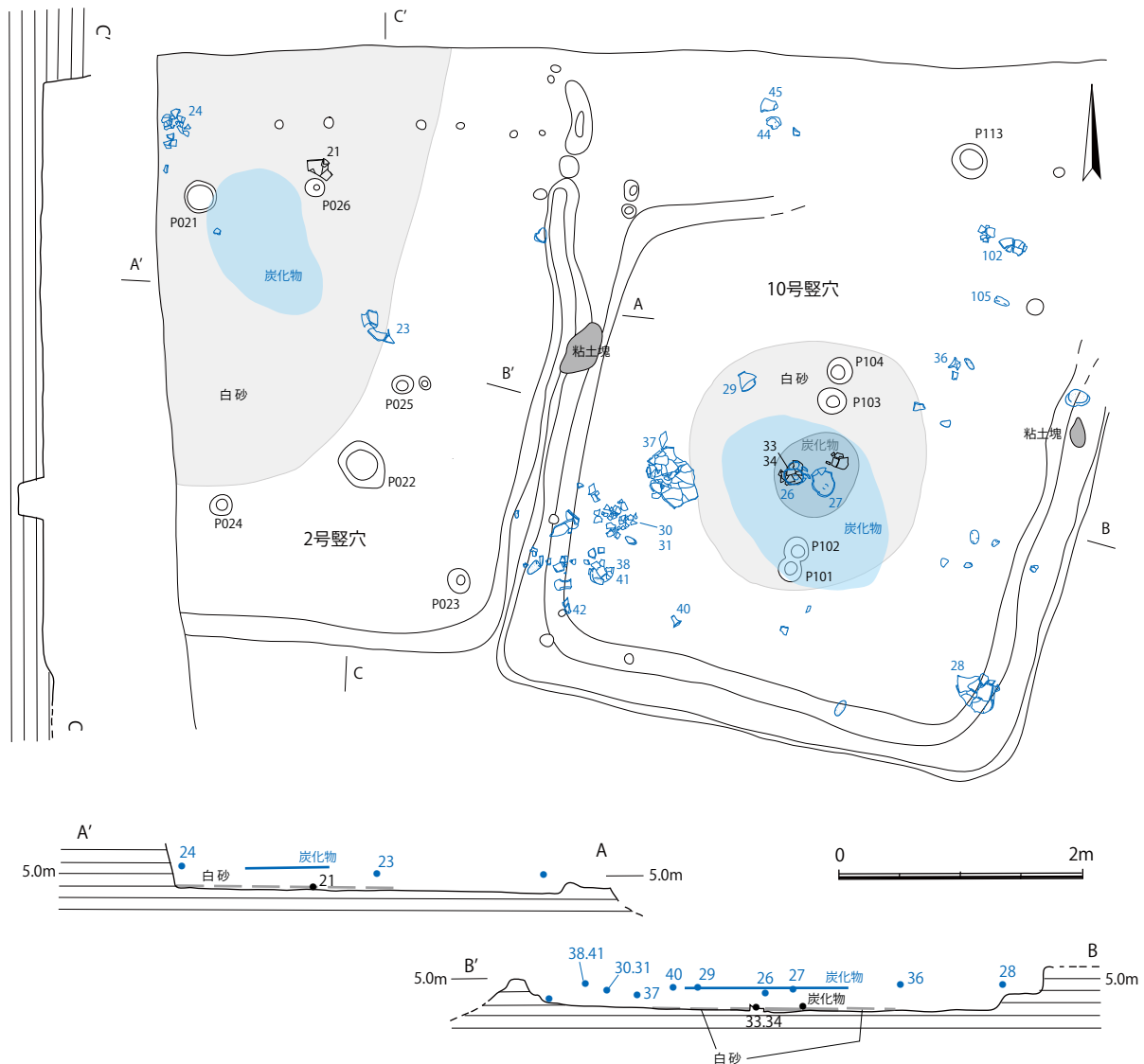


Fig. 8 2・10号竖穴建物跡遺物出土状況



10号竖穴建物跡遺物出土状況



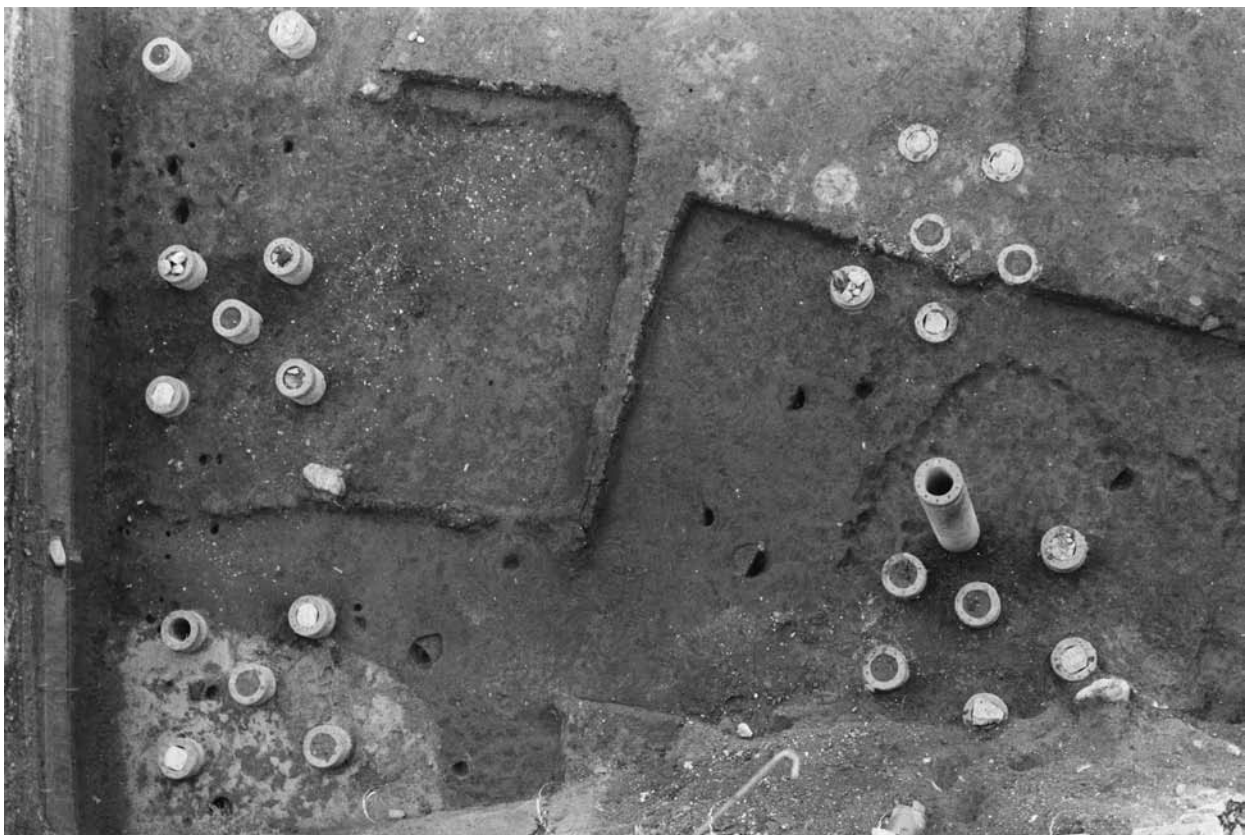
10号竖穴建物跡遺物出土状況



28 遺物出土状況



27 遺物出土状況



2・10・3・4号竖穴建物跡

PL.7 10号竖穴建物跡遺物出土状況, 2~4号竖穴建物跡検出状況

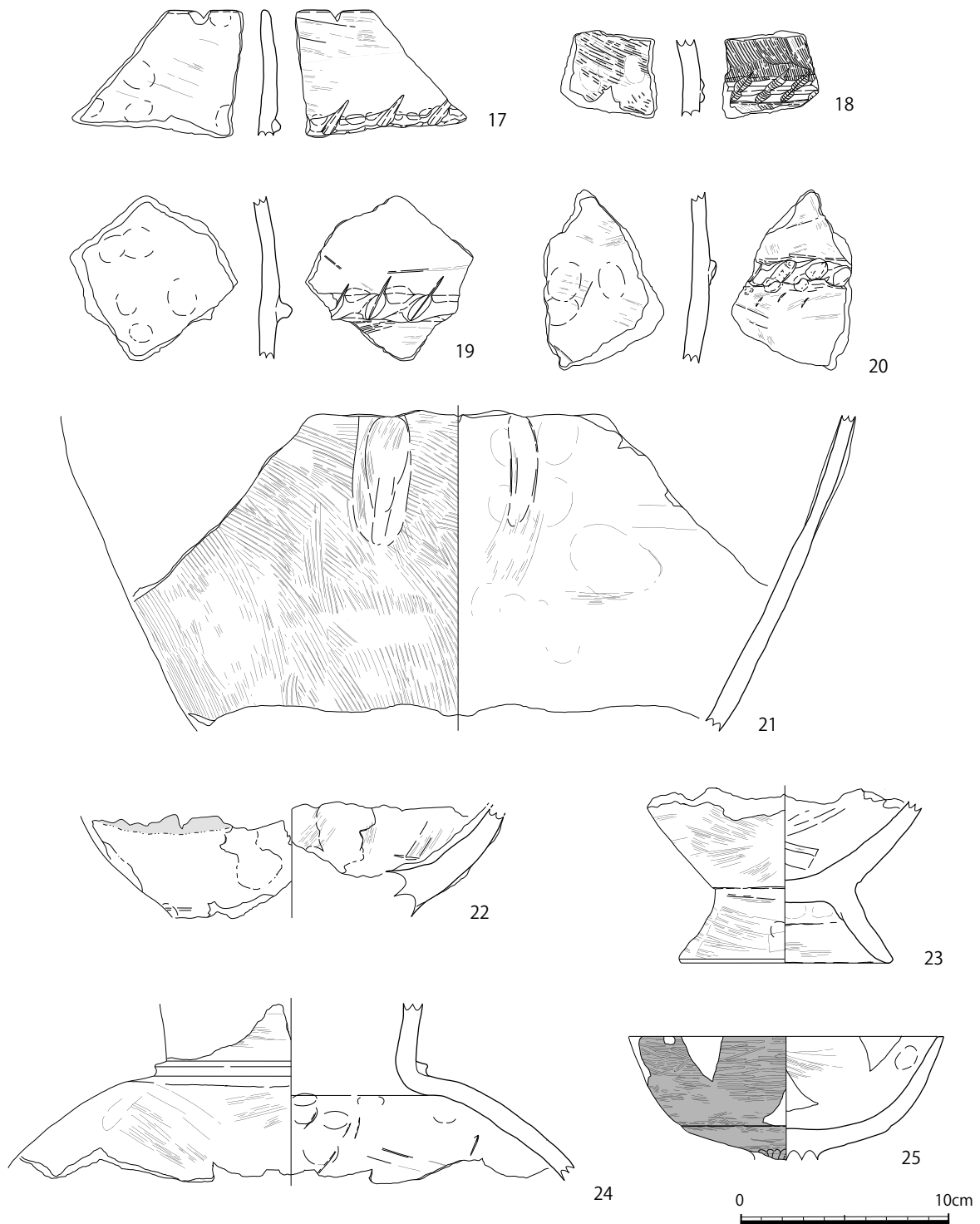
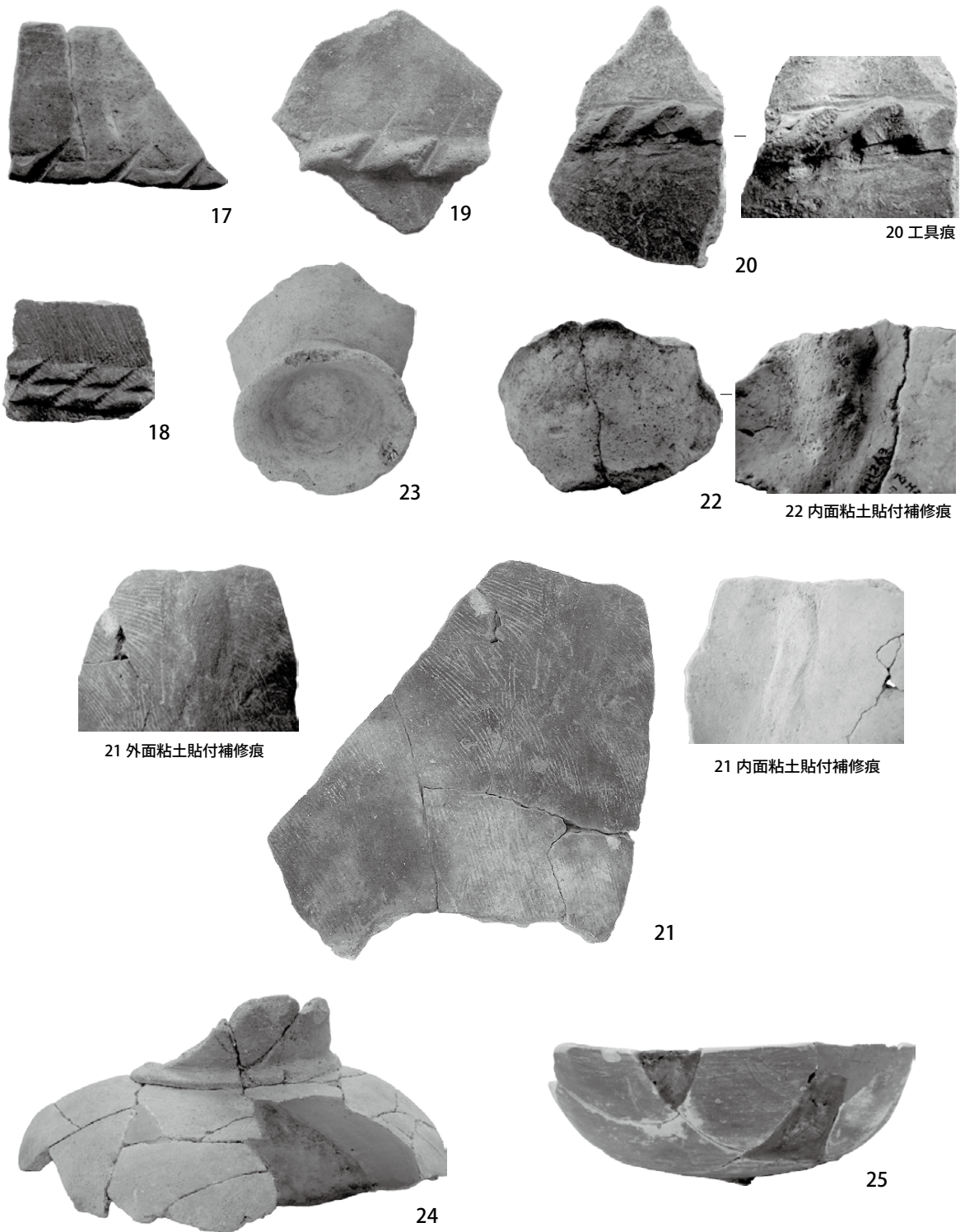


Fig. 9 2号竖穴建物跡出土遺物

b) 5層検出遺構

5層上面では、竖穴建物跡・土坑・溝跡などが検出されている(Fig. 7)。竖穴建物跡は、当初 31 基検出されたが、調査を実施していく段階で 1 号と 21 号については他の竖穴建物と同一のものと判断されたため、竖穴建物跡総数は 29 基となった。ほとんどの竖穴建物跡は方形プランを呈する。各竖穴建物の様相や出土遺物については既に一部が報告されている¹³⁾。1995 年の概要報告では、各竖穴建物跡出土遺物の器種・種別毎に点数が記録され



PL. 8 2号竪穴建物跡出土遺物

ており、遺物破片量は2・7～9・11号が多いことが示されている。各竪穴建物跡毎の出土土器重量の計測を行ったところ (Tab.1)、重量では、7～11号竪穴建物出土の遺物量が多くなっている。今回は、未報告の出土遺物と出土状況の記録の残るものについて追加報告を行う。

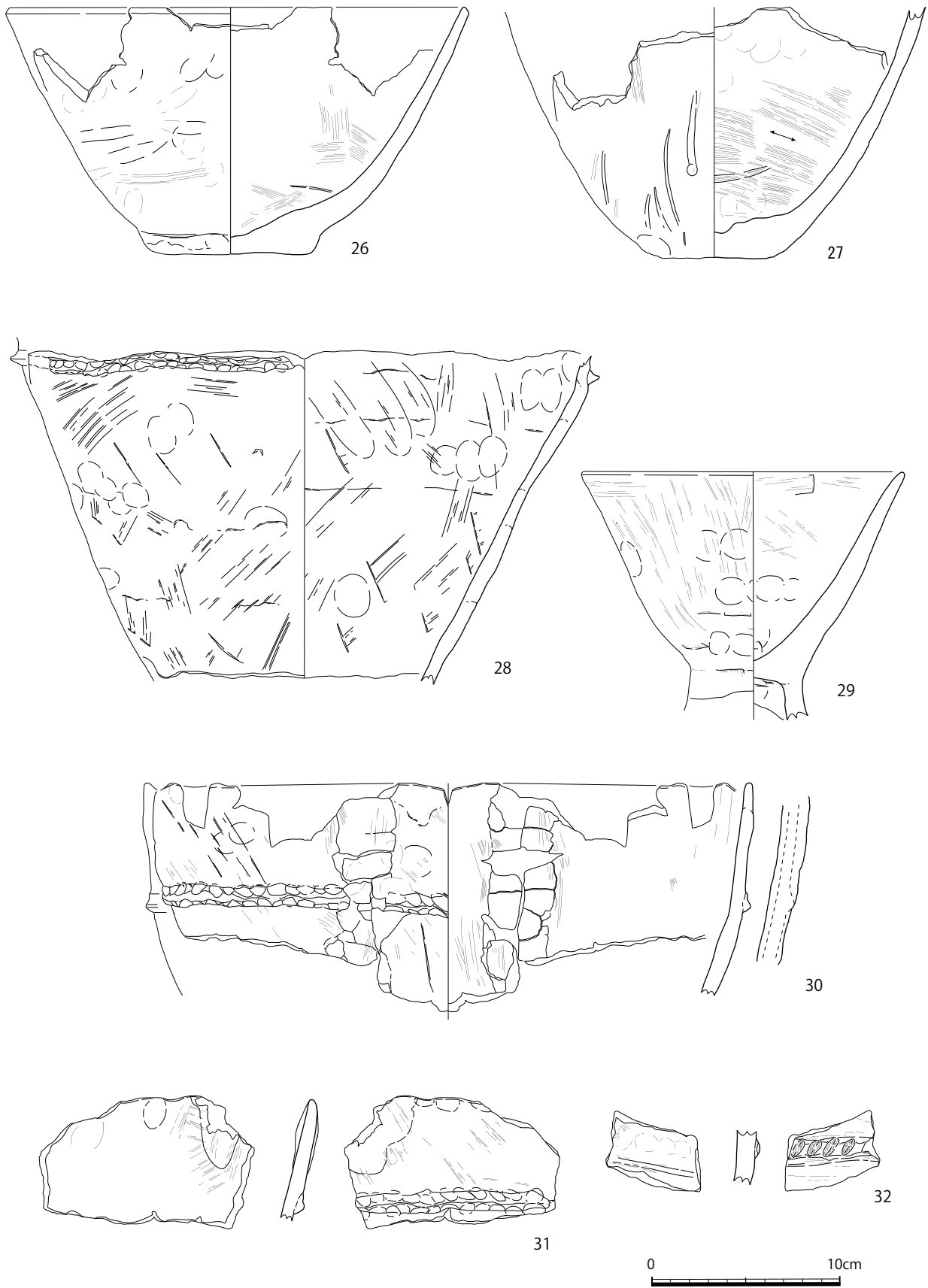
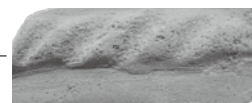
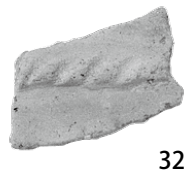
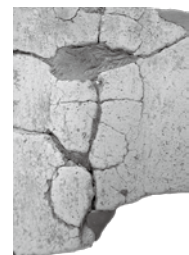
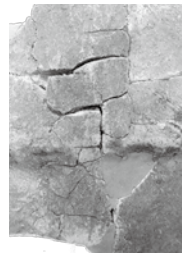
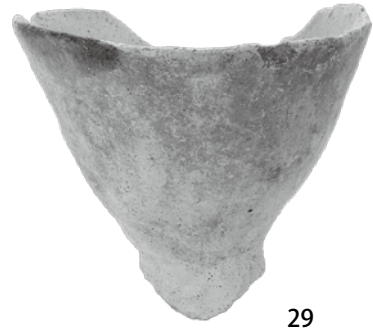
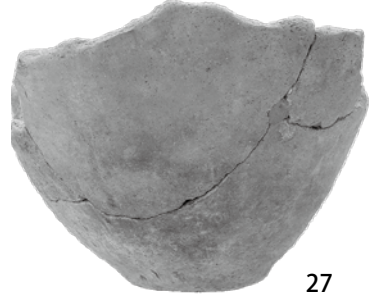
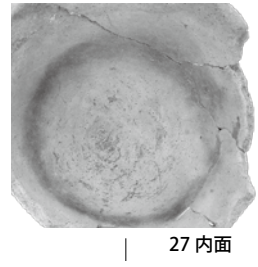


Fig.10 10号竖穴建物跡出土遺物



PL. 9 10号竖穴建物跡出土遺物

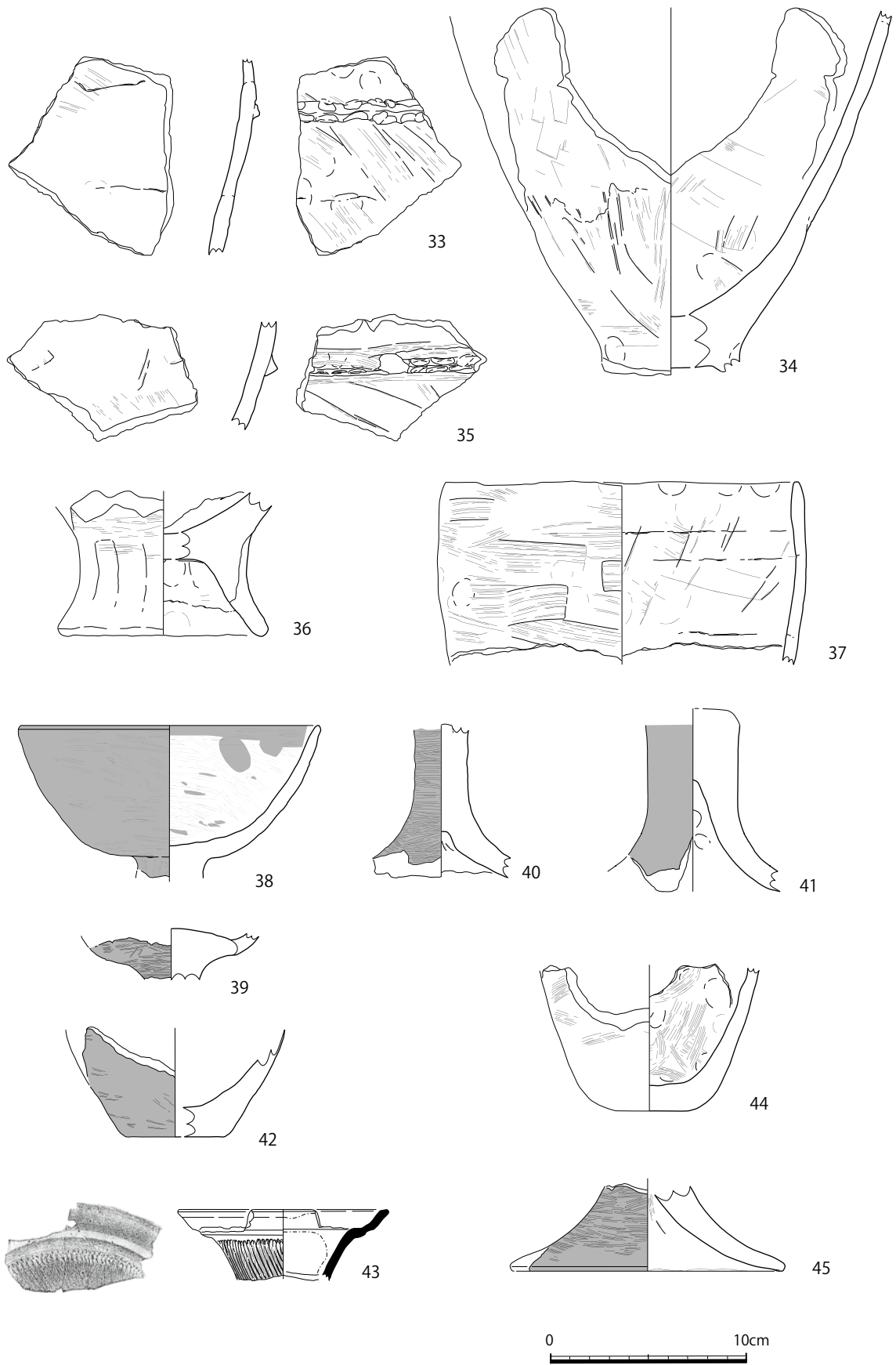
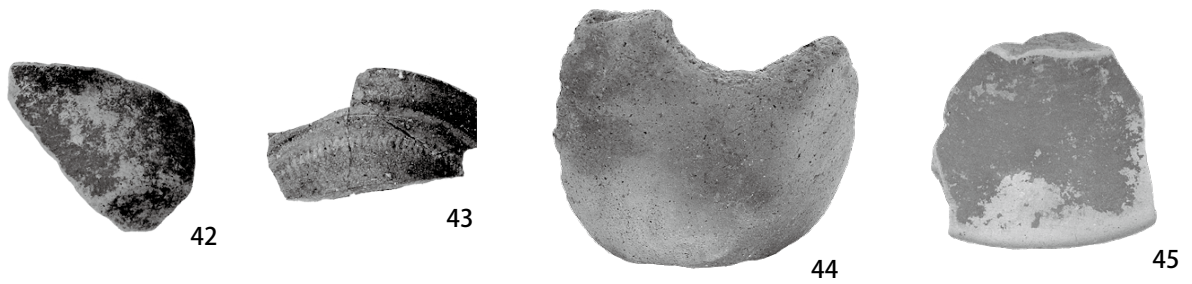
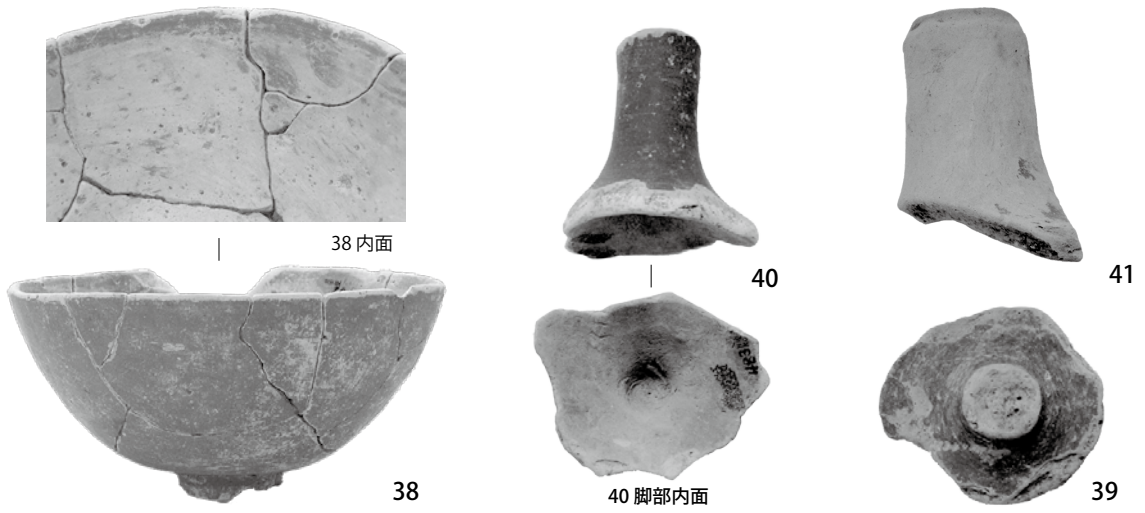
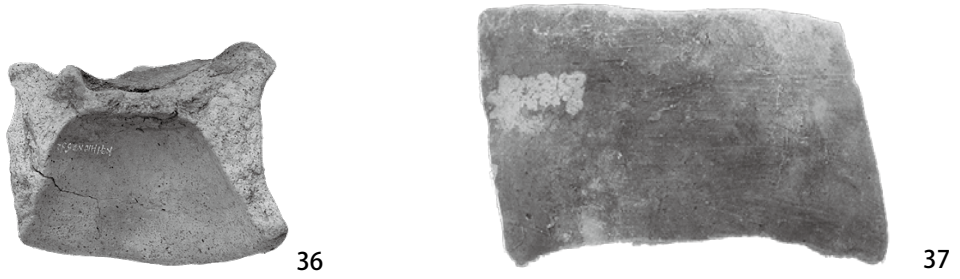
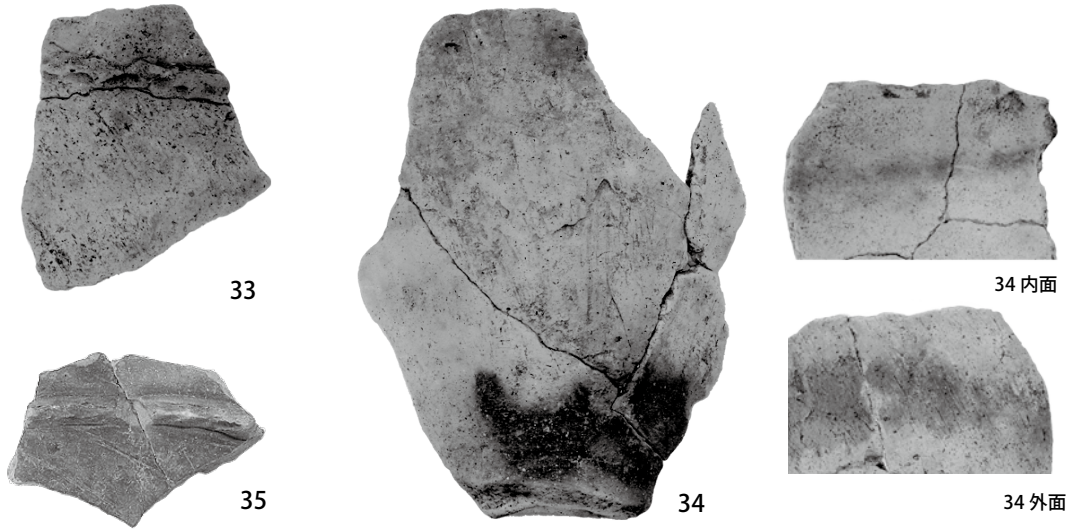


Fig. 11 10·31号竖穴建物跡出土遺物 33-43：10号竖穴建物出土，44·45：31号竖穴建物出土



PL. 10 10号竖穴建物迹出土遺物

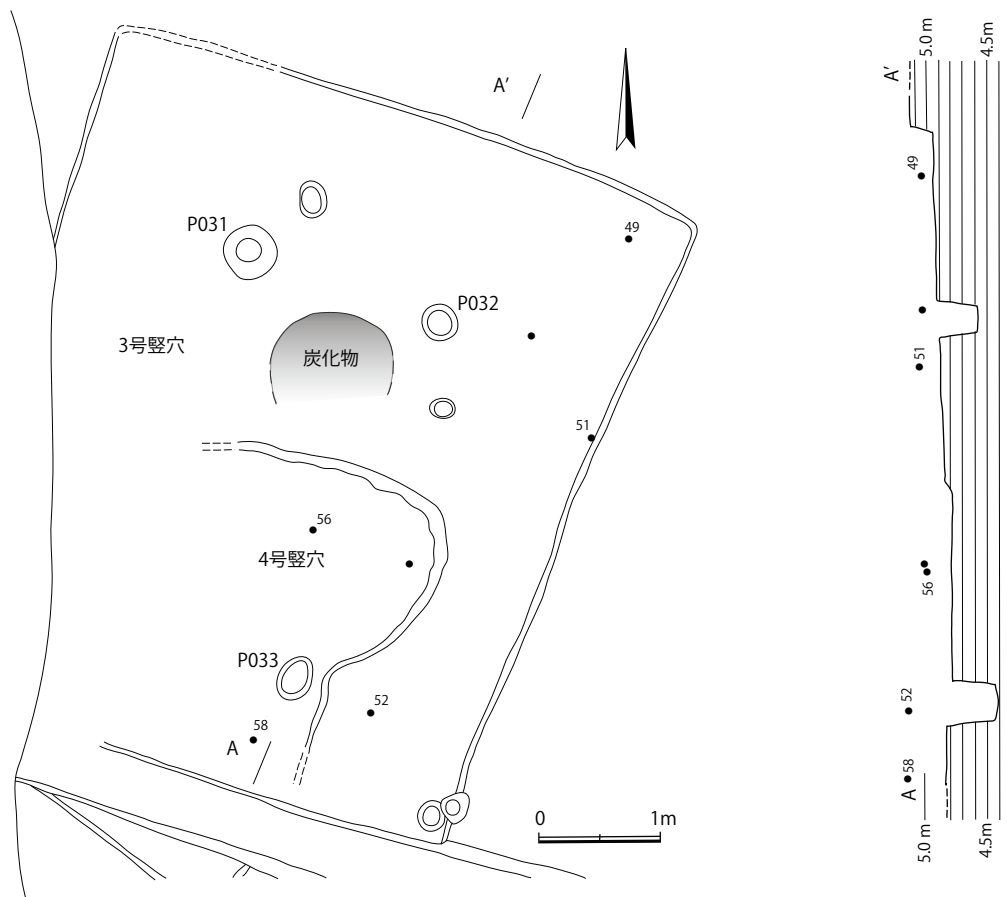


Fig. 12 3・4号竖穴建物跡遺物出土状況

5層上面検出主要竖穴建物跡及び竖穴建物内出土遺物

2号竖穴建物

2号竖穴建物は、調査区北西隅 AB-1 区で検出されており、方形プランである。ピットは6基検出されているが、主要ピットは P021.022 である。最下面には白砂が敷かれており、その面より約 18cm 上面に炭化物の広がりか認められる。この炭化物の検出レベルとほぼ同レベルで 23, 24 の遺物が出土している。

2号竖穴建物跡出土遺物 (Fig. 9 17～25)

17～20 は甕の胴部片である。20 は突帯上の刻みの下に丸い凹みが認められ、工具による痕跡と思われるが具体的な工具は不明である。21 は炭化物の広がる面とほぼ同レベルで出土しており、部分的に粘土貼り付けの痕跡が認められる (PL. 8)。22 も同様に粘土の貼付は部分的であり、ひび割れ等の補修痕と考えられる。

10号竖穴建物

10号竖穴建物は2号竖穴建物の東隣に検出されたものである。壁面近くに段が設けられ、東西×南北約 4.5 m の方形プランである。支柱穴は中央部の P 101～104 と考えられる。また、東西両壁際には粘土塊が認められる。炭化物や白砂の広がりが約 17cm のレベル差をもって2枚確認され、床面として2度使用された可能性がある。上位 (標高 4.92 m) では、炭化物の広がりが確認され、26 と 27 の鉢が並んで出土している。さらにその下位 (標高 4.75m) では炭化物と白砂が竖穴建物跡中央部に認められる。炭化物は柱穴を挟んで中央部に検出され、甕と思われる胴部片が周辺に出土している。

10号竖穴建物跡出土遺物 (Fig.10・11 26～45)

既報告¹³⁾の第10図4で28が、第11図1で29が、8号竖穴建物出土遺物として報告されていたが、ここで10号竖穴遺構出土と修正する。上位の炭化物の広がりが認められる標高約 4.9m 付近では、26～31, 36～

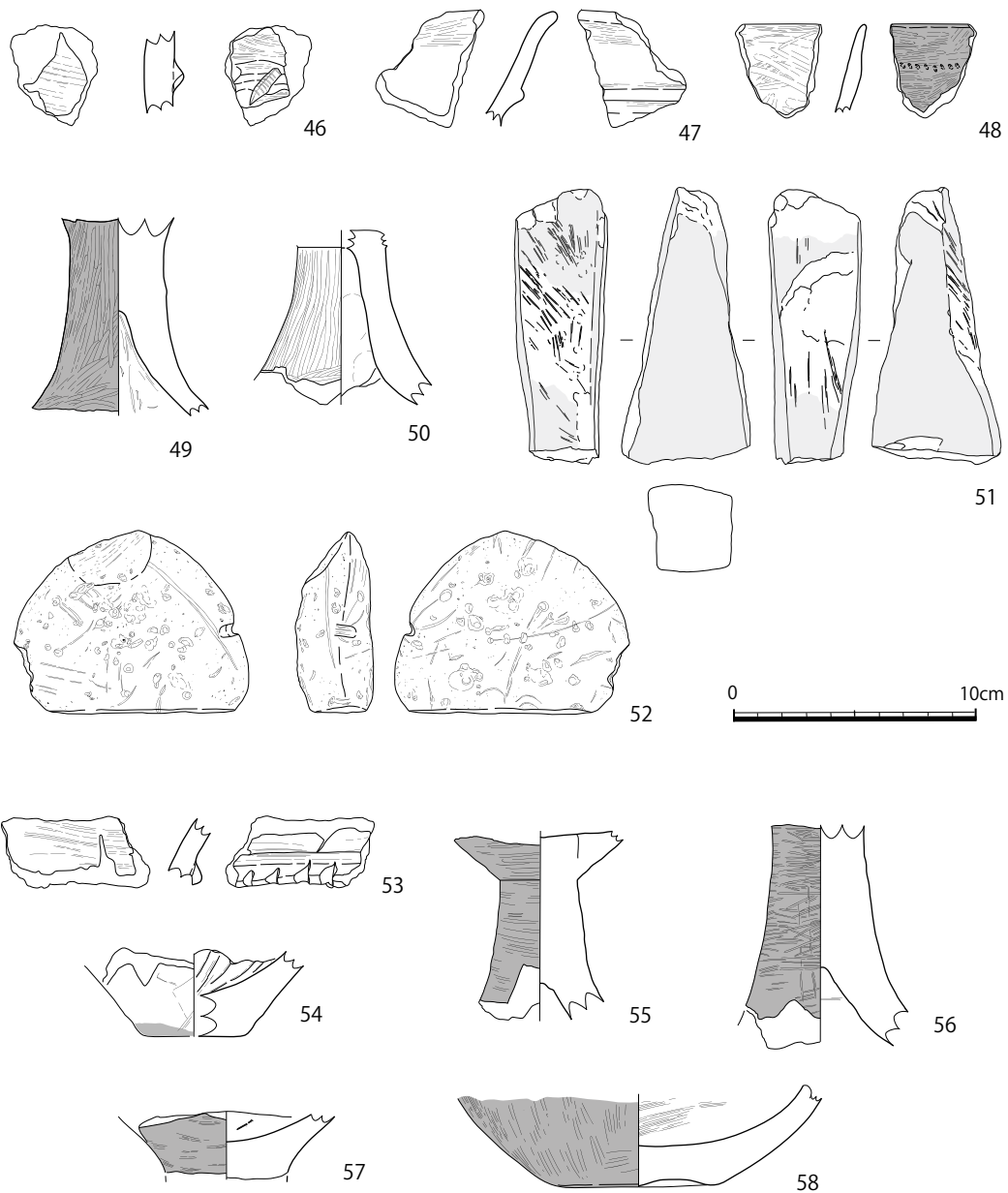


Fig. 13 3・4号竪穴建物跡出土遺物

46-52：3号竪穴建物出土，53-58：4号竪穴建物出土

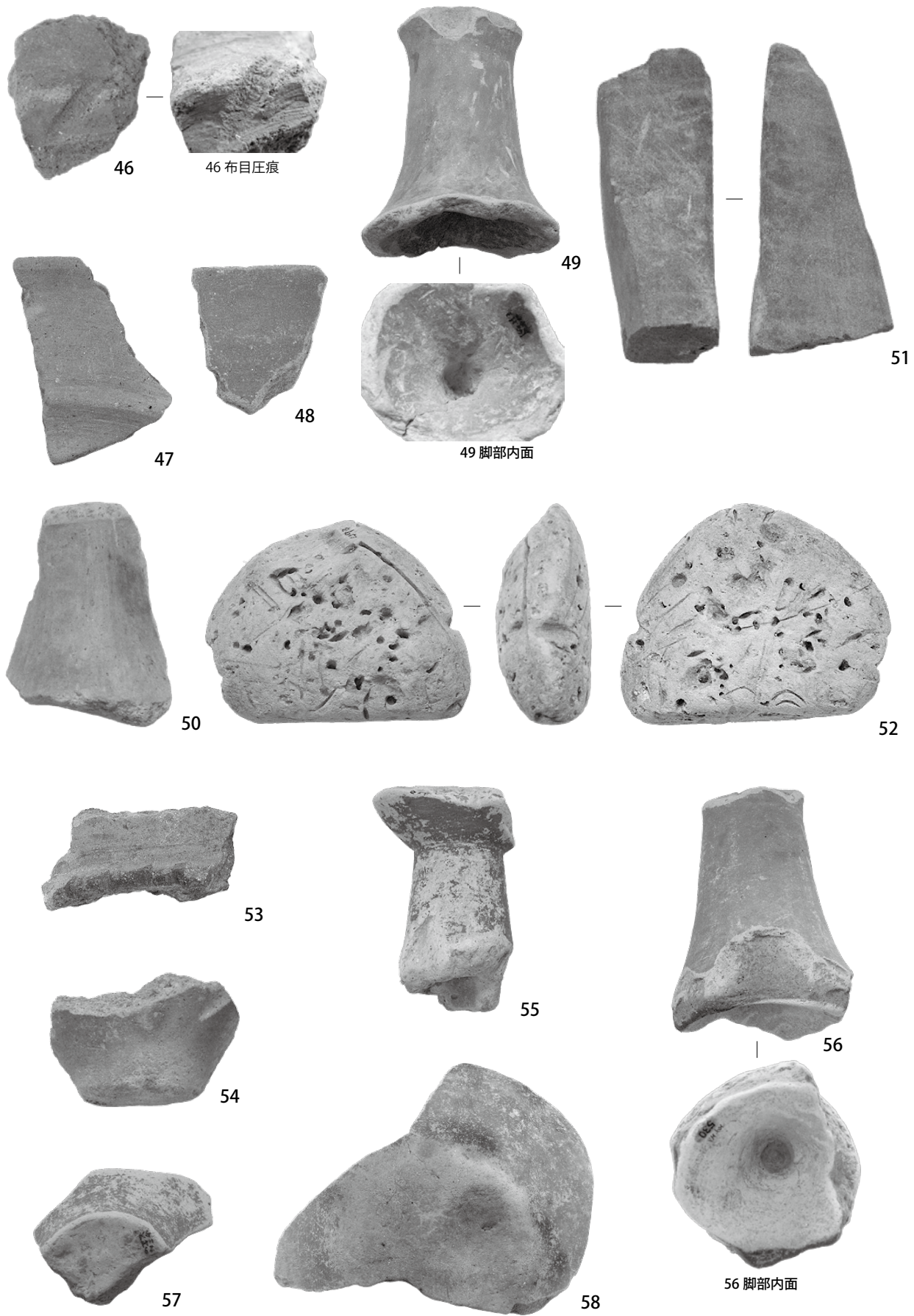
38, 40・41が出土している。26は明瞭ではないが内面に部分的にコゲが認められ、27は下半部に帯状のコゲが認められる(PL. 9)。28は甕であるが、外面の突帯部下10cmにススが付着している。30・31は同一個体と思われる甕の口縁部～胴部である。特に30は縦位方向に粘土が貼り付けられており、表裏面とも同じ位置に粘土付着が認められ、補修痕と思われる。その出土状況は、近辺にその他胴部片がまとまって出土している状況であるが脚部は認められない。36の脚部内面には、接合痕が明瞭に観察される。32は刻み内に組織痕が認められる。33・34は最下の床面付近より出土し、胎土・調整の観察から同一個体の可能性が高い。胴部片に帯状のススが認められる(PL.9)。

31号竪穴建物

2・10号竪穴建物跡の北側に検出された遺構である。床面のみが確認されたのみで、全形は不明である。

31号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.11 44・45)

44は鉢であり、内面は指と工具を用いて調整している。45は高坏の脚部で、内面にも部分的に赤色が付着している。



PL. 11 3・4号竖穴建物跡出土遺物

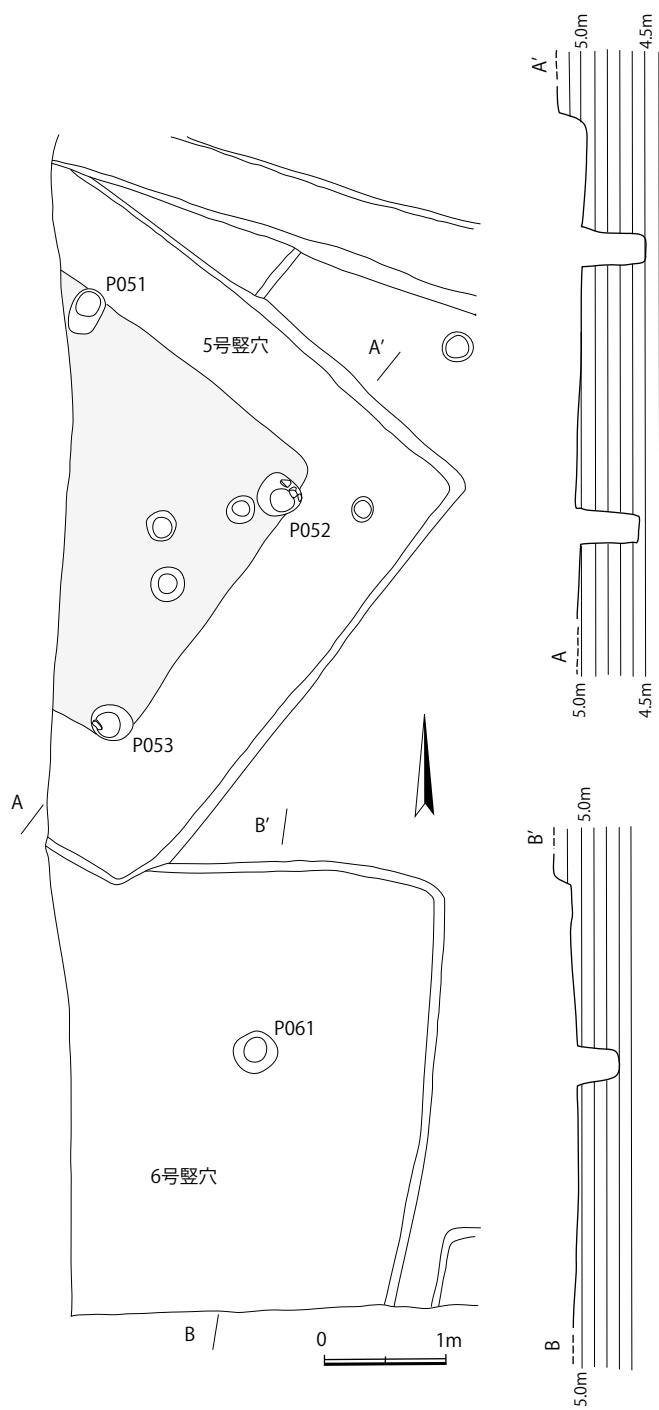
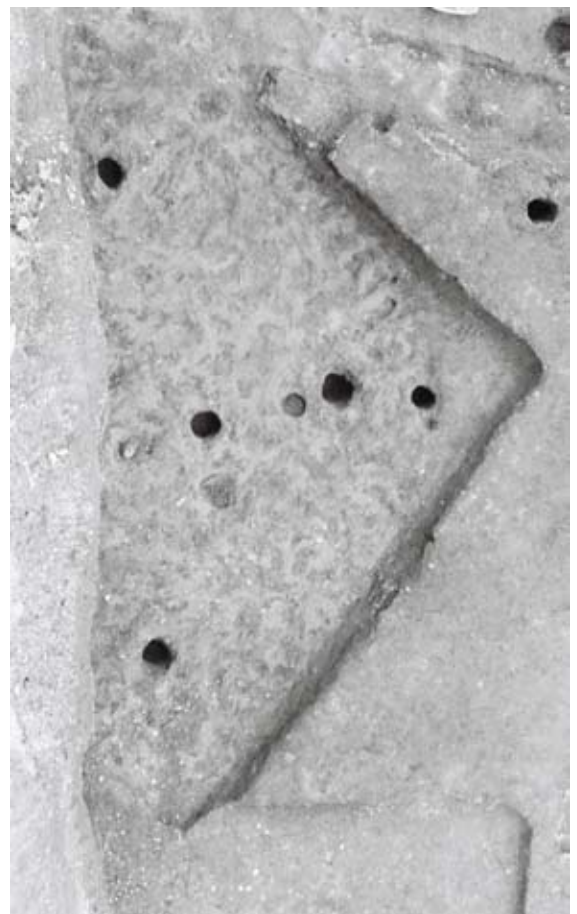


Fig. 14 5・6号竖穴建物跡



PL. 12 5号竖穴建物跡検出・完掘状況

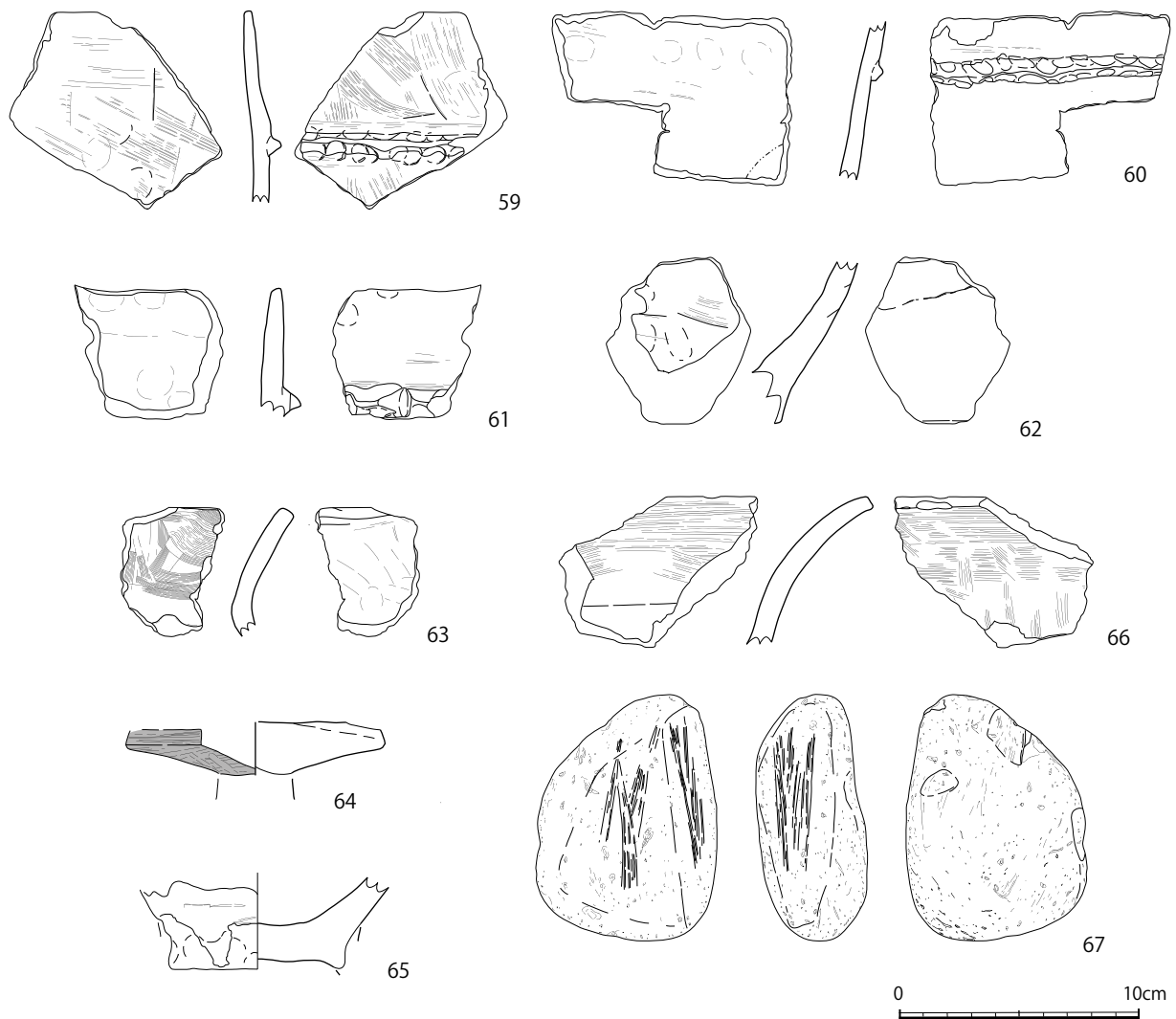


Fig. 15 5・6号竪穴建物跡出土遺物 59-64：5号竪穴建物出土、65-67：6号竪穴建物出土

3号・4号竪穴建物

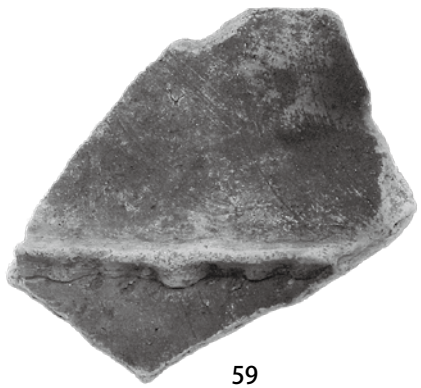
調査区西壁に検出された竪穴建物跡であり、調査区西壁付近に後世の攪乱があり4号竪穴跡は3号竪穴跡内で北東隅が検出されているのみでプランは不明である。3号竪穴建物中央部には約5mのレベルで炭化物の広がり確認された。竪穴南側は不明であるが、北側ではP 031・P 032が主柱穴と思われる、P 033と合わせて4本柱の可能性はある。

3・4号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.13 46～58)

46は囊胴部であり、刻み内に布目圧痕がみられる(PL.11)。51は砥石で主に表裏面を使用しているが、側面も高所は平坦になっており使用の痕跡がうかがえる。52は多数の小凹穴と線刻が認められる軽石加工品である。下側縁が平坦に整えられ安定する形状となっており、その反対側の上縁部には稜が形成され、側縁部には刻みが認められる。既報告でも、ほぼ同形態の軽石加工品が3号竪穴建物内から2点出土していることが報告されている¹⁵⁾。この形態の軽石加工品は大龍遺跡¹⁶⁾など他遺跡でも出土している形態であり、用途など今後検証が必要である。49・56の高坏脚部の内面には工具痕が確認できる。

5号竪穴建物

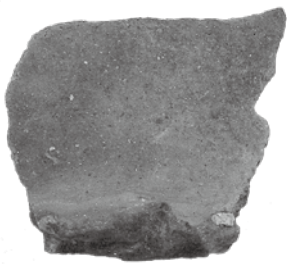
調査区の西壁に検出された竪穴建物跡で、西半分は調査区外であるが、南北幅4.4mの方形プランである。7基の柱穴があるが、P 051～P 053が主柱穴で4本柱となると思われる。中央部には、白砂が敷かれている。



59



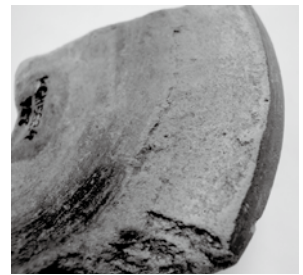
60



61



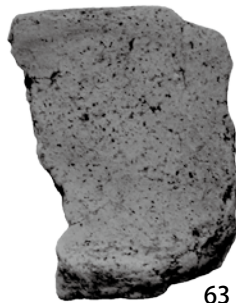
62



| 64 杯接合部



65



63



64



66



67

PL. 13 5・6号竖穴建物跡出土遺物

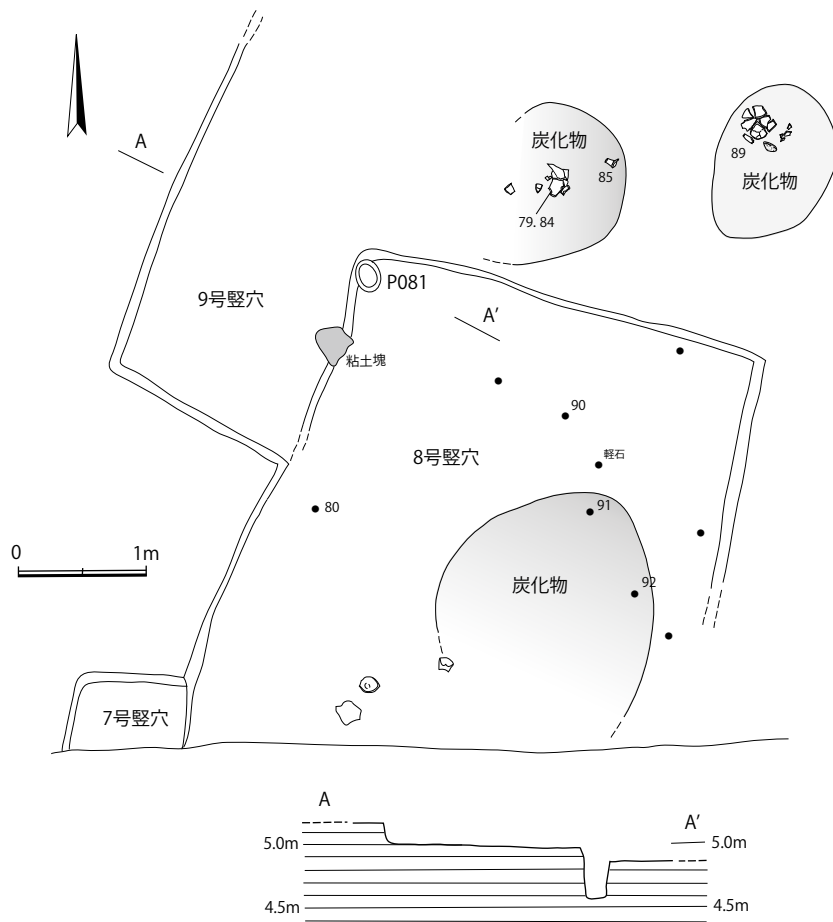
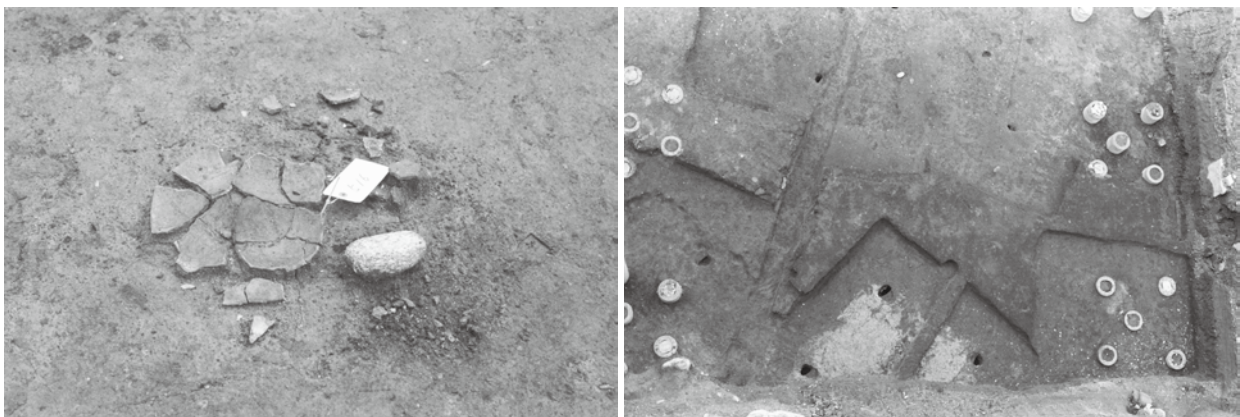


Fig. 16 7～9号竖穴建物跡



89号出土状況

5～9号竖穴建物跡検出状況，西より

PL. 14 7～9号竖穴建物跡検出状況・遺物出土状況

6号竖穴建物

6号竖穴建物跡は、調査区南西隅において北東隅が検出された竖穴建物跡である。方形プランを呈すると思われる、北隅の柱穴P 061は主柱穴と想定される。

5・6号竖穴建物跡出土遺物 (Fig.15 59～67)

既報告¹⁷⁾の第7図7・8で5号竖穴建物出土と報告された壺は、今回再度検討を行った結果、注記が「KA」となっており、釘田第一地点「KG1」の注記とは異なることから、本地点出土遺物ではないことをここで修正する。64は高坏と思われるが、坏部接合部の様相が観察できる。

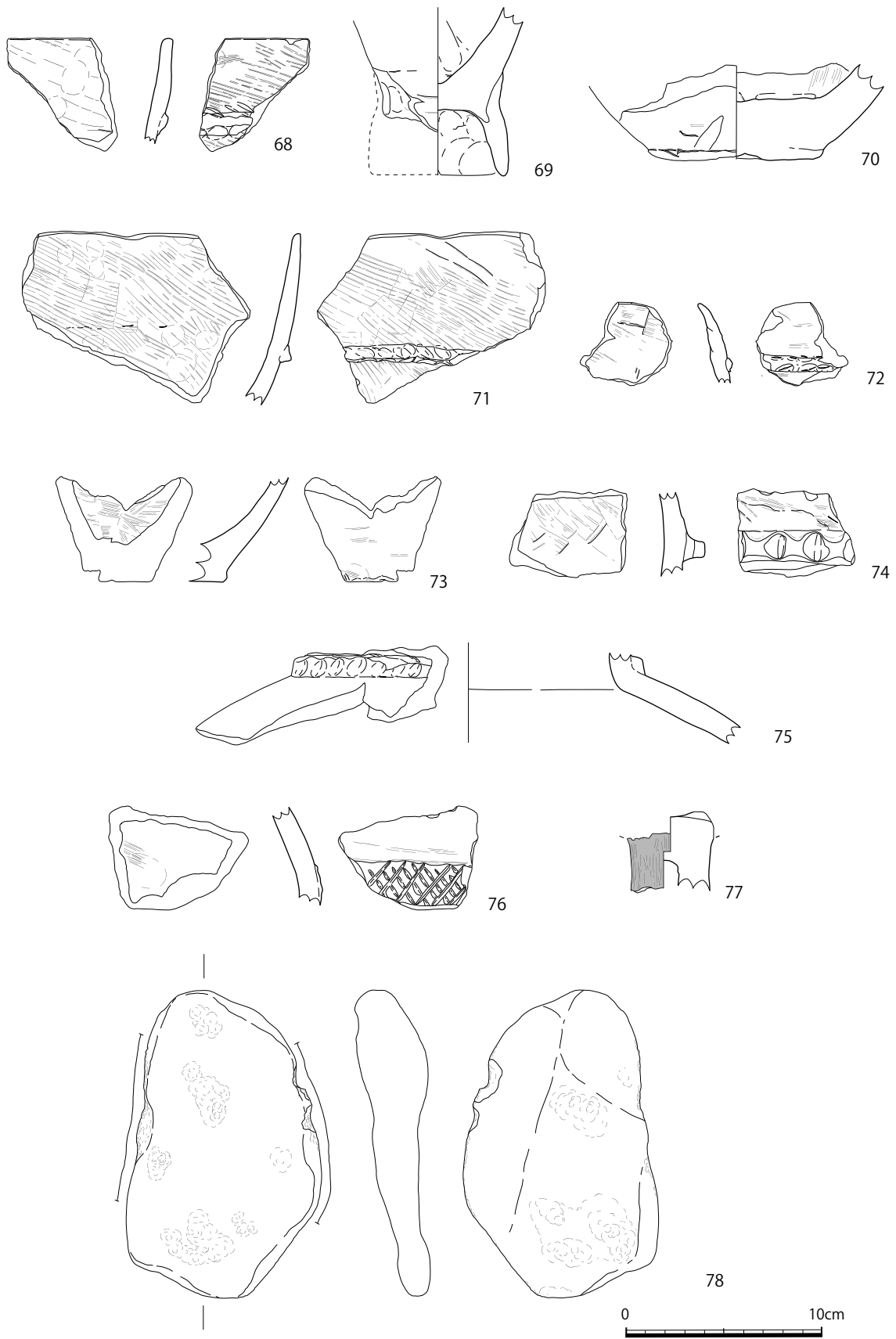
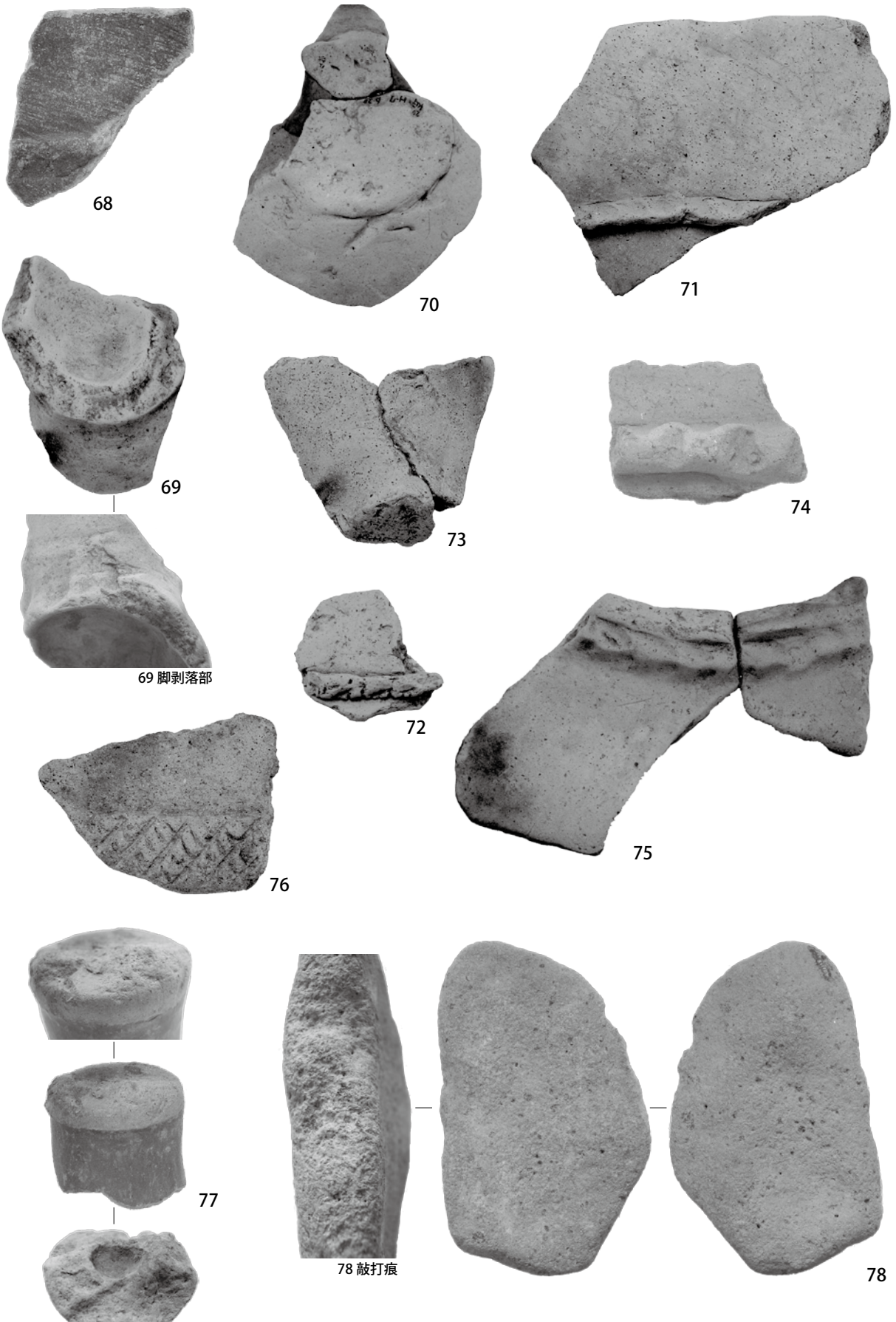


Fig. 17 7·8号竖穴建物跡出土遺物

68-70: 7号竖穴建物出土, 71-78: 8号竖穴建物出土



PL. 15 7·8号竖穴建物跡出土遺物

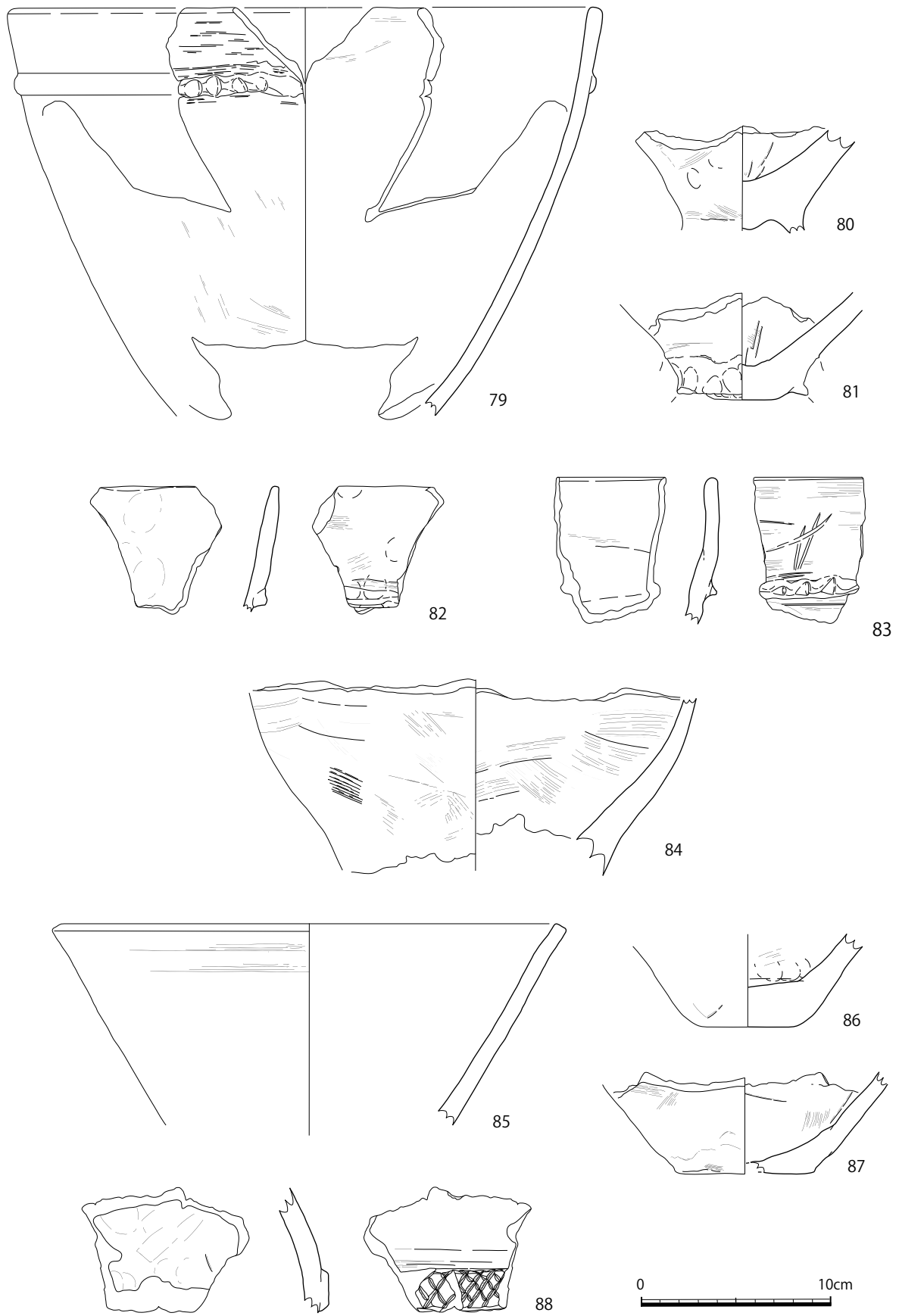
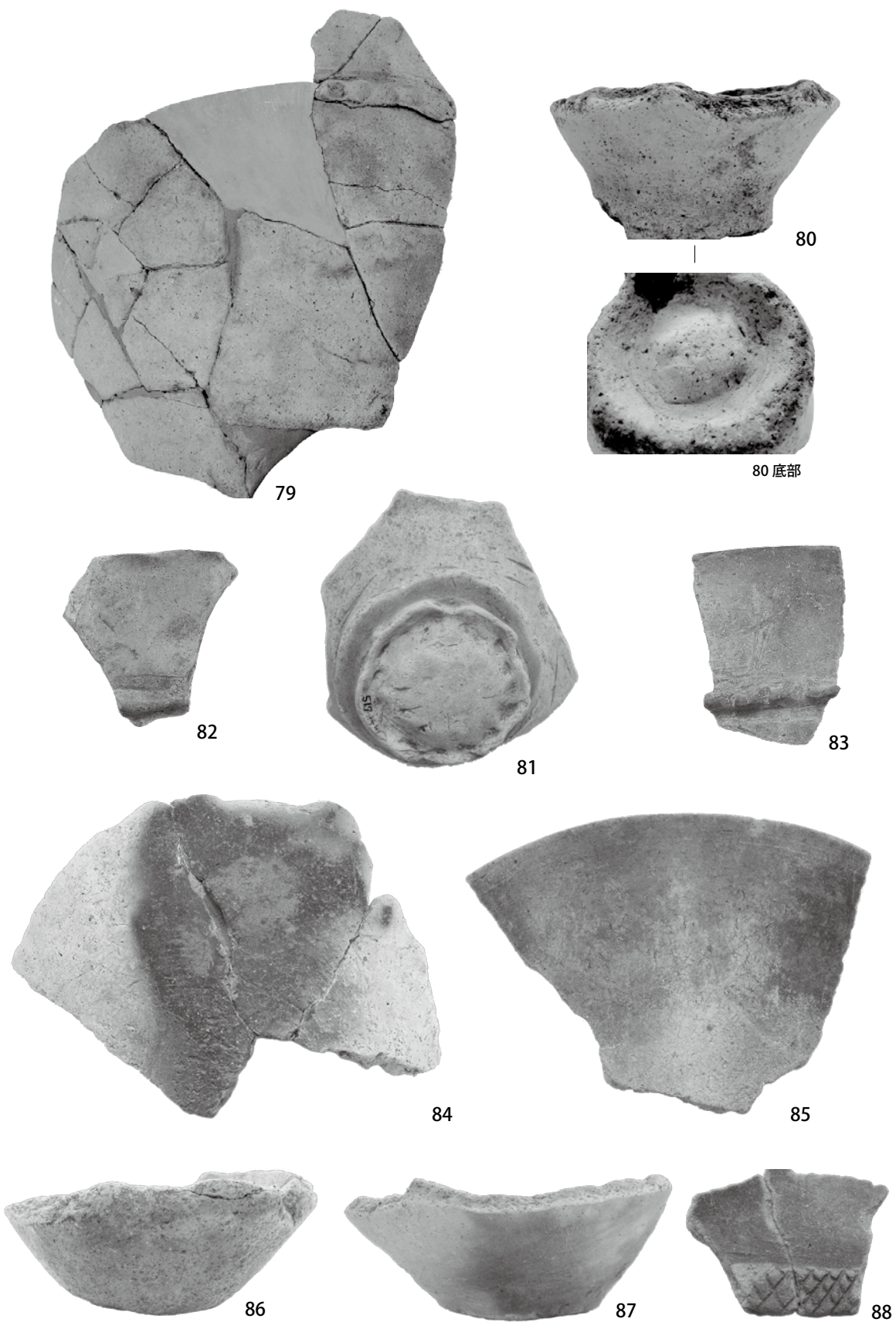


Fig. 18 9号竖穴建物跡出土遺物



PL. 16 9号竖穴建物跡出土遺物

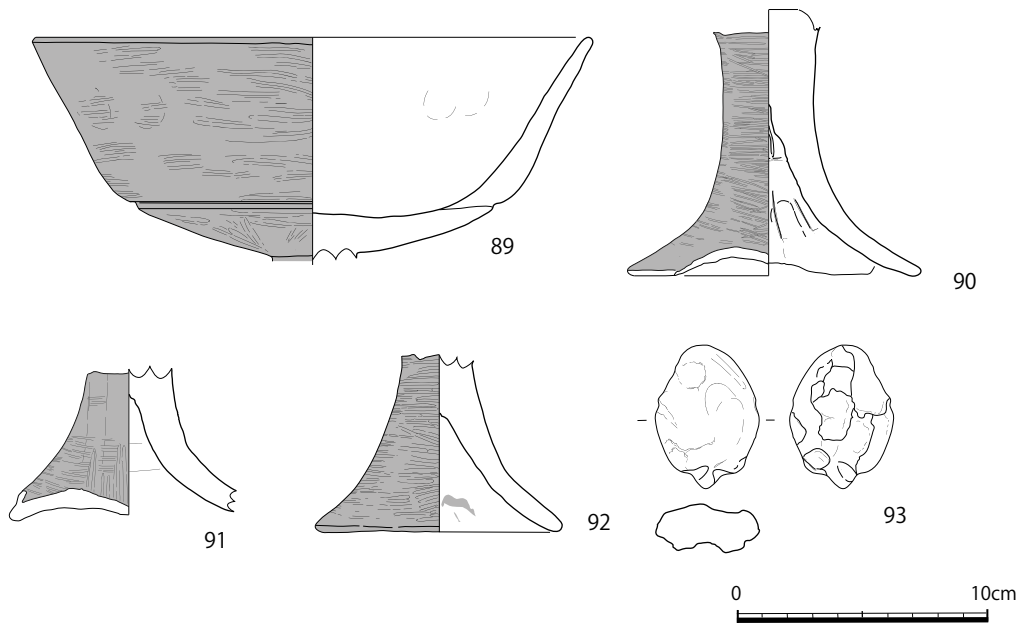
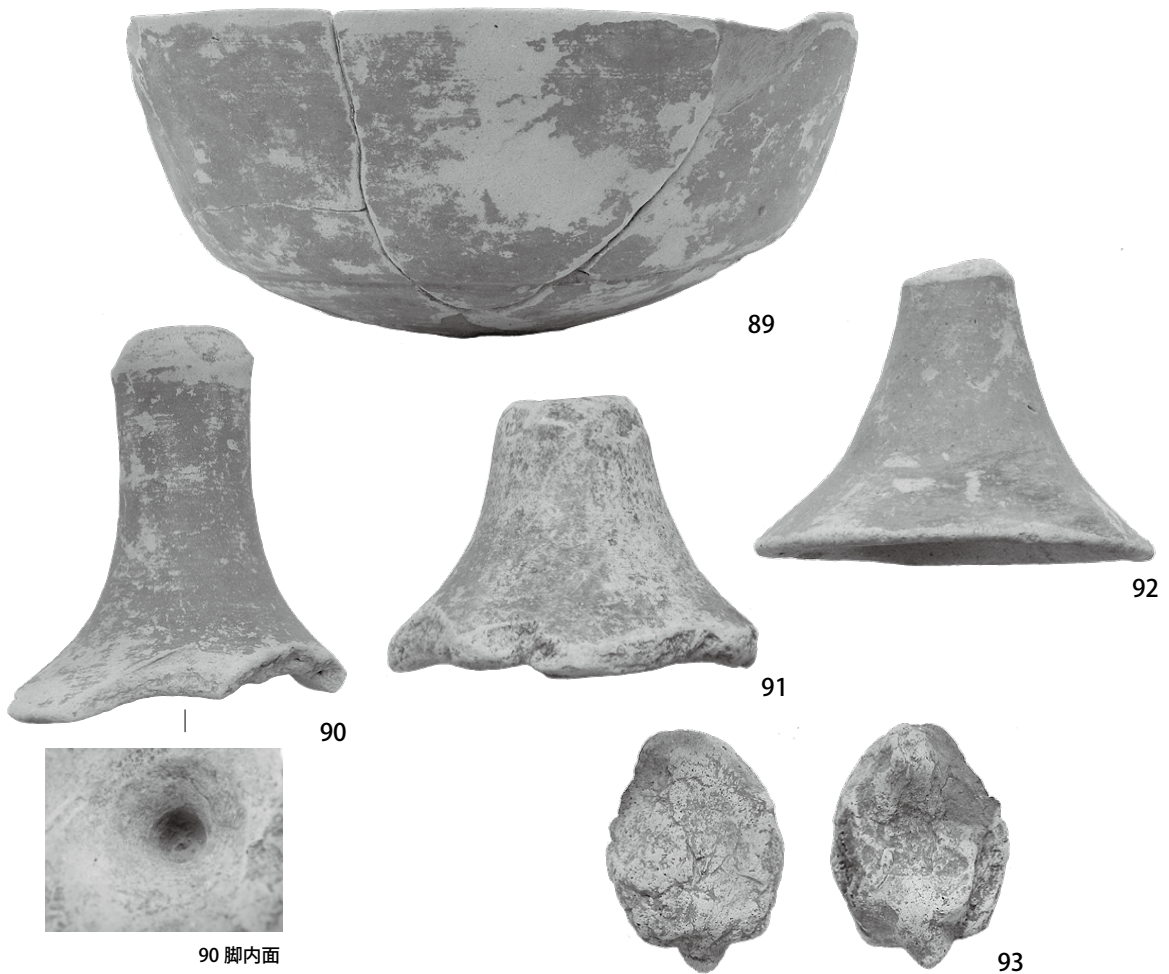


Fig. 19 9号竖穴建物跡出土遺物



PL. 17 9号竖穴建物跡出土遺物

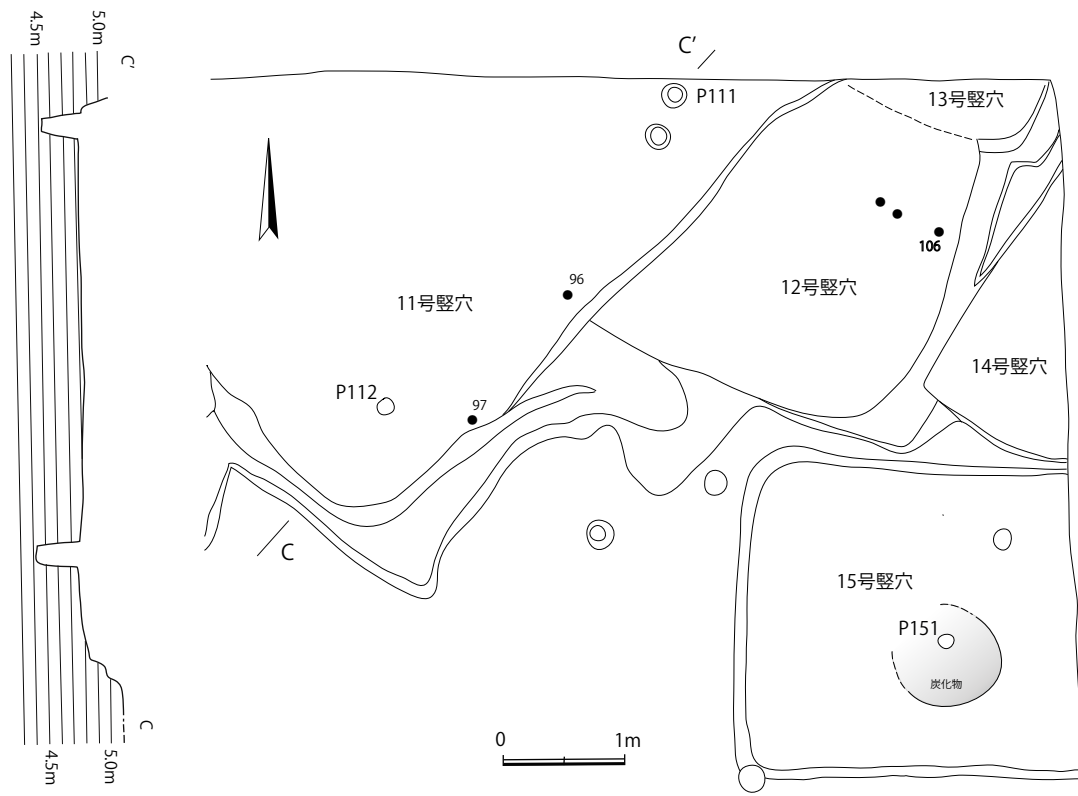


Fig. 20 11～15号竪穴建物跡

6号竪穴建物跡出土遺物である65は甕の底部であり、接合部には明瞭な指頭痕が認められる。また67は軽石加工品であり、表面は3方向、右側面は4方向に数条がまとまった線状痕がみられ、右側面は平坦になっている。

7・8・9号竪穴建物

7号竪穴建物は、調査区南側において北西隅が一部検出されており、東側は8号竪穴建物等に切られている。

8号竪穴建物は調査区南側において検出され、東西は3.3mの方形プランである。北西隅に柱穴が検出されており、床面中央部には砂が敷かれている（標高約4.9m）。敷かれた砂の下部より炭化物の出土がみられる。西壁には粘土塊（標高5.02m）が認められ、竪穴建物内部にも粘土塊（標高4.8～4.88m）が出土していることが調査時の図面に記載されている。9号竪穴建物は西側南半分が検出されている方形プランの竪穴建物跡である。

7号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.17 68～70)

69は甕が台付鉢で、脚部が剥がれた部分には指頭痕がみられる。70は内面に赤色がわずかに付着している。

8・9号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.17～19 71～93)

8・9号竪穴建物跡出土遺物の出土遺構名は、調査時の遺物台帳の記録をそのまま観察表に記載している。しかし、重複している8・9号竪穴建物の境界は、床面付近と床面より上部での遺構実測図を見比べると検出ラインが異なっており、一括取上遺物に関しては8・9号竪穴建物跡出土遺物が混在している可能性がある。また、8号竪穴建物跡北側より出土している79・84・85・89の出土地点周辺には、炭化物のまとまりが認められる。9号竪穴建物跡出土遺物として取り扱ったが、右隣に隣接する24号竪穴建物内の遺物である可能性もある。

73は鉢である。底部に組織痕が認められるが、小片であり詳細は不明である。78は、表裏面と側面に敲打痕、加工痕がみられる。

79～93は9号竪穴建物跡出土の遺物である。80・81は甕の底部である。81は脚部が剥がれ、その接合部に指跡がみられる。また、底部膨らみの形状は、80は凸状、81も膨らみが形成されているが中央部が平坦になっている。90・91は高坏の脚部であり、先端部が尖った工具を使用して脚部を製作していたことがうかがえる (PL.17)。93は粘土塊である。表面には指跡がみられ、裏面は部分的に剥落している。

11～14号竪穴建物 (Fig. 20)

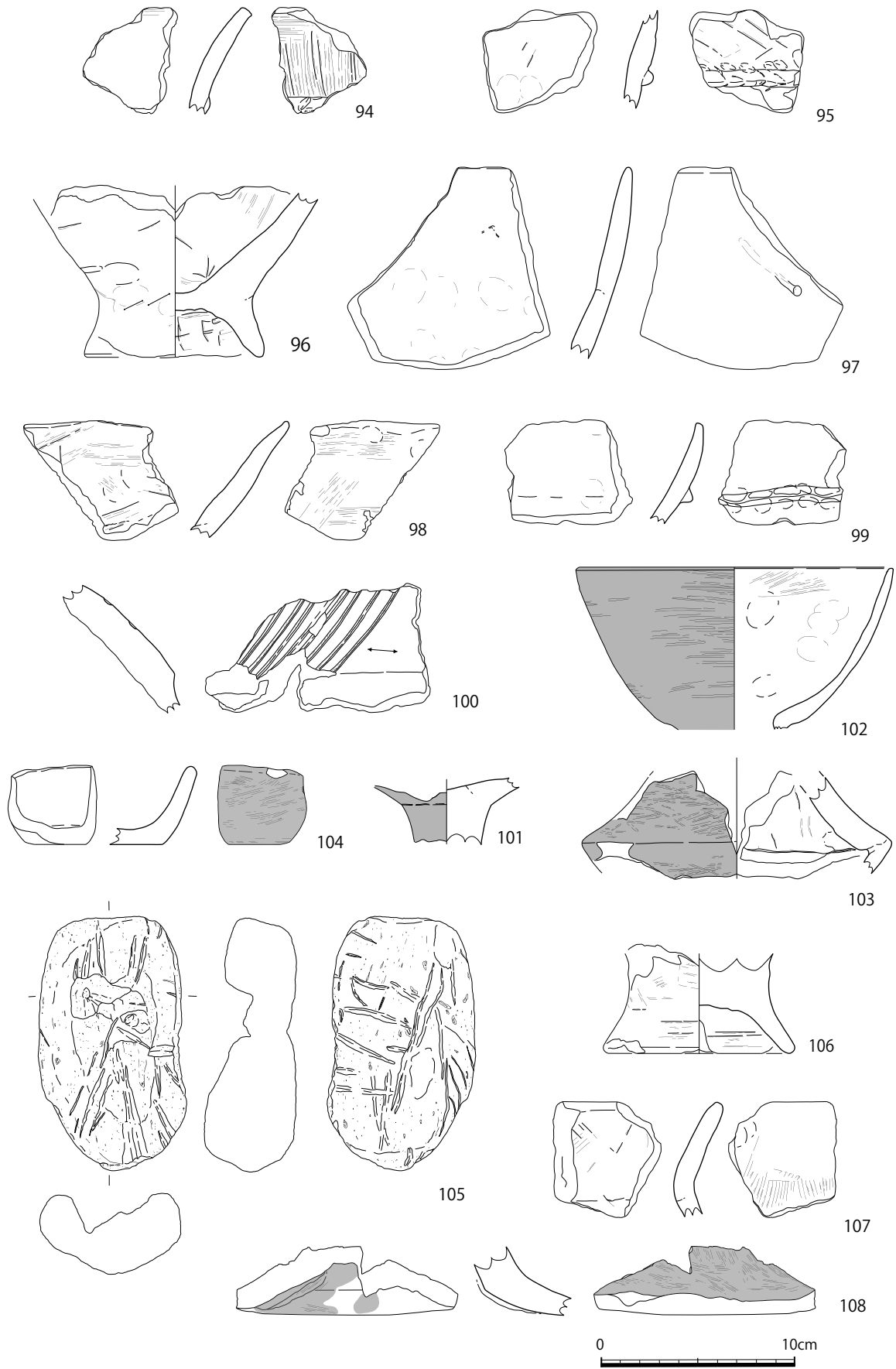
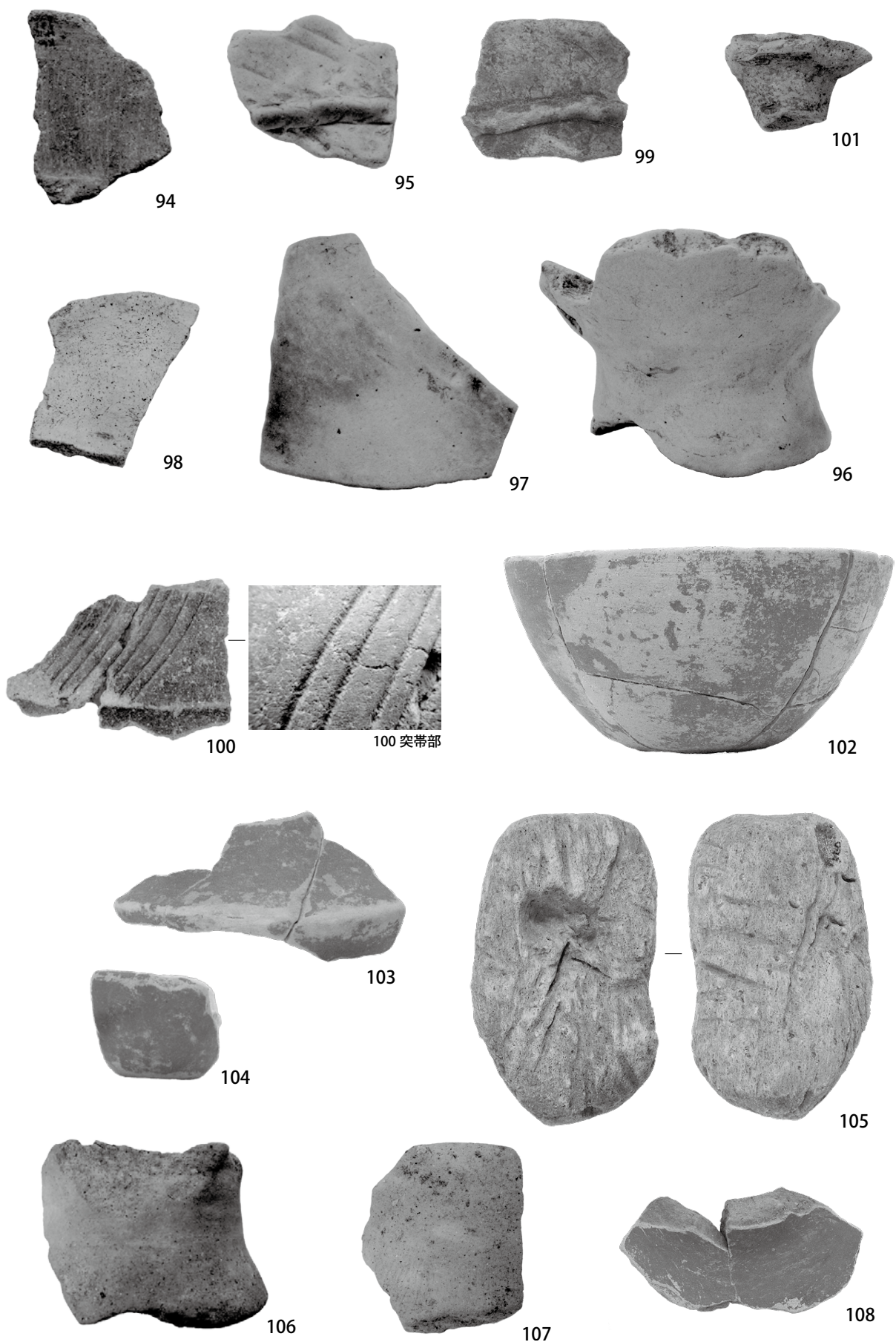


Fig. 21 11·12号竖穴建物跡出土遺物

94-105: 11号竖穴建物出土, 106-108: 12号竖穴建物出土



PL. 18 11・12号竖穴建物跡出土遺物

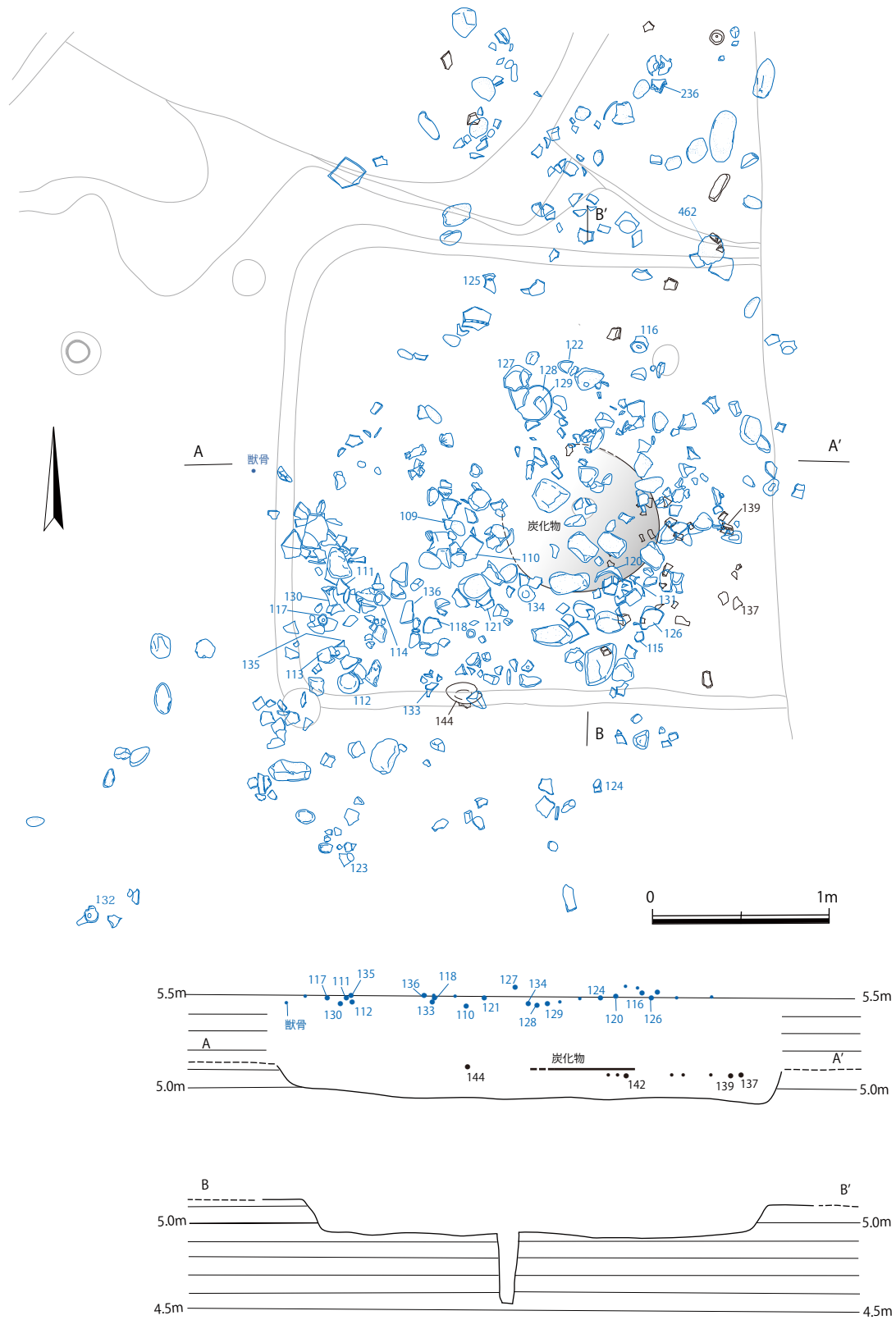


Fig. 22 15号竖穴建物跡遺物出土状況



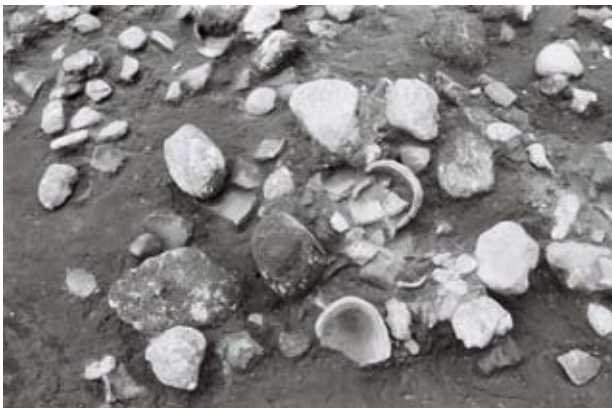
15 号竖穴建物跡上層遺物出土状況



15 号竖穴建物跡上層遺物 111. 112. 117. 130 出土状況



15 号竖穴建物跡上層遺物 110 出土状況



15 号竖穴建物跡上層遺物 115. 120. 126 出土状況



15 号竖穴建物跡上層遺物 127. 128 出土状況

PL. 19 15 号竖穴建物跡上層遺物出土状況



A～C-3・4区遺構検出状況



15号竪穴建物跡完掘状況



遺構完掘状況遠景

PL. 20 遺構完掘状況

11～14号竪穴建物跡は、調査区北側A・B-2～4区で切り合いながら検出される。11号竪穴建物は10号竪穴建物と同様に、南側壁面付近に段がみられる。竪穴建物跡南東部のみの残存であるが、4mを超える方形プランと思われる。柱穴は東壁に沿って3基検出されている。12～14号竪穴建物は調査区北東隅に検出され、12・13号竪穴建物の切り合い関係は不明だが、14号竪穴建物は12号竪穴建物を切っている状況が観察される。

11・12号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.21 94～108)

94～105は、11号竪穴建物跡出土遺物である。96は台付鉢である。97と胎土が類似しており、同一個体の可能性がある。100は壺の幅広突帯である。細い沈線が斜めに施されており沈線内部には組織痕が認められる。沈線は緩くカーブしており、紐条の工具で沈線を施したと考えられる。102は10号竪穴建物跡の北側に出土した埴の上部である。104は小型のコップ状の鉢で赤色が塗布される。105は凹み線が施された軽石加工品であり、表裏面には沈線も施されている。106～108は、12号竪穴建物跡出土遺物である。108は高坏の脚部であるが、内面に粘土を貼り付けて補修した痕跡が残る。

15号竪穴建物 (Fig. 22)

15号竪穴建物はB-3・4区に検出され、東壁は調査区外であるが、南北約2.78mの方形プランの竪穴建物である。床面中央部に炭化物の集中が認められる。床面より50cm上部ではあるが、本竪穴建物跡の上部に特に軽石・土器片の集中がみられ、すなわち竪穴建物廃棄後の窪地にこれらが集中している可能性が考えられる。出土層位は4層上部にあたると思われるが、4層直上に敷き詰められたように出土する土器小片群の下位より出土していると思われる。出土遺物でレベル値の判明するものについては断面図に示している。

15号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.23～26 109～144)

15号竪穴建物上層出土遺物は、床最下面より約50cm上位より出土している。出土状況はFig.22に示している。先に、上層出土遺物について述べる。109・110は甕の口縁部である。110は粘土の接合部を指で押さえた痕跡

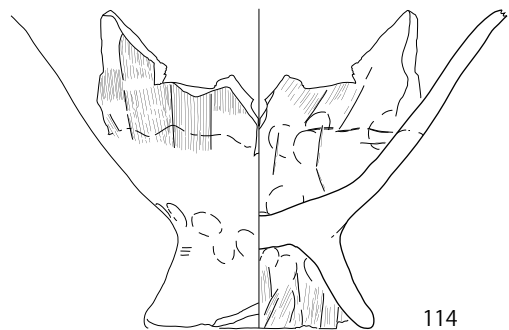
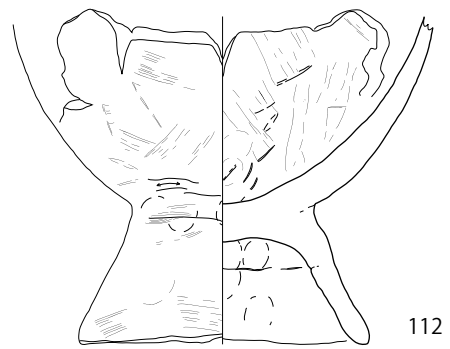
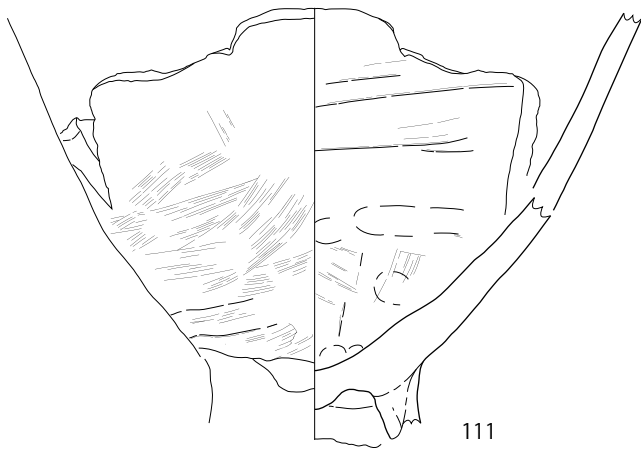
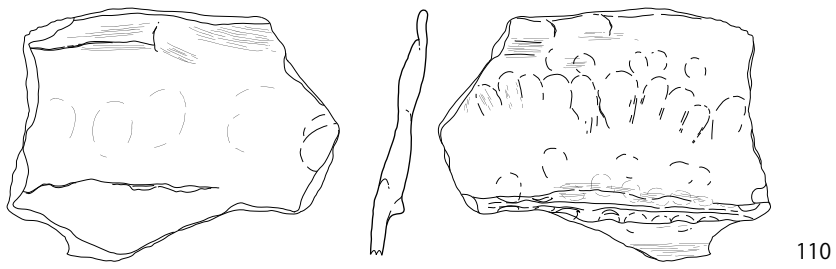
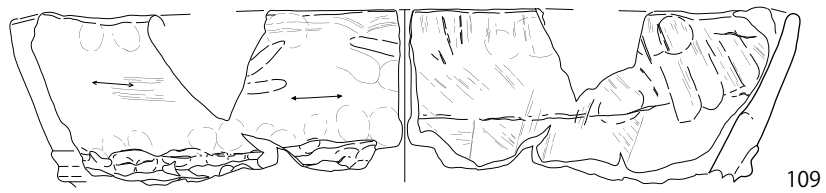


Fig. 23 15号竖穴建物跡上層出土土器



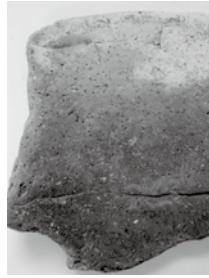
109



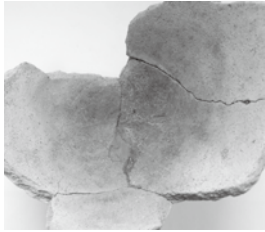
112



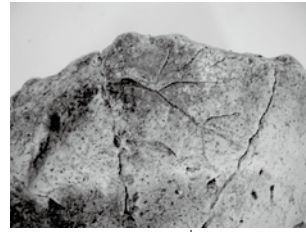
110



110 内面接合線



111
内面コゲ



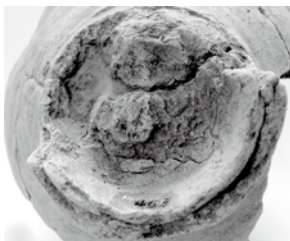
113 葉脈圧痕



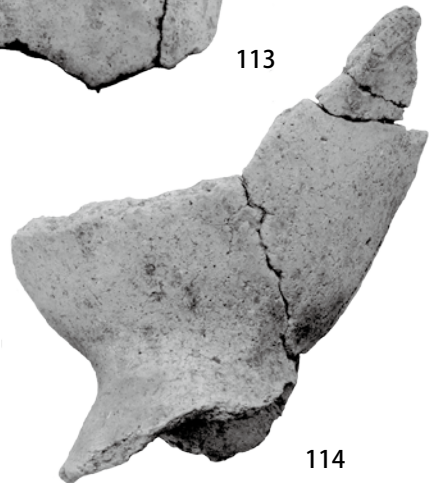
111



113



111 底部接合痕



114

PL. 21 15号竪穴建物跡上層出土遺物

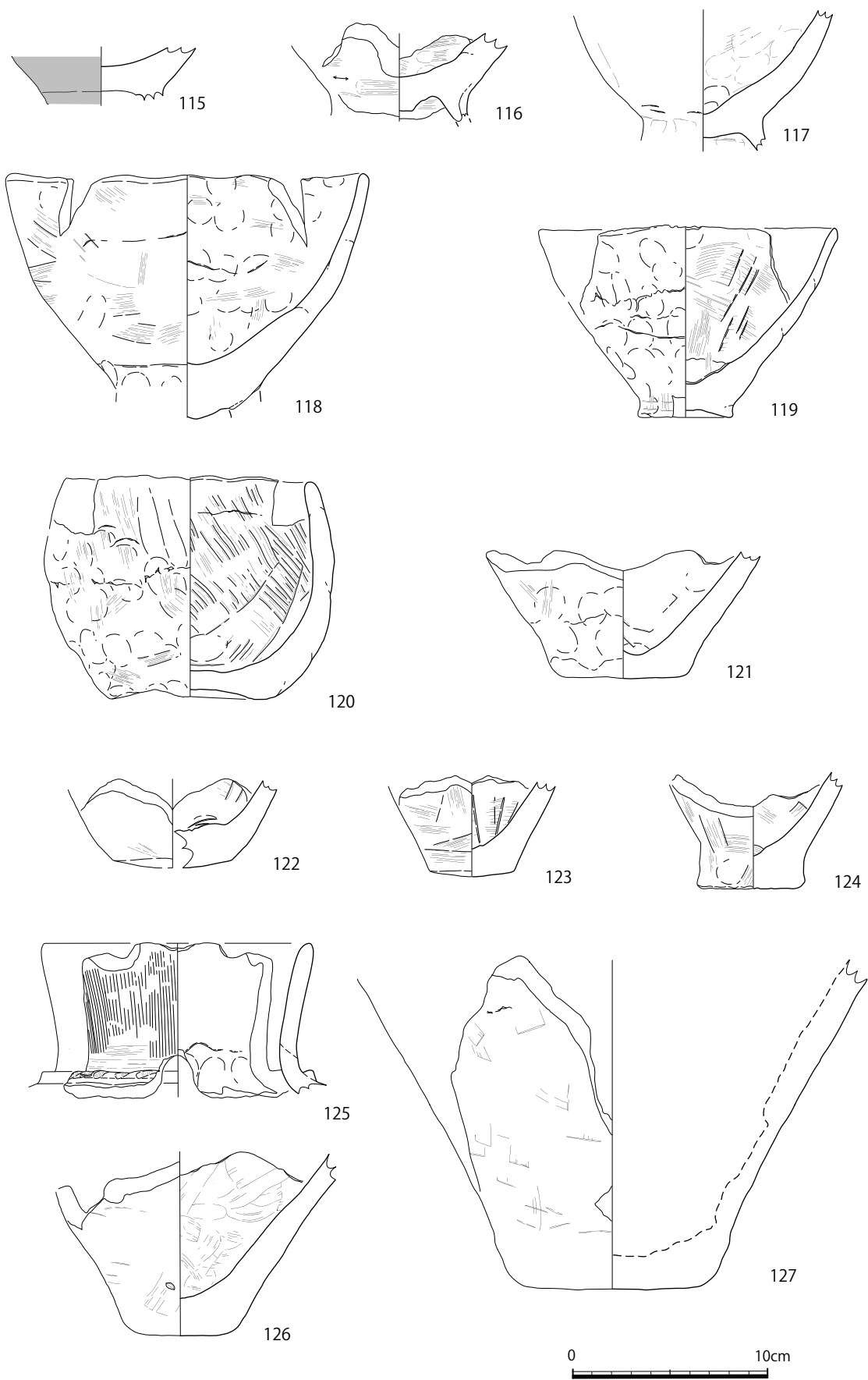
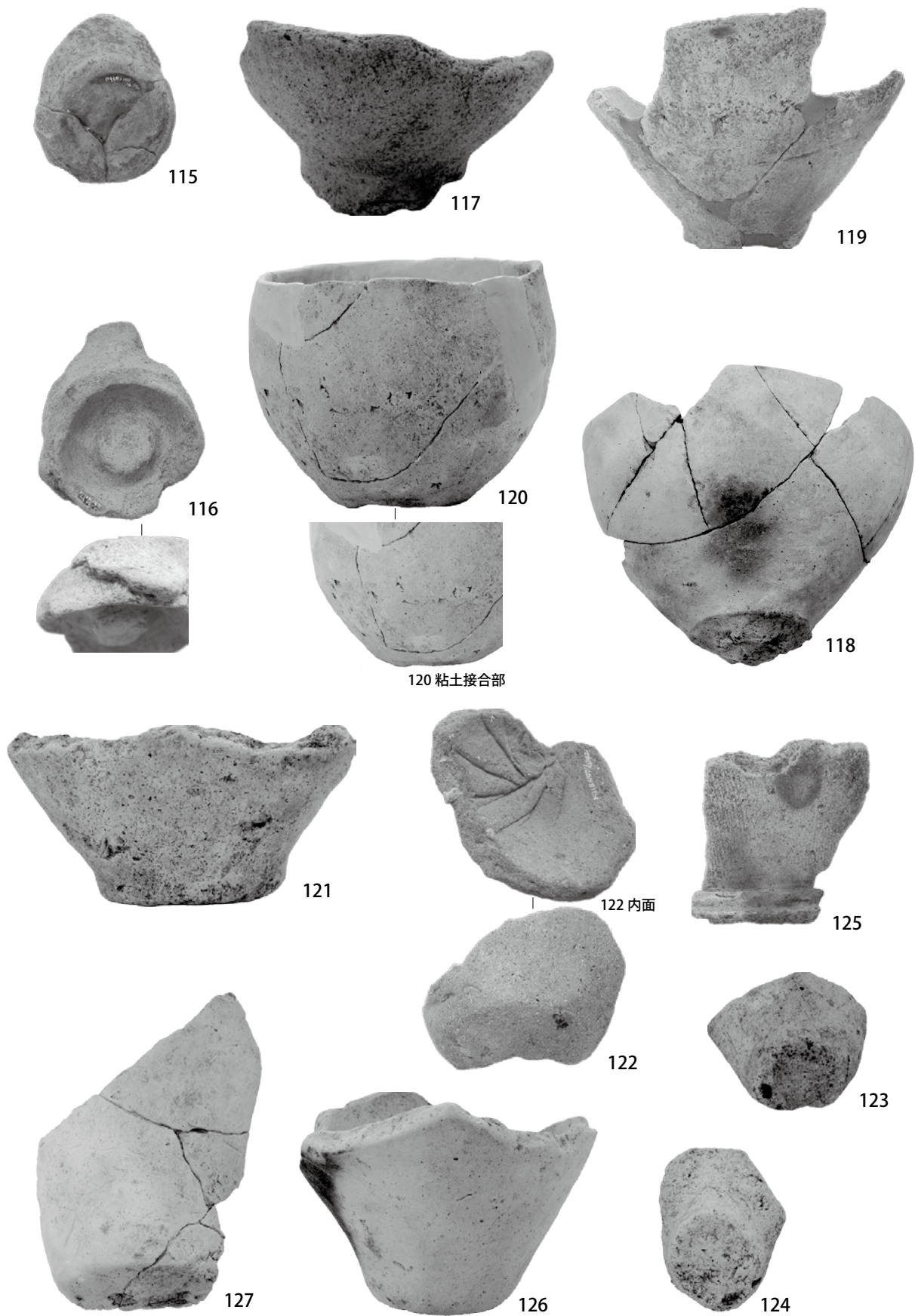


Fig. 24 15号竖穴建物跡上層出土土器



PL. 22 15号竖穴建物跡上層出土遺物

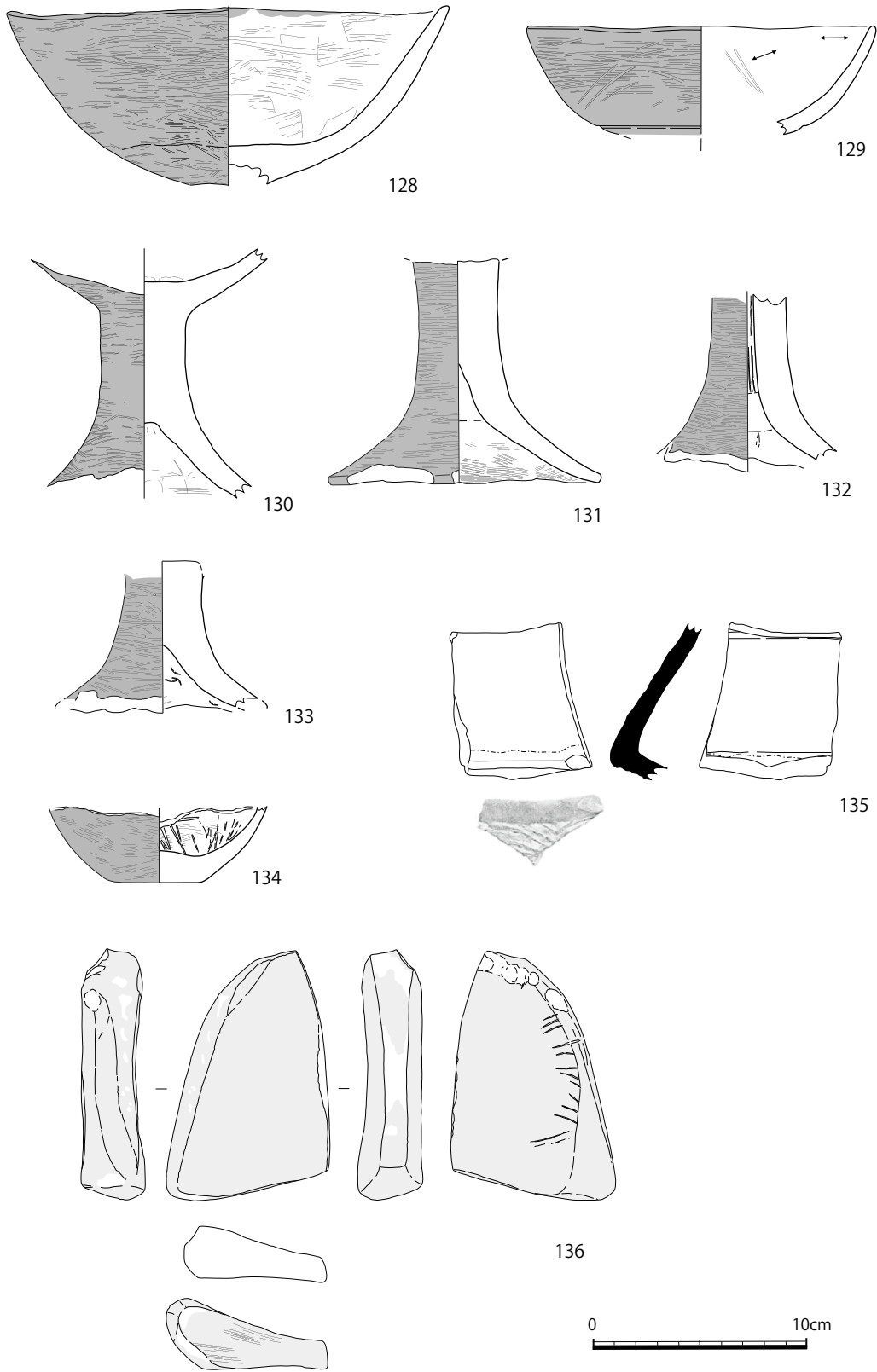
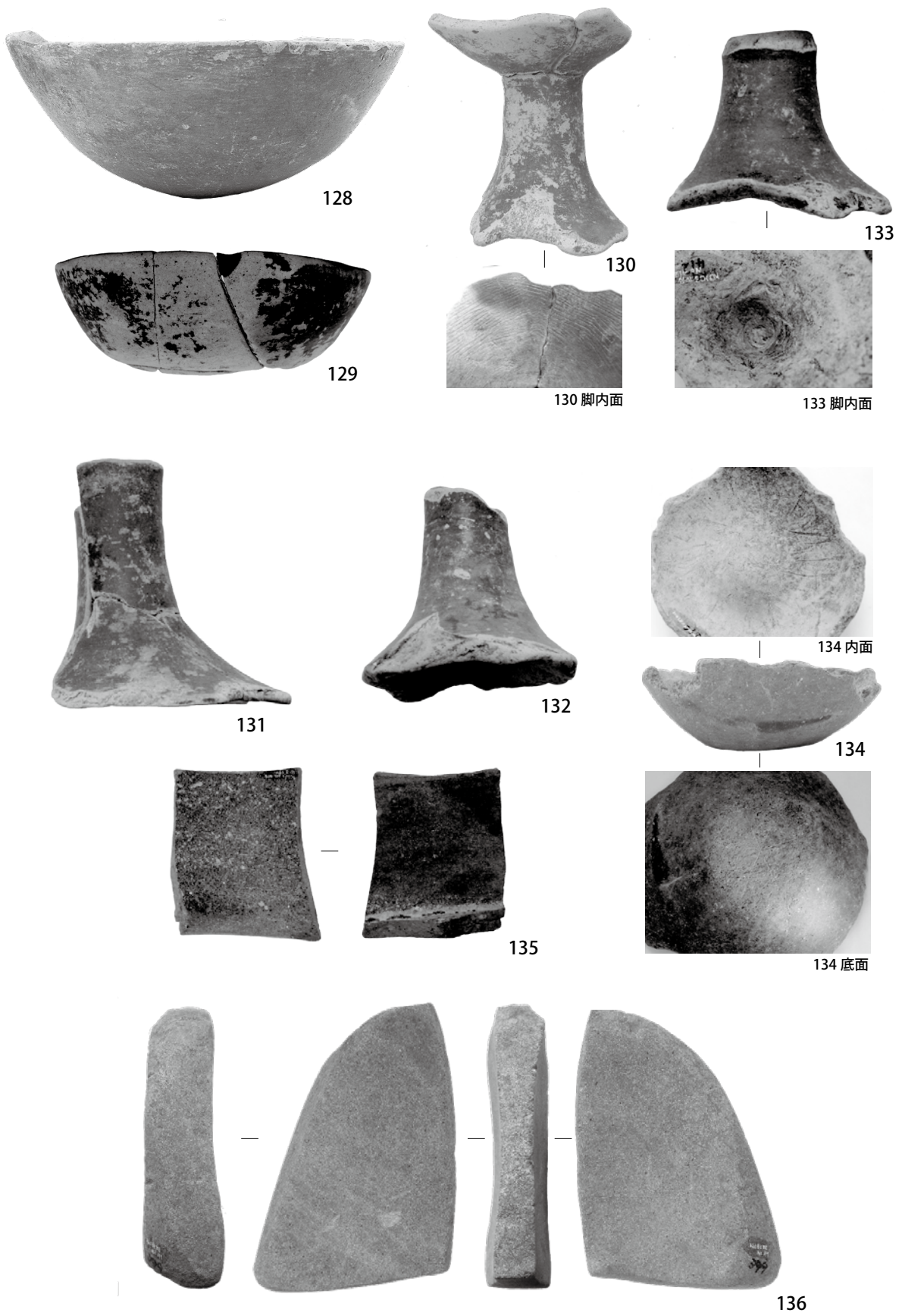


Fig. 25 15号竖穴建物跡上層出土土器



PL. 23 15号竖穴建物跡上層出土遺物

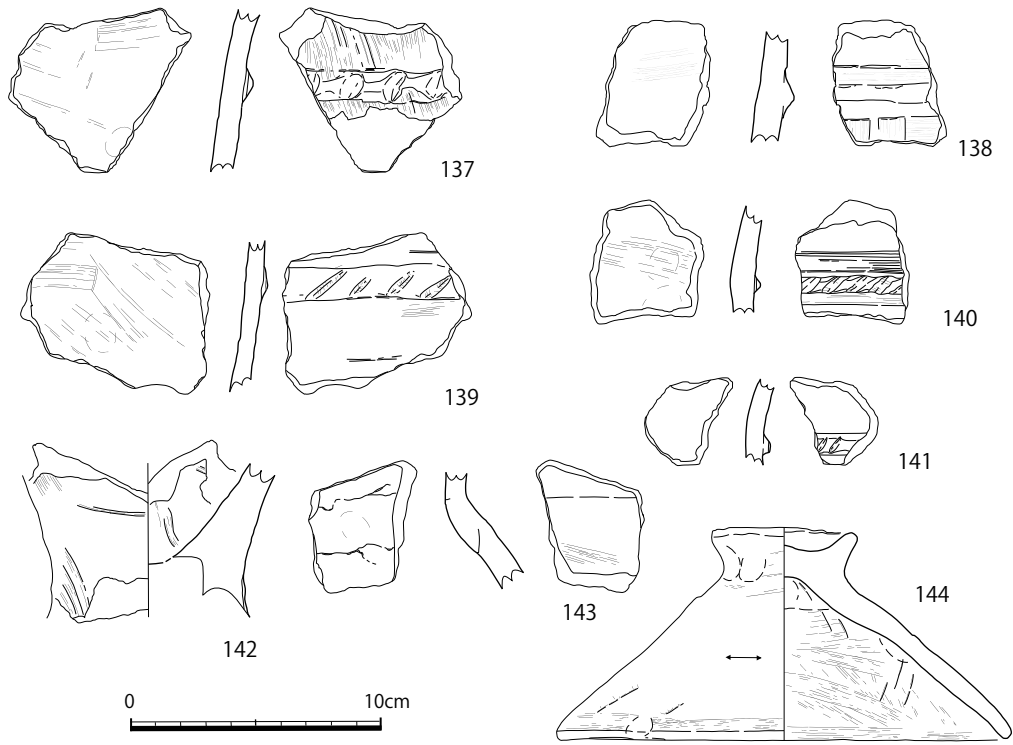
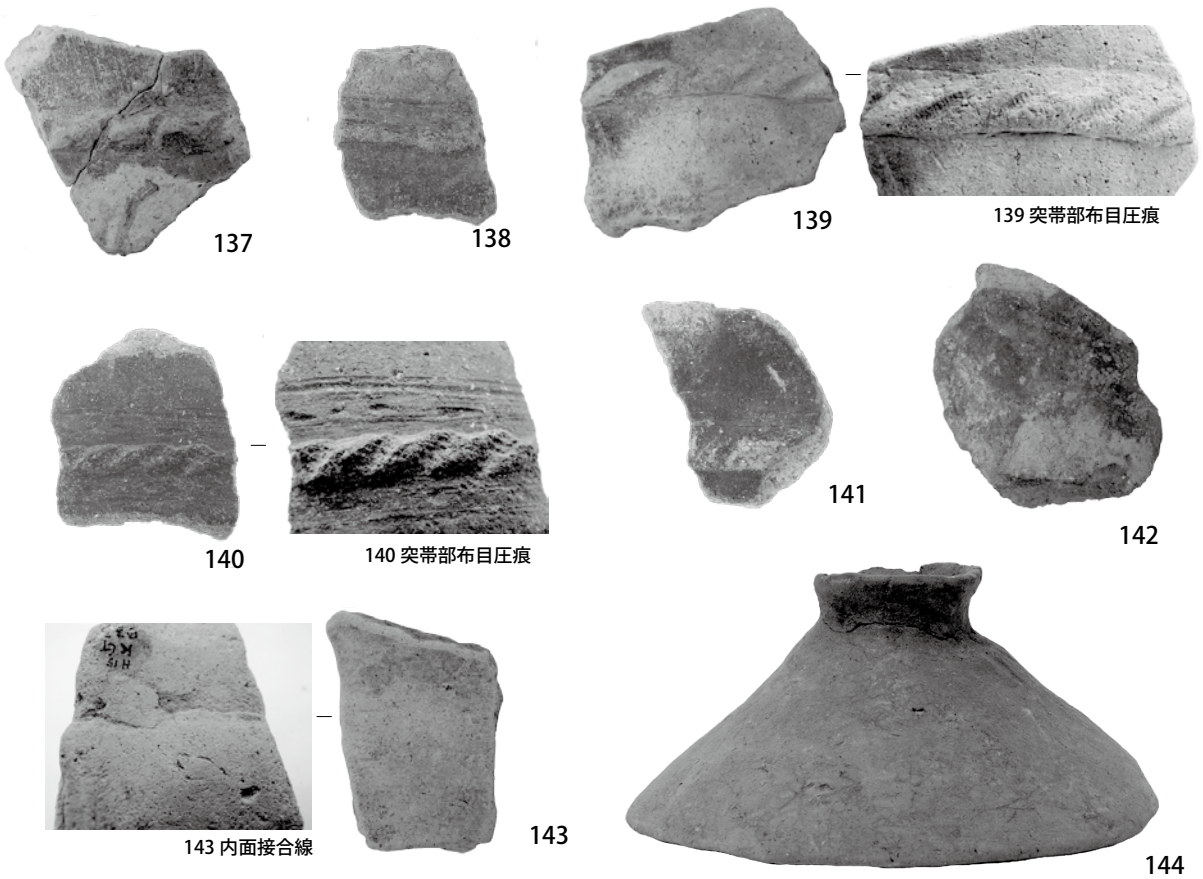
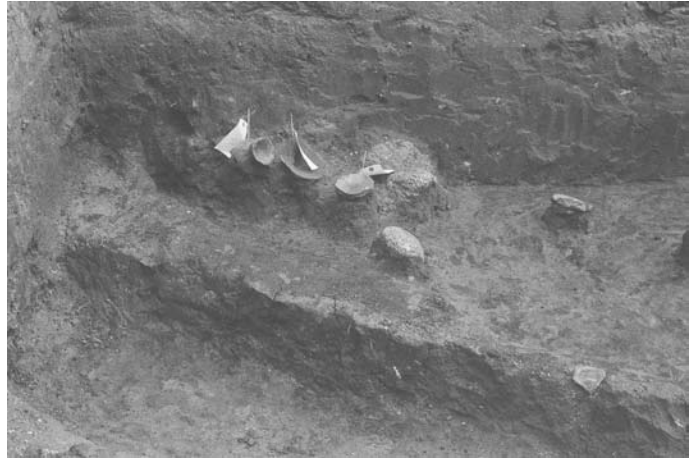
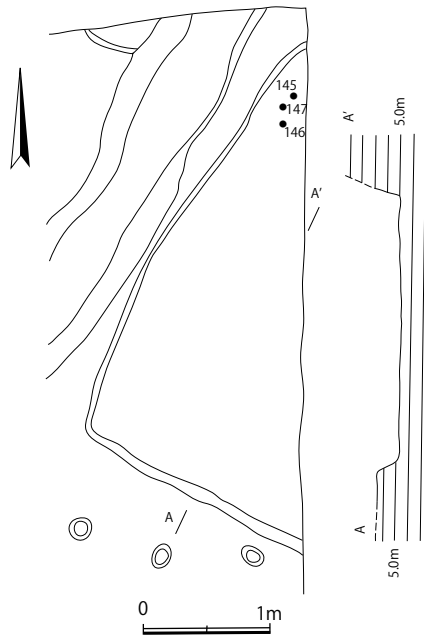


Fig26 15号竖穴建物跡出土遺物



PL. 24 15号竖穴建物跡上層出土遺物



PL. 25 16号竪穴建物跡遺物出土状況

Fig. 27 16号竪穴建物跡

が明瞭に残存する。111は甕の底部である。内面の底部にはコゲがみられる。113は甕胴部と思われ、外面に指頭痕と葉脈痕が残る(PL.21)。114は口唇部が磨滅しているが、ほぼ完形の台付鉢である。120は鉢であるが、特に外面は粘土の接合部を残す粗い調整である。121の内面には舂圧痕がみられる(付編参照)。123・124はコップ状の小型の鉢である。133の高坏脚部内面には、爪圧痕がみられる。134は埴の底部であるが、底面に細沈線がみられる(PL.23)。135は須恵器の甕頸部である。内外面に自然釉が認められる。136は砂岩製の砥石である。側面の低所には自然面が残存するが高所部は平坦に磨られており、ほぼ全面を使用している。

15号竪穴建物跡の床面近くから出土している遺物は、Fig.26に示す。137～141は甕の胴部であり、外面にススが認められる。143は壺の胴部であるが、内面に接合線が観察できる。144は蓋としているが、ススの付着が見られないため、台付鉢である可能性も考えられる。出土状況としては、大きく開いた方を上に出土している。

16号竪穴建物 (Fig. 27, PL. 25)

調査区C-4区において西側隅が検出された。床面より約15～20cm上位に土器が3点出土している。

16号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.28 145～148)

145～147はまとめて出土している(PL.23)。145・146は内面底部に工具痕が残る。148の高坏の坏部内面には赤色による線描がみられる。149は埴の底部である。

18・19号竪穴建物

調査区東壁に検出されており、18号竪穴建物は東西約1.82m、南北1.54m、現存壁高25cmの方形プランであるが、規模が非常に小さいため、19号竪穴建物の張り出し部の可能性も考えられる。19号竪穴建物は方形プランで柱穴は4本と考えられる。標高約5mで竪穴中央部に炭化物の集中が検出されている。南壁は20号竪穴建物によって切られている。

18・19号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.30 149～154)

一括取上の遺物である。149は甕の胴部片であり、内面には粘土の接合痕が認められ、外面にススが付着している。150は甕もしくは鉢の底部であり、平底に脚を接着させた痕跡が残る。底面には爪跡が認められる。152・153は赤色塗布された小型の鉢である。154は甕であり、特に内面には帯状のコゲが明瞭に認められる(PL.27)。

20号竪穴建物 (Fig. 30)

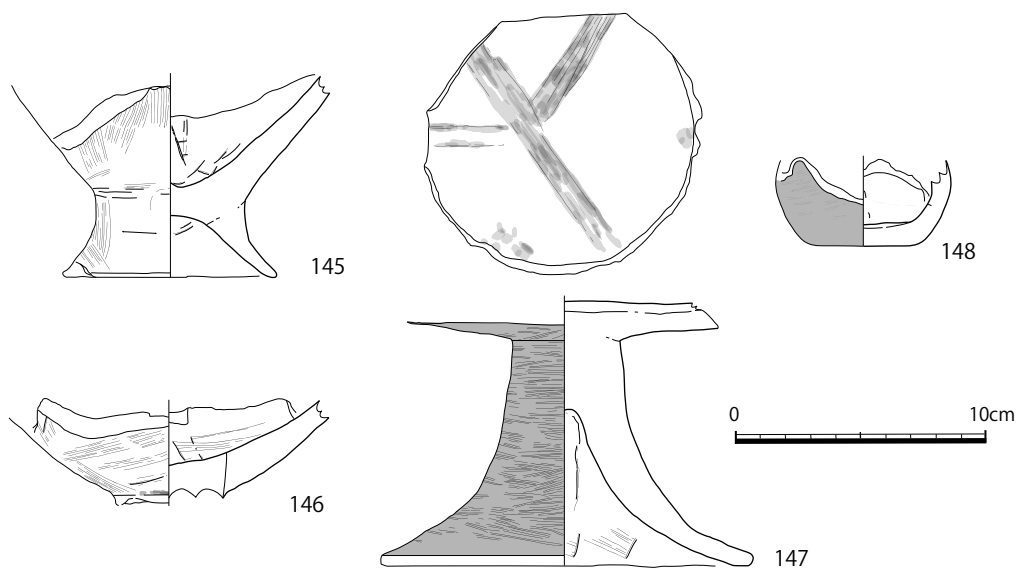
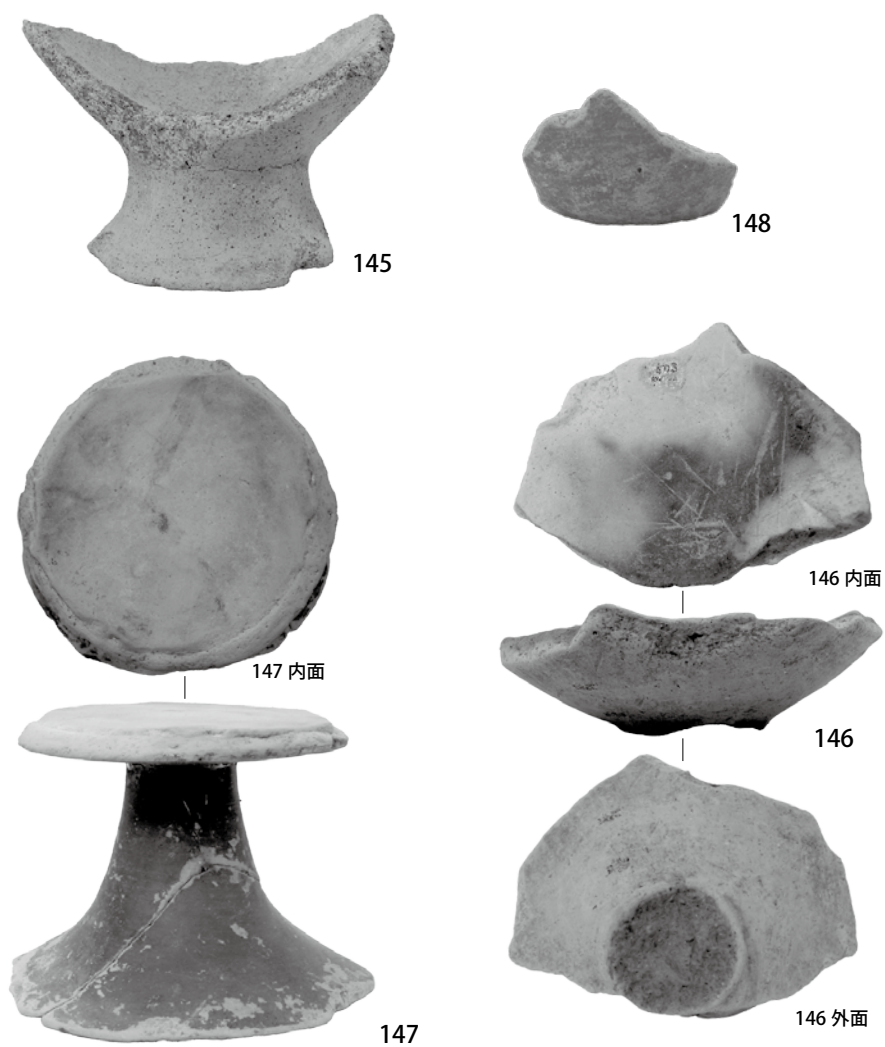


Fig. 28 16号竖穴建物跡出土遺物



PL. 26 16号竖穴建物跡出土遺物

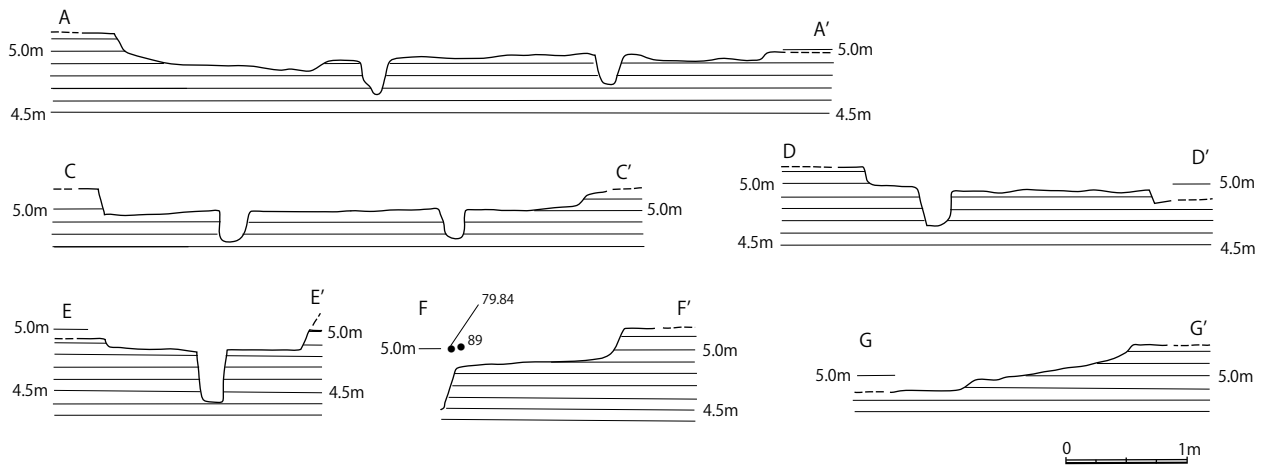


Fig. 29 18 ~ 20, 22 ~ 25 号竖穴建物跡

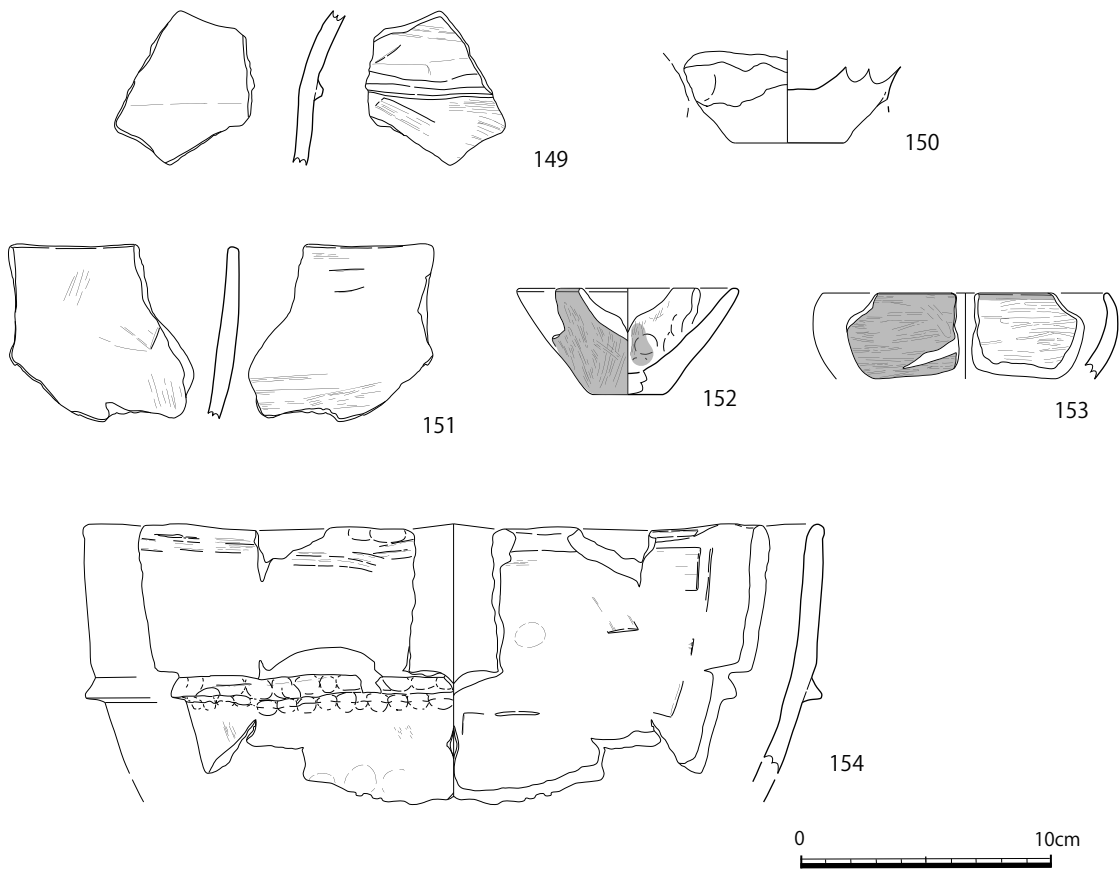
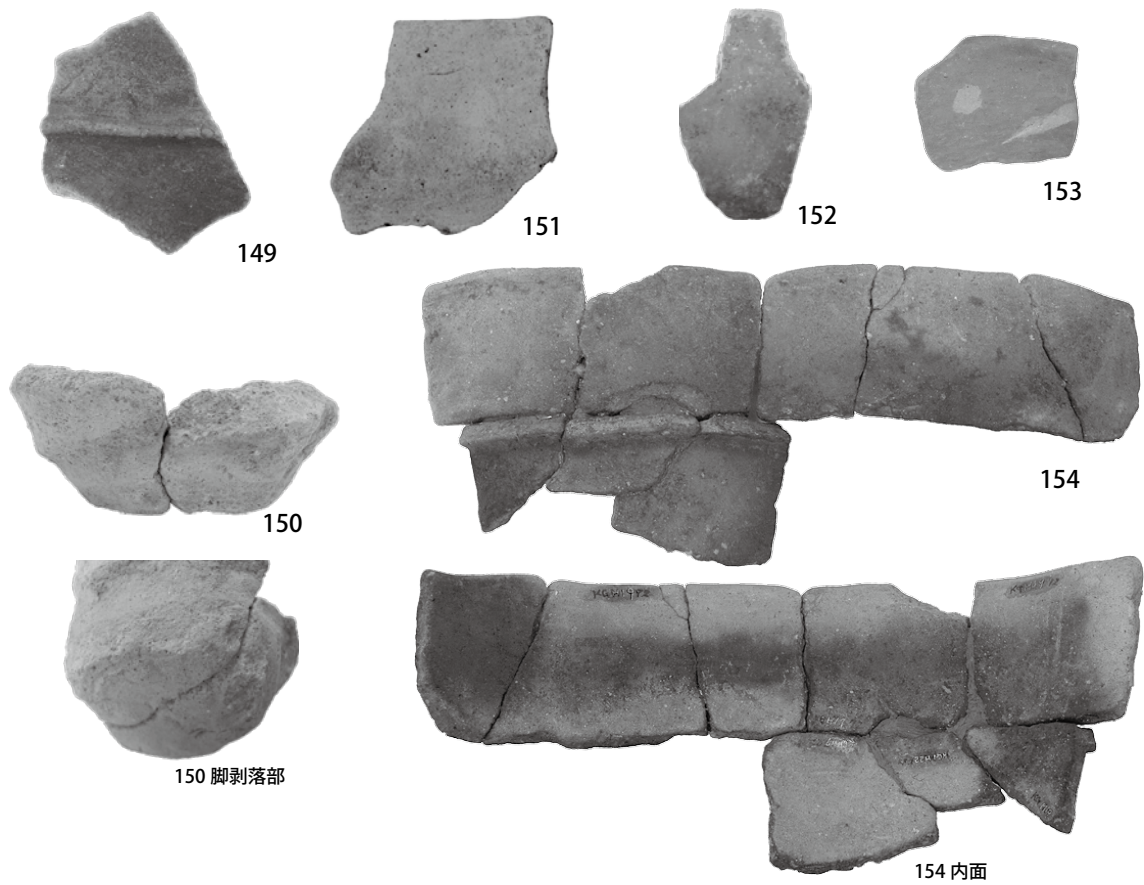


Fig. 30 18·19 号竖穴建物跡出土遺物



PL. 27 18·19 号竖穴建物跡出土遺物

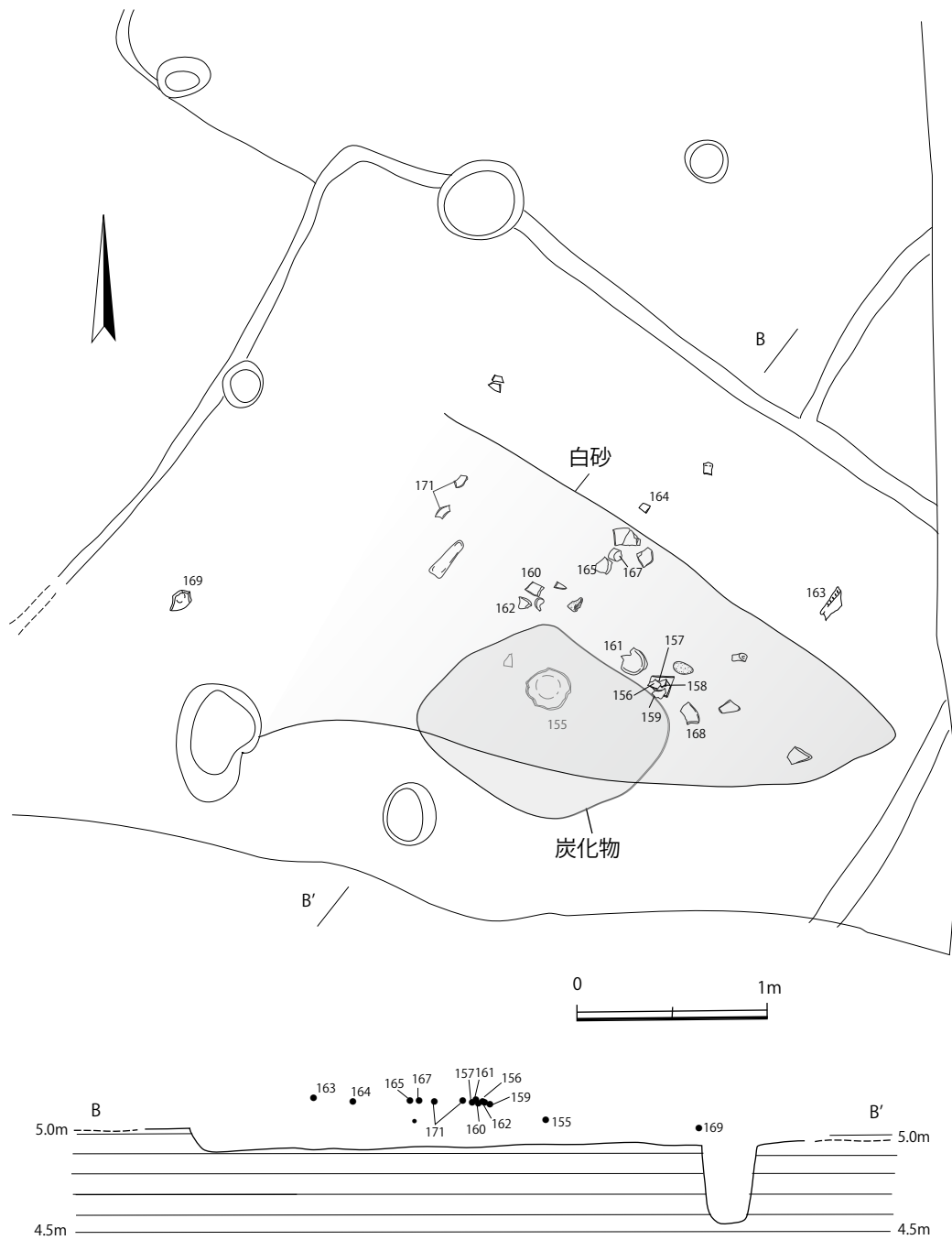


Fig. 31 20号竪穴建物跡遺物出土状況

調査区東南隅に検出された東西4.16mの方形プランの竪穴建物跡である。また、厚さ約1cmで白砂が広く敷かれ炭化物の集中堆積が認められるその中央部には土器(155)が埋設されている。白砂・炭化物はともにレベルは不明であるが、156土器の出土段階で検出されたと考えられる。

20号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.32～33 155～171)

155は20号竪穴建物検出の炭化物中央部に据えられていたものであり、土器炉と思われる。外面にススが附着しており、内面にも薄く帯状にコゲが認められる。156・157は甕、158・159は鉢の口縁～胴部である。162は甕底部と思われるが、底面は中央部が凹んでいる。163は突帯上に何らかの工具による刻みが認められる(PL.28)。右の3ヶ所の刻みは、工具が左斜め上部から差し込まれており、下半部は突帯に刺さった状態で突帯を貫通している。165は鉢の口縁～胴部であるが、調整は指と工具を用いているものの粗雑で、輪積みの

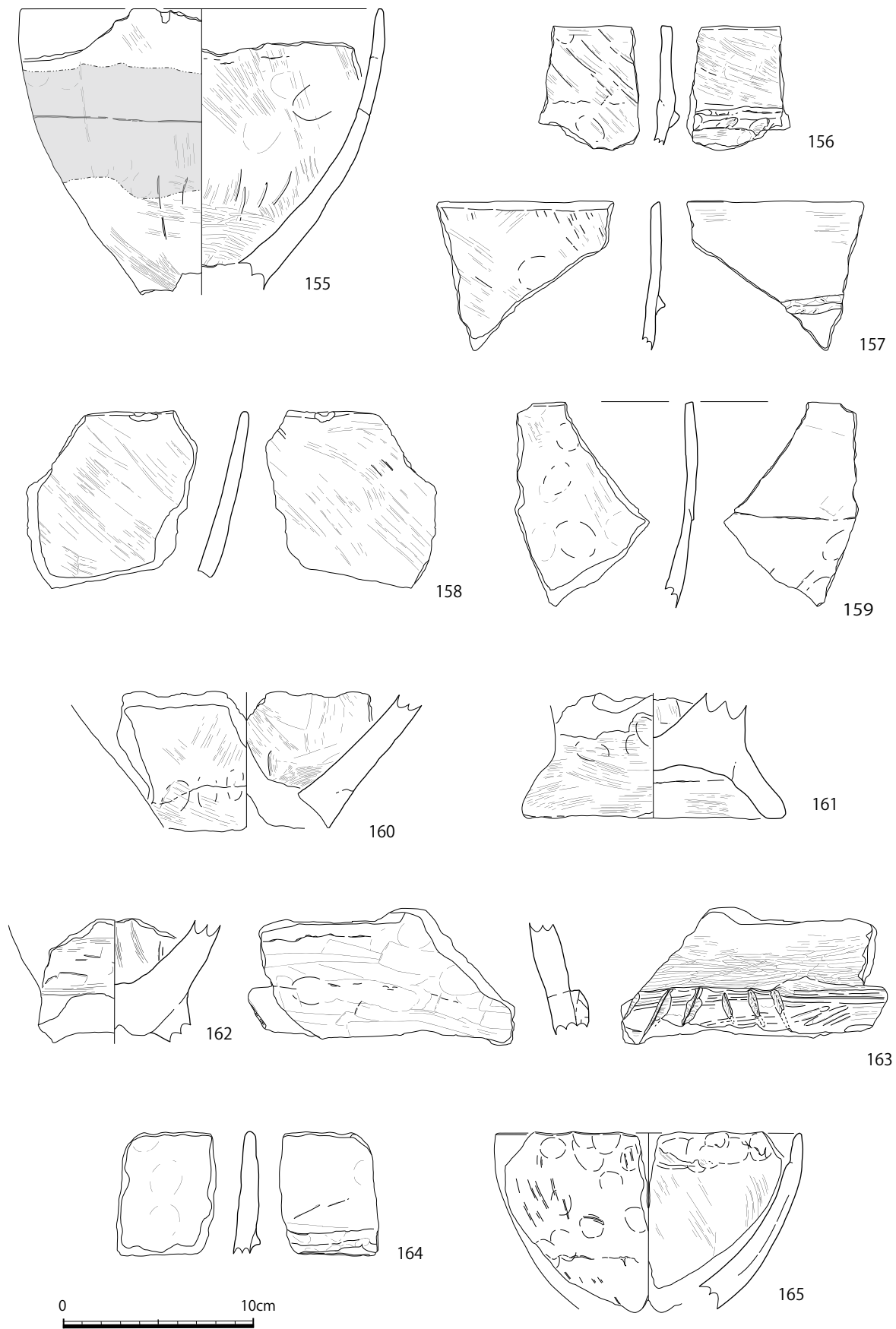
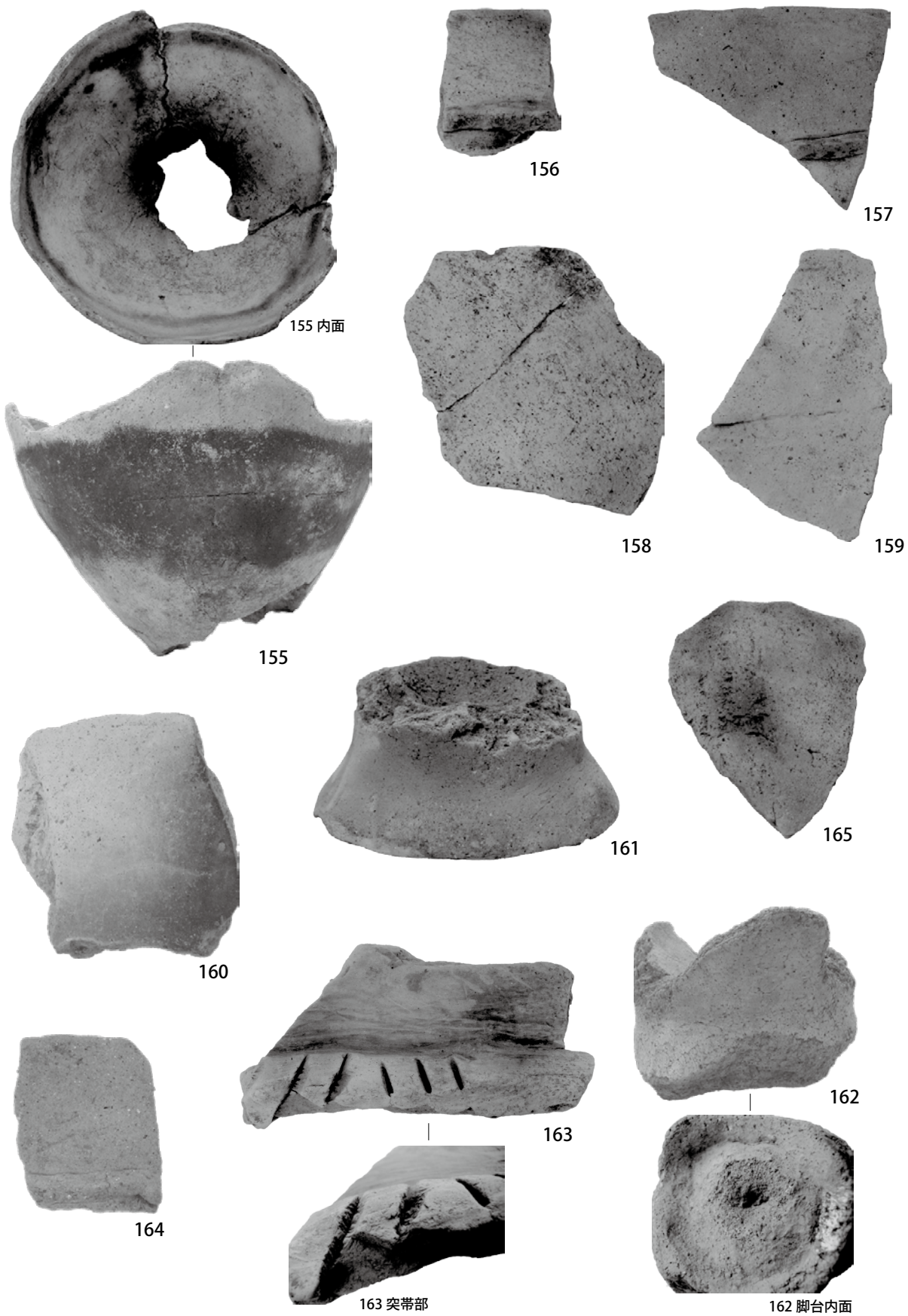


Fig. 32 20号竖穴建物跡出土遺物



PL. 28 20号竖穴建物跡出土遺物

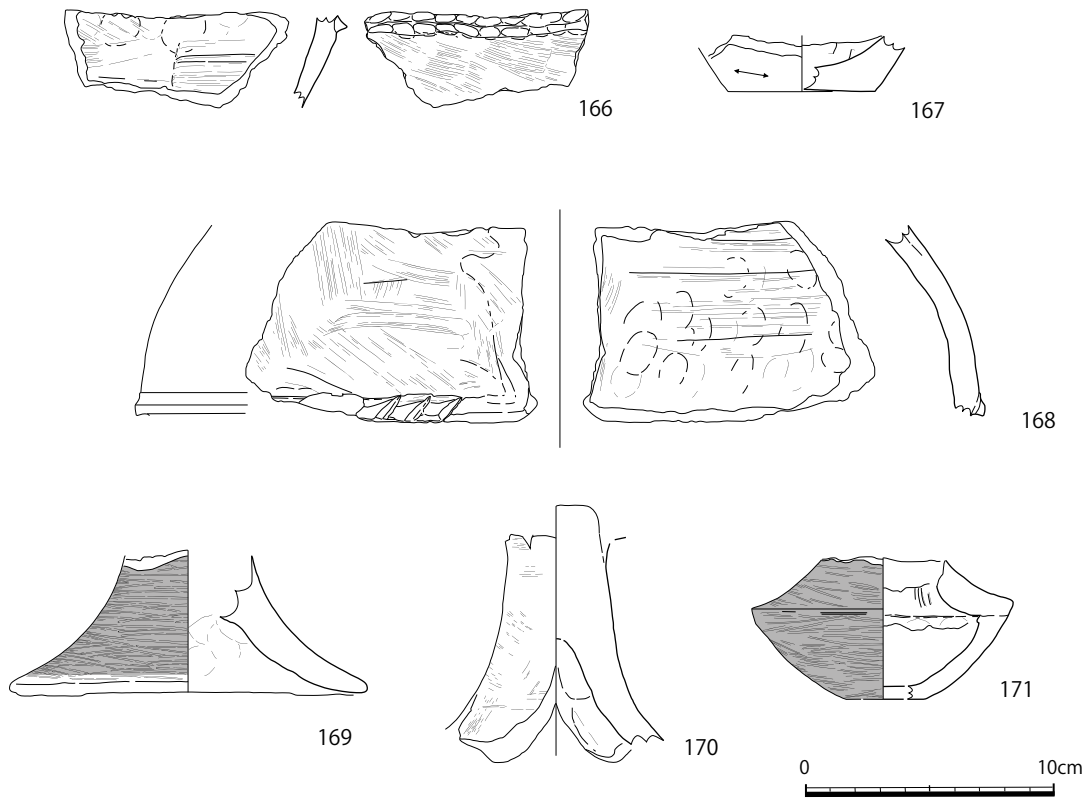
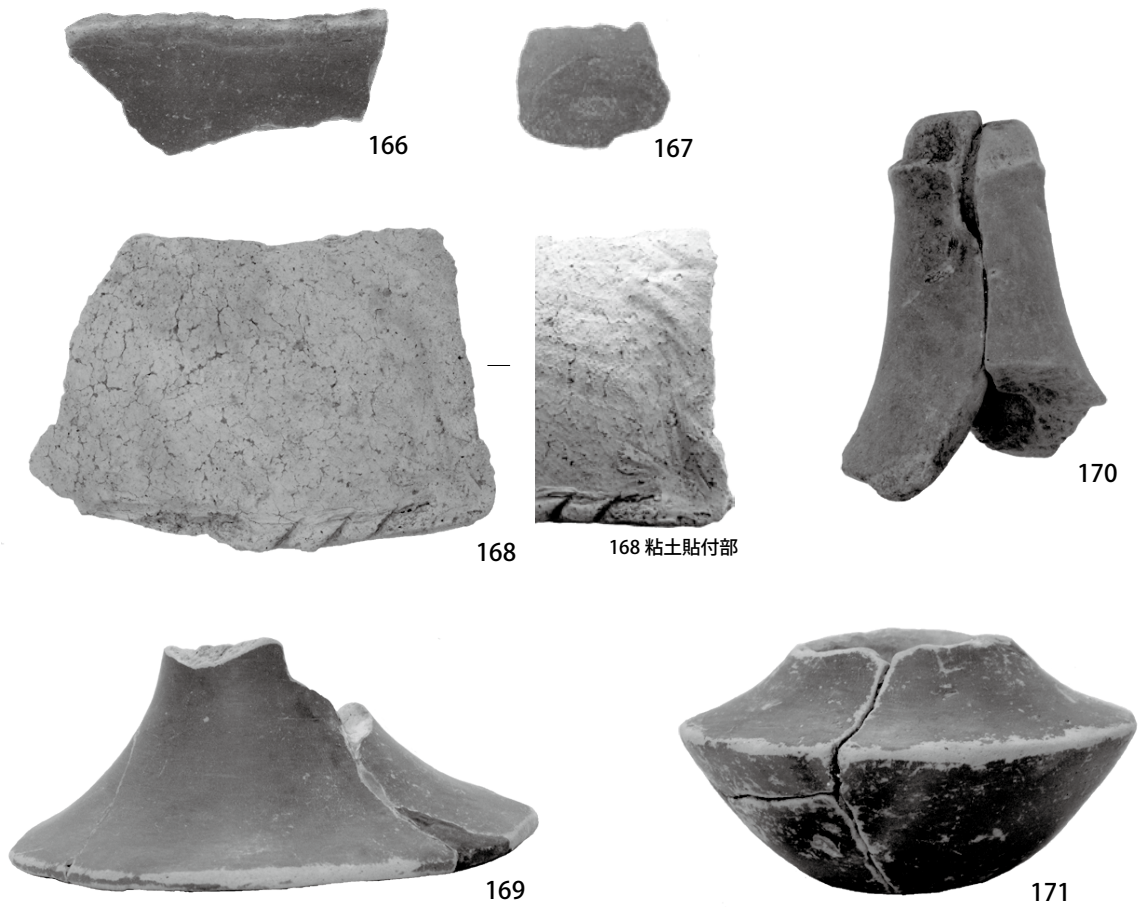


Fig. 33 20号竖穴建物跡出土遺物



PL. 29 20号竖穴建物跡出土遺物



20号竪穴建物跡遺物出土状況



17号竪穴建物跡遺物出土状況



17号竪穴建物跡 180 遺物出土状況



C~E-2~4区 遺構完掘状況

PL. 30 C~E-2~4区遺物出土状況・竪穴建物完掘状況

接合部の痕跡が観察できる。168は壺の胴部である。外面右側に粘土を貼り付けて補修した痕跡が認められる。内面は上方向からの指押さえののち、横方向にナデられている。

22~26号竪穴建物 (Fig. 29)

D・E-3区に検出している竪穴建物跡である。22・25・26号竪穴建物は、E-3区において北壁のみ検出されている。25号竪穴建物は、柱穴P 251が検出され焼土散布が認められる。

24~26号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.34 172~179)

172~174は、24号竪穴建物跡出土遺物である。173は既に報告されている¹⁸⁾片口状のものである(既報告では第19図2)が胴部がさらに接合し、側面がカーブする形状となった。粘土の継ぎ目を指で押さえ工具でなでており、破面も接合面である。174は埴もしくは鉢の口縁部と思われる。赤色が筋状に塗布されている。

175は25号竪穴建物跡出土の石器である。これも既に報告されており(既報告では第19図11)¹⁹⁾、左右両側縁部からの加工が抉りのように加えられ、上下側縁部には、刃部に直交方向の線状痕が確認される(PL.31)。これは、この石質のものより硬質な物質による打撃により生じた痕跡と考えられる。また、下側縁部には平面からみると丸くカーブしたかのような加工が2ヶ所みられる。

176~179は26号竪穴建物跡出土遺物である。176の甕の内面には、幅8mmの工具を用いた調整痕がみられる。

17号竪穴建物

一辺4mを超える方形プランを呈しているが、東西壁の方向が若干異なるため、重複した建物跡の可能性がある。中央部には、炭化物が集中して検出されている。

17号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.36 180~182)

180は壺の底部である。外面は丁寧になで上げられ、内面の底部には指頭痕がみられる。182は、完形の埴である。胴部屈曲部より口縁部は内湾し、胴部と底部は丸みを帯びる。

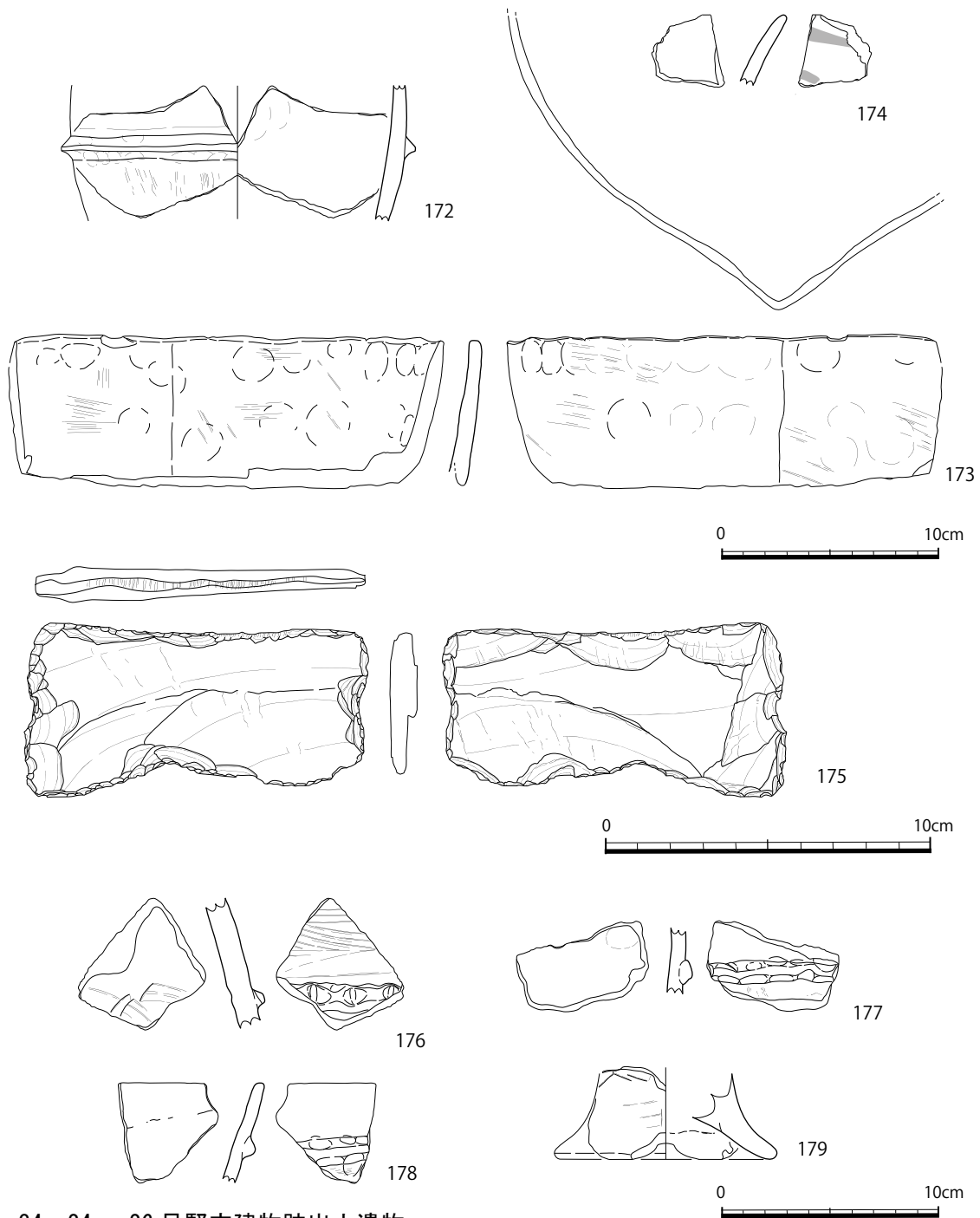


Fig. 34 24～26号竪穴建物跡出土遺物

172～174：24号竪穴建物出土，175：25号竪穴建物出土，176～179：26号竪穴建物出土

27号竪穴建物

調査区中央部C-2・3区で検出され，南壁側は29号竪穴建物と重複している。北壁は一辺3mを超える。遺構内の中央部では，レベル5.04mの位置に炭化物の広がりが見られる。柱穴は中央部にP 271が検出されている。

27号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.36 183)

183は軽石加工品である。表面には2つの凹みと沈線が見られ，裏面は一部平坦になっている。

28号竪穴建物 (Fig. 37)

28号竪穴建物はC・D-2区で検出され，方形プランを呈する。中央部に炭化物の広がりが見出されており，レベルは明示されていないが，203・207・212出土面とほぼ同レベルでの検出と思われる。その炭化物の広がる床



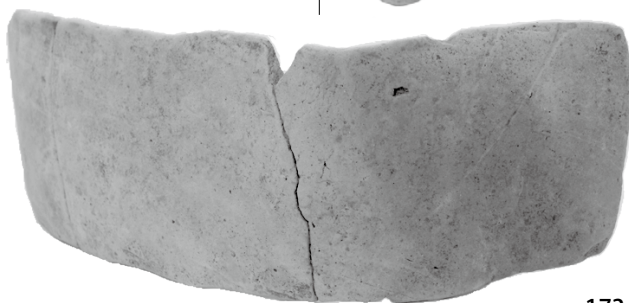
172



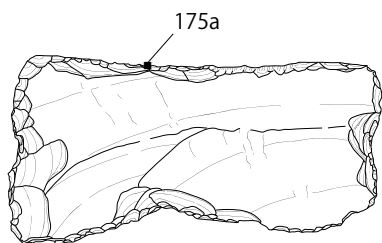
173 上面



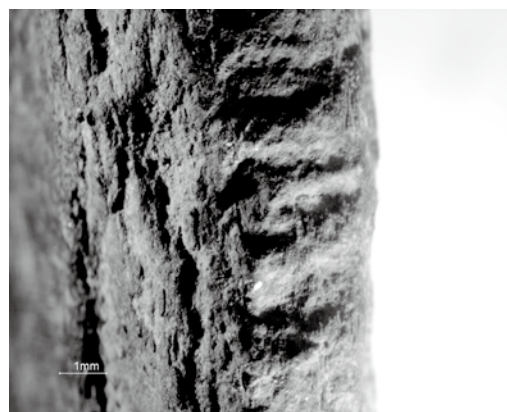
174



173



175a



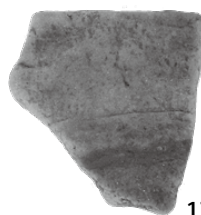
175a 刃部にみられる直交する線状痕



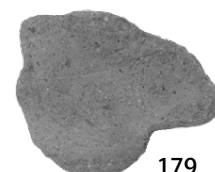
176



177



178



179

PL. 31 24 ~ 26 号竖穴建物跡出土遺物・石器使用痕

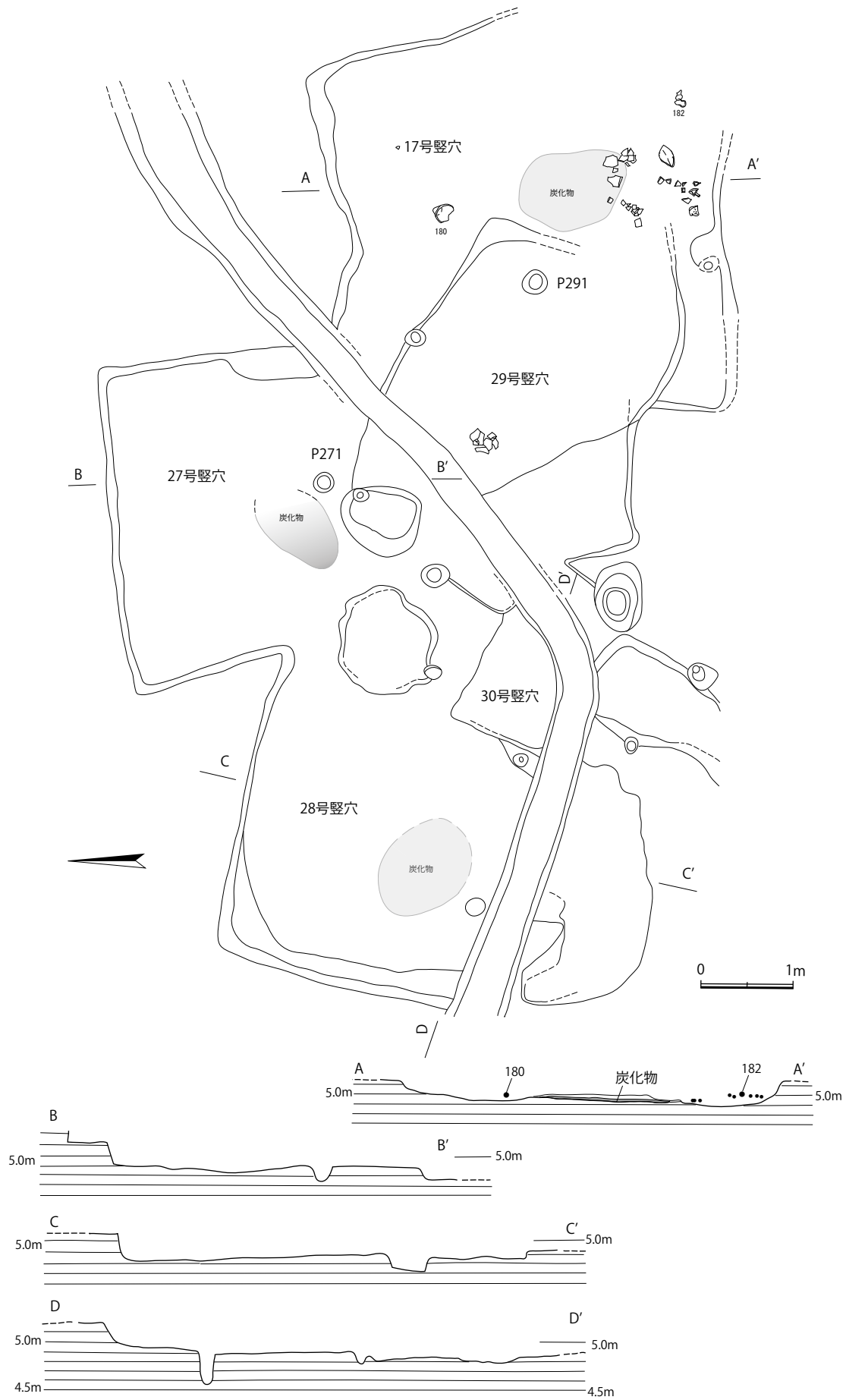


Fig. 35 17. 27-30 号竖穴建物跡

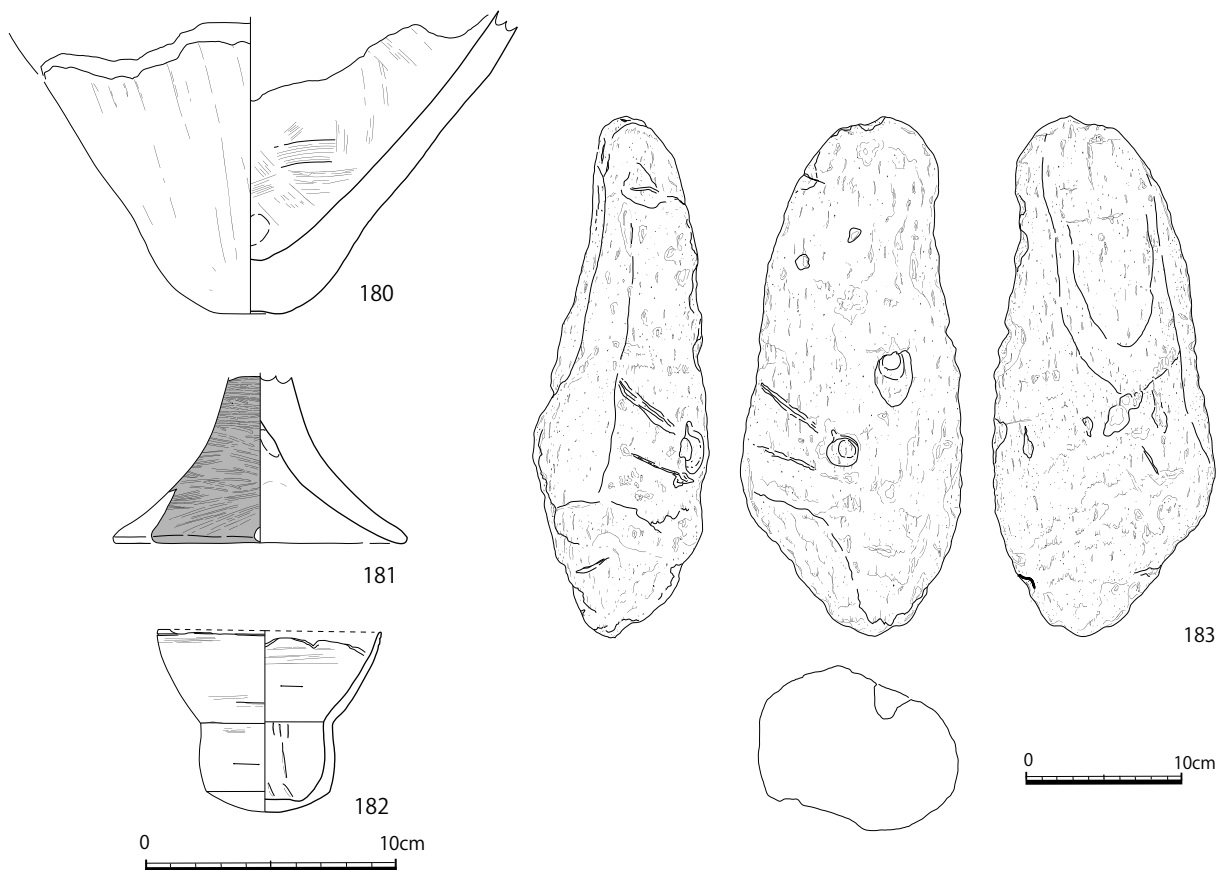
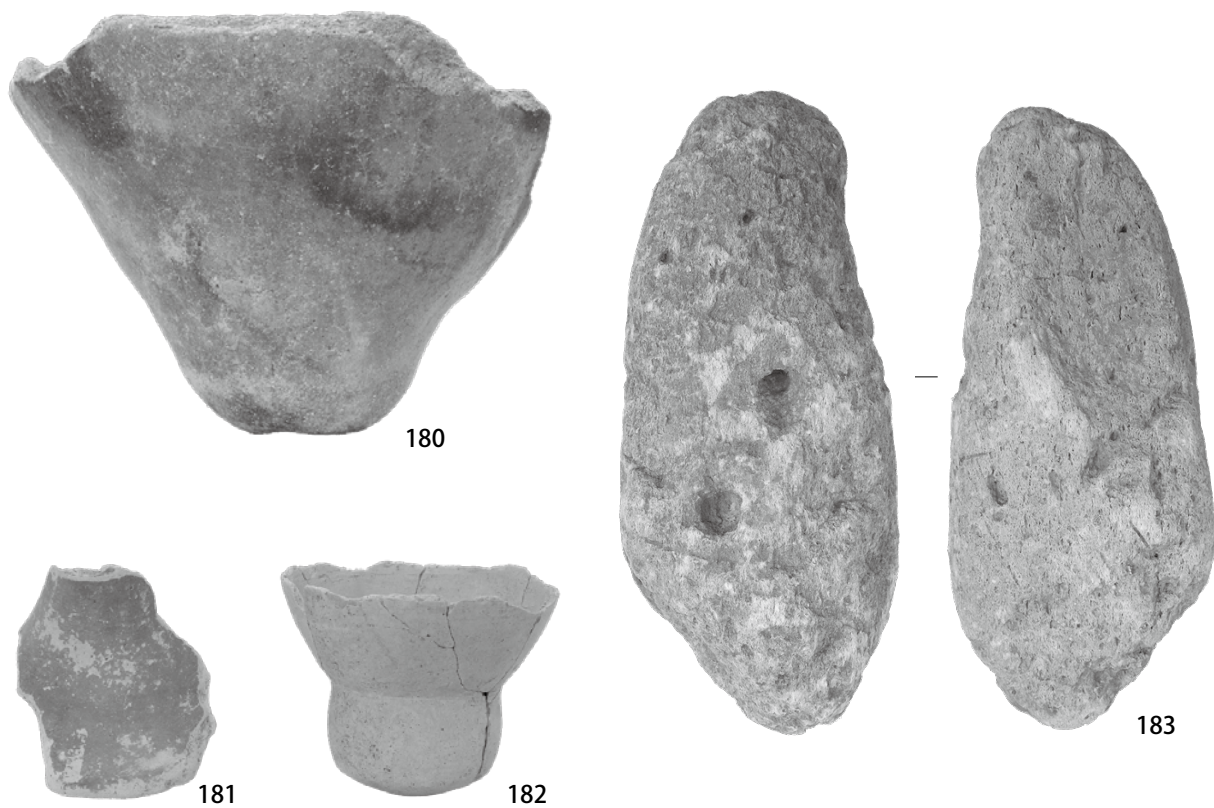


Fig. 36 17·27号竖穴建物跡出土遺物

180~182: 17号竖穴建物出土, 183: 27号竖穴建物出土



PL. 32 17·27号竖穴建物跡出土遺物

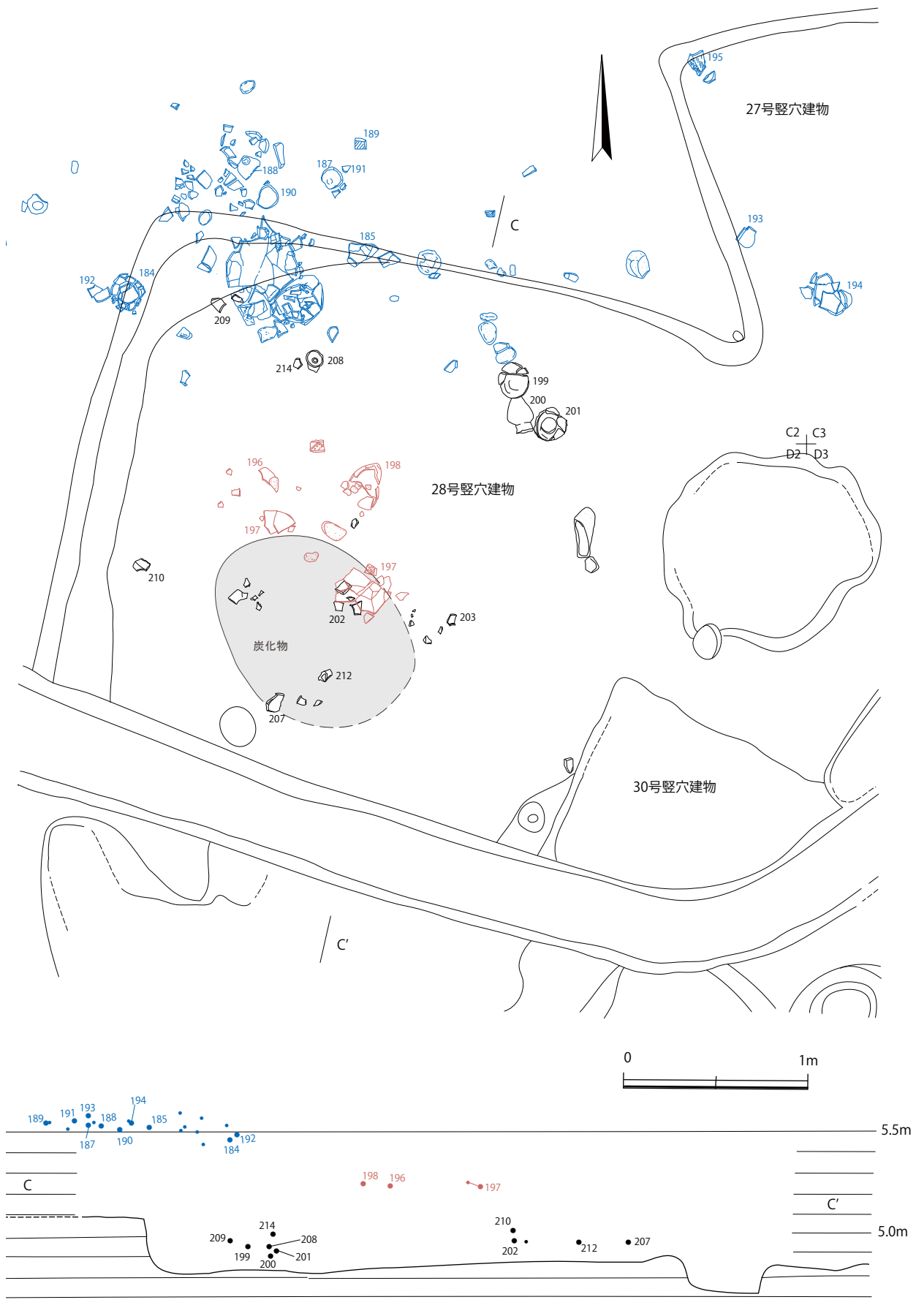


Fig. 37 28号竖穴建物跡遺物出土状况

面より約 40cm上に 196 ～ 198 の遺物が出土している。また、28 号竪穴の北西隅付近の上層にまとまった遺物の出土がみられる。床面より約 70cm上層からの出土であるが、周辺出土遺物とともにここで紹介する。

28 号竪穴建物跡出土遺物 (Fig.38-41 184 ～ 217)

184 ～ 193 は 28 号竪穴北西隅上層よりまとめて出土したものである。184 は台付鉢と思われ、脚部は剥落しており、底部に指頭痕がみられる。185 は内面底部にコゲが付着している (PL.35)。186・187 は接合はしていないが同一個体の可能性の高い台付鉢である。剥落していた底部が接合している。190 は鉢の底部である。平底部は丸くススが付着し、内面底部は大きく剥落している。

193 ～ 195 は 28 号竪穴の周辺部より出土している。195 は須恵器壺の頸部である。

196 ～ 198 は標高約 5.25 m付近より出土する甕と壺である。甕は口縁～胴部であり、197 は甕の口縁部～胴部であり内面を上に出土しているが、あたかも縦に割れたかのように口縁・突帯部片が両端となる状態で出土している (PL.34)。また、胴部に穿孔がみられ、口縁部には筋状の吹きこぼれ痕が認められる (PL.36)。198 は壺である。粘土輪積みの接合痕が認められ、底部は片側がへこんでいる。

199 ～ 201 は、床面付近より出土しているが、3 点が並んで特異な出土状況を示す。201 は壺の口縁部～頸部であるが、口縁部を下にして 200 の壺の隣より出土している (PL.34)。200 の壺は完形であり、外面底部は指頭により丁寧になであげられ、肩部には工具痕が残る。199 の鉢も完形であり、200・201 に隣接して据えられたような状況で出土する。

208 は甕の脚部であり、脚内部には接合痕が明瞭に認められる。211 は高坏の脚部であるが、内面に粘土を貼り付けた痕跡が残る。212・213 も高坏の脚部であるが、脚部内面底部をみると工具の違いが分かる。216・217 は砥石として使用したと考えられ、左側面には使用による稜が認められる。全面を砥石として利用しながら、上下端部では敲打も同時に行っている。

29 号竪穴建物

調査区中央部にて、17・27・28 号竪穴建物に囲まれて検出されている。

30 号竪穴建物

29 号竪穴の西側で北西隅のみ検出されている。方形プランと思われる。

溝状遺構

C・D区では、東西方向に調査区を横切りくの字状に伸びる溝が検出されている。幅 60cm、深さ 40cmほどで黒褐色の粘質土を埋土とする (断面図については既報告参照²⁰⁾)。竪穴建物群を切って掘り込まれており、4 層を掘り下げた段階で溝埋土内から遺物が出土している状況が認められる (PL.4 中段右)。また、平成 11 年度に行われた郡元団地 J・K-3・4 区の共同溝埋設に伴う発掘調査では、本調査出土の溝跡に続く溝跡がさらに北東の方向へ伸びる形で確認されている²¹⁾。

註 12) 1999 年調査、未報告。

13) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 1992 「付編 釘田第一地点 (鹿児島大学教養部) 遺跡発掘調査報告
—遺構及び遺構出土遺物編—」『南九州地域における原始・古代の諸様相に関する総合的研究』
鹿児島大学埋蔵文化財調査室 1995 「釘田第一地点 (鹿児島大学教養部) 遺跡発掘調査報告
—竪穴建物址出土遺物の概要—」『平成 6 年度教育研究内特別経費研究成果報告書』

14) 15) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 1992 「付編 釘田第一地点 (鹿児島大学教養部) 遺跡発掘調査報告
—遺構及び遺構出土遺物編—」『南九州地域における原始・古代の諸様相に関する総合的研究』

16) 上村俊雄ほか 1979 「大龍遺跡」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書 (1) 鹿児島市教育委員会
17～20) 前掲 14) 参照。

21) 1999 年調査、未報告。

中村直子・新里貴之 2003 「鹿児島大学構内遺跡郡元団地における古墳時代の様相」

『九州前方後円墳築造周縁域における古墳時代社会の多様性』九州前方後円墳研究会 2003 年度 第 6 回大会



28号竖穴建物跡上層遺物出土状況 南東より



28号竖穴建物跡上層遺物状況 遺物No. 185 ほか



28号竖穴建物跡上層遺物状況 西より



28号竖穴建物跡上層遺物状況



28号竖穴建物跡上層遺物状況 遺物No. 185 ほか



28号竖穴建物跡上層遺物状況



28号竖穴建物跡上層出土遺物 遺物No. 184. 192



28号竖穴建物跡上層遺物状況 遺物No. 196. 197. 198

PL. 33 28号竖穴建物跡上層出土遺物



28号竖穴建物跡上層遺物状況 遺物No. 197. 198



28号竖穴建物跡上層遺物状況 遺物No. 197. 198



28号竖穴建物跡上層遺物状況 遺物No. 199. 200. 201



28号竖穴建物跡上層遺物状況 遺物No. 199. 200. 201



5層検出遺構完掘状況

PL. 34 28号竖穴建物跡出土遺物・遺構検出状況

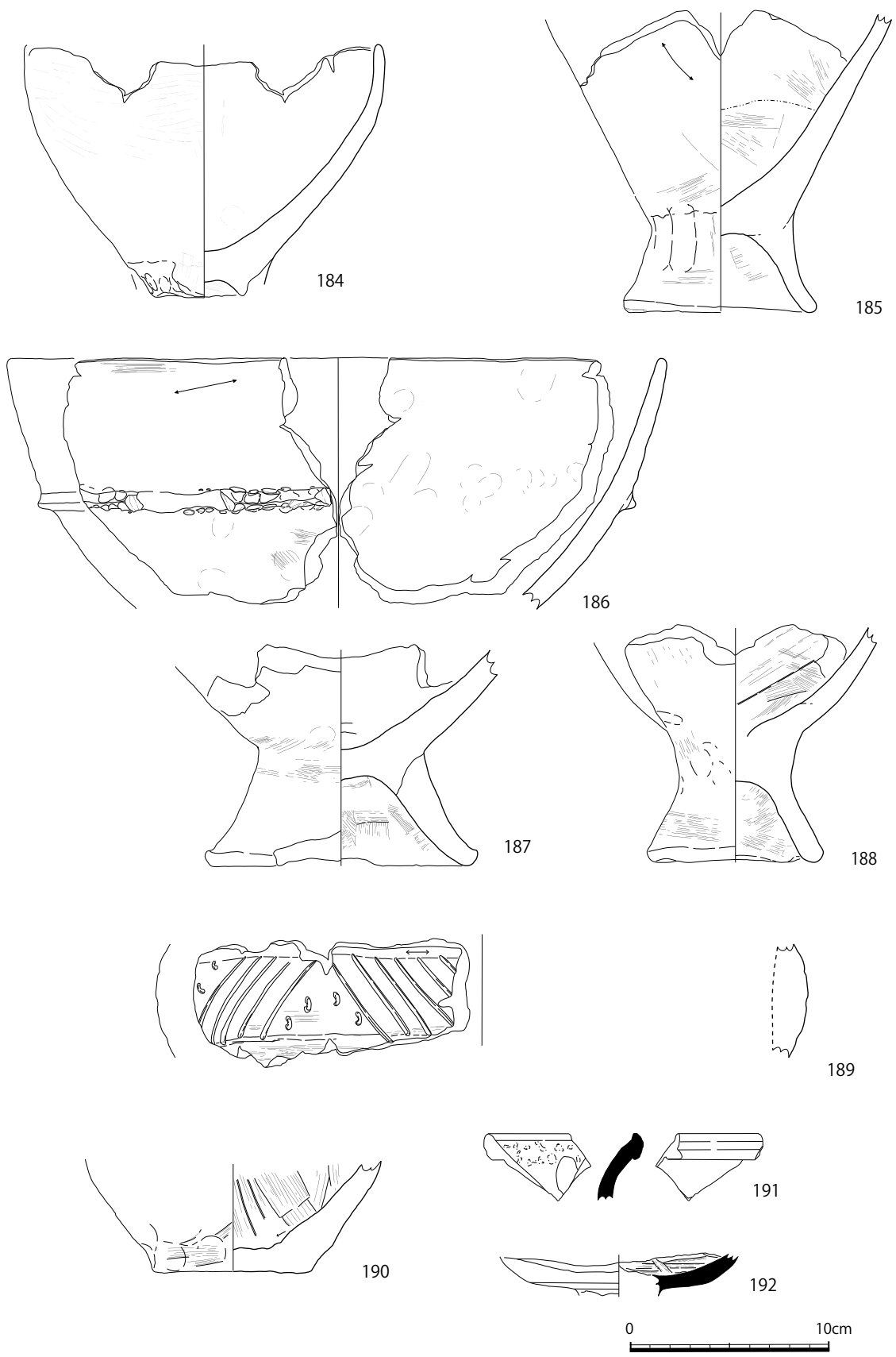
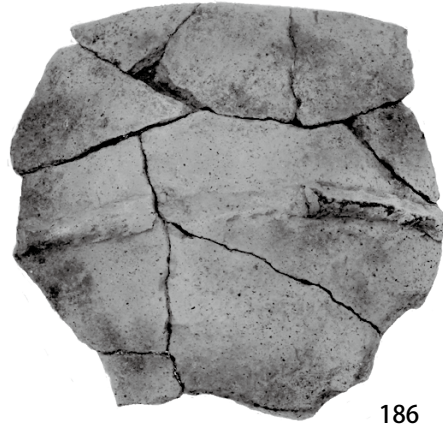


Fig. 38 28号竖穴建物跡上層出土遺物



184



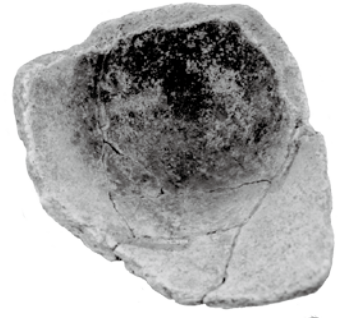
186



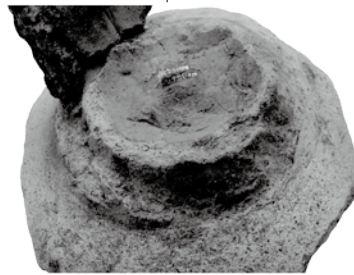
184 脚台内面



187



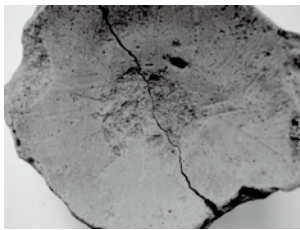
188



187 脚剥落部



185



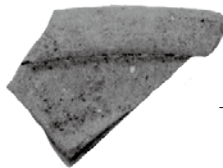
190 内面



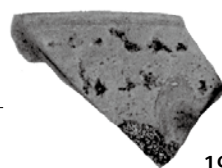
189



190



191



192

PL. 35 28号竖穴建物跡上層出土遺物

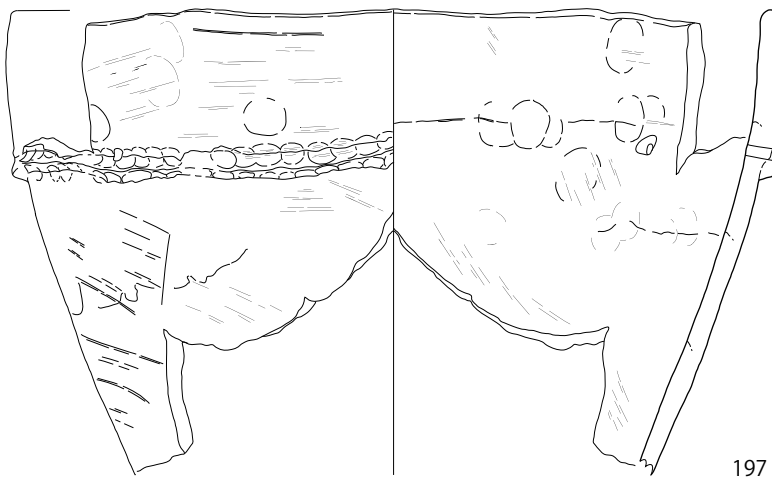
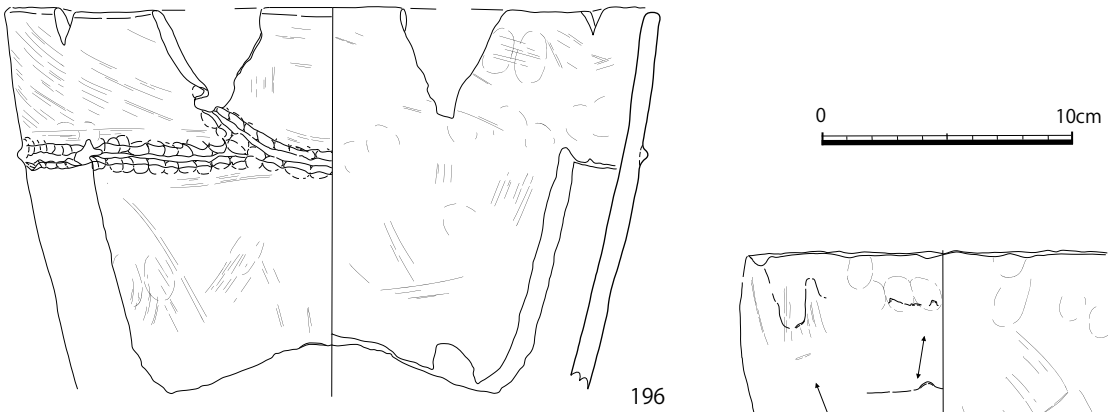
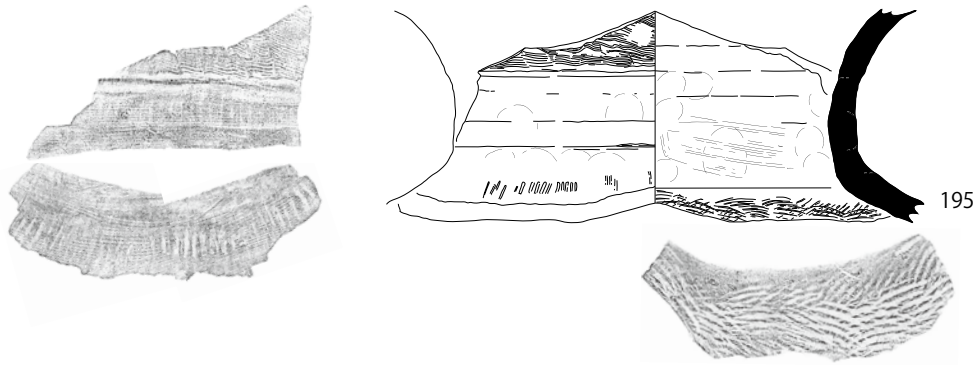
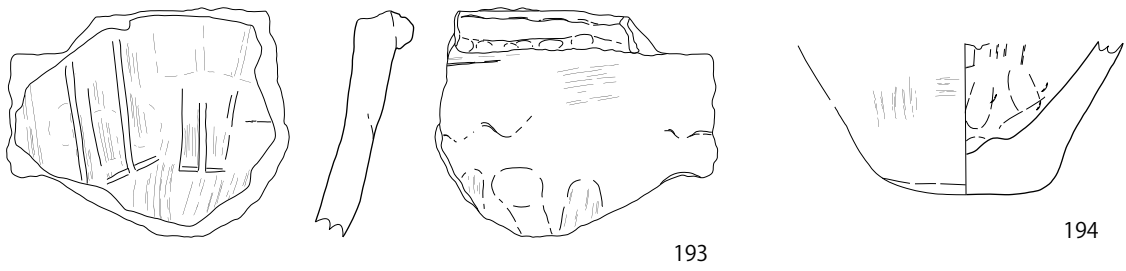
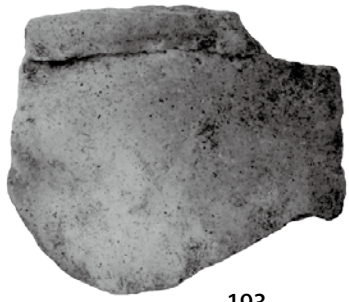
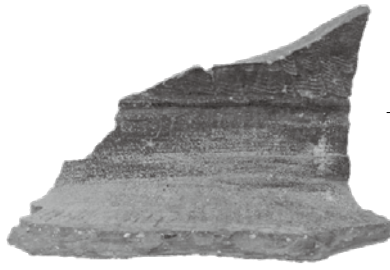


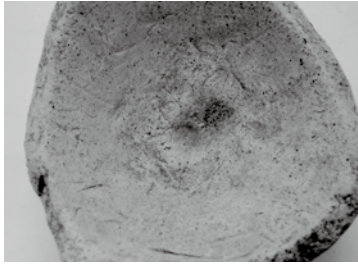
Fig. 39 28号竖穴建物周边出土・28号竖穴建物内出土遺物



193



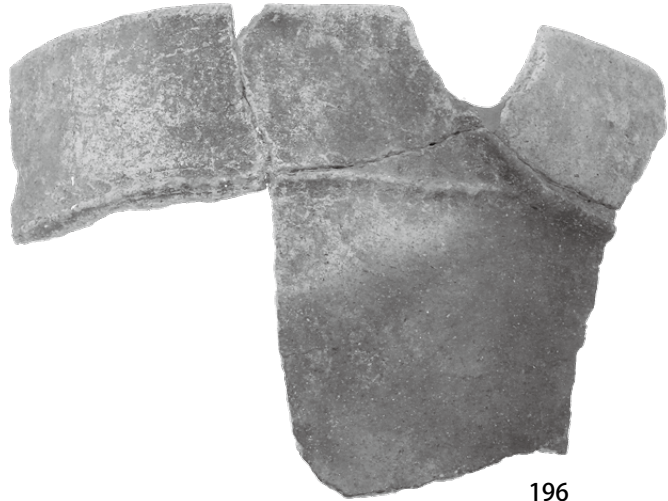
195



194 内面



194



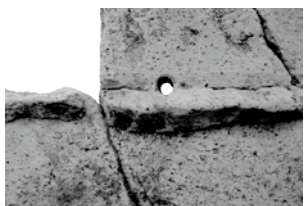
196



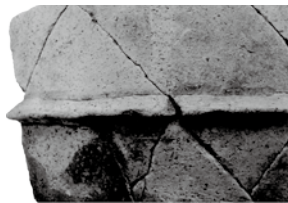
197



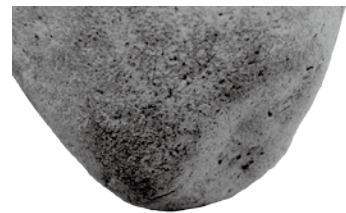
198



197 穿孔部



197 ふきこぼれ部



198 底部

PL. 36 28号竖穴建物周辺出土・28号竖穴建物内出土遺物

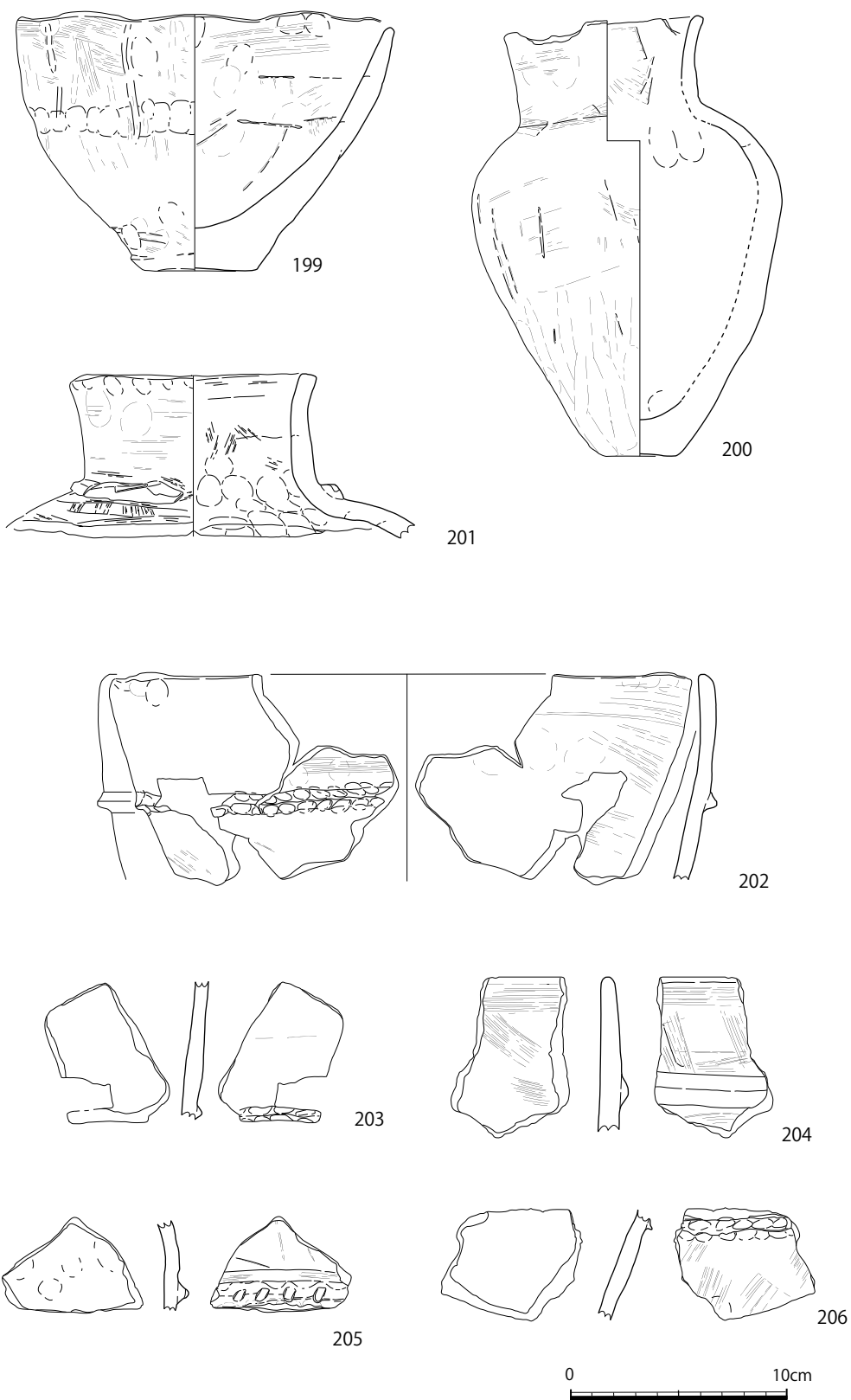
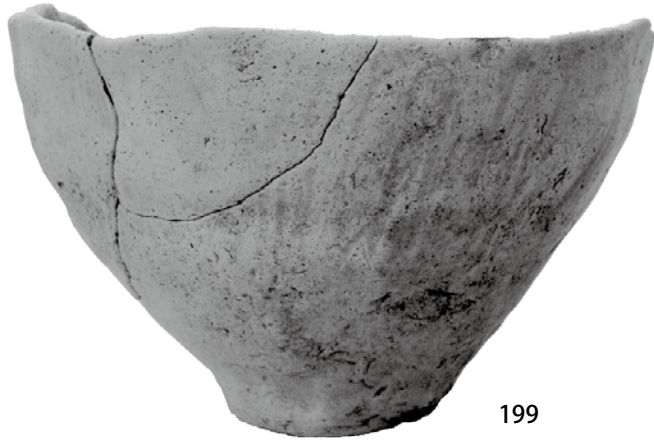


Fig. 40 28号竖穴建物内出土遺物



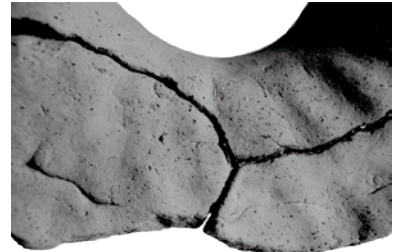
199



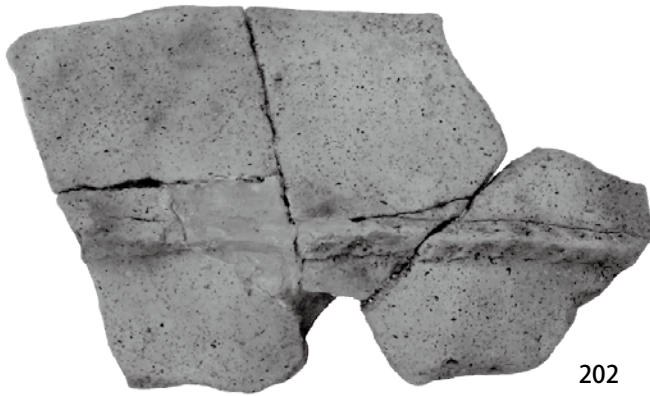
200



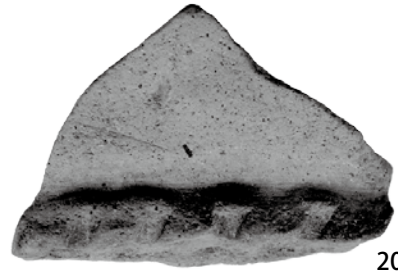
201



201 肩部内面



202



205



203



204



206

PL. 37 28号竖穴建物内出土遺物

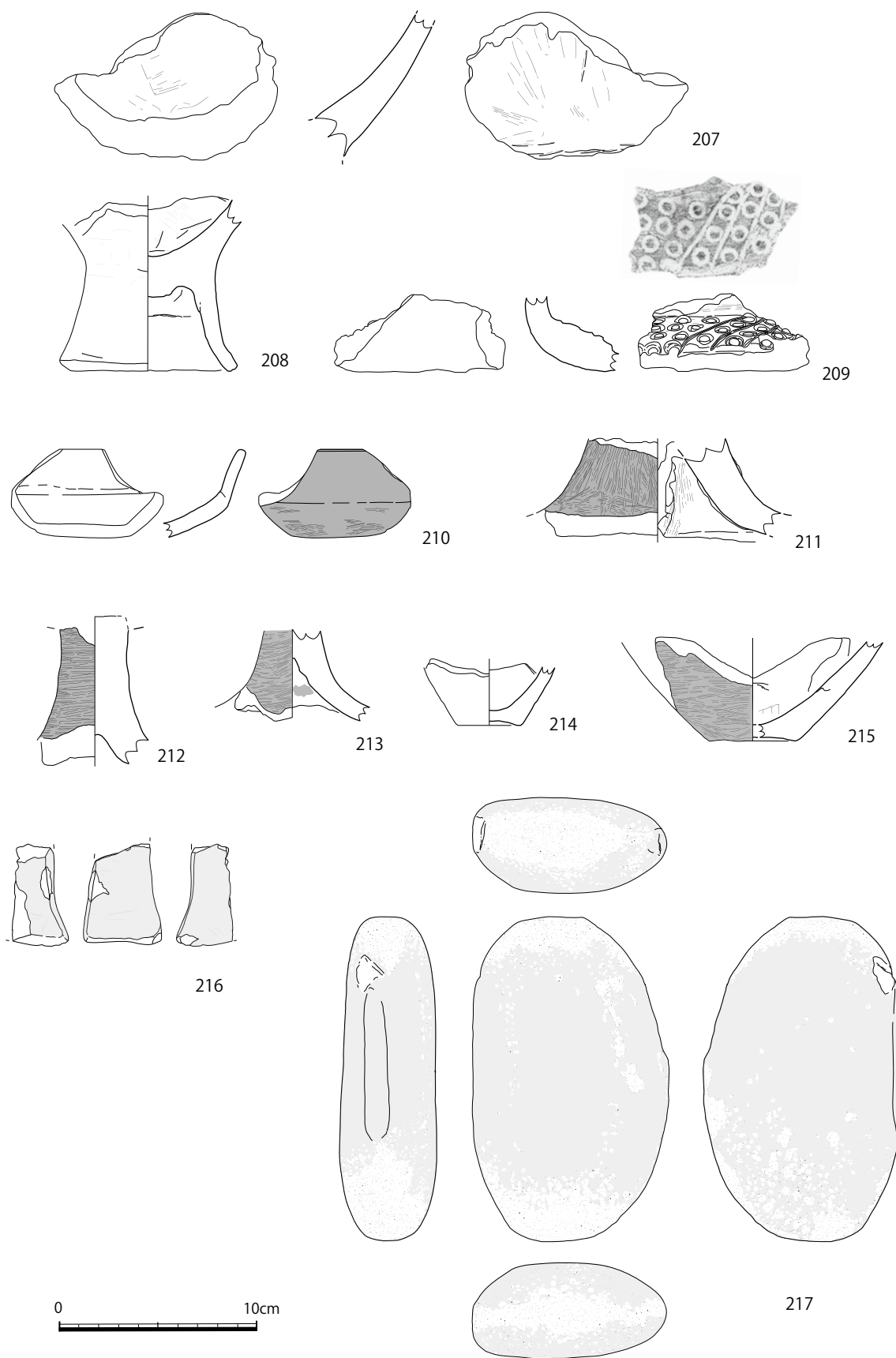
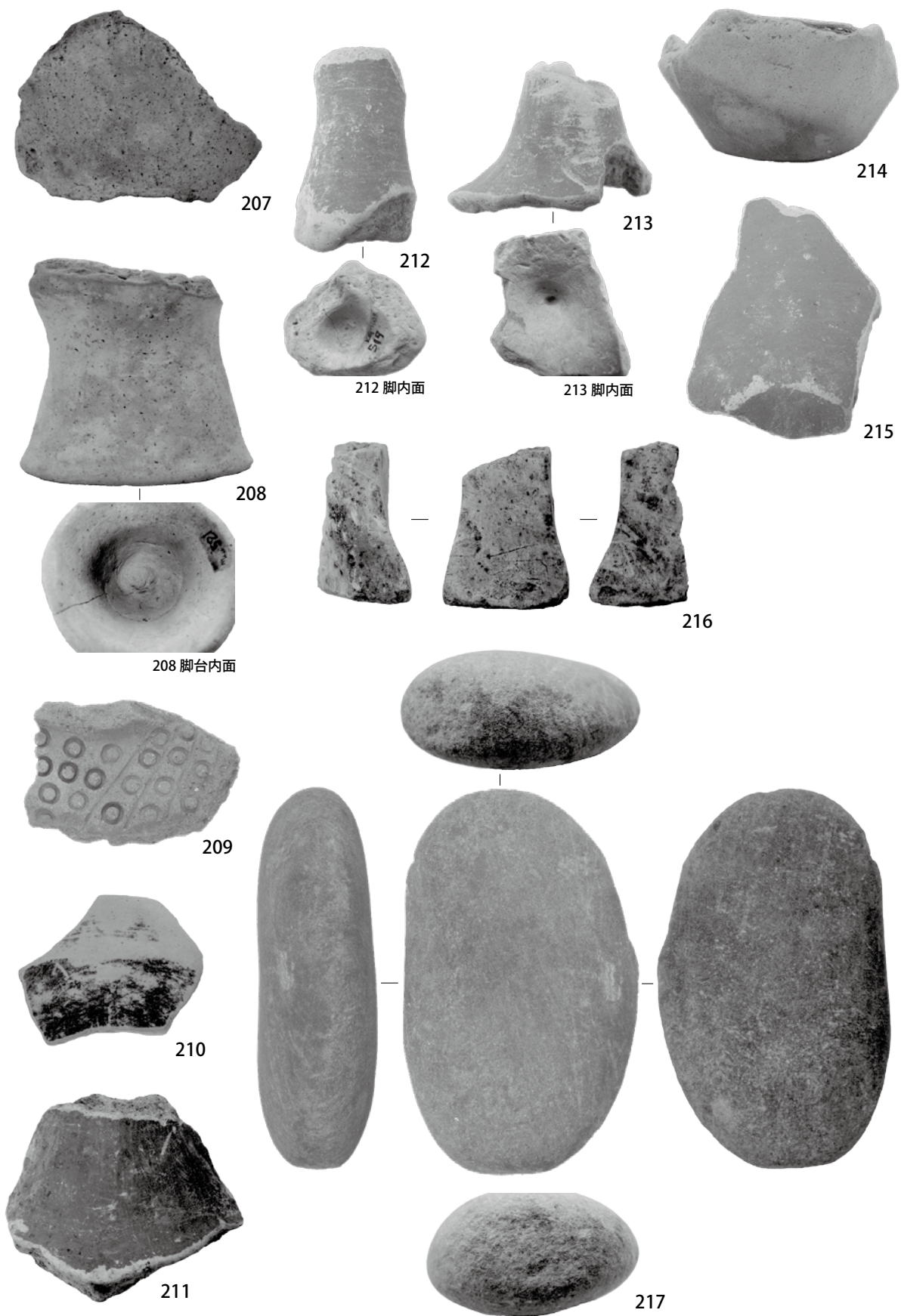
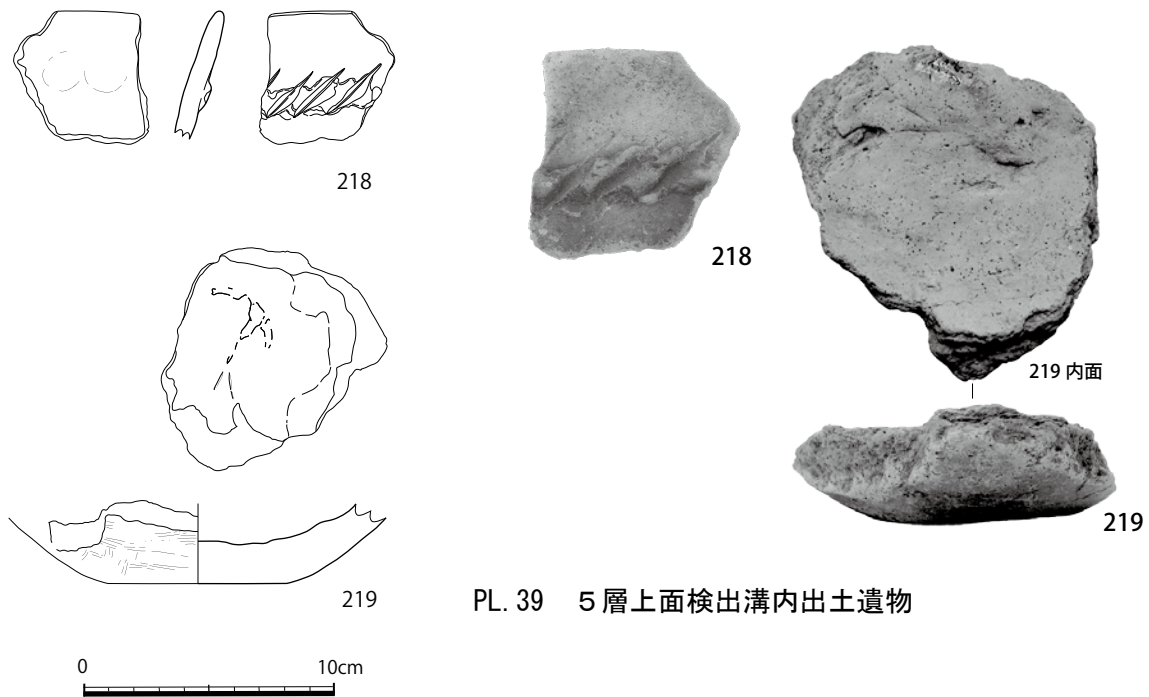


Fig. 41 28号竖穴建物跡出土遺物



PL. 38 28号竖穴建物内出土遺物



PL. 39 5層上面検出溝内出土遺物

Fig. 42 5層上面検出溝内出土遺物

Tab. 2 1～3層包含層出土遺物観察表

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|-----|-----|-------------|-----|----|----|------|--|-----------------------------|--|---------------|
| | 1 | 古墳 | 甕 | 口縁部～ 胴下部 | A | 表採 | | | 外面：にぶい黄橙色10YR7/3, 内面：にぶい黄橙色10YR7/4 | 石英, 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 赤色粒 | 外面：ハケ (∩) () → ナデ (?)・ ユビオサエ, 内面：ハケ (→) → ハケ (∩) ユビオサエ | |
| | 2 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | B3 | 不明 | | | 外面：にぶい黄橙色10YR7/4, 内面：浅黄橙色10YR8/4, 器内： 褐灰色10YR5/1 | 角閃石, 赤色粒, 白色 粒 | 外面：ユビオサエ・ハケ (∩)・ナデ (→), 内面：ユビオサエ・ナデ (→) (∩) | |
| | 3 | 古墳 | 鉢 | 口縁部～ 胴下部 | D2 | 表採 | | | 外面：灰白色2.5Y8/2類似, 内面： 灰白色2.5Y8/2類似 | 角閃石, 黒色粒, 白色 粒, 透明粒 | 外面：ナデ () (∩), 内面：ナデ (∩) ・ユビオサエ | |
| | 4 | 古墳 | 甕 | 脚部 | | 表採 | | | 外面：灰白色10YR8/2, 内面： 灰白色10YR8/2, 器内：黄灰色 2.5Y6/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色 粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (→), 脚台内面： ハケ (→)・打ち込み痕有り → ナデ (→) | |
| 5 | 5 | 古墳 | 鉢 | 底部 | | 表採 | | | 外面：にぶい黄橙色10YR7/4, 内面：橙色5YR7/6 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (→), 内面： ナデ (?) | 外面底部爪圧痕 有り |
| | 6 | 古墳 | 壺 | 口縁部～ 胴上部 | | 表採 | | | 外面：浅黄橙色10YR8/3, 内面： 浅黄橙色10YR8/3 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ → ナデ (→) (), 内面： ユビオサエ・ナデ (→) | |
| | 7 | 古墳 | 埴 | 胴部 | | 表採 | | | 外面：顔料の為 明赤褐色 2.5YR5/6, 内面：橙色7.5YR7/6 | 石英, 角閃石 | 外面：ミガキ (→), 内面：ナデ? | 赤色塗布 |
| | 8 | 古墳 | 不明 | | | | | | 外面：淡黄色2.Y8/3, 内面：黄 色2.5Y8/6 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ?, 内面：ナデ | 穿孔有り |
| | 9 | 須恵器 | 甕 | 口縁部 | | 表採 | | | 外面：灰色5Y6/1, 内面：灰白色 5Y7/1 | 白色粒 | | |
| | 10 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | B3 | 3 | | | 外面：浅黄橙色10YR8/3, 内面： にぶい黄橙色10YR7/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色 粒, 白色粒 | 外面：ハケ (∩)・打ち込み痕有り → ナデ (→), 内面：ナデ (∩) | 絡繩突帯 |
| | 11 | 古墳 | 甕 | 胴上部 | B1 | 3 | | | 外面：灰白色10YR8/2, 内面： にぶい黄橙色10YR7/3, 器内： 褐灰色10YR6/1 | 黒色粒, 白色粒, 透明 粒 | 外面：ハケ (→) → ナデ (→), 内面： ユビオサエ・ナデ (→) | 刻目突帯 |
| | 12 | 古墳 | 甕 | 胴下部～ 脚部 | C2 | 3 | | | 外面：浅黄橙色10YR8/3, 内面： にぶい黄橙色10YR7/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色 粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (→), 内面： ユビオサエ・ナデ () (∩), 脚台内 面ユビオサエ・ナデ (→) | |
| 6 | 13 | 古墳 | 甕 | 胴下部～ 脚部 | D2 | 3 | | | 外面：灰白色10YR8/2, 内面： 橙色5YR6/6 | 軽石, 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒, 礫 | 外面：ユビオサエ・ナデ (→), 内面： ユビオサエ・ナデ () (∩), 脚台内 面ユビオサエ・ナデ (→) | |
| | 14 | 古墳 | 鉢か甕 | 底部～脚 部 | C2 | 3 | | | 外面：橙色5YR7/6, 内面：浅黄 橙色7.5YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色 粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (→), 内面： ユビオサエ・ナデ () (∩), 脚台内面ユビ オサエ・ナデ (→) | |
| | 15 | 古墳 | 鉢 | 底部 | C2 | 3 | | | 外面：浅黄橙色10YR8/3, 内面： 浅黄橙色10YR8/4, 器内：灰白色 2.5Y7/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色 粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (∩) (), 内面： ユビオサエ・ナデ () (→) | |
| | 16 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | D2 | 3 | | | 外面：浅黄橙色10YR8/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色 粒, 透明粒 | 外面：ミガキ () | |

Tab. 3 遺構内出土遺物観察表 (SK: 竪穴建物跡)

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|-----|-----|---------|--------------------|------|-----|------|--|-----------------------------|---|------------------------|
| 9 | 17 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | SK2 | | | | 外面: にぶい黄褐色10YR7/3, 内面: 灰白色10YR8/2 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ (ー), 内面: ナデ (〳)・ユビオサエ | 刻目突帯・外面スス付着 |
| | 18 | 古墳 | 甕 | 胴上部 | SK2 | | | | 外面: 褐色7.5YR4/1, 内面: にぶい橙色7.5YR7/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ハケ (〳) 内面: ハケ (〳) → ユビオサエ | 刻目突帯 |
| | 19 | 古墳 | 甕 | 胴上部 | SK2 | | | | 外面: にぶい 橙色5YR6/4・橙色2.5YR7/6, 内面: 灰褐色7.5YR5/2・褐色7.5YR4/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ (ー), 内面: ナデ (〴)・ユビオサエ | 刻目突帯・内面コゲ |
| | 20 | 古墳 | 甕 | 胴上部 | SK2 | | | | 外面: 浅黄褐色10YR8/3・褐色10YR4/1, 内面: 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 黒色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (〴) (ー), 内面: ハケ (〳)・打ち込み痕有り → ナデ (〴)・ユビオサエ | 刻目突帯・外面スス付着 |
| | 21 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK2 | 4.89 | 543 | | 外面: 褐色10YR5/1, 内面: にぶい 橙色7.5YR7/4 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ハケ (〳)・ユビオサエ・ナデ, 内面: ナデ・ユビオサエ | 外面スス付着, 粘土貼付補修痕有り |
| | 22 | 古墳 | 甕 | 底部 | SK2 | | | | 外面: にぶい黄褐色10YR7/2, 内面: 褐色10YR6/1 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ハケ (〳)・打ち込み痕有り・ナデ・ユビオサエ, 内面: ハケ (ー)・打ち込み痕有り → ナデ (〴)・ユビオサエ | 外面スス付着, 粘土貼付補修痕有り |
| | 23 | 古墳 | 甕 | 底部~脚部 | SK2 | 5.01 | 499 | | 外面: 淡橙色5YR8/3・明褐色5YR7/1, 内面: 明褐色5YR7/1, 脚内面: 淡橙色5YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: 胴部ナデ (ー), 脚台ハケ (〴)・打ち込み痕有り → ナデ (ー), 内面: ナデ (〳) (〴), 脚台内面ナデ (ー)・ユビオサエ | 脚台内面接合痕有り |
| | 24 | 古墳 | 壺 | 頸部~胴上部 | SK2 | 5.07 | 500 | | 外面: 明褐色5YR7/2, 内面: にぶい 橙色5YR7/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 石英 | 外面: ナデ (〳) (〴) (ー), 頸部ナデ (ー), 内面: ハケ (〳)・打ち込み痕有り・ユビオサエ, ナデ | |
| | 25 | 古墳 | 高坏 | 坏部 | SK2 | | | | 外面: 顔料の為 赤褐色2.5YR4/6, 内面: 浅黄褐色10YR8/3 | 黒色粒, 白色粒, 赤色粒 | 外面: ミガキ (ー), 内面: ナデ (ー) | 赤色塗布 |
| | 26 | 古墳 | 鉢 | 完形 | SK10 | 4.85 | 477 | | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 灰黄色2.5Y7/2 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ハケ (ー)・打ち込み痕有り・ユビオサエ → ナデ (ー) (〳), 内面: ナデ (ー) (〳) (〴)・ユビオサエ | 内面コゲ付着 |
| 10 | 27 | 古墳 | 鉢 | 胴上部~底部 | SK10 | 4.9 | 478 | | 外面: 橙色2.5YR7/6, 内面: 橙色5YR7/6 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (〴)・ユビオサエ, 内面: ハケ (ー) → ナデ (〳)・ユビオサエ | |
| | 28 | 古墳 | 甕 | 胴上部~胴下部 | SK10 | 4.95 | 479 | | 外面: 褐色10YR7/1, 内面: にぶい 橙色7.5YR7/4 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ハケ (〴)・打ち込み痕有り → ナデ, 内面: ユビオサエ・ハケ (〴) → ナデ (〳) (〴) | 外面スス付着, 絡縄突帯 |
| | 29 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~底部 | SK10 | 4.92 | 484 | | 外面: 浅黄褐色7.5YR/6, 内面: 橙色7.5YR7/6 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 白色粒 | 外面: ユビオサエ・ハケ (〴) → ナデ (〴) (〳), 内面: ユビオサエ・ナデ (ー) (〴), 脚台内面ユビオサエ・ナデ (ー) | 外面スス付着, 脚内面接合痕有り |
| | 30 | 古墳 | 甕 | 口縁部~胴上部 | SK10 | 4.9 | 482 | | 外面: にぶい褐色7.5YR6/3, 内面: 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (〳)・ユビオサエ, 内面: ハケ (ー)・打ち込み痕有り・ナデ | 絡縄突帯・外面スス付着, 粘土貼付補修痕有り |
| | 31 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | SK10 | 4.9 | 482 | | 外面: 灰黄褐色10YR8/3, 内面: 浅黄褐色10YR8/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (〳)・ユビオサエ, 内面: ナデ・ユビオサエ | 絡縄突帯・外面スス付着, 粘土貼付補修痕有り |
| | 32 | 古墳 | 壺 | 胴部 | SK10 | | | | 外面: にぶい 橙色7.5YR7/3, 内面: 灰黄褐色10YR6/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ (ー), 内面: ナデ (ー) | 刻目突帯・布目圧痕有り |
| | 33 | 古墳 | 甕 | 胴上部 | SK10 | 4.75 | 544 | | 外面: にぶい黄褐色10YR7/3, 内面: 橙色: 5YR6/6 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ハケ (〳)・ユビオサエ, 内面: ナデ (ー)・ユビオサエ | 接合痕有り |
| | 34 | 古墳 | 甕 | 胴部~底部 | SK10 | 4.75 | 544 | | 外面: 灰白色7.5YR8/2, 内面: 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (ー) (〴), ユビオサエ, 内面: ナデ (〳) (〴) | 外面スス・内面コゲ付着 |
| | 35 | 古墳 | 甕か鉢 | 胴部 | SK10 | | | | 外面: 黄灰色2.5Y4/1, 内面: 黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ (〳) → (ー), 内面: ナデ (ー)・打ち込み痕有り | 絡縄突帯 |
| | 36 | 古墳 | 甕 | 底部~脚部 | SK10 | 4.96 | 532 | | 外面: にぶい黄褐色10YR7/3, 内面: 褐色10YR5/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ, ナデ (ー), 脚台内面ユビオサエ・ナデ (〴) (〴) (〴) | 内面コゲ付着, 脚台部接合痕有り |
| 11 | 37 | 古墳 | 甕か鉢 | 口縁部~胴上部 | SK10 | 4.85 | 480 | | 外面: 黒色10YR5/1, 内面: 明褐色7.5YR7/2 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ハケ (ー), 内面: ハケ (〳)・打ち込み痕有り・ナデ (ー)・ユビオサエ | 外面スス付着, 内面接合痕有り |
| | 38 | 古墳 | 高坏 | 坏部 | SK10 | 4.97 | 481 | | 外面: 顔料の為 赤色7.5R4/8, 内面: 灰白色5YR8/2 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (ー) (〳), 内面: ミガキ (ー) (〳) | 赤色塗布 |
| | 39 | 古墳 | 高坏 | 坏下部 | SK10 | | | | 外面: 顔料の為 赤褐色10R5/4, 内面: 灰白色10YR8/2 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (ー), 内面ナデ (ー) | 赤色塗布 |
| | 40 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | SK10 | 4.92 | 483 | | 外面: 顔料の為 赤色10R4/8, 内面: 褐色10YR6/1 | 白色粒 | 外面: ミガキ (ー), 脚内面: ユビオサエ・ナデ | 赤色塗布, 爪痕 |
| | 41 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | SK10 | 4.97 | 481 | | 外面: 顔料の為 にぶい赤褐色5YR5/4・灰白色10YR8/2, 内面: 灰白色10YR8/2, 器肉: 黄灰色2.5Y6/1 | 白色粒, 黒色粒 | 外面: ミガキ?, 脚内面: ビオサエ | 赤色塗布 |
| | 42 | 古墳 | 埴 | 底部 | SK10 | 4.9 | 482 | | 外面: 顔料の為 赤色10R4/8, 内面: 褐色10YR6/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (ー) (〳), 内面: ナデ | 赤色塗布 |
| | 43 | 須恵器 | 甕 | 口縁部 | SK11 SK10 C2 | 4 | | | 外面: オリーブ黒色7.5Y3/1, 内面: 灰色: 5Y7/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ, 内面: ナデ | 内面自然袖付着 |
| | 44 | 古墳 | 鉢 | 胴上部~底部 | SK31 | 4.97 | 531 | | 外面: にぶい 橙色7.5YR7/4, 内面: 浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (〴) (ー), 内面: ユビオサエ・ナデ (ー) (〴) | |
| | 45 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | SK31 | 4.97 | 531 | | 外面: 顔料の為 明赤褐色2.5YR5/8, 内面: 浅黄褐色10YR8/4類似, 器肉: 灰白色2.5Y7/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ミガキ (ー), 内面: ナデ (ー) | 赤色塗布 |
| | 46 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK3 | | | | 外面: 橙色2.5YR6/6, 内面: にぶい 橙色5YR6/4 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ (ー) (〳), 内面: ナデ (ー) | 刻目突帯・布目圧痕有り |
| 13 | 47 | 古墳 | 高坏 | 口縁部 | SK3 | | | | 外面: 橙色5YR6/6, 内面: 橙色5YR6/6 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ (ー), 内面: ナデ (ー) | |
| | 48 | 古墳 | 高坏 | 口縁部 | SK3 | | | | 外面: 顔料の為 赤色10R5/6, 内面: にぶい 橙色7.5YR6/4 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ミガキ (ー), 内面: ミガキ (ー) (〳) | 赤色塗布 |
| | 49 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | SK3 | 5.02 | 497 | | 外面: 顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面: 黒色7.5YR2/1 | 白色粒, 黒色粒 | 外面: ミガキ (〴) (ー), 内面: 工具痕あり | 赤色塗布 |

Tab. 4 遺構内出土遺物観察表 (SK: 竪穴建物跡)

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|----|-------|---------|-------------|------|-----|------|--|-------------------------|--|---------------|
| | 50 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK3 | | | | 外面: にぶい黄褐色10YR7/4, 内面: 褐灰色10YR6/1 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (), 内面: ユビオサエ | |
| | 51 | 石器 | 砥石 | | SK3 | 5.05 | 496 | | 長11.2×幅5.3×厚3.1 (cm), 重量: 270g | | 擦痕有り | 硬質砂岩 |
| | 52 | 石器 | 軽石加工品 | | SK3 | 5.14 | 493 | | 長7.5×幅9.7×厚3.3 (cm), 重量: 45.4g | | 小凹穴・線刻有り | |
| 13 | 53 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK4 | | | | 外面: 橙色2.5YR6/6, 内面: 褐灰色10YR6/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ (—), 内面: ナデ (—) | 刻目突帯 |
| | 54 | 古墳 | 鉢 | 底部 | SK4 | | | | 外面: 褐灰色10YR6/1, 内面: 黄灰色2.5Y5/1, 底面: にぶい黄褐色5YR6/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (—), 内面: 工具によるナデ () | 底部赤色塗布 |
| | 55 | 古墳 | 高環 | 環下部~脚部 | SK3 | 5.11 | 523 | | 外面: 顔料の為 赤色7.5R4/6, 内面: 灰色5YR8/2, 器肉: 明褐色7.5YR7/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (—) 杯部内面: ナデ | 赤色塗布 |
| | 56 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK3 | 5 | 530 | | 外面: 顔料の為 赤褐色10R6/6, 内面: 灰白色7.5YR8/2 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (—), 内面: ナデ (—) | 赤色塗布, 脚部接合痕有り |
| | 57 | 古墳 | 高環 | 環下部 | SK4 | | | | 外面: 顔料の為 赤褐色2.5YR4/6, 内面: 黄灰色2.5Y5/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (—), 内面: ナデ | 赤色塗布 |
| | 58 | 古墳 | 埴 | 底部 | SK3 | 5.11 | 523 | | 外面: 顔料の為 赤褐色2.5YR4/6, 内面: 灰白色2.5Y7/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (→), 内面: ナデ (—) | 赤色塗布, 底面凹み有り |
| | 59 | 古墳 | 甕 | 口縁部~胴上部 | SK5 | | | | 外面: 灰黄褐色10YR5/2, 内面: にぶい黄褐色10YR7/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ハケ (∞), ユビオサエ, 内面: ユビオサエ, ハケ (∞ →) | 絡縄突帯, 外面スス付着 |
| | 60 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK5 | | | | 外面: 浅黄褐色7.5YR8/4・橙色5YR7/6, 内面: にぶい黄褐色10YR7/4 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (—), 内面: ナデ (—) | 絡縄突帯 |
| | 61 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | SK5 | | | | 外面: にぶい黄褐色10YR6/3, 内面: にぶい黄褐色7.5YR7/2 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—), 内面: ナデ, ユビオサエ | 刻目突帯 |
| | 62 | 古墳 | 鉢 | 胴下部~底部 | SK5 | | | | 外面: 灰白色10YR8/2, 内面: にぶい黄褐色10YR7/2 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ, 内面: ユビオサエ・ナデ (∞) | |
| 15 | 63 | 古墳 | 壺 | 口縁部~頸部 | SK5 | | | | 外面: 浅黄褐色7.5YR8/3, 内面: にぶい黄褐色7.5YR7/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (—) (∞), 内面: ナデ (—) () | 内面接合痕有り |
| | 64 | 古墳 | 高環 | 環部 | SK5 | | | | 外面: 顔料の為 赤褐色10R6/6, 内面: 灰白色10YR7/1, 橙色: 5YR6/6 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (—), 内面: ナデ, ユビオサエ | 赤色塗布, 環部剥落痕有り |
| | 65 | 古墳 | 甕 | 底部 | SK6 | | | | 外面: 赤褐色10R6/6, 内面: 浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ, 打ち込み痕あり, 内面: ユビオサエ・ナデ?, 脚部内面ユビオサエ・ナデ, 打ち込み痕有り | 脚部剥落痕有り |
| | 66 | 古墳 | 壺 | 口縁部 | SK6 | | | | 外面: にぶい橙色7.5YR7/4, 内面: 褐灰色7.5YR6/1 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (—) → () (∞), 内面: ナデ (—) | |
| | 67 | 石器 | 軽石加工品 | | SK6 | 5.19 | 529 | | 長10.2×幅 7.7×厚4.7 (cm) 重量: 69g | | 線状痕有り | |
| | 68 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | SK7 | | | | 外面: 褐灰色10YR4/1, 内面: にぶい黄褐色10YR7/2 | 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ハケ (∞) → ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (∞) | 絡縄突帯 |
| | 69 | 古墳 | 甕か鉢 | 胴下部~底部 | SK7 | | | | 外面: 灰白色10YR8/2, 内面: 灰白色10YR8/2 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (∞), 脚部内面ユビオサエ・ナデ (—) (∞) | 脚部剥落部に指頭痕有り |
| | 70 | 古墳 | 鉢か埴 | 底部 | SK7 | | | | 外面: にぶい黄褐色10YR7/3, 内面: にぶい黄褐色10YR7/4, 器肉: 黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ, 内面: ナデ (—) () ・ケズリ風ナデ (—) | |
| | 71 | 古墳 | 甕 | 口縁部~胴上部 | SK8 | | | | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 浅黄褐色7.5YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ハケ (∞) ・ユビオサエ, 内面: ハケ (∞) ・ユビオサエ | 絡縄突帯 |
| 17 | 72 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~胴上部 | SK8 | | | | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 灰白色2.5Y8/2 | 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ハケ (—) ・ナデ (—) | 内面接合痕有り |
| | 73 | 古墳 | 鉢 | 胴下部~底部 | SK8 | | | | 外面: 灰白色7.5YR8/2, 内面: 灰白色7.5YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (—), 内面: ナデ (—) | |
| | 74 | 古墳 | 壺 | 胴部 | SK8 | | | | 外面: 橙色5YR7/6, 内面: にぶい黄褐色10YR7/3 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ (—) (∞), 内面: ハケ (∞) ・ユビオサエ | 刻目突帯 |
| | 75 | 古墳 | 壺 | 頸部~胴上部 | SK8 | | | | 外面: 浅黄褐色7.5YR8/3, 内面: 灰黄褐色10YR6/2 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 内外面: ナデ? (磨滅) | 絡縄突帯 |
| | 76 | 古墳 | 壺 | 胴部 | SK8 | | | | 外面: にぶい黄褐色10YR7/3, 内面: 浅黄褐色10YR8/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (∞) | 格子文突帯 |
| | 77 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK8 | | | | 外面: 顔料の為 明赤褐色2.5YR5/8, 内面: 黄灰色2.5Y6/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ミガキ () | 赤色塗布 |
| | 78 | 石器 | 敲石 | - | SK8 | | | | 長15.5×幅 8.7×厚3.5 重量: 600g | | 敲打痕有り | 安山岩 |
| | 79 | 古墳 | 甕 | 口縁部~胴下部 | SK9 | 4.99 | 515 | | 外面: 橙色7.5YR7/6類似, 内面: 橙色7.5YR6/6 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: 口縁部ナデ (—), 胴部ナデ, 内面: ナデ (?) | 刻目突帯 |
| | 80 | 古墳 | 甕 | 胴下部~底部 | SK9 | 4.98 | 527 | | 外面: にぶい黄褐色10YR7/3, 内面: にぶい橙色7.5YR7/4, 器肉: 黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ, ナデ (—) (∞), 内面: ハケ (—) (∞) ・打ち込み痕有り→ユビオサエ・ナデ (?) | 脚部剥落 |
| | 81 | 古墳 | 甕 | 胴下部~底部 | SK9 | 5.08 | 517 | | 外面: にぶい橙色7.5YR7/4, 内面: にぶい黄褐色10YR6/1, 器肉: 褐灰色10YR6/1 | 黒色粒, 白色粒, 透明粒, 角閃石 | 外面: ユビオサエ・ハケ () ・打ち込み痕有り→ナデ (—), 内面: ハケ (—) ・打ち込み痕有り・ユビオサエ・ナデ (?), 脚部内部ユビオサエ→ナデ (—) | 脚部剥落 |
| | 82 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | SK9 | | | | 外面: にぶい黄褐色類似, 内面: 浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (—) () ・ユビオサエ, 内面: ユビオサエ・ナデ (—) | 絡縄突帯 |
| 18 | 83 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | SK9 | | | | 外面: 灰黄褐色10YR5/2, 内面: にぶい黄褐色10YR6/3, 器肉: 黄灰色2.5Y5/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ハケ (—) ・ナデ (—), 内面: ナデ (—) | 刻目突帯 |
| | 84 | 古墳 | 鉢 | 底部 | SK9 | 5.11 | 515 | | 外面: 灰白色10YR8/2, 内面: 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ハケ・ナデ (—) (∞), 内面: ナデ (—) | |
| | 85 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~胴下部 | SK9 | 5.11 | 526 | | 外面: にぶい褐色7.5YR6/3, 内面: にぶい黄褐色10YR7/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: 口縁部ナデ (—), 胴部ナデ, 内面: ナデ (—) | |
| | 86 | 古墳 | 壺 | 底部 | SK9 | | | | 外面: 灰白色10YR8/2, 内面: 灰白色10YR8/2類似, 器肉: 黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ・打ち込み痕有り, 内面: ユビオサエ・ナデ (—) | |
| | 87 | 古墳 | 鉢 | 底部 | SK9 | | | | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 灰白色10YR8/2, 器肉: 黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (—) (∞), 内面: ユビオサエ・ナデ (—) (∞) | |
| | 88 | 古墳 | 壺 | 胴部 | SK9 SK24 | | | | 外面: にぶい黄褐色10YR5/4, 内面: にぶい黄褐色10YR7/3 | 白色粒, 石英, 角閃石, 赤色粒 | 外面: ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (∞) | 外面スス付着 |

Tab. 5 遺構内出土遺物観察表 (SK: 竪穴建物跡)

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|----|-------|----------|-------|----|--------------|------------|---|-------------------------|--|-----------------------|
| | 89 | 古墳 | 高環 | 環部 | SK9 | | 5.04 | 516 | 外面: 顔料の為 明赤褐色 2.5YR5/6, 内面: 黄灰色2.5Y4/1・橙色5YR7/6 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (—), 内面: ナデ (?) | 赤色塗布 |
| | 90 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK9 | | 4.99 | 509 | 外面: 顔料の為 明赤褐色 2.5YR5/8, 内面: 灰白色5Y7/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (—), 内面: ハケ (—)・打ち込み痕有り | 赤色塗布 |
| 19 | 91 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK9 | | 4.98 | 511 | 外面: 顔料の為 赤色10R5/8, 内面: 灰白色7.5YR8/2 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (—), 内面: ナデ (—) | 赤色塗布 |
| | 92 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK9 | | 4.97 | 512 | 外面: 顔料の為 赤色10R5/6, 内面: 浅黄褐色2.5Y7/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (—), 内面: ナデ | 赤色塗布 |
| | 93 | 古墳 | 粘土塊 | | SK9 | | | | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 暗灰色N3/0 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 指頭痕有り | |
| | 94 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | SK11 | | | | 外面: 灰白色7.5YR8/2, 内面: 褐色7.5YR4/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ハケ () → 口縁部ナデ (—), 内面: ナデ (—) | 刻目突帯 |
| | 95 | 古墳 | 鉢 | 胴部 | SK11 | | | | 外面: 灰白色10YR8/1, 内面: 灰白色10YR8/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: 工具によるナデ (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (—) | 突帯に爪痕有り |
| | 96 | 古墳 | 甕か鉢 | 胴下部~底部 | SK11 | | 4.85 | 489 | 外面: 灰白色10YR8/2, 内面: 灰白色10YR8/2 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ハケ (—)・ナデ (), 脚台内面ユビオサエ・ハケ (—)・打ち込み痕有り・ナデ (—) | 内面コゲ付着 |
| | 97 | 古墳 | 鉢か甕 | 口縁部~胴下部 | SK11 | | 4.85 | 489 | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 浅黄褐色10YR8/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ, 内面: ユビオサエ・ナデ | |
| | 98 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~胴上部 | SK11 | | | | 外面: 灰白色2.5YR8/1, 内面: 灰白色7.5YR8/2 | 角閃石, 黒色粒, 透明粒, 白色粒 | 外面: 口縁部ユビオサエ, 胴部ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ハケ (—)・ナデ ()・打ち込み痕有り | |
| | 99 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~胴上部 | SK11 | | | | 外面: にぶい褐色7.5YR7/3, 内面: 浅黄褐色7.5YR8/6 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (—) | 絡縄突帯, 外面スス付着 |
| | 100 | 古墳 | 壺 | 胴部 | SK11 | | 4.95 | 487 | 外面: にぶい褐色7.5YR5/4, 内面: にぶい黄褐色10YR5/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | ナデ (—) | 幅広突帯, 繊維痕有り |
| 21 | 101 | 古墳 | 高環 | 環部~脚部 | SK11 | | | | 外面: 顔料の為 赤褐色10R5/4, 内面: 灰白色10YR5/1類似 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (?), 内面: ナデ (—) | 赤色塗布 |
| | 102 | 古墳 | 埴 | 口縁部~頸部 | SK11 | | 4.93 | 485 | 外面: 顔料の為 赤色7.5R4/8, 内面: 褐色7.5YR6 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ (—), 内面: ユビオサエ・ミガキ (—) | 赤色塗布 |
| | 103 | 古墳 | 埴 | 胴上部 | SK11 | | | | 外面: 顔料の為 赤褐色10R5/4, 内面: 灰白色10YR8/1 | 白色粒, 黒色粒 | 外面: ミガキ (—), 内面: ハケ (—) | 赤色塗布, 接合痕有り |
| | 104 | 古墳 | 鉢 | 完形 | SK11 | | | | 外面: 顔料の為 赤褐色2.5YR4/6, 内面: 灰黄褐色10YR6/2 | 白色粒 | 外面: ミガキ (—), 内面: ナデ | 赤色塗布 |
| | 105 | 石器 | 軽石加工品 | | SK11 | | 4.96 | 540 | 長13.2×幅7.5×厚4.9 (cm) 重量: 97.4g | | 凹穴・沈線有り | |
| | 106 | 古墳 | 甕か鉢 | 脚部 | SK12 | | | | 外面: にぶい褐色5YR7/4類似, 器肉: 黒褐色2.5Y3/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—), 内面: ナデ (—) | |
| | 107 | 古墳 | 壺 | 口縁部~頸部 | SK12 | | | | 外面: 褐色7.5YR7/6類似, 内面: にぶい褐色7.5YR7/4 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ハケ (), 内面: ユビオサエ・ハケ (—) (—) | |
| | 108 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK12 | | | | 外面: 顔料の為 赤色10R4/8, 内面: 浅黄褐色10YR8/3, 器肉: 灰白色10YR7/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 赤色粒 | 外面: ミガキ () (—), 内面: ナデ (—) → ミガキ (?) | 赤色塗布, 内面粘土貼付痕有り |
| | 109 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | SK15上 | 4 | 5.52 5.44 | 391 398 | 外面: 褐色10YR4/1, 内面: 浅黄褐色10YR8/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—) (—), 内面: ユビオサエ・ナデ () (—) | 絡縄突帯, 外面スス付着, 内面接合痕有り |
| | 110 | 古墳 | 甕 | 口縁部~胴上部 | SK15上 | 4 | 5.44 | 398 | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 浅黄褐色10YR8/3・灰色5Y5/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビナデ ()・ナデ (—), 突帯周辺ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (—) | 絡縄突帯, 接合痕有り |
| | 111 | 古墳 | 甕 | 胴下部~脚部 | SK15上 | 4 | 5.5 5.2 | 405 459 | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—) (—), 内面: 胴部ユビオサエ・ナデ (—) (—), 脚台内面ユビオサエ・ナデ (—) | 内面コゲ付着, 脚台接合痕有り |
| 23 | 112 | 古墳 | 甕 | 胴下部~脚部 | SK15上 | 4 | 5.478 | 409 | 外面: 浅黄褐色7.5YR8/4, 内面: 浅黄褐色7.5YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—) (—), 内面: ユビオサエ・ハケ (—)・打ち込み痕有り・ナデ (), 脚台内面ユビオサエ・ハケ (—)・打ち込み痕有り → ナデ (—) | 脚台内面接合痕有り |
| | 113 | 古墳 | 甕 | 胴下部 | SK15上 | 4 | 5.52 5.47 | 391 409 | 外面: 褐色7.5YR7/6, 内面: 浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (), 内面: ユビオサエ・ナデ () | 外面葉脈痕有り, 接合痕有り |
| | 114 | 古墳 | 鉢 | 口縁部付近~脚部 | SK15上 | 4 | 5.5 | 405 | 外面: 浅黄褐色10YR8/4, 内面: 灰白色5Y7/1 | 角閃石, 石英, 白色粒 | 外面: ハケ ()・ユビオサエ・ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ハケ (—)・打ち込み痕有り・ナデ (—), 脚台内面ユビオサエ・ハケ (—)・打ち込み痕有り | |
| | 115 | 古墳 | 鉢 | 底部 | SK15上 | 4 | 5.52 5.54 | 391 392 | 外面: 顔料の為 赤色10R4/6, 内面: 褐色10YR5/1 | 白色粒, 黒色粒 | 外面: ミガキ (?), 内面ナデ (?) | 赤色塗布 |
| | 116 | 古墳 | 甕 | 底部 | SK15上 | 4 | 5.52 | 384 | 外面: 明褐色10YR7/2, 内面: にぶい黄褐色10YR7/3 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ハケ (—)・打ち込み痕有り・ナデ (—), 脚台内面ユビオサエ → ナデ (—) | 脚部剥落 |
| | 117 | 古墳 | 甕 | 胴下部~胴上部 | SK15上 | 4 | 5.49 | 407 | 外面: 褐色7.5YR7/6, 内面: 浅黄褐色7.5YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (—) (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (), 脚台内面ユビオサエ | |
| | 118 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~底部 | SK15上 | 4 | 5.49 | 400 | 外面: 灰白色10YR8/1, 内面: 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—) (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (), 脚台内面ユビオサエ | 脚部剥落 |
| 24 | 119 | 古墳 | 鉢 | 完形 | SK15上 | 4 | 5.51 | 327 | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—) (—), 内面: ユビオサエ・ハケ (—) (—) | 外面接合痕有り |
| | 120 | 古墳 | 鉢 | 完形 | SK15上 | 4 | 5.52 | 391 | 外面: 黄灰色2.5Y4/1, 内面: 黄灰色2.5Y5/1 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ () (—), 内面: ユビオサエ・ハケ (—) | 外面接合痕有り |
| | 121 | 古墳 | 壺 | 胴下部~底部 | SK15上 | 4 | 5.47 | 397 | 外面: 褐色7.5YR7/6類似, 内面: 浅黄褐色10YR8/4 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—) (—) (—) (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (—) (—)・打ち込み痕有り | 内面糊圧痕有り |
| | 122 | 古墳 | 鉢 | 胴下部~底部 | SK15上 | 4 | 5.55 | 382 | 外面: 灰白色10YR8/2類似, 内面: にぶい黄褐色10YR7/4, 器肉: 黄灰色2.5Y5/1 | 石英, 角閃石, 白色粒 | 外面: ナデ?, 内面: ハケ (—), 打ち込み痕有り | |
| | 123 | 古墳 | 鉢 | 胴下部~底部 | SK15上 | 4 | 5.52 | 413 | 外面: 浅黄褐色10YR8/4類似, 内面: 浅黄褐色10YR8/4類似 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 透明粒 | 外面: ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ハケ (—), 打ち込み痕有り | |
| | 124 | 古墳 | 鉢 | 胴下部~底部 | SK15上 | 4 | 5.49 | 416 | 外面: 浅黄褐色10YR8/4, 内面: 褐色10YR6/1 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (), 内面: ナデ (?) | |

Tab. 6 遺構内出土遺物観察表 (SK: 竪穴建物跡)

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 | |
|----------|-----|-----|--------|---------|----------------------|-------|-------|--------------------------------------|--|--|--|---------------|----------------|
| 24 | 125 | 古墳 | 壺 | 口縁部～頸部 | SK15上 | 4 | 5.54 | 383 | 外面: にぶい黄褐色10YR6/4, 内面: にぶい黄色2.5Y6/3類似, 器内: 黄灰色2.5Y5/1 | 角閃石, 白色粒 | 外面: ハケ(), 突帯周辺ナデ(-), 内面: ユビオサエ・ナデ(?) | 刻目突帯 | |
| | 126 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | SK15上 | 4 | 5.51 | 393 | 外面: 浅黄褐色7.5YR8/4, 内面: 浅黄褐色7.5YR8/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ハケ()・打ち込み痕有り・ユビオサエ, 内面: ナデ(\) (/) () | | |
| | 127 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | SK15上 | 4 | 5.55 | 382 | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 剥落 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ハケ() (\)・打ち込み痕有り・ユビオサエ, 内面: 剥落 | | |
| | 128 | 古墳 | 高環 | 環部 | SK15上 | 4 | 5.45 | 379 | 外面: 赤褐色2.5YR4/6, 内面: 浅黄褐色7.5YR8/4 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ミガキ(-), 内面: ナデ(-), ユビオサエ | 赤色塗布 | |
| | 129 | 古墳 | 高環 | 環部 | SK15上 | 4 | 5.46 | 389 | 外面: 顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面: 浅黄褐色10YR8/3類似 | 角閃石, 灰色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ミガキ(-) → (/), 内面: ナデ(?) | 赤色塗布 | |
| | 130 | 古墳 | 高環 | 環部～脚部 | SK15上 | 4 | 5.463 | 406 | 外面: 赤褐色10R4/4, 内面: 浅黄褐色7.5YR8/4類似 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ(-), 内面: 杯部ユビオサエ・ナデ, 脚台内面ユビオサエ・ナデ(-) | 赤色塗布 | |
| 25 | 131 | 古墳 | 高環 | 脚部 | sk15上 | 4 | 5.52 | 391 | 外面: 明赤褐色2.5YR5/6, 内面: にぶい黄褐色10YR7/4 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ(-), 内面: ハケ(-) → ナデ(-) | 赤色塗布 | |
| | 132 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK15上 | 4 | 5.5 | 426 | 外面: 顔料の為 赤褐色2.5YR4/8, 内面: 灰黄色2.5Y6/2 | 石英, 白色粒, 黒色粒 | 外面: ミガキ(-), 内面: ナデ(-), 工具痕有り | 赤色塗布 | |
| | 133 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK15上 | 4 | 5.46 | 412 | 外面: 顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面: 浅黄褐色10YR8/4 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ミガキ(-), 内面: ユビオサエ・ナデ(?), 爪痕 | 赤色塗布 | |
| | 134 | 古墳 | 埴 | 底部 | SK15上 | 4 | 5.45 | 396 | 外面: 顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面: 灰白2.5Y7/1 | 石英, 黒色粒, 赤色粒 | 外面: ミガキ(-), 内面: ハケ(-), 工具痕有り | 赤色塗布, 底面細沈線有り | |
| | 135 | 須恵器 | 甕 | 頸部 | SK15上 | 4 | 5.5 | 408 | 外面: 灰色N5/0, 内面: 灰色7.5Y5/1 | 黒色粒, 白色粒 | | 自然袖付着 | |
| 136 | 石器 | 砥石 | | SK15上 | 4 | 5.495 | 399 | 長11.4×幅7.5×厚3g | | 磨面カーブ有り | | 硬質砂岩 | |
| 137 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK15 | | 5.07 | 533 | 外面: 灰黄褐色10YR6/2, 内面: 橙色7.5YR6/6 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ハケ(\), 内面: ハケ(-)・打ち込み痕有り→ナデ(-) | | 刻目突帯 | |
| 138 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK15 | | 5.07 | 533 | 外面: 灰黄褐色10YR6/2類似, 内面: にぶい黄褐色10YR7/3 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ(-) (), 内面: ナデ(-) | | | |
| 139 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK15 | | 5.07 | 533 | 外面: 灰白色10YR8/2, 内面: にぶい黄褐色10YR6/3 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ(-), 内面: ナデ(\) | | 刻目突帯, 繊維痕有り | |
| 140 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK15 | | 5.07 | 533 | 外面: 黒褐色10YR3/2, 内面: にぶい黄褐色10YR7/2 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ(-), 内面: ナデ(-) | | 刻目突帯, 繊維痕有り | |
| 141 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK15 | | 5.07 | 533 | 外面: 黒色2.5Y2/1, 内面: にぶい黄褐色10YR7/3 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ(-), 内面: ナデ(-) | | 刻目突帯, 繊維痕有り | |
| 142 | 古墳 | 甕 | 胴下部～底部 | SK15 | | 5.07 | 533 | 外面: 褐色10YR4/1, 内面: 灰黄褐色10YR5/2 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ(-) (\), 内面: ナデ(-) (\) | | 脚部剥落痕有り | |
| 143 | 古墳 | 壺 | 頸部～胴上部 | SK15 | | 5.07 | 533 | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 灰白色1YR8/2 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ(-), 内面: ユビオサエ・ナデ(-) | | | |
| 144 | 古墳 | 蓋 | 完形 | SK15 | | 5.11 | 441 | 外面: 橙色5YR6/6, 内面: にぶい黄褐色10YR7/2 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: ハケ(-)・打ち込み痕有り→ナデ(-) (), 摘み部ユビオサエ, 内面: ユビオサエ・ナデ(-) (\) | | | |
| 145 | 古墳 | 鉢 | 脚部～底部 | SK16 | | 5.2 | 501 | 外面: 浅黄褐色7.5YR8/4, 内面: にぶい橙色7.5YR7/4 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ(), 脚台接合部と裾部ナデ(-), 内面: 打ち込み痕有り・ハケ(-) (\), 脚台内面ユビオサエ・ナデ(-) | | | |
| 28 | 146 | 古墳 | 高環 | 環底部 | SK16 | | 5.17 | 503 | 外面: 浅黄褐色10YR8/2, 内面: 灰白色10YR8/2, 器内: 黄灰色2.5Y6/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: 工具によるナデ(-) (), 内面: ナデ(-), 工具痕有り | | |
| | 147 | 古墳 | 高環 | 環底部～脚部 | SK16 | | 5.16 | 502 | 外面: 顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面: 浅黄褐色7.5YR8/4類似 | 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ミガキ(-), 内面: 杯部ナデ(-) → ミガキ(-), 脚台内面: 工具痕有り・ナデ(-) | | 環底部赤色による線描有り |
| | 148 | 古墳 | 埴 | 底部 | SK16 | | | | 外面: 顔料の為 赤色10R5/6, 内面: 浅黄褐色7.5YR8/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ミガキ(-), 内面: ユビオサエ・ナデ(-) | | 内面底部粘土貼付, 赤色塗布 |
| | 149 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK18 | | | | 外面: 黒褐色10YR3/2, 内面: にぶい黄褐色10YR7/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ(\) (-), 内面: ナデ(?) | | 外面スス付着 |
| | 150 | 古墳 | 甕 | 底部 | SK18 | | | | 外面: にぶい橙色5YR7/4, 内面: にぶい橙7.5YR7/4 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ(-), 内面: 剥落, 脚台内面・爪痕 | | 脚部剥落 |
| 30 | 151 | 古墳 | 鉢か甕 | 口縁部～胴上部 | SK19 | | | | 外面: にぶい黄褐色10YR7/3, 内面: にぶい黄褐色10YR7/3 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒 | 外面: ナデ(-), 内面: ナデ(-) (\) | | |
| | 152 | 古墳 | 鉢 | 完形 | SK19 | | | | 外面: 顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面: にぶい黄褐色10YR7/3 | 角閃石, 石英, 白色粒 | 外面: ミガキ(), 内面: ユビオサエ・ナデ() | | 赤色塗布 |
| | 153 | 古墳 | 鉢 | 口縁部～胴上部 | SK19 | | | | 外面: 灰5Y5/1・淡黄色2.5Y8/3, 内面: 黄灰色2.5Y6/1・橙色2.5YR6/6 | 白色粒 | 外面: ミガキ(-), 内面: ミガキ(-) | | 赤色塗布 |
| | 154 | 古墳 | 甕 | 口縁部～胴部 | SK22 SK19 SK17 | | | | 外面: にぶい黄褐色10YR4/3・橙色7.5YR6/8, 内面: 橙5YR6/8・黄灰色2.5Y4/1 | 白色粒, 石英, 角閃石 | 外面: ナデ(-) (\), 内面: ハケ(-)・打ち込み痕有り・ナデ(-)・ユビオサエ | | 絡縄突帯, 内面コゲ付着 |
| | 155 | 古墳 | 鉢 | 口縁部～胴下部 | SK20 | | 5.08 | 505 | 外面: 淡褐色5YR8/3, 内面: 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: 打ち込み痕有り・ナデ(-) (/) (\), 内面: ユビオサエ・ハケ(-) (\)・工具痕有り→ナデ(-) (\) | | 外面スス付着 |
| | 156 | 古墳 | 甕 | 口縁部～胴上部 | SK20 | | 5.15 | 506 | 外面: にぶい黄褐色10YR7/3, 内面: にぶい黄褐色10YR7/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ(-) (\), 内面: ユビオサエ→ハケナデ(\) | | 刻目突帯 |
| 32 | 157 | 古墳 | 甕か鉢 | 口縁部～胴上部 | SK20 | | 5.15 | 506 | 外面: にぶい黄褐色7.5YR7/4, 内面: にぶい黄褐色7.5YR7/4, 器内: 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ(-) (\), 内面: ナデ(\)・ユビオサエ | | 絡縄突帯 |
| | 158 | 古墳 | 鉢 | 口縁部～胴上部 | SK20 | | 5.15 | 506 | 外面: 淡褐色5YR8/3, 内面: 淡褐色5YR8/4 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ナデ(\), 内面: ユビオサエ・ナデ(\) | | |
| | 159 | 古墳 | 鉢 | 口縁部～胴上部 | SK20 | | 5.15 | 506 | 外面: 灰白色10YR8/2, 内面: 灰白色10YR8/2 | 黒色粒, 白色粒 | 外面: 口縁部ナデ(\), 内面: ユビオサエ・ナデ(\) | | |
| | 160 | 古墳 | 甕 | 胴下部 | SK20 | | 6.6 | 542 | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 浅黄褐色7.5YR8/4, 器内: 黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ(-) (), 内面: ナデ(-) (\) (/) () | | |
| | 161 | 古墳 | 鉢 | 底部～脚部 | SK20 | | 5.15 | 506 | 外面: 明赤褐色2.5YR7/2類似, 内面: にぶい橙色7.5YR7/4 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面: ユビオサエ→ナデ(-), 内面: ナデ()脚台内面ユビオサエ・ナデ(-) | | |

Tab. 7 遺構内出土遺物観察表 (SK: 竪穴建物跡)

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 | | | |
|----------|-----|-----|--------|---------|----------|----|------|------|--|--|--|--|-------------------------|--|-------------|
| | 162 | 古墳 | 甕 | 胴下部~底部 | SK20 | | 6.6 | 542 | 外面:赤橙色10R6/6類似, 内面:にぶい黄橙色10YR7/3, 器肉:褐灰10YR6/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:胴部ハケ()・打ち込み痕有り→ナデ(→), 内面:胴部ユビオサエ・ナデ(), 脚台内面:ユビオサエ・ナデ(→) | 脚部接合痕有り | | | |
| 32 | 163 | 古墳 | 壺 | 胴部 | SK20 | | 5.18 | 536 | 外面:灰白色2.5Y7/1, 内面:灰白色10YR8/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ハケナデ(→)(), 胴部ミガキ(→), 内面:ユビオサエ・ハケナデ(→)()・打ち込み痕有り | 刻目突帯内工具痕有り | | | |
| | 164 | 古墳 | 甕 | 口縁部 | SK20 | | 6.6 | 542 | 外面:橙色5YR6/6, 内面:灰白色10YR8/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ハケ()・打ち込み痕有り→ナデ(?), 内面:ユビオサエ・ナデ(?) | 絡縄突帯 | | | |
| | 165 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~胴下部 | SK20 | | 6.6 | 542 | 外面:黄灰色2.5Y7/2, 内面:黄灰色2.5Y7/2類似 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ユビオサエ・ナデ(), 内面:ユビオサエ・ナデ() () () | 内面粘土接合部有り | | | |
| | 166 | 古墳 | 甕 | 胴上部 | SK20 | | | | 外面:褐灰色7.5YR4/1, 内面:にぶい黄橙色10YR7/3, 器肉:黄灰色2.5Y6/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:ナデ(→), 内面:ユビオサエ・打ち込み痕有り→ナデ(→) | 絡縄突帯, 外面スス付着 | | | |
| | 167 | 古墳 | 鉢 | 底部 | SK20 | | 6.6 | 542 | 外面:赤灰色2.5YR4/1, 内面:にぶい黄橙色10YR6/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ナデ(), 内面:ハケ(→)・打ち込み痕有り→ナデ(?) | | | | |
| 33 | 168 | 古墳 | 壺 | 胴上部 | SK20 | | 5.15 | 506 | 外面:灰白色10YR8/2, 内面:灰白色10YR8/1 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ハケ() 打ち込み痕有り・ナデ(→)(), 内面:ユビオサエ→ナデ(→) | 刻目突帯, 粘土貼付補修痕有り | | | |
| | 169 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK20 | | 5.03 | 508 | 外面:顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面:黄灰色2.5Y7/2 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ミガキ(→), 内面:ユビオサエ・ナデ? | 赤色塗布 | | | |
| | 170 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK20 | | | | 外面:黄灰色2.5Y7/2, 内面:灰白色2.5Y7/1類似 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ナデ(→)(), 内面:ナデ() | | | | |
| | 171 | 古墳 | 埴 | 頸部~底部 | SK20 | | 6.6 | 542 | 外面:明赤灰色2.5YR5/6, 内面:赤灰色2.5YR6/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:ミガキ(→), 内面:ナデ(→) | 内面接合痕有り | | | |
| | 172 | 古墳 | 鉢か甕 | 胴部 | SK24 | | | | 外面:暗黄2.5Y5/2, 内面:にぶい橙7.5YR7/4 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒 | 外面:ナデ(→), 内面:ナデ(?) | | | | |
| | 173 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~胴部 | SK24 | 表採 | | | 外面:浅黄橙色10YR8/3類似, 内面:浅黄橙色10YR8/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ユビオサエ・ナデ(→)(), 内面:ユビオサエ・ナデ(→)() | 片口鉢か | | | |
| | 174 | 古墳 | 埴か | 口縁部 | SK24 | | | | 外面:顔料の為 赤色10R4/6, その他浅黄橙色10YR8/3, 内面:浅黄橙色10YR8/3 | 白色粒 | 外面:ナデ?, 内面:ナデ? | 赤色塗布 | | | |
| 34 | 175 | 石器 | 二次加工剥片 | | SK25 | | | | 長5.4×幅10.6×厚1 重量:75.6g | | 刃部直交方向の線状痕有り | 頁岩 | | | |
| | 176 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK26 | | | | 外面:浅黄橙色10YR8/3, 内面:灰黄褐色10YR8/2, 器肉:黄灰色2.5Y5/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ナデ(→), 内面:ハケ(→)() () () ナデ | 刻目突帯 | | | |
| | 177 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK26 | | | | 外面:灰褐色7.5YR5/2, 内面:にぶい黄橙色10YR7/2 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ナデ(→), 内面:ナデ(?) | 絡縄突帯 | | | |
| | 178 | 古墳 | 鉢 | 口縁部 | SK26 | | | | 外面:にぶい黄橙色10YR6/4, 内面:灰白色10YR8/2 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:ナデ(→), 内面:ナデ? | 絡縄突帯 | | | |
| | 179 | 古墳 | 鉢 | 脚部 | SK26 | | | | 外面:橙色5YR7/6, 内面:にぶい橙色5YR7/4 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ナデ(→), 内面:ナデ(→) | 内面接合痕有り | | | |
| | 180 | 古墳 | 壺 | 胴下部~底部 | SK17 | | 4.99 | 490 | 外面:にぶい橙色7.5YR6/4, 内面:にぶい橙色5YR6/4 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:ユビオサエ・ナデ(), 内面:ユビオサエ・ナデ(→)() | | | | |
| | 181 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK27 | | | | 外面:顔料の為 にぶい赤褐色5YR5/4, 内面:灰白色2.5Y7/1 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 白色粒 | 外面:ミガキ(→), 裾部ナデ(), 内面:ユビオサエ・ナデ(?) | 赤色塗布 | | | |
| 36 | 182 | 古墳 | 埴 | 完形 | SK17 | | 5 | 504 | 外面:浅黄橙色10YR8/3, 内面:浅黄橙色10YR8/3 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ナデ(→), 内面:ナデ(→), 内面底部:ユビオサエ・打ち込み痕有り | | | | |
| | 183 | 石器 | 軽石加工品 | | SK27 | | | | 長29.7×幅11.5×厚8.9 重量:765g | | 凹穴・線刻有り | | | | |
| | 184 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~底部 | SK28上 | | 4 | 548 | 352 | 外面:浅黄橙色10YR8/3, 内面:浅黄橙色10YR8/3類似 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 透明粒 | 外面:ナデ(→)(), 内面:ユビオサエ・ナデ(→)(), 脚台内面:ユビオサエ・ナデ(→) | 脚部剥落部指頭痕有り | | |
| | 185 | 古墳 | 甕 | 胴上部~脚部 | SK28上 | | 4 | 5.53 | 345 | 外面:灰白色10YR8/1, 内面:灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ナデ(→)() (), 脚台ユビオサエ・ナデ() (→), 内面:ユビオサエ・ナデ() (→)(), 脚台内面ユビオサエ・ハケ(→)・打ち込み痕有り→ナデ(→) | 内燃底部コゲ付着 | | |
| | 186 | 古墳 | 鉢か甕 | 口縁部~胴上部 | SK28上 | | 4 | 5.52 | 357 | 外面:灰白色10YR8/3浅黄褐色, 内面:にぶい黄橙色10YR7/2 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ユビオサエ・ナデ(→)(), 内面:ハケ()・ユビオサエ | 絡縄刻目突帯 | | |
| | 187 | 古墳 | 鉢か甕 | 胴下部~脚部 | C1 SK28上 | | 4 | 5.34 | 207 | 5.55 | 346 | 外面:灰白色10YR8/1, 内面:灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ユビオサエ・ナデ(→), 内面:ユビオサエ・ナデ?, 脚台内面ユビオサエ→打ち込み痕有り, ナデ() (→) | 脚部剥落部に指頭痕有り |
| 38 | 188 | 古墳 | 甕 | 胴下部~脚部 | SK28上 | | 4 | 5.54 | 355 | 5.52 | 357 | 外面:灰白色10YR8/1, 内面:浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ユビオサエ・ナデ(→)() (), 内面:ユビオサエ・ナデ(→)() (), 打ち込み痕有り, 脚台内面ユビオサエ・ナデ() (→) | 外面スス付着 |
| | 189 | 古墳 | 壺 | 胴部 | SK28上 D2 | | 4 | 5.54 | 348 | 外面:にぶい橙色7.5YR7/4, 内面:にぶい黄橙色10YR7/4, 器肉:黄灰色2.5Y6/1 | 石英, 角閃石, 白色粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面:ナデ(→), 内面剥落 | 幅広突帯 | | |
| | 190 | 古墳 | 鉢か壺 | 胴下部~底部 | SK28上 | | 4 | 5.52 | 357 | 外面:にぶい橙色7.5YR7/4, 内面:浅黄褐色10YR8/4, 器肉:黄灰色2.5Y6/1 | 石英, 角閃石, 黒色粒, 赤色粒, 白色粒 | 外面:ユビオサエ・ナデ(→)() (), 内面:ユビオサエ・ハケ() () | 内面底部剥落 | | |
| | 191 | 須恵器 | 甕か壺 | 口縁部 | SK28上 | | 4 | 5.55 | 347 | 外面:灰白色N7/0, 内面:灰白色N7/0 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:回転ナデ, 内面:ナデ | 内面自然釉付着 | | |
| | 192 | 須恵器 | 高環 | 環部 | SK28上 | | 4 | 5.49 | 353 | 外面:灰オリーブ色5Y6/2, 内面:灰色7.5Y5/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:回転ナデ, 内面:ナデ | | | |
| | 193 | 古墳 | 壺 | 胴部 | SK28上 | | 4 | 5.53 | 308 | 外面:橙色2.5YR6/8・灰白色10YR8/2, 内面:橙色:7.5YR7/6 器肉:黄灰色2.5Y5/1 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 白色粒 | 外面:ユビオサエ・ナデ(→), 内面:ナデ() | | | |
| | 194 | 古墳 | 壺 | 胴下部~底部 | SK28上 | | 4 | 5.47 | 310 | 外面:浅黄褐色10YR8/3, 内面:灰白色10YR8/2, 器肉:黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面:ナデ(), 内面:ユビオサエ・ハケ(→)・ナデ() | | | |
| 39 | 195 | 須恵器 | 甕 | 頸部 | SK28上 | | 4 | 5.49 | 306 | 外面:灰白色N7/0・暗灰色N3/0, 内面:灰色N5/0 | 赤色粒, 白色粒 | 外面:ユビオサエ・平行タキ→ハケナデ, 内面:ユビオサエ・同心円タキ→ナデ | | | |
| | 196 | 古墳 | 甕 | 口縁部~胴下部 | SK28上 | | 4 | 5.28 | 373 | 外面:浅黄褐色2.5Y8/3類似, 内面:橙色7.5YR7/6 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒, 透明粒, 黒色粒 | 外面:口縁部ハケ(), 胴部ユビオサエ・ナデ(?), 内面:ユビオサエ・ナデ() () | | | |

Tab. 8 遺構内出土遺物観察表 (SK : 竪穴建物跡)

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|----|-----------|-------------|---------|----|------|------|--|----------------------------|---|--|
| 39 | 197 | 古墳 | 甕 | 口縁部～ 胴下部 | SK28上 | 4 | 5.24 | 374 | 外面：浅黄橙色10YR8/3, 内面： 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：口縁部ユビオサエ・ナデ (—), 胴部ナデ (\\), 内面：ユビオサエ・ナ デ (\\) | 絡繩突帯, 穿孔 有り, 外面スス 付着, 吹きこぼ れ痕有り |
| | 198 | 古墳 | 壺 | 胴上部～ 底部 | SK28上 | 4 | 5.26 | 373 | 外面：灰白色10YR8/1類似, 内面： 浅黄橙色：10YR8/3 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒, 赤色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ ()(—), 内面： ユビオサエ・ハケ (\\)・打ち込み痕 有り | 底部へこみ有り |
| | 199 | 古墳 | 鉢 | 完形 | SK28 | | 4.98 | 486 | 外面：にぶい黄橙色10YR7/4, 内面：浅黄橙色10YR8/3 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ハケ (—)・工具 痕有り ()・ナデ () (\\), 内面： ユビオサエ・ハケ (\\) (), 工具痕 有り, ナデ (—) | 内面接合線有り |
| | 200 | 古墳 | 壺 | 完形 | SK28 | | 4.95 | 487 | 外面：にぶい黄橙色10YR7/3, 内面：にぶい黄橙色10YR7/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：口縁部ユビオサエ・ナデ (—), 胴部ユビオサエ, 工具痕有り・ナデ (), 内面：口縁部ハケ (—) (\\)・ ナデ (—)・ユビオサエ, 胴部ナデ? | |
| | 201 | 古墳 | 壺 | 口縁部～ 頸部 | SK28 | | 4.97 | 488 | 外面：にぶい黄橙色10YR7/4, 内面：にぶい黄橙色10YR7/4 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：口縁部ユビオサエ・ナデ (—), 胴部ナデ (—) (\\), 内面：ユビオサ エ→ナデ (—) | 刻目突帯, 内面 接合線有り |
| 40 | 202 | 古墳 | 甕 | 口縁部～ 胴上部 | SK28 | | 4.99 | 519 | 外面：橙色5YR7/6, 内面：橙色 7.5YR7/6 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ?, 内面：ユ ビオサエ・ナデ (—) | 絡繩突帯 |
| | 203 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK28 | | 4.99 | 519 | 外面：橙色7.5YR7/6, 内面：橙 色5YR6/6 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ (?), 内面：ナデ (?) | 絡繩突帯 |
| | 204 | 古墳 | 甕 | 口縁部～ 胴上部 | SK28 | | 5.02 | 522 | 外面：にぶい黄橙色10YR7/3・ 黒色N1.5/0, 内面：にぶい黄橙 色10YR7/2 | 黒色粒, 白色粒, 透明 粒 | 外面：ナデ (\\) (—), 内面：ナデ (\\) (—) | |
| | 205 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK28 | | | | 外面：にぶい黄橙色10YR7/3, 内面：にぶい黄橙色10YR7/3, 器肉：黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ (\\) (—), 内面：ユビオ サエ・ナデ (—) | 刻目突帯 |
| | 206 | 古墳 | 甕 | 胴部 | SK28 | | | | 外面：灰黄褐色10YR4/2, 内面： 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (\\), 内面： ナデ? | 絡繩突帯, 外面 スス付着 |
| | 207 | 古墳 | 甕 | 胴下部 | SK28 | | 4.99 | 519 | 外面：橙色7.5YR7/6, 内面：灰 白色10YR8/2, 器肉：黄灰色 2.5Y6/1 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ (—) ()・ユビオサエ, 内面：ナデ (—)・ユビオサエ | |
| | 208 | 古墳 | 甕 | 胴下部～ 脚部 | SK28 | | 4.98 | 521 | 外面：浅黄橙色7.5YR8/3, 内面： 灰白色2.5Y8/2 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ハケ ()・打ち込み痕有り→ ナデ (—), 内面：ハケ (\\)・打ち込 み痕有り・ユビオサエ・ナデ (?), 脚 台内面：ユビオサエ・ハケ (—)・打 ち込み痕有り→ナデ (—) | 脚台内面接合線 有り |
| | 209 | 古墳 | 壺 | 胴部 | SK28 | | 5.02 | 522 | 外面：橙色5YR6/6, 内面：橙色 5YR6/6 | 白色礫, 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ (—), 内面：剥落 | |
| | 210 | 古墳 | 高環 | 環部 | SK28 | | 5.05 | 520 | 外面：顔料の為 赤色10R5/8・ 浅黄橙色10YR8/3, 内面：浅黄 橙色10YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ミガキ (—), 内面：ナデ (—) | 赤色塗布 |
| 41 | 211 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK28 | | | | 外面：顔料の為 赤褐色 2.5YR4/6, 内面：黒色7.5YR2/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：ミガキ () (—), 内面：ナデ () | 赤色塗布, 内面 粘土貼付補修痕 |
| | 212 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK28 | | 4.99 | 519 | 外面：顔料の為 赤色10R5/8, 内面：灰白色5YR8/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ミガキ (—) | 赤色塗布 |
| | 213 | 古墳 | 高環 | 脚部 | SK28 | | | | 外面：顔料の為 赤褐色 2.5YR4/8, 内面：褐灰色7.5YR6/1 類似 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：ミガキ (—), 内面：ナデ (?), 工具痕あり | 赤色塗布 |
| | 214 | 古墳 | 埴 | 底部 | SK28 | | 5.05 | 495 | 外面：灰白色2.5Y8/2, 内面：浅 黄橙色7.5YR8/6 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ミガキ?, 内面：ナデ? | |
| | 215 | 古墳 | 埴 | 底部 | SK28 | | | | 外面：顔料の為 明赤褐色 2.5YR5/8, 内面：灰白色 10YR8/2, 器肉：黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ミガキ (—), 内面：ナデ (?) | 赤色塗布 |
| | 216 | 石器 | 砥石 | | SK28 | | 4.98 | 518 | 長5.1×幅4.9×厚2.8 重量;58.8 g | | 磨面カーブ有り | 凝灰岩 |
| | 217 | 石器 | 磨石・ 敲石 | | SK28 | | 4.98 | 518 | 長16.3×幅9.9×厚4.9 重量;1240 g | | 両先端敲打痕有り | 硬質砂岩 |
| 42 | 218 | 古墳 | 鉢か甕 | 口縁部～ 胴上部 | D1 溝 | | | | 外面：にぶい黄橙色10YR6/4, 内面：灰白色7.5YR8/2 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ?, 内面：ユビオサエ, ナデ? | 外面スス付着 |
| | 219 | 古墳 | 壺か鉢 | 底部 | C4 溝 | | | | 外面：にぶい黄橙色10YR7/4, 内面：にぶい黄橙色10YR7/3 | 軽石, 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ミガキ (—) (), 内面：ユビオサエ・ナデ (—) | 内面底部粘土貼 付 |

6-4. 4・5層包含層出土遺物

4層包含層出土遺物

4層包含層出土遺物は、本調査区出土遺物量の主体を占める。そのほとんどの遺物は、古墳時代後期を中心とする笹貫式期段階の遺物であり、弥生土器が10点ほど出土しているほか、ごく少数古代・中世の遺物も含まれている。4・5層出土遺物分布図はFig.43に示す。

4層上面では、先述のとおり土器集積遺構に関わると思われる土器小片や自然礫・軽石などが敷きつめられたように多数出土している。しかし遺物取上の際、その多くの遺物は地区毎に一括で取り上げられており、また平

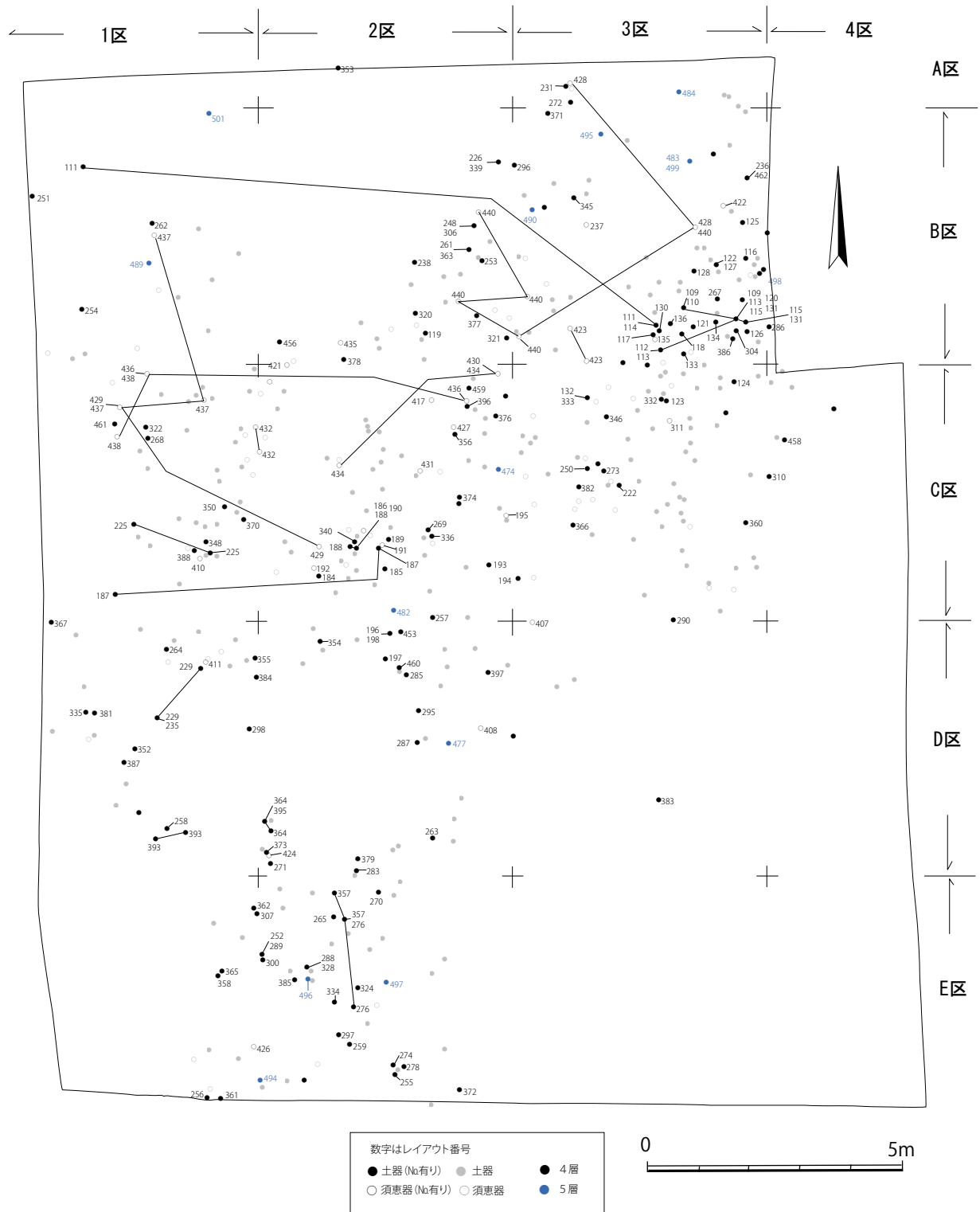


Fig. 43 4・5層包含層出土遺物分布図

Tab. 9 3～5層地区別包含層出土遺物重量表

| | A1区 | A2区 | A3区 | AB-1 | B1区 | B2区 | B3区 | B4区 | C1区 | C2区 | C3区 | C4区 | D1区 | D2区 | D3区 | D4区 | E1区 | E2区 | E3区 | E4区 |
|----|------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|---------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 3層 | | | | | 2.24 | 0.195 | 1.12 | | 0.17 | 1.74 | | | 0.03 | 0.52 | 0.035 | | | 0.015 | | |
| 4層 | 6.59 | 14.935 | 20.915 | 0.025 | 63.645 | 74.495 | 139.86 | 0.125 | 50.415 | 130.915 | 99.57 | 33.525 | 76.58 | 66.035 | 42.145 | 15.605 | 41.13 | 93.045 | 14.03 | 18.015 |
| 5層 | | 2.55 | 1.275 | 0.195 | 7.875 | 8.115 | 4.46 | | 2.19 | 1.115 | 3.805 | 2.765 | 4.66 | 4.155 | 4.89 | 0.49 | 2.025 | 10.895 | 2.565 | 2.415 |

(単位:Kg) 参考: Fig.40 №200 小型壺 1.03kg / №199 鉢0.7kg

Tab.10 各土器器種別部位・形態

| 器種 | 部位 | 形態 |
|----|--------|--|
| 甕 | 口縁部 | 1. 緩やかに外反するもの 2. 直立またはわずかに外反するもの 3. 緩く内湾するもの |
| | 脚台内面形態 | 1. 天井部が丸いもの 2. 天井部が平坦なもの 3. 緩やかな膨らみがあるもの 4. 天井部にヘソ状の突起をもつもの |
| 鉢 | 口縁部 | — |
| | 全形 | 1. 口縁部は直立もしくはやや内湾し、脚台をもつもの 2. 口縁部は直立もしくはやや内湾し、平底のもの 3. コップ形状のもの 4. その他 |
| | 底部形態 | 1. 脚台をもつもの 2. 平底もしくはややあげ底のもの 3. 丸底 |
| 壺 | 口縁部 | 1. ほぼ直立もしくは端部がやや外反するもの 2. 口縁部が斜めに直線的に開くもの 3. 緩く外反するもの 4. 短頸のもの |
| | 底部 | 1. 平底のもの 2. 凸レンズ状の厚みのあるもの 3. 丸底 |
| | 突帯 | 1. 幅広突帯(ヘラ状工具による沈線、竹管文、沈線+竹管文ほか) 2. 頸部突帯(刻目突帯、絡縄突帯、竹管文、ヘラ状工具による沈線ほか) |
| 高環 | 環部 | 1. ほぼ直線状もしくは緩く外反して開くもの 2. 口唇部がやや外反するもの 3. 脚との接合部、形状不明 4. 形状不明であるが高環環部の口縁部 |
| | 脚部 | 1. 脚円柱部が充填しているもの 2. 脚円柱部の中間部まで中空になっているもの 3. 脚円柱部が中空のもの 4. 形状不明脚柱部 5. 脚裾部 |
| 埴 | 口縁部 | 1. 直線もしくはやや外反して開くもの 2. 内湾するもの |
| | 底部 | 1. 平底のもの 2. ややあげ底のもの 3. 丸底 |
| | 胴部 | 1. 丸く湾曲するもの 2. 屈曲部をもつもの |

板測量で取り上げられた460点の遺物についても、4層上面の土器集積遺構出土遺物と4層包含層出土遺物とを、当時の調査データから判別して分離して検討することが困難であったため、全て包含層遺物としてここで報告する。

また、出土土器は小片のものが多く、器種・形状も不明瞭なものがほとんどである。そのため、3～5層別の各地区の全出土土器重量を計測している (Tab.9)。そして、器種・形状が分かるものについては、各器種の部位・形態ごとにカウントしている (Tab.10)。

a) 弥生土器 (Fig. 44 220～224)

10点ほど出土しているが、ほとんどが甕の口縁部で、壺の胴部かと思われる小片が1点ある。口唇部がわずかにくぼんでいるものがほとんどであり、全て弥生中期の incoming II 式の甕と思われる。図化していない甕の口縁部も、共通する特徴を有している。

Tab. 11 4層包含層出土土器種別個体点数

| | | A1区 | A2区 | A3区 | B1区 | B2区 | B3区 | B4区 | C1区 | C2区 | C3区 | C4区 | D1区 | D2区 | D3区 | D4区 | E1区 | E2区 | E3区 | E4区 | E区 | 不明 | |
|----------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|--|
| 弥生土器 | | | | | | 1 | 1 | | | 1 | 4 | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | | | | | |
| 甗貫式土器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 蓋形土器 | 口縁部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 緩く外反 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | 2 直立やや反 | | 1 | 1 | | 5 | 9 | | 3 | 6 | | | 3 | 7 | 1 | | 4 | 13 | 1 | 1 | | | |
| | 3 緩く内湾 | | | 3 | | 1 | | | | 4 | | | 3 | 4 | | | 3 | 2 | | 1 | | | |
| | 脚台内面形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 丸く凹む | | | 1 | 2 | 4 | 3 | | | 1 | 4 | 2 | 2 | | | | | 4 | | | | | |
| | 2 平坦 | | | | 3 | 3 | 36 | | 8 | 13 | 20 | 7 | 11 | 7 | 2 | 2 | 11 | 18 | 5 | | | | |
| | 3 膨らみ有り | | 2 | 4 | 1 | 3 | 12 | 1 | 6 | 27 | 19 | 4 | 10 | 14 | 1 | | 4 | 18 | 1 | 2 | | | |
| | 4 突起有り | | | 1 | 1 | | 27 | | 5 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | | | | 1 | | 1 | | | |
| | 鉢形土器 | 鉢形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 直・内湾+脚 | | | | | | | 6 | | 3 | 2 | 1 | 2 | | 1 | | | | 4 | | | | | |
| 2 直・内湾+平 | | | | | 2 | 2 | 3 | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 | | | | | |
| 3 コップ | | | 1 | | 1 | | 5 | | 1 | 3 | 3 | 2 | 6 | 2 | 1 | | | | 1 | | | | |
| 4 その他 | | | | 1 | | 1 | 1 | | | 2 | | | | 1 | | | 1 | | 1 | | | | |
| 底部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 脚 | | | 1 | 2 | | 4 | 5 | | 2 | 3 | 3 | | | 4 | | | | 4 | | | | | |
| 2 平底・あげ底 | | | 1 | 3 | 2 | 7 | 14 | | 11 | 18 | 18 | 3 | 4 | 5 | 3 | | 5 | 16 | 1 | 1 | | | |
| 3 丸底 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 口縁部 | | | | | | | 3 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 壺形土器 | 口縁部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 直立端部外反 | | | | | 2 | 1 | | | 3 | 2 | | 1 | 3 | | | | 1 | | | | 1 | |
| | 2 斜め | | | | | 2 | 3 | | | 1 | 1 | | | 1 | | | | 2 | 1 | | | | |
| | 3 緩く外反 | | | | | 1 | 2 | | 1 | 2 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | |
| | 4 短頸 | | | | | | 2 | | 5 | 1 | 1 | | 2 | 1 | | | 1 | 1 | | | | | |
| | 底部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 平底 | | 2 | | 2 | 3 | 11 | | 5 | 7 | 15 | 3 | 5 | 4 | 4 | | 4 | 13 | | | | 1 | |
| | 2 凸レンズ状 | | | | 2 | 2 | 4 | | 1 | 6 | 1 | 1 | 3 | 4 | 3 | 1 | | 2 | | | | | |
| | 3 丸底 | | 1 | | 1 | 2 | 5 | | 3 | 2 | 4 | 1 | | 4 | | | 3 | 6 | | | | 1 | |
| | 突帯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 幅広突帯 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 8 | | 5 | 11 | 7 | 2 | 9 | 8 | 8 | 4 | 2 | 13 | 3 | | | 3 | | |
| 2 頸部突帯 | 1 | 1 | 1 | 5 | 5 | 13 | | 1 | 4 | | | | 1 | 4 | 1 | 1 | 1 | 6 | | | 2 | | |
| 高坏形土器 | 坏部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 丸く内湾 | | | | | 1 | 5 | | 3 | | 1 | | 3 | 1 | | | 4 | | | 1 | | 1 | |
| | 2 口唇やや外反 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 接合部 | | | 2 | | | 9 | | 2 | 4 | 5 | | 3 | 4 | 1 | 1 | 3 | 8 | 1 | | | 5 | |
| | 4 不明口縁 | 1 | | 2 | 3 | 1 | 4 | | 4 | 9 | 7 | | 5 | | 1 | | 2 | | 2 | 2 | | 5 | |
| | 脚部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 脚柱部充填 | | | | | 2 | 3 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 2 中間部中空 | | | 2 | 1 | 4 | 19 | 1 | 10 | 19 | 15 | 3 | 12 | 14 | 2 | | 7 | 20 | | | | 3 | |
| | 3 中空 | | | | | | 3 | | 3 | 1 | 3 | | | | 1 | | | 2 | | | | 1 | |
| | 4 形状不明 | | 2 | 5 | | 1 | 14 | 1 | 7 | 20 | 12 | 4 | 6 | 5 | 3 | 1 | 20 | 13 | 5 | 5 | | 6 | |
| 5 脚裾部 | | | 6 | 3 | 4 | 58 | | 5 | 21 | 19 | 4 | 16 | 16 | 4 | | 19 | 19 | | | | | | |
| 埴形土器 | 口縁部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 直線・やや外反 | | | 2 | | 1 | | | 2 | 1 | 2 | | 1 | | | | 1 | | | | | | |
| | 2 内湾 | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | | | | | |
| | 底部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 平底 | 1 | 2 | 2 | 5 | | 4 | | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 1 | 1 | 7 | | | | | |
| | 2 ややあげ底 | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| | 3 丸底 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 丸 | | 1 | | | | 2 | | 4 | 2 | | 1 | 2 | 6 | 3 | | | 1 | | | | | |
| | 2 屈曲 | | | 2 | 4 | | 4 | | 3 | 1 | 3 | 2 | 6 | 4 | 1 | 1 | 7 | 2 | | | | 5 | |

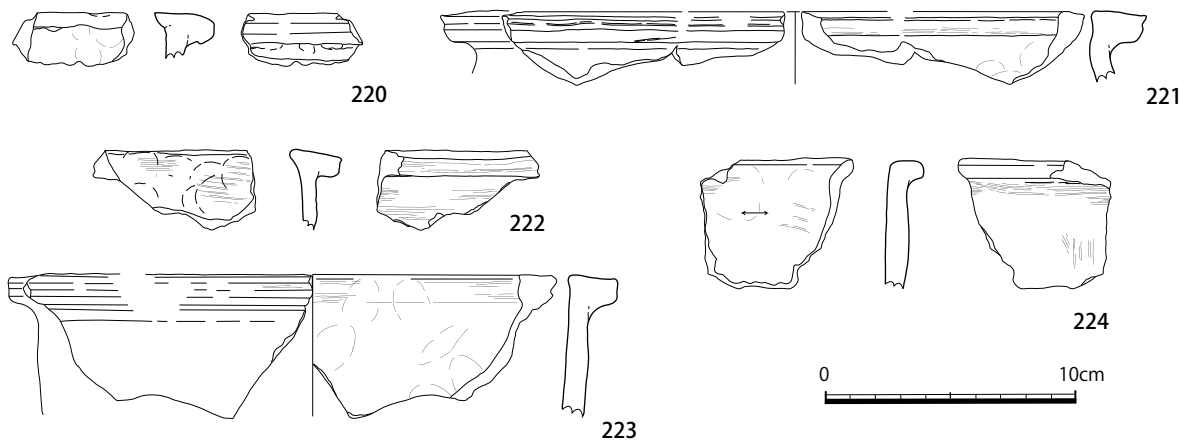
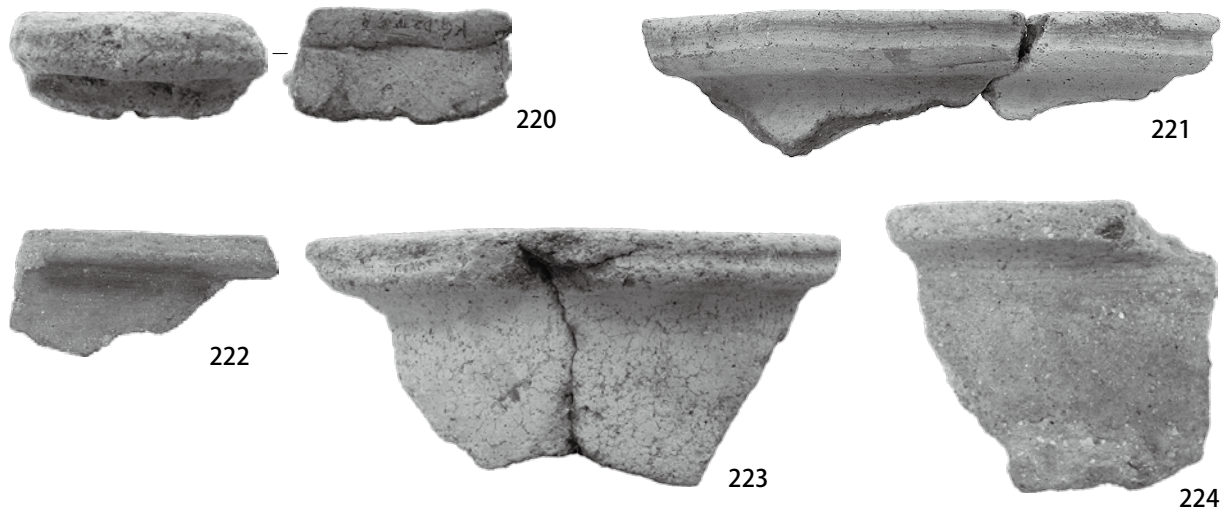


Fig. 44 4層出土土器(1) 弥生土器



PL. 40 4層出土土器(1) 弥生土器

b) 甕 (Fig. 45 ~ 48 225 ~ 275)

甕と思われる破片の遺物量は、相対的に他器種に比べ多い。形態としては、広口で脚部をもつものである。

口縁部形態は屈曲するものはほとんどなく、ゆるく外反するもの、直立またはやや内湾しながら開くもの(225 ~ 227・231 ~ 247)、ゆるく内湾するもの(248・249)などが認められる。突帯は1条の絡縄突帯が多く、226は突帯の上側だけ工具によってなでつけている。そのほか、刻目突帯もみられるが、その刻みの形状は、幅が細いもの(232・245)、やや幅の広い刻み(225・230・247)、刻み内部に組織痕が認められるもの(228・234・239)、竹管文が施文されるもの(236)など、工具による相違がみられる。また、突帯上部外面側に粘土を重ね、突帯下部より器厚が厚くなっているものが数点みられ、一部は突帯に粘土が被さっているものもある(229・230・234・242・244)。この痕跡は、時間をおいて上部を付け加えた製作工程の時間差を示している可能性がある。また、粘土貼付の痕跡を示すものもいくつかみられる(235・237・241)。ひび割れなどの補修を行ったものと思われる。

250 ~ 275は、甕もしくは鉢と思われる底~脚部である。257・267の内面底部には、コゲが認められる。

脚台内面の形状は、天井部が丸く凹むもの(250 ~ 225)、平坦なもの(256 ~ 259)、わずかに中央部が膨らむもの(260 ~ 266)、明瞭に膨らむもの(267 ~ 274)がある。製作技法としては、胴部と脚台部は別々に製作され、接合されているものがほとんどである。平坦な底部に脚台が接合されているもの(256)もある

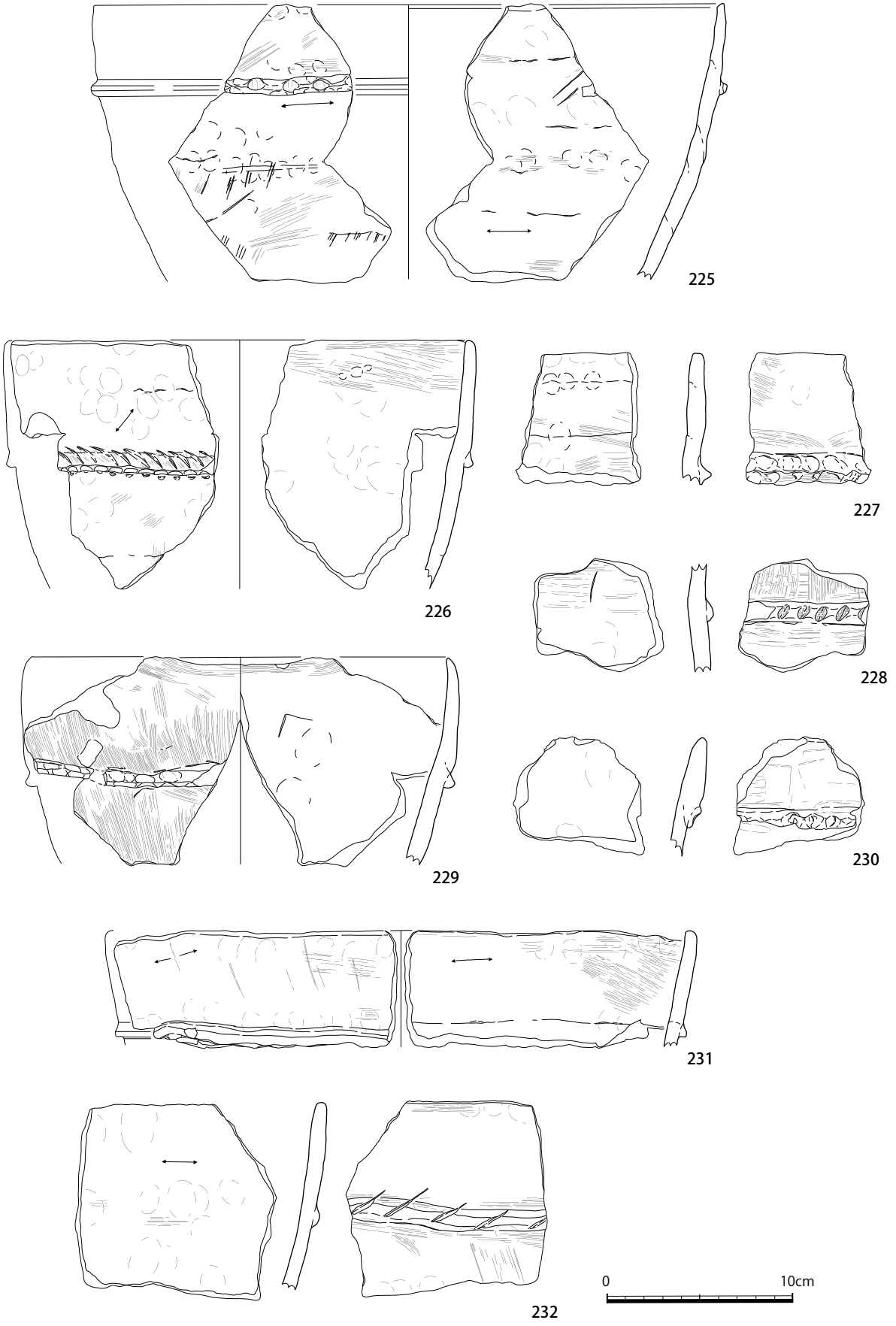
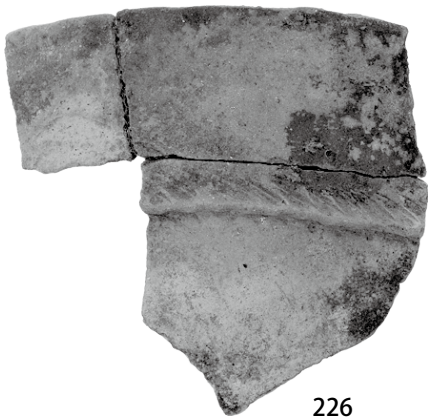


Fig45 4層出土土器(2)古墳時代・甕



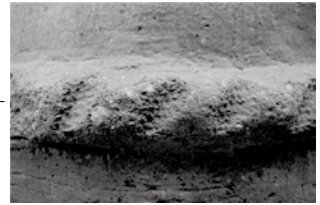
225



226



228



228 突帯布目压痕



227



229



230



231



232

PL. 41 4層出土土器(2)古墳時代・甕

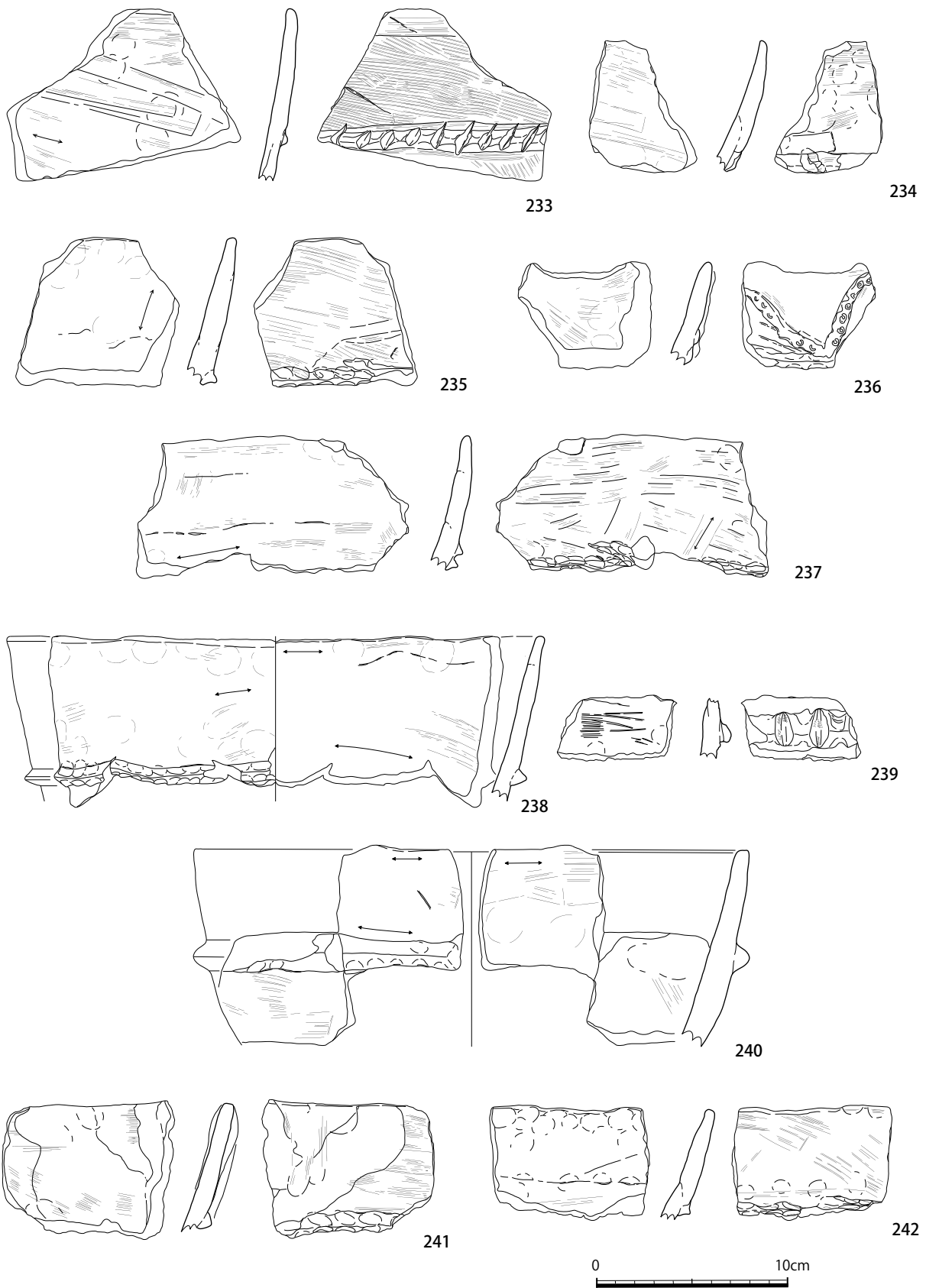
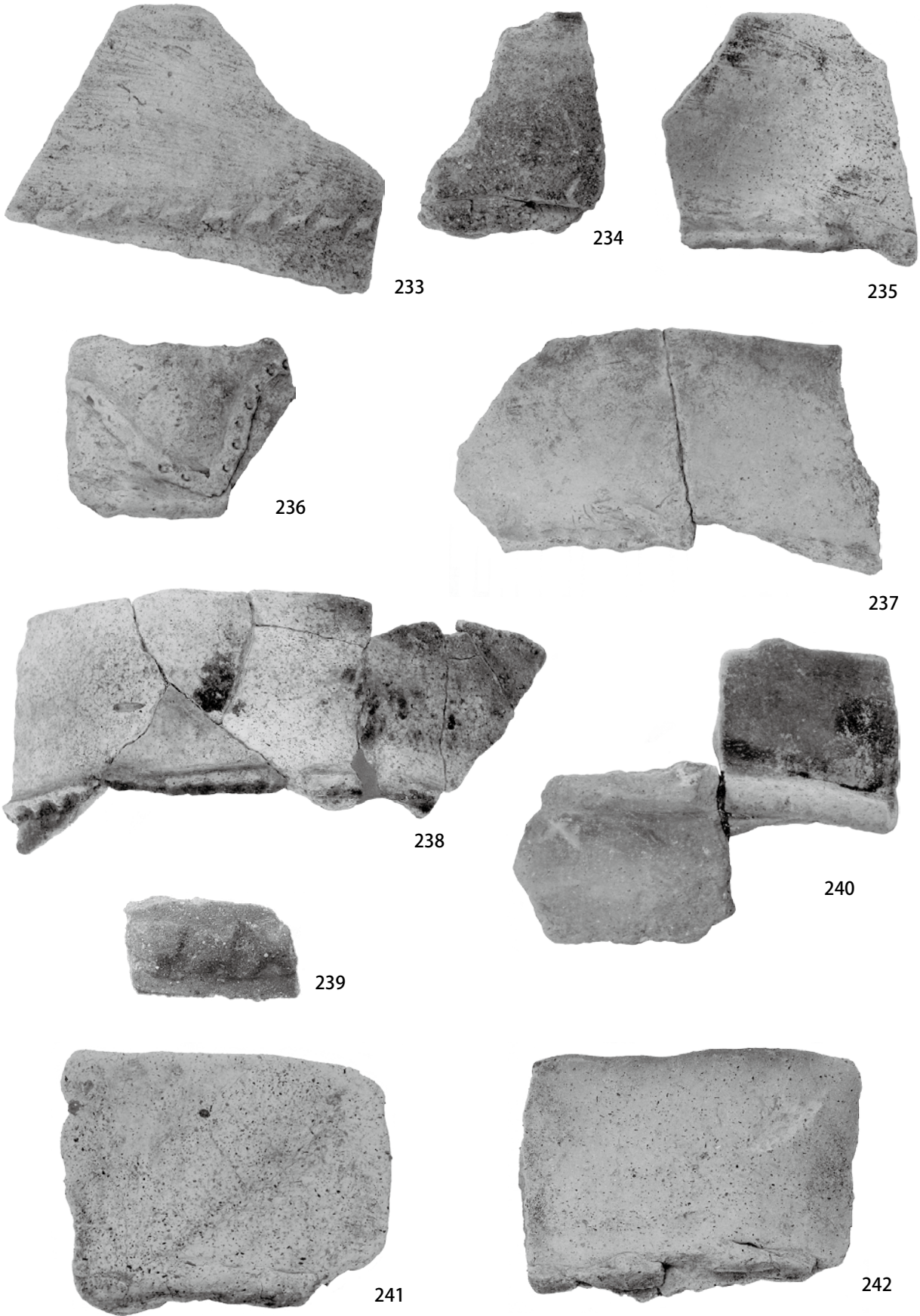


Fig. 46 4層出土土器 (3) 古墳時代・甕



PL. 42 4層出土土器(3)古墳時代・甕

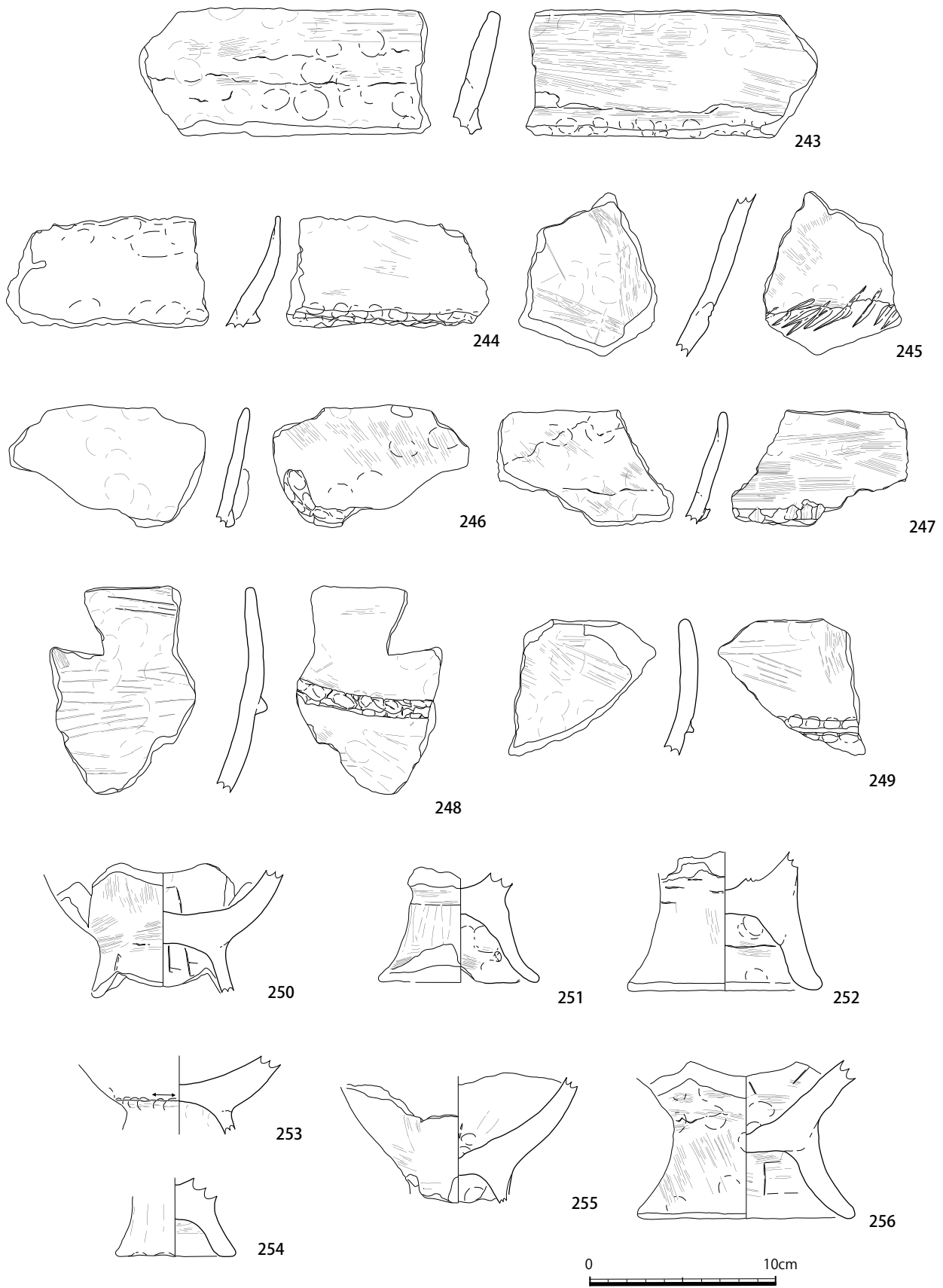
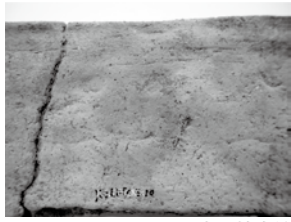


Fig. 47 4層出土土器 (4) 古墳時代・甕



243 内面接合線



243



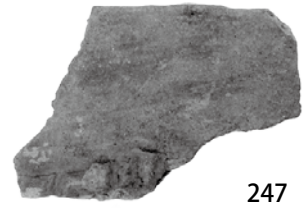
244



245



246



247



248



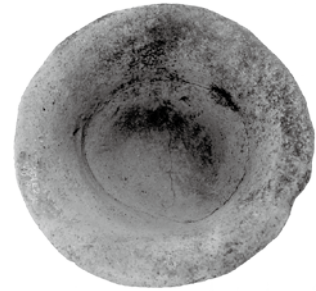
249



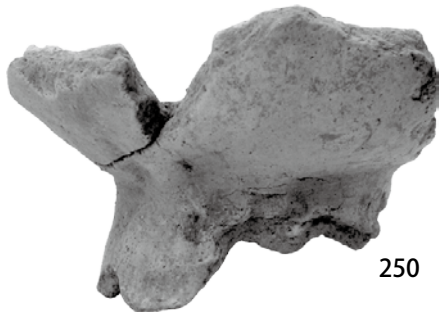
252



251



252 脚台内面



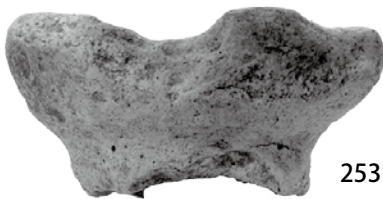
250



254



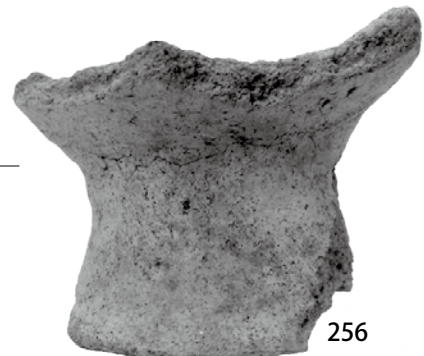
255



253



256 脚接合部



256

PL. 43 4層出土土器(4) 古墳時代・甕

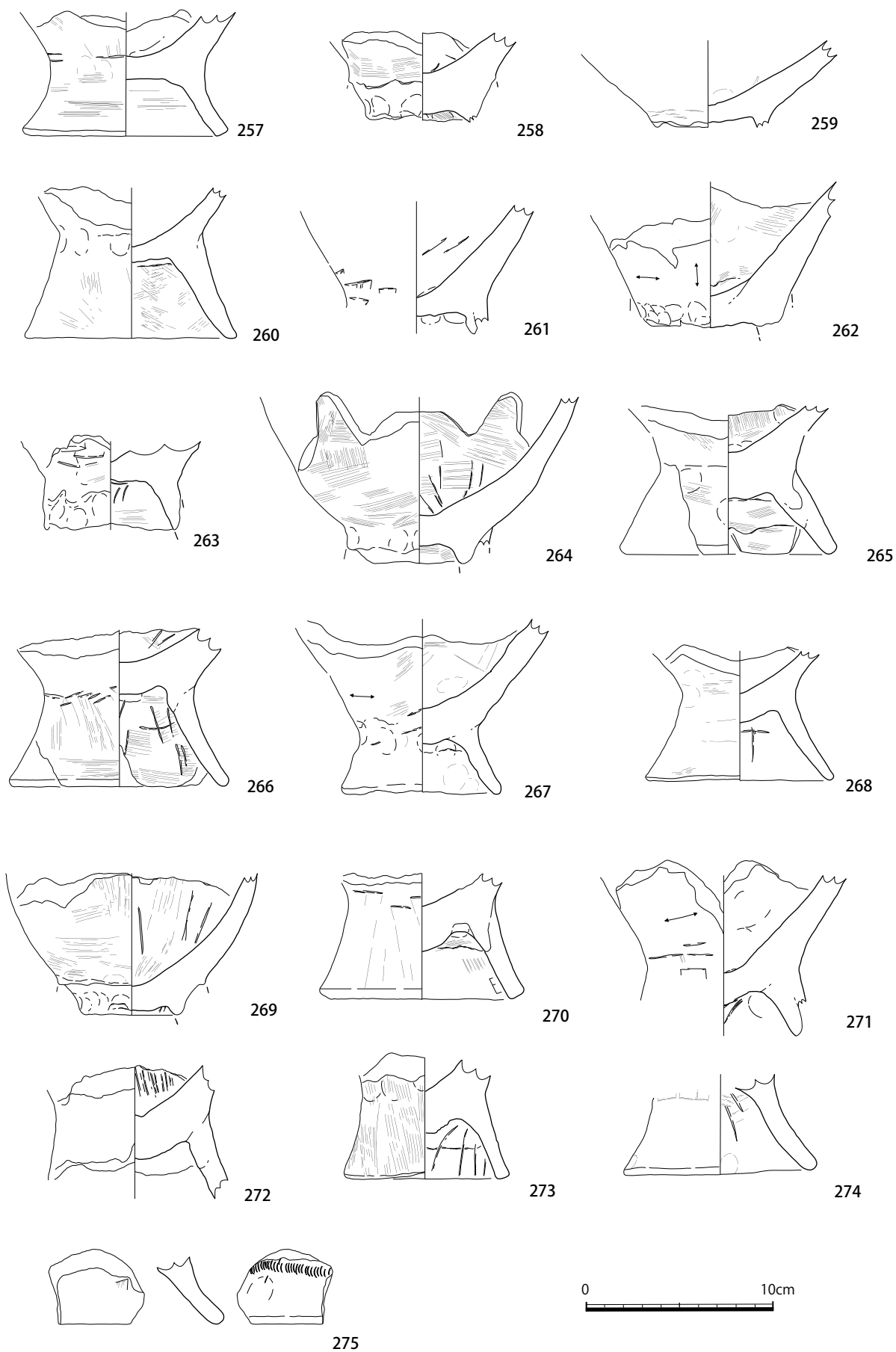
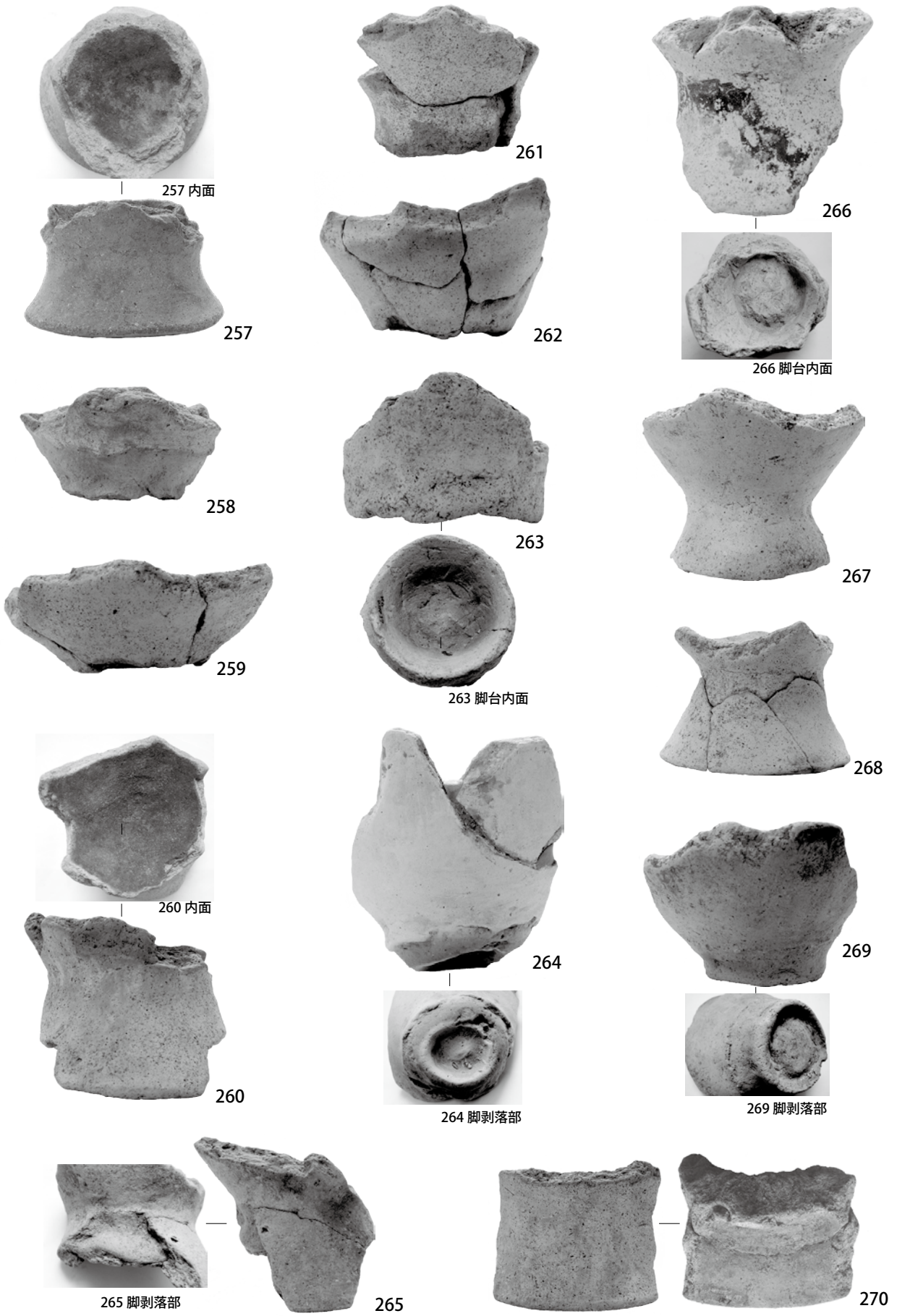
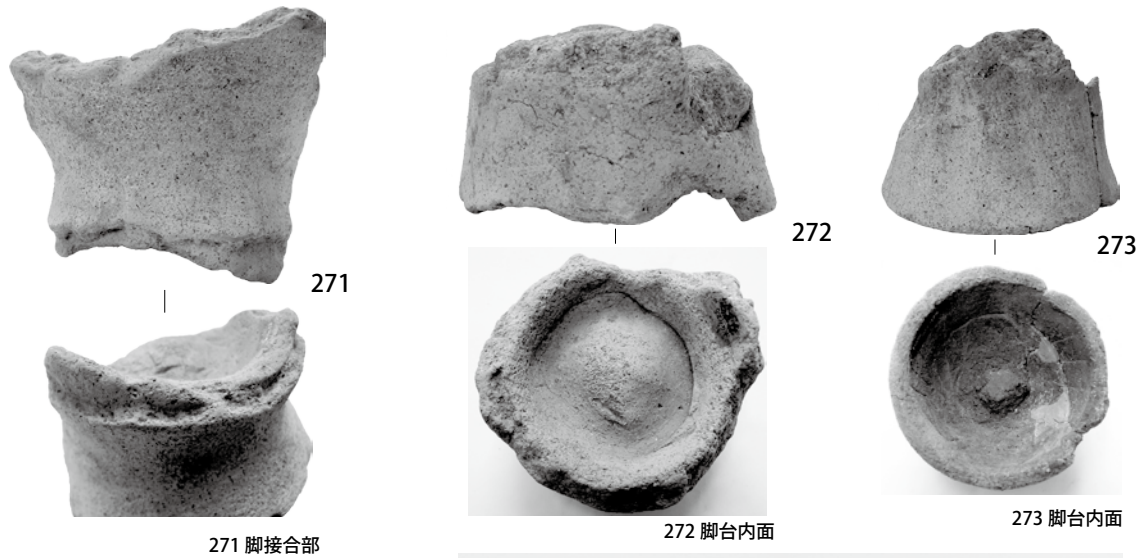


Fig. 48 4層出土土器 (5) 古墳時代・甕



PL. 44 4層出土土器(5)古墳時代・甕



甕脚台内面形状

PL. 45 4層出土土器(6)古墳時代・甕

が、底部に短く突出部を作り出して脚台部を接合していることが多く、その部分で剥落しているものも多い(264・269・265・271など)。さらに、脚台部内面には粘土を塗り重ねて接合した痕跡が認められるものもある(251・252・265・270・273)。また、胴部内面底に粘土を塗り重ねたものも認められ(252・262)、内面外面両側から粘土を継ぎ足し胴部と脚台部の接合部を補強している。275は甕もしくは鉢の脚部であるが、外面に爪圧痕が細かく連続して施されている。

c) 鉢 (Fig.49・50 276～320)

276～278・283～294は脚台または脚台状を呈する鉢である。276～282の口縁部形態は、ほぼ直立もしくは直線的にひらくものである。脚台は、甕と同様に底部に小突起を作り出して脚部を接合しているもの(283・284・288)、平底に脚部を接合しているもの(286)がある。脚台内面に粘土貼付による接合痕が認められるものもある(276・283)。281は外面にススが付着し、内面口縁部には吹きこぼれ痕と思われる黒い筋状の痕跡が認められる。289～292はやや小型の鉢で、赤色塗布されており、292は脚台内面にも赤色が塗布されている。

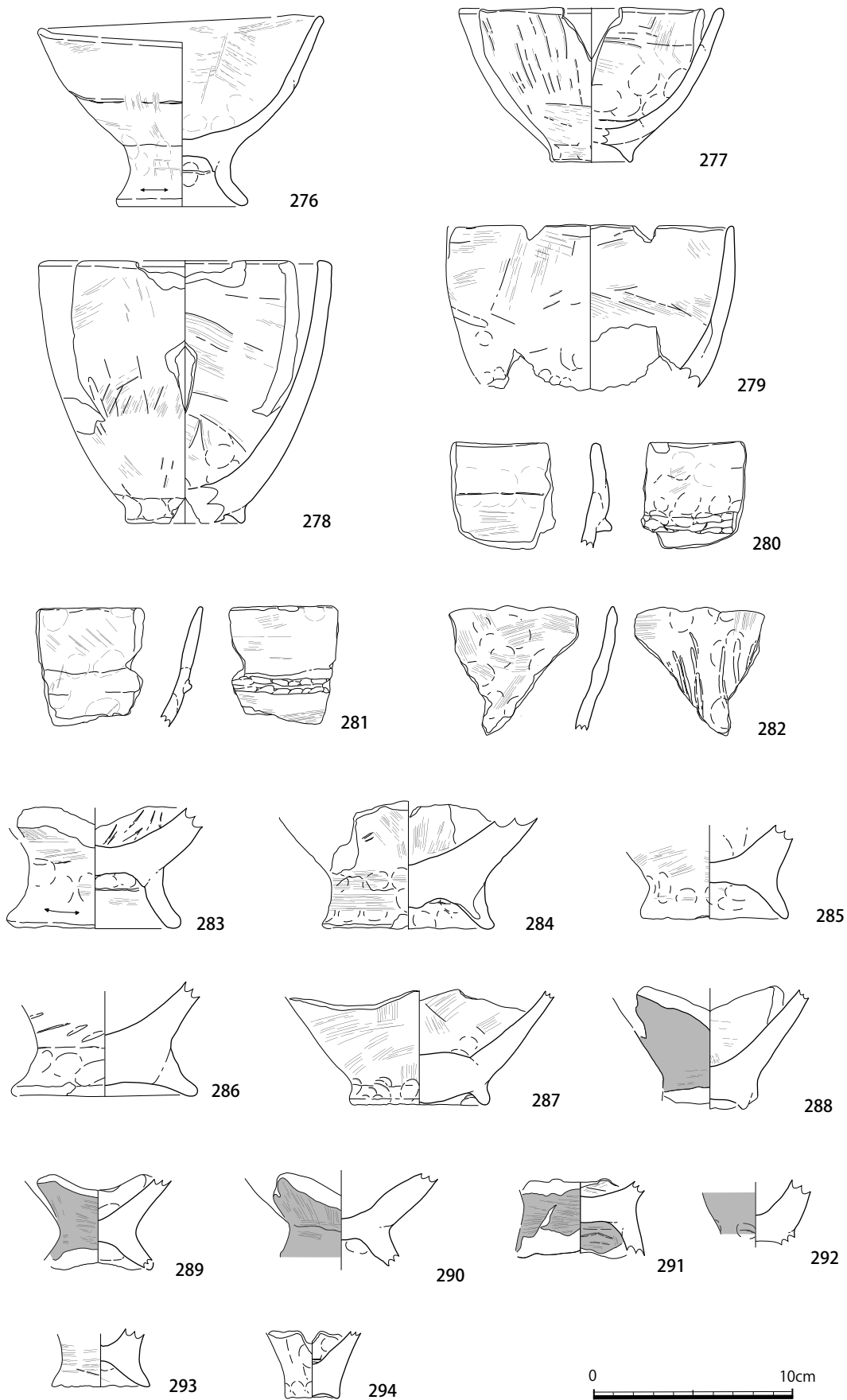


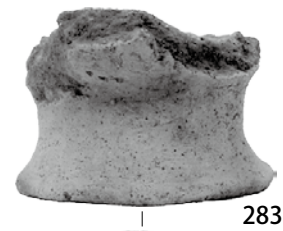
Fig. 49 4層出土土器（6）古墳時代・鉢



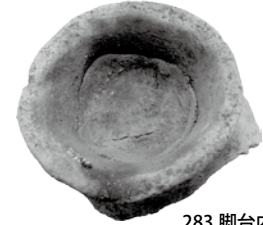
276



282



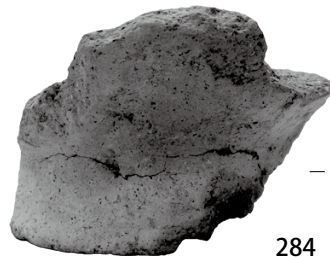
283



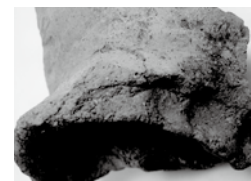
283 脚台内面



277



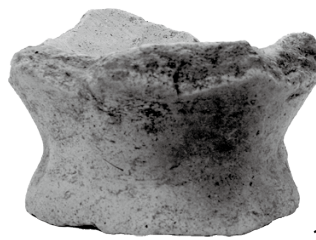
284



284 脚剥落部



278



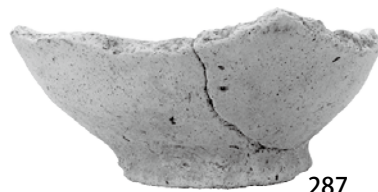
285



286



279



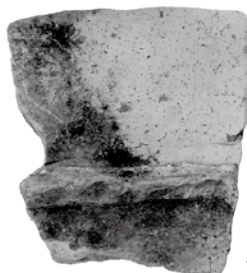
287



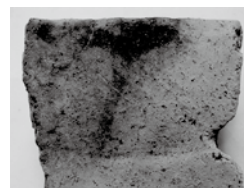
288



280



281

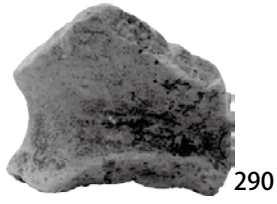


281 ふきこぼれ痕



289

PL. 46 4層出土土器(7)古墳時代・鉢



290



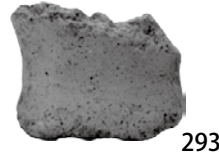
291



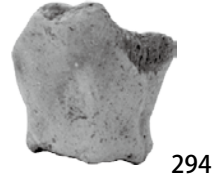
292



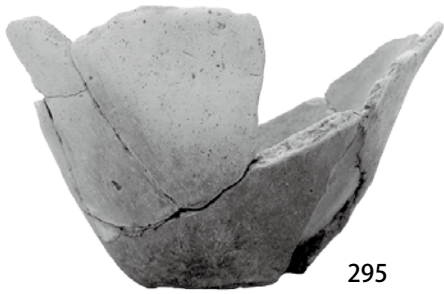
291 脚台内面



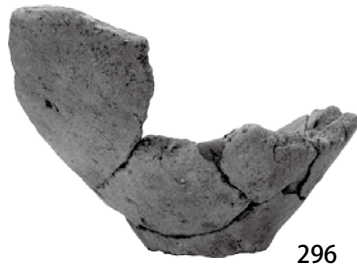
293



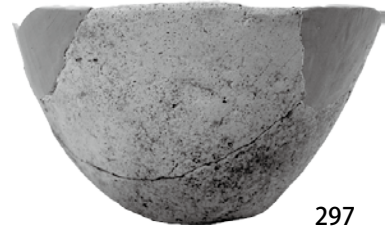
294



295



296



297



298



300



301



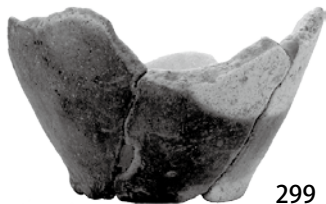
298 底面



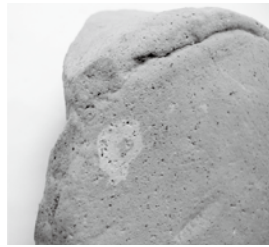
302



303



299



302 底面



304

PL. 47 4層出土土器(8)古墳時代・鉢

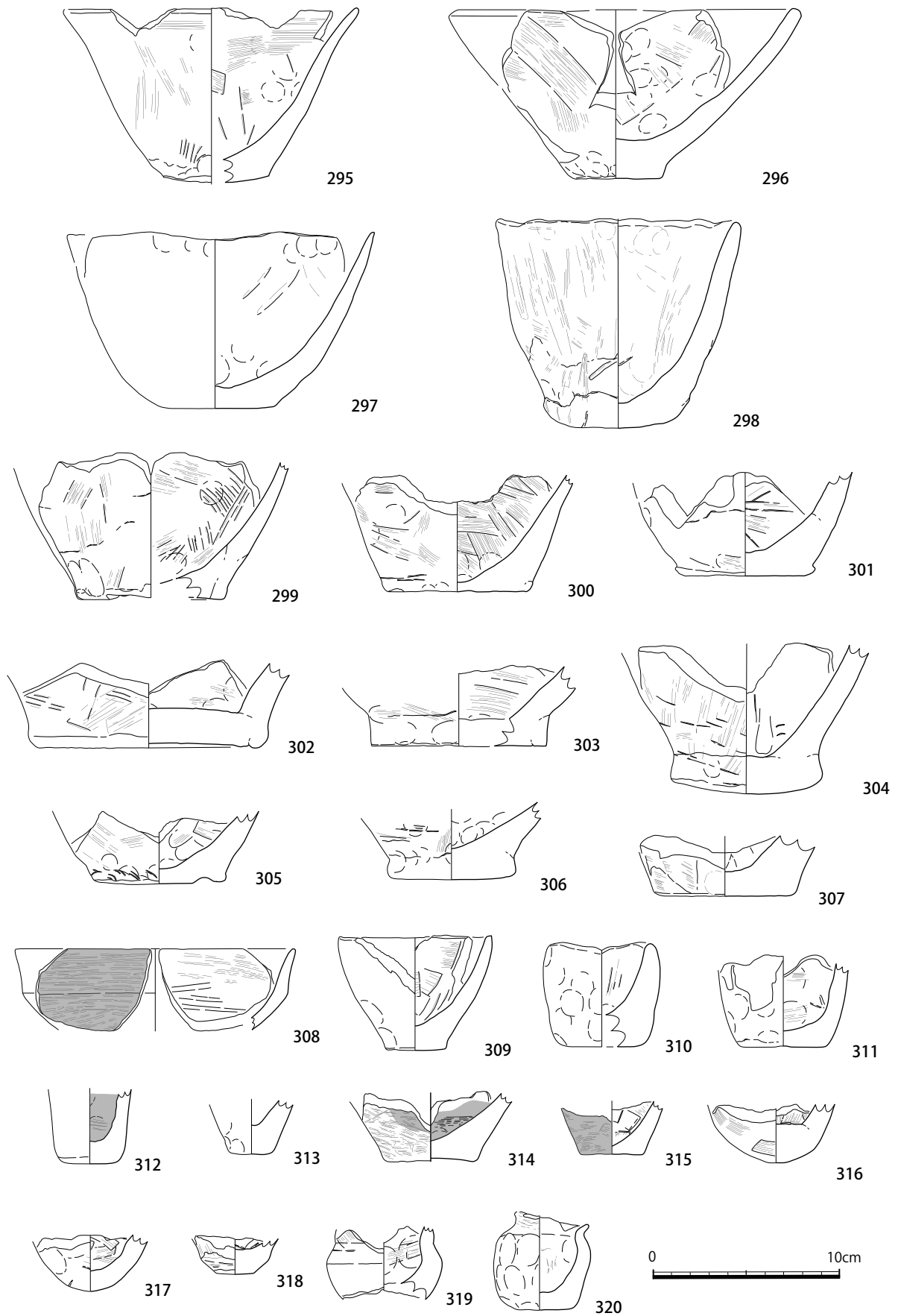
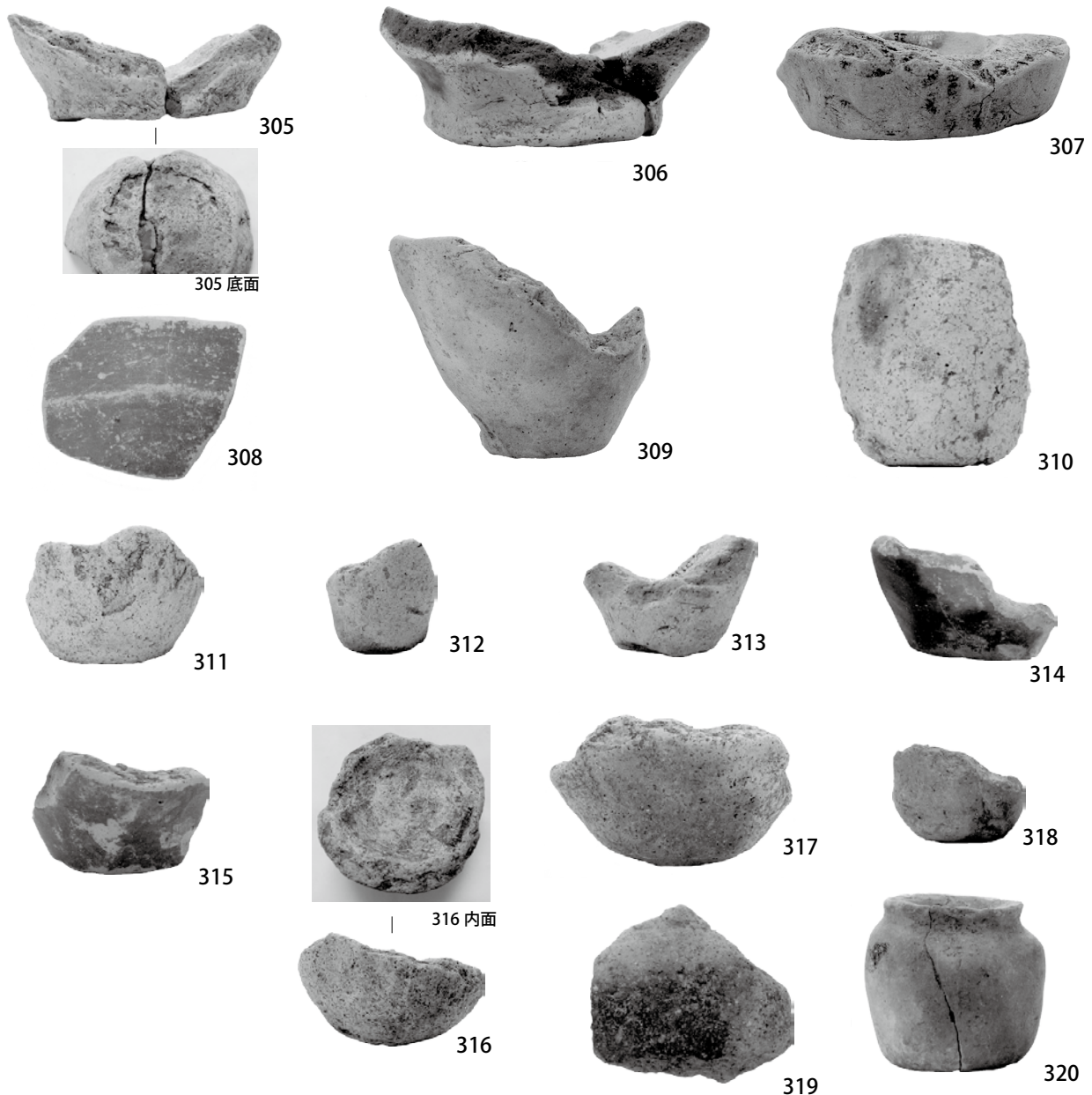


Fig. 50 4層出土土器（7）古墳時代・鉢



PL. 48 4層出土土器（9）古墳時代・鉢

295～307は平底の鉢であるが、一部壺の底部の可能性もあるものも含まれている。口縁部はやや外反するもの（295）、直線状に開くもの（296）、やや内湾しながら開くもの（297・298）がある。298は平底であるが、繊維状の圧痕が認められる粘土が底部から側面約2cmの範囲に貼り付けられている。圧痕については、形状が不明瞭であったため同定には到っていないが、何らかの植物片・穂軸の可能性もある（付編参照）。302は径15cmの平底で、底部には接合痕が確認できる。底部305は外面底部に爪跡が連続して認められ、底部側面形状を整えた様相がうかがえ、底部にも粘土接合痕がみられる。

308～320は浅く小型のものである。308は、胴部で屈曲し赤色塗布されている。底部形態は、平底と丸底がある。309～315は平底のコップ状の鉢である。314・315は赤色塗布されており、罎の可能性もあるが小型の鉢とした。316～318は丸底の底部を呈する。316は内面に粘土が貼り付けられている。319・320は口縁部付近が屈曲し、球状の胴部を呈する鉢である。

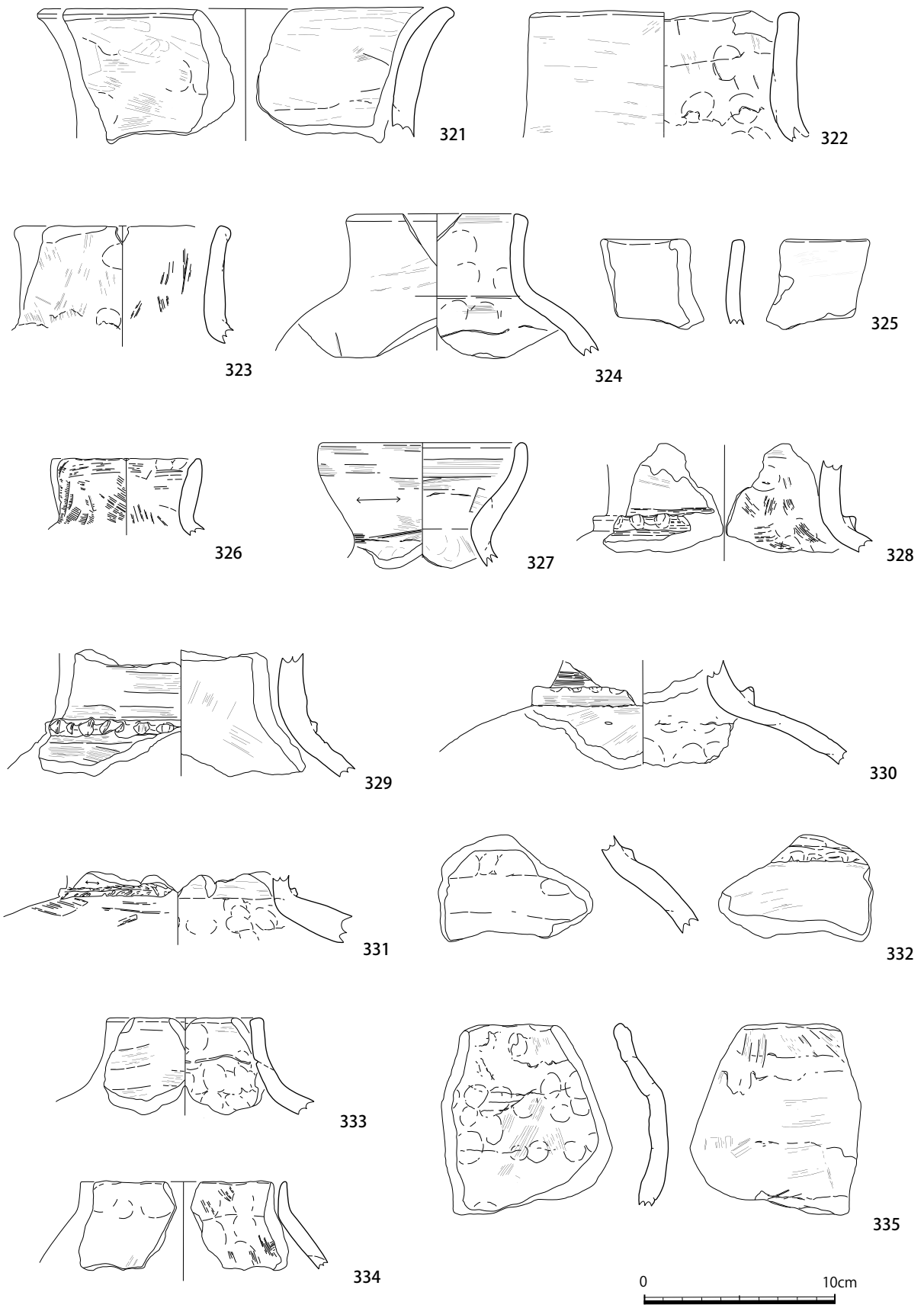
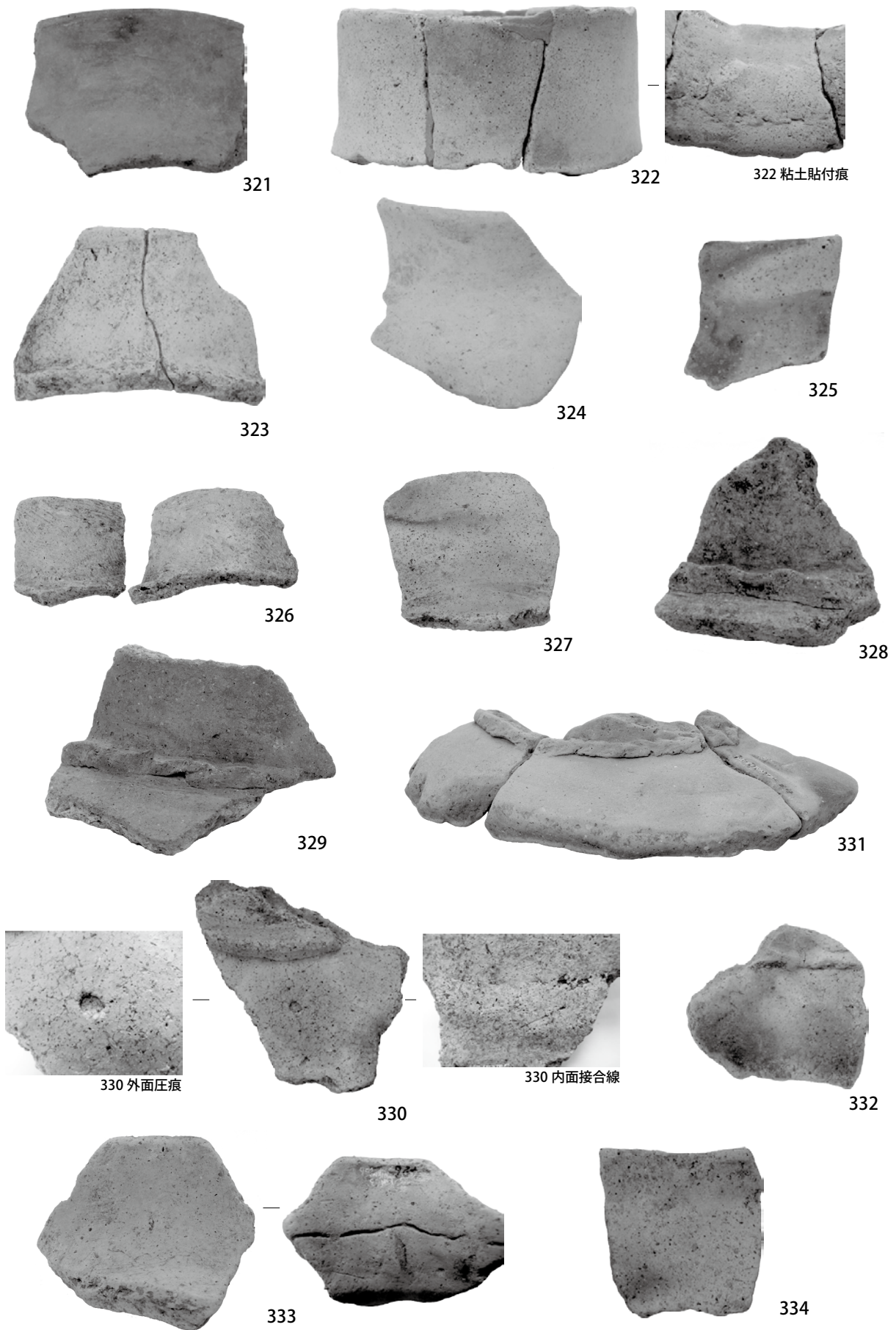


Fig. 51 4層出土土器 (8) 古墳時代・壺



PL. 49 4層出土土器 (10) 古墳時代・壺

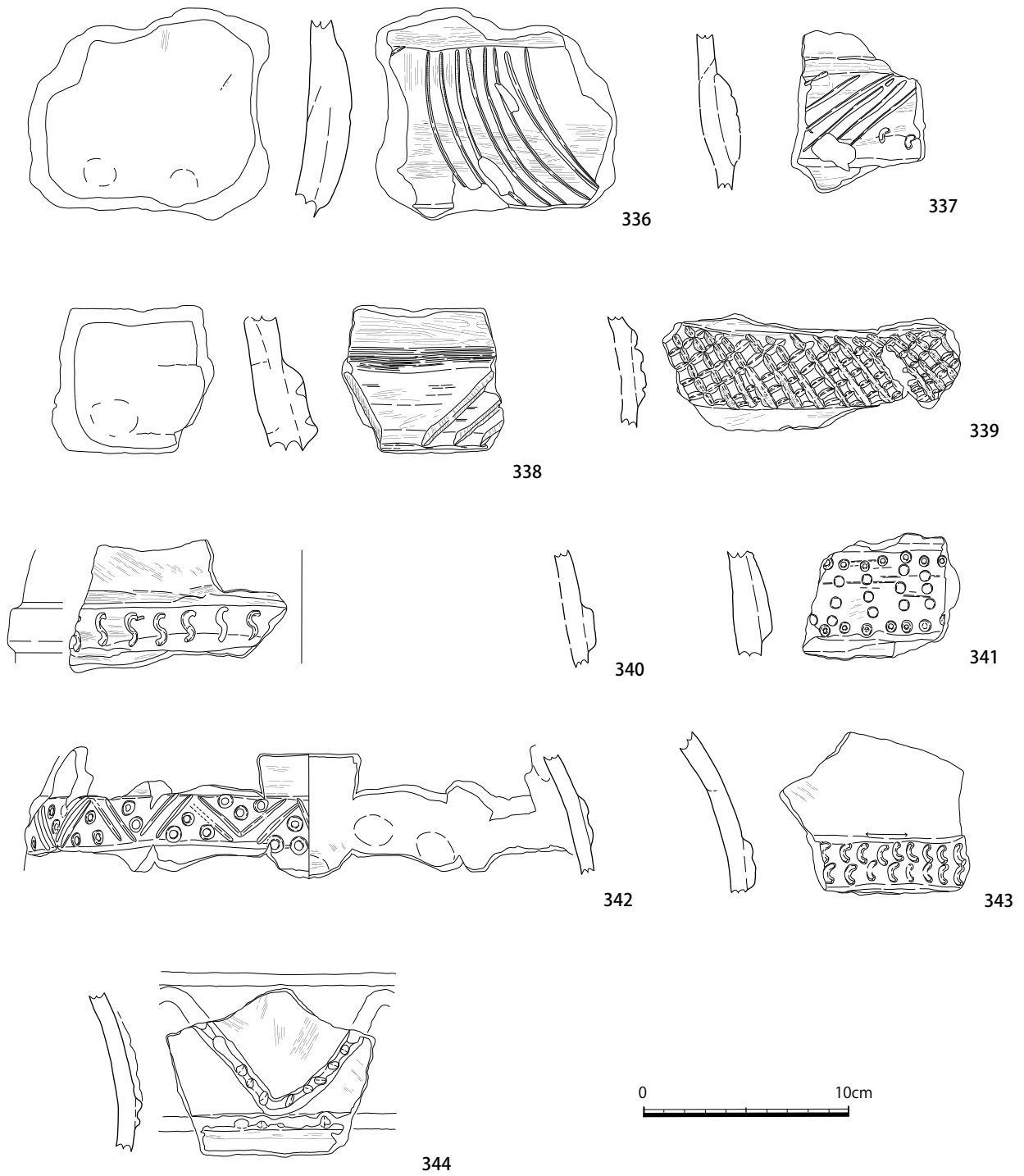


Fig. 52 4層出土土器(9)古墳時代・壺



335 内面



335



335 外面



336



338



338 布目刻み



337



339 布目刻み



339



340



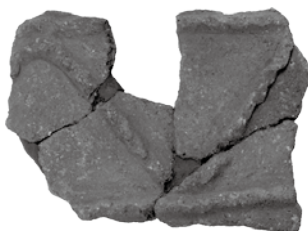
342



343



341



344

PL. 50 4層出土土器 (11) 古墳時代・壺

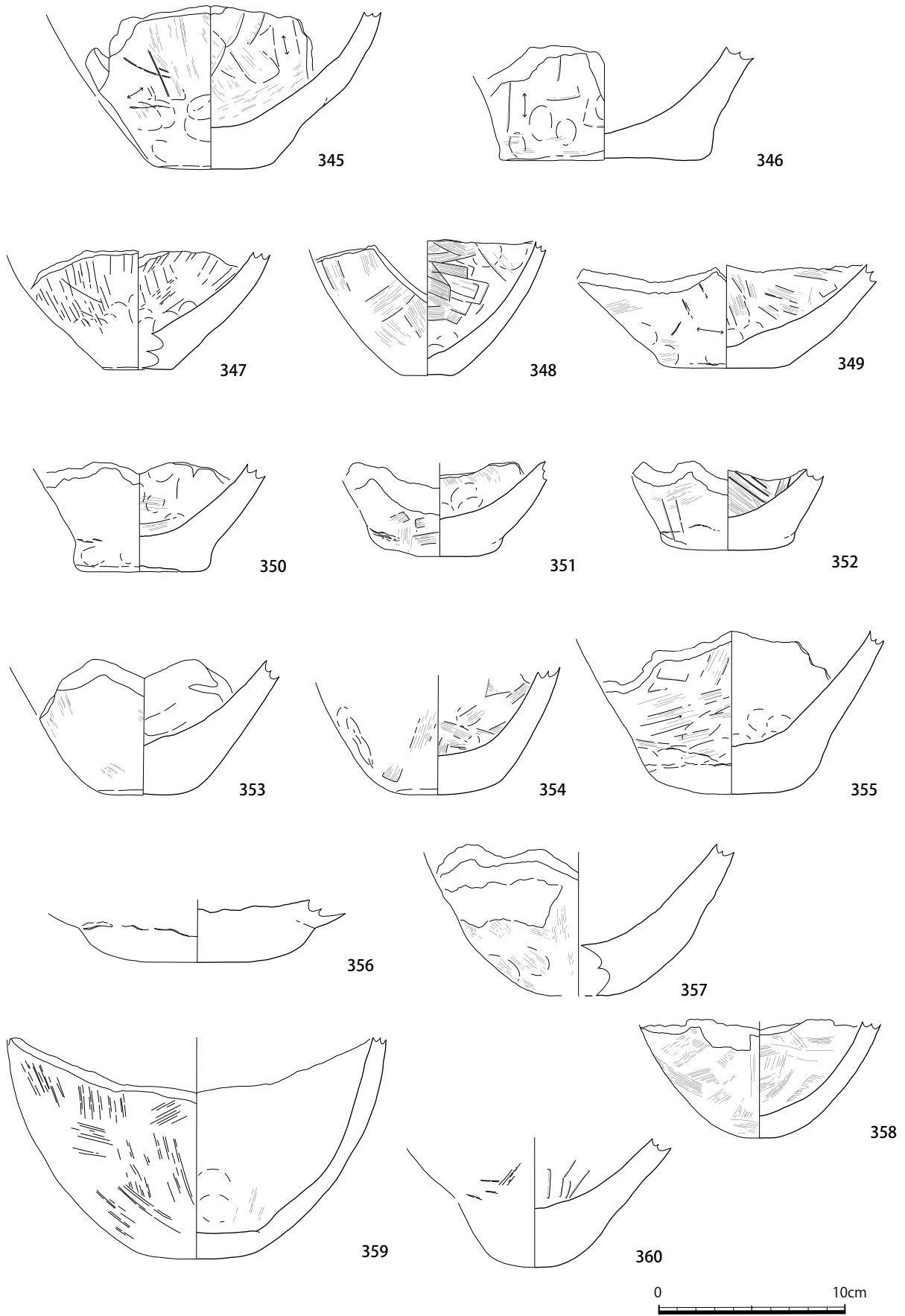
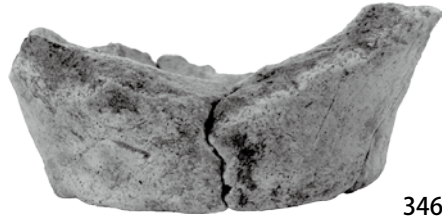


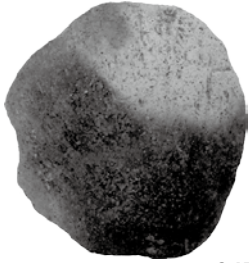
Fig. 53 4層出土土器 (10) 古墳時代・壺



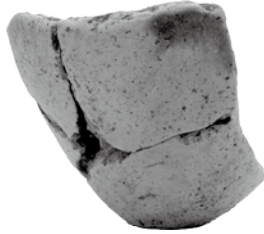
345



346



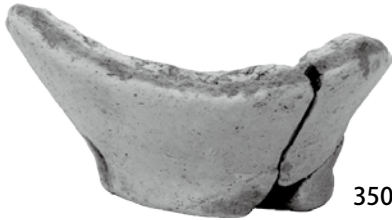
347



348



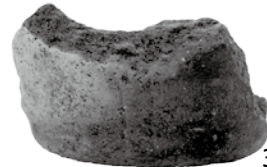
349



350



351



352



353



354



355



356



357



356 底面



359



358



360

PL. 51 4層出土土器 (12) 古墳時代・壺類

d) 壺 (Fig.51～53 321～360)

壺は、器種が判別できる遺物量の相対的な比較では、最も出土量が少ないと思われる器種である。また、全形が判明する資料も少ない。

口縁部は、緩やかに外反するもの(321)と、直立するもの(322～326)、口縁部が緩やかに内湾する二重口縁壺(327)がある。また、口縁～頸部の短い形態のものがみられ(324・326・333～335)、これらは口径も10cm前後であり、小型の形状を呈する可能性がある。また、壺の内面には粗雑な接合痕が残っていることが多い。322は口縁部であるが、内面に幅3cm幅ほどの粘土を径を巡らすように貼り付けている。330は頸部下位の内面側に接合痕が認められる。外面には、不明種子圧痕が確認できる(付編参照)。324・335は胎土が他と異なり、小礫の混入がなく白色である。

Fig.52は胴部突帯類である。336・338・339は刻み内部に組織痕がみられる(PL.50)。336は幅1～2mmの沈線で、緩やかにカーブしており、刻み内部には組織痕が認められる。これは、紐条のものを押し当てて刻みを施したものと考えられる。また、339の沈線の施文は、右斜上方向→左斜上方向に施されており、刻み内には縦方向と横方向の沈線が観察できる。337はへう描きによる斜沈線文に半裁竹管文、340・343は半裁竹管文であるが、340の施文は半裁竹管文を組み合わせてS字状に施されている。341は竹管文、342は竹管文と斜沈線である。344は刻目突帯であるが、上下に配した突帯の間に鋸歯文状に突帯が配されている。

壺の底部形態は、平坦(345～350)、わずかに膨らむ凸レンズ状のもの(351～356)、丸底のもの(357～360)がある。一部鉢の底部の可能性もあるものも含まれている。346は、ごくわずかに上げ底になっており、底部に工具痕が認められる。349は、底部に平坦面を作り出すために薄く粘土を後付けしている。また、壺底部の内面底には、353～355のように指頭痕が確認されるものが多い。355は外面底部のひび割れ痕の上をなでている痕跡がある。356は底部内外面ともに粘土を後から貼り付けて厚みを増し平坦部を作り出している。

e) 高坏 (Fig.54・55 361～388)

高坏は、脚部出土数は多数であるが、坏部形状が分かる資料は少ない。坏部形態としては、外面に段を有していたり、ほぼ直線状かゆるく湾曲しながら開くもの(361～363)が多く、屈曲部をもつものは少ない。坏部の立ち上がり部と坏部の底の平坦部は、別に製作されて継ぎ合わされている場合が多い(361～365)。362・365はその接合部が確認できる事例である。367・370は、外面の緩い屈曲部に、連点文が認められる。

370～373は、坏部と脚部との接合部の様相が観察できる。370・371は脚上部の円筒部が差し込まれていた様子がうかがえる。また、坏部の立ち上がり部が剥がれた痕跡も認められ、370の接合部は胎土色が異なっている。371の坏部内面には、赤色顔料がこぼれ落ちた痕跡が残る。372は、接合部にヘソが確認できるが、こうしたヘソ状の凸起形状が認められるのは、本遺跡出土資料では2点のみであり、大抵は円筒上部が平坦な脚部がそのまま坏部に差し込まれている。373は、本来見えない部分であるはずの接合部分剥落した面にも、赤色が塗布されていることが確認できる資料である。二度にわたる赤色塗布作業の可能性としては、一度製作して赤色塗布したものの、脚と坏の接合部をさらに補強して再度赤色塗布を行ったということも考えられる。

脚部形状は、全て緩やかに湾曲してスカート状に開く形である。376・377・380・383～386は、脚上部の円筒部が剥落によって明瞭に確認できる資料である。脚部内面は、緩く凹むように丁寧になでられているもの(377～379)、先の丸い径1～2cm程度の工具痕跡があるもの(380～383)などがある。その他の工具痕としては、四角く角があるもの(385)や、先端部が細くなっているもの(376, 386)などが確認できる。

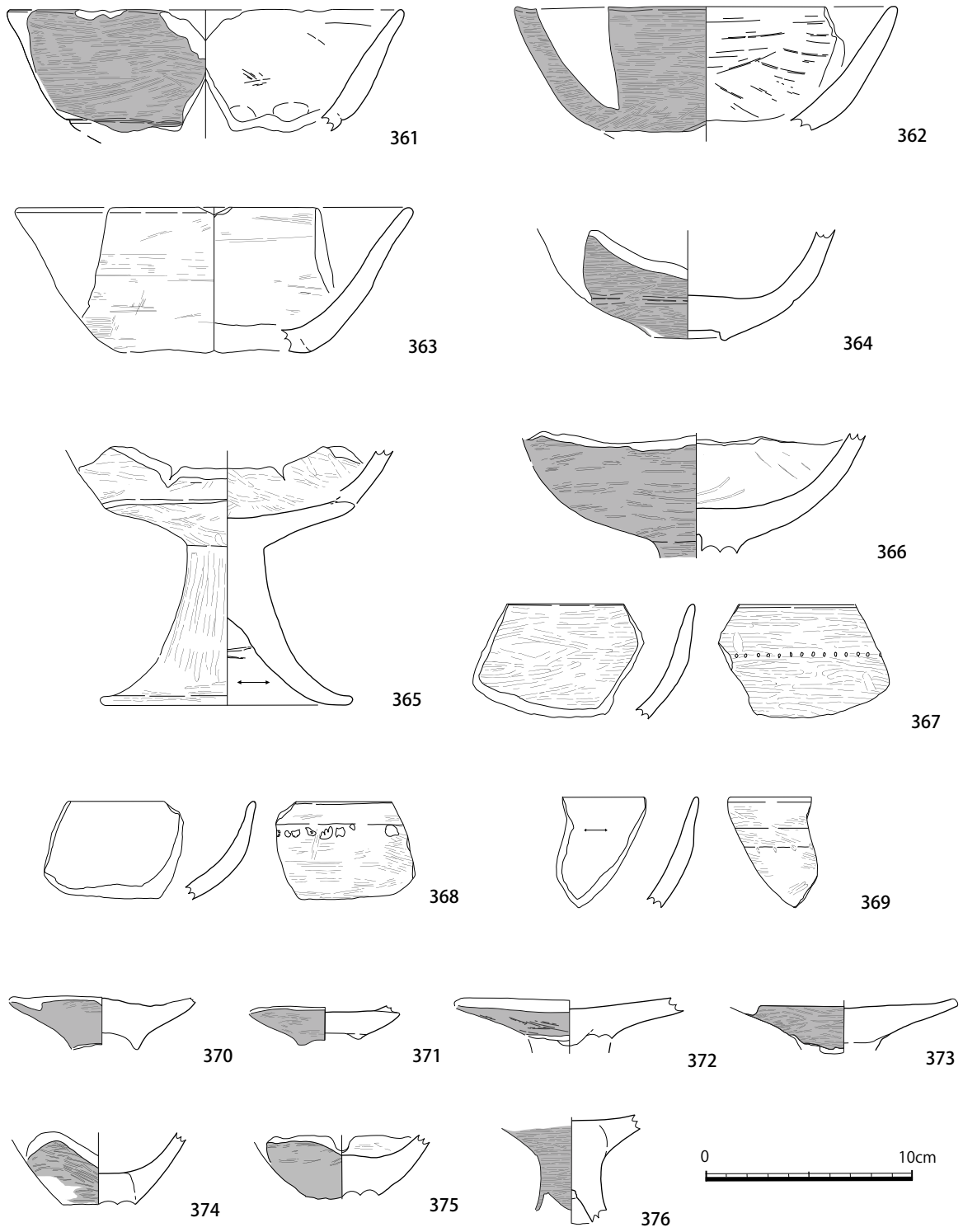
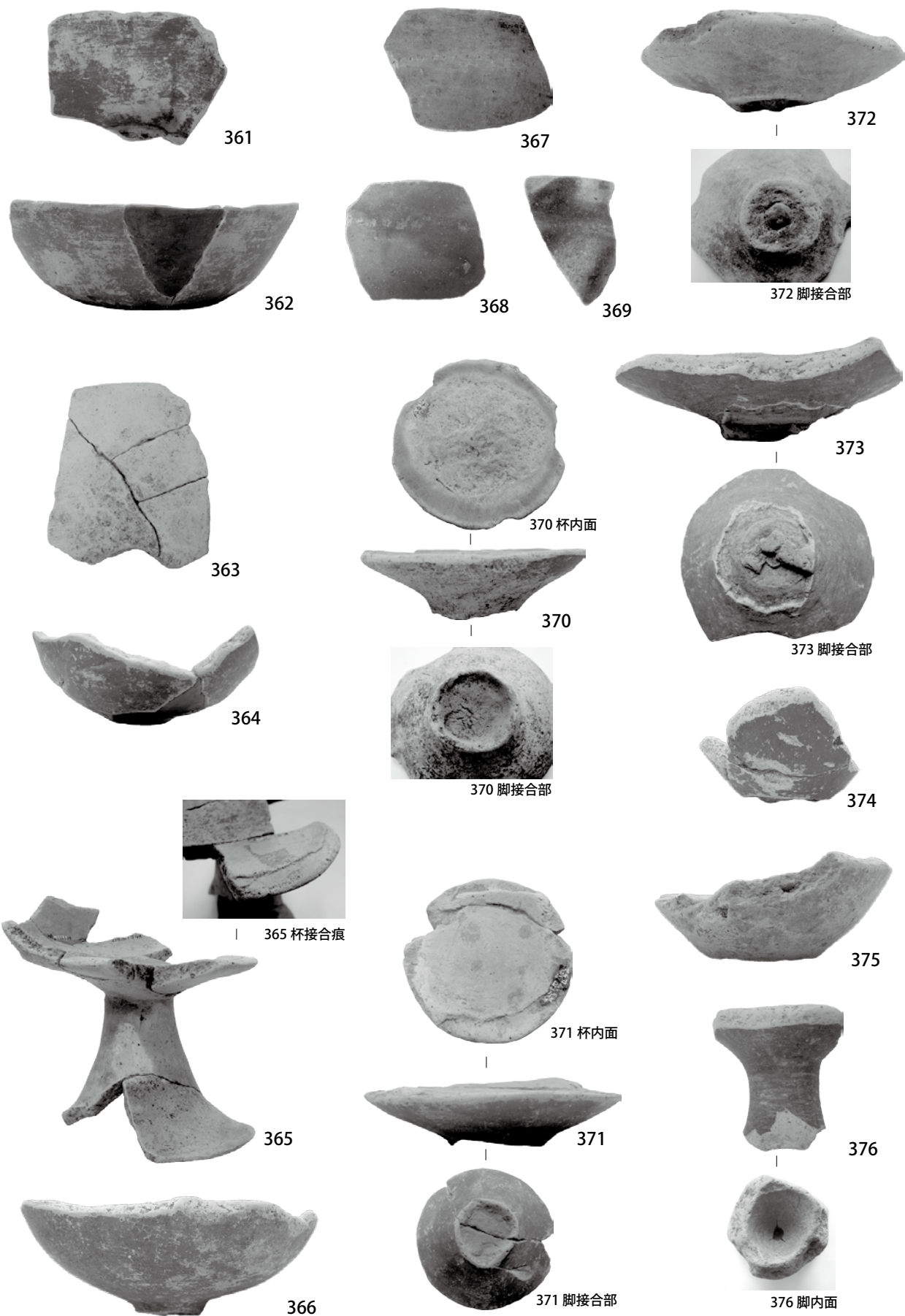


Fig. 54 4層出土土器 (11) 古墳時代・高坏



PL. 52 4層出土土器 (13) 古墳時代・高坏

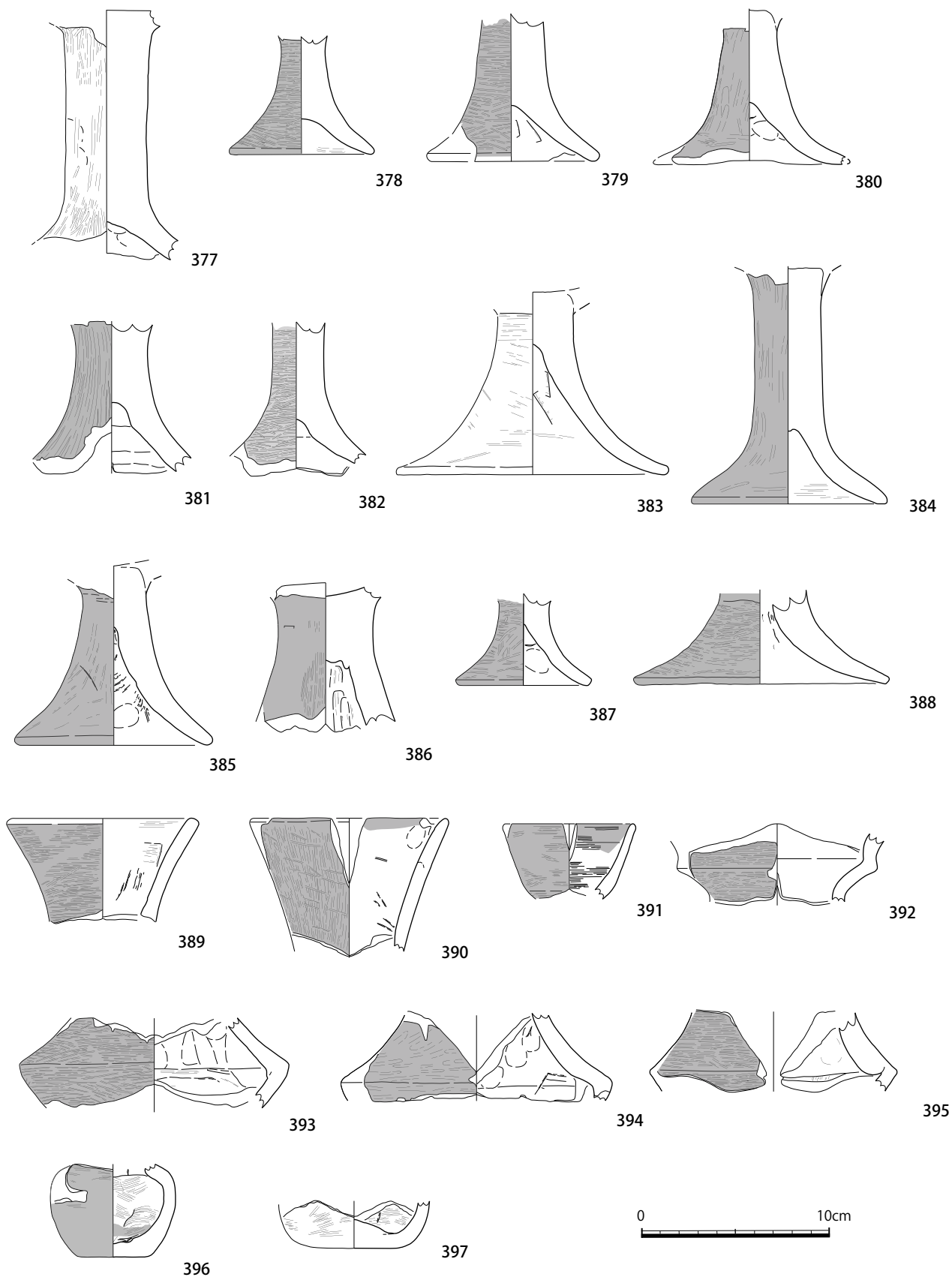
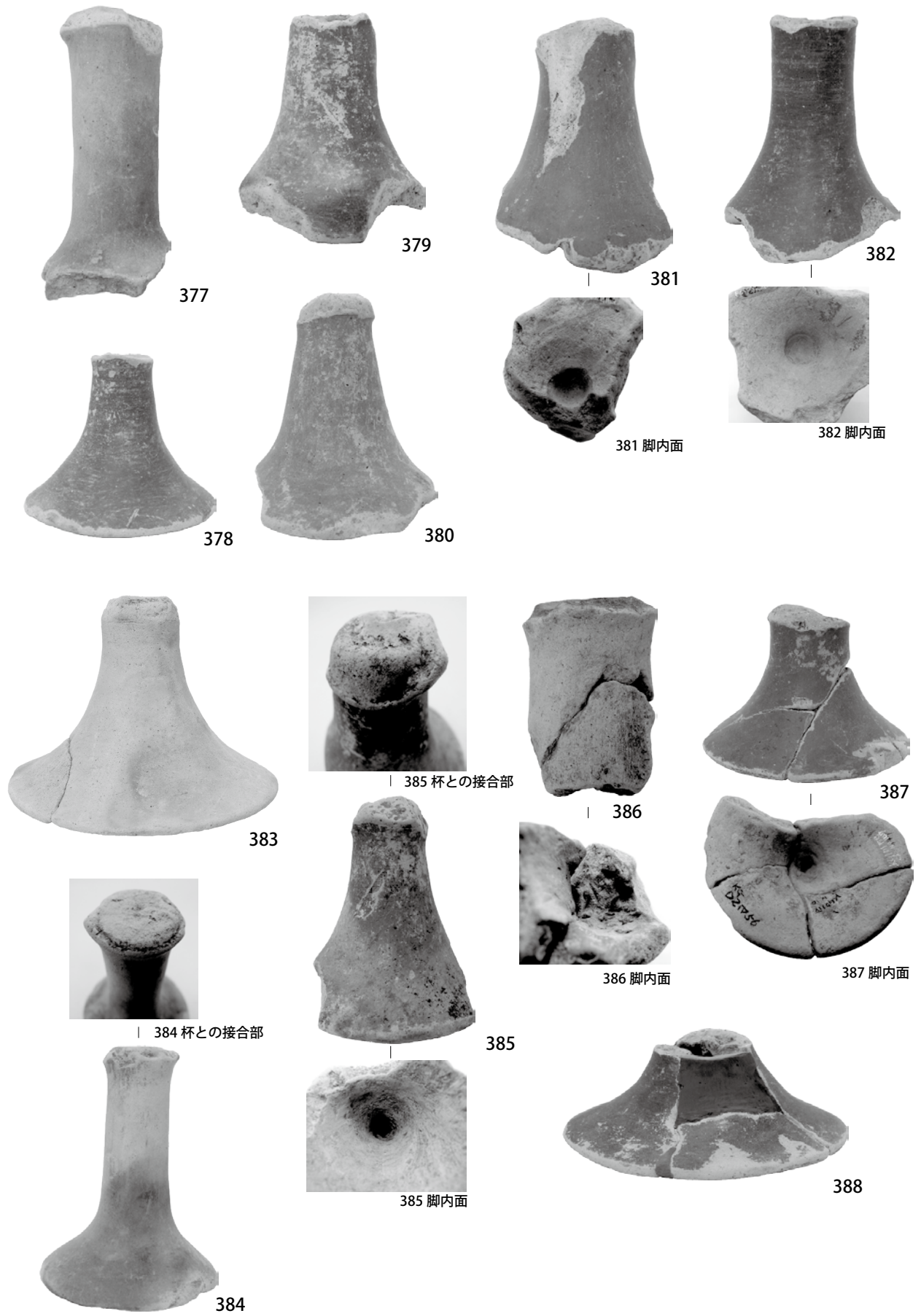


Fig. 55 4層出土土器 (12) 古墳時代・高坏, 埴



PL. 53 4層出土土器 (14) 古墳時代・高坏

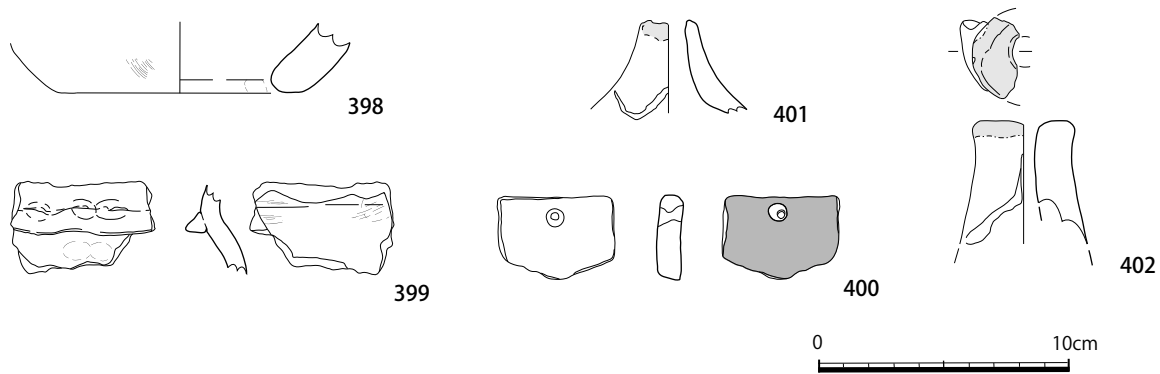


Fig. 56 4層出土土器 (13) 古墳時代遺物

f) 埴 (Fig.55 389～397)

埴の口縁部は、直線状に緩く外反するもの (389・390)、緩く内湾するもの (391)、屈曲部をもちながら開くもの (392) が挙げられる。また、胴部は屈曲部をもつもの (393～395)、丸みを帯びるもの (396・397) がみられる。屈曲部をもつ胴部は、屈曲部に接合痕がみられ、屈曲部の上下で別に製作されていたものを接合している。

396は、半分は欠損しているが、内面底部に赤色で円が描かれていると思われる。397は、内面底部に粗雑に粘土が貼り付けられている。

g) その他 (Fig.56 398～402)

398は、甑と思われる底部片である。底部接地面は、幅1cmほど平坦になっている。399は、内面に突帯のある土器である。弥生時代の壺の可能性もあるが、ここでは器種不明土器として扱う。400は土器片に穿孔されたものである。片側の面に赤色が塗布された痕跡が残り、緩くカーブする形状であることから、高坏もしくは埴に焼成後穿孔を行い、二次利用した可能性がある。

401・402は、高坏の脚部を転用した羽口の可能性があるものである。どちらも上端部にはガラス質のものが付着しており、内側は赤化している。

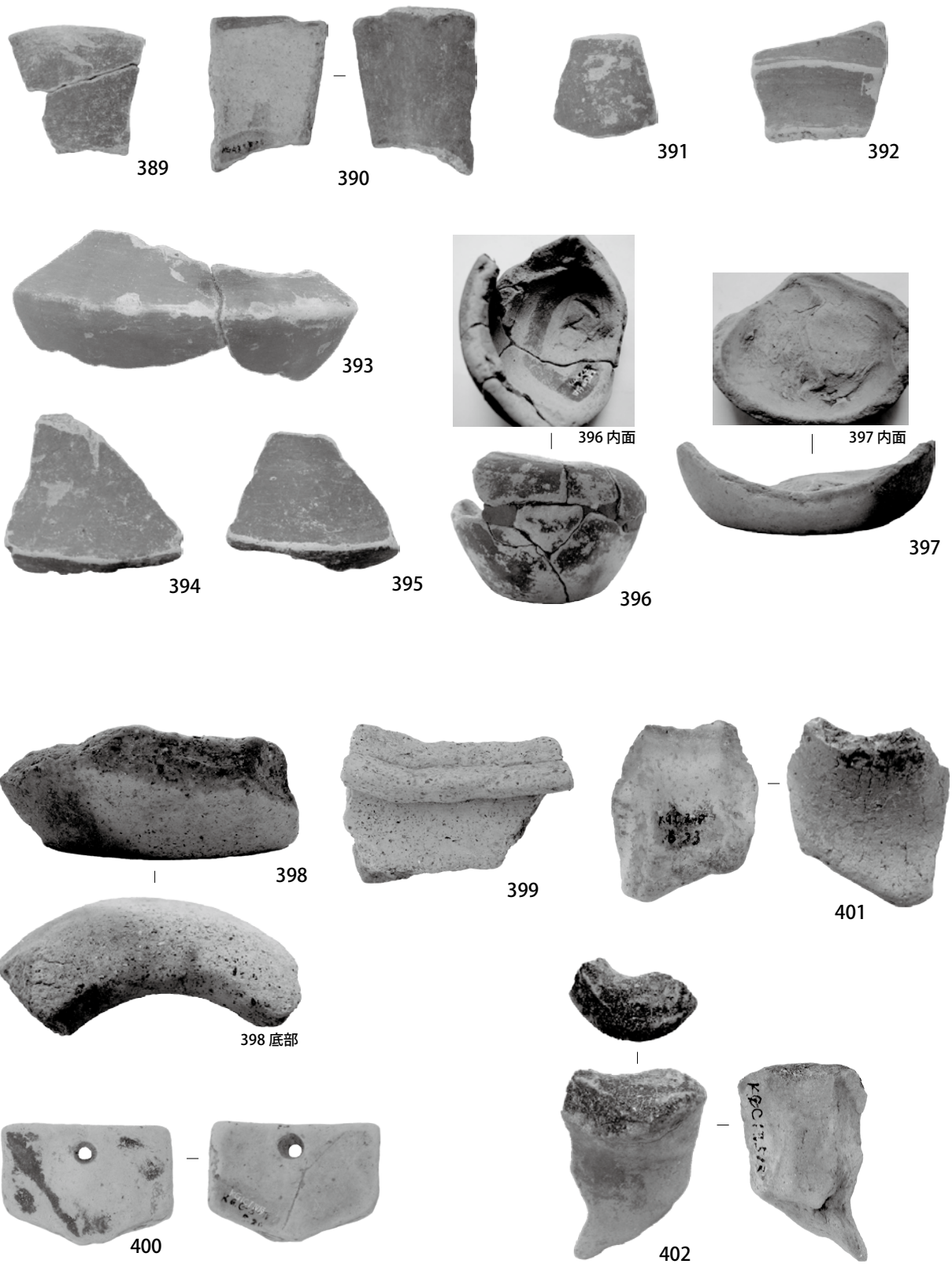
h) 須恵器 (Fig. 57～61 403～443)

須恵器は小片がほとんどであり、全形の判明するものはみられないが、想定される器種ごとに述べる。

403, 405～407は蓋であり、6世紀前半～中頃のものと思われる。403・407はⅡ型式第1段階 (田辺編年MT15型式) に該当する²²⁾。404は蓋のつまみ部分であり、残存状況から明瞭な時期判別は困難である。407は自然釉がわずかに外面に付着している。408・409は坏身である。410～412は甕の口縁部・胴部である。410は上下2段の波状文が施される。411・412は頸部～胴部であり、外面は平行タタキのちナデ調整される。413～418は壺の口縁部である。5世紀後半～6世紀前半のものと思われる。413は櫛描波状文、414はへら描き鋸歯文が施文されている。418は壺としたが、脚台の口縁部である可能性も考えられる。形態は、天観寺山古窯群 (福岡県北九州市小倉) 出土須恵器に類似し、6世紀末と思われる。419～422は短頸壺であり、蓋類とほぼ同時期と思われる。421は外面に薄く釉がかかる。

423～440は胴部片である。423～425は同一個体の可能性が高く、423が肩部、424胴部、425が底部付近と思われる。胴上部は平行タタキのち間隔をあけてハケメ調整される。同様に426～439は胴部片である。個体ごとの調整のバリエーションとして示す。426・427は外面は格子タタキのちナデ、内面は同心円文タタキが認められる。428・438は平行タタキのちハケメ調整が認められ、429・431～437・439は格子タタキ調整である。格子タタキ調整のち、全面がハケナデされているもの (429・432・436)、一定間隔をあけて装飾文のようにハケメ調整されているもの (433・435・437) がある。

430は両面とも調整痕をナデ消している。



PL. 54 4層出土土器 (15) 古墳時代・埴その他遺物

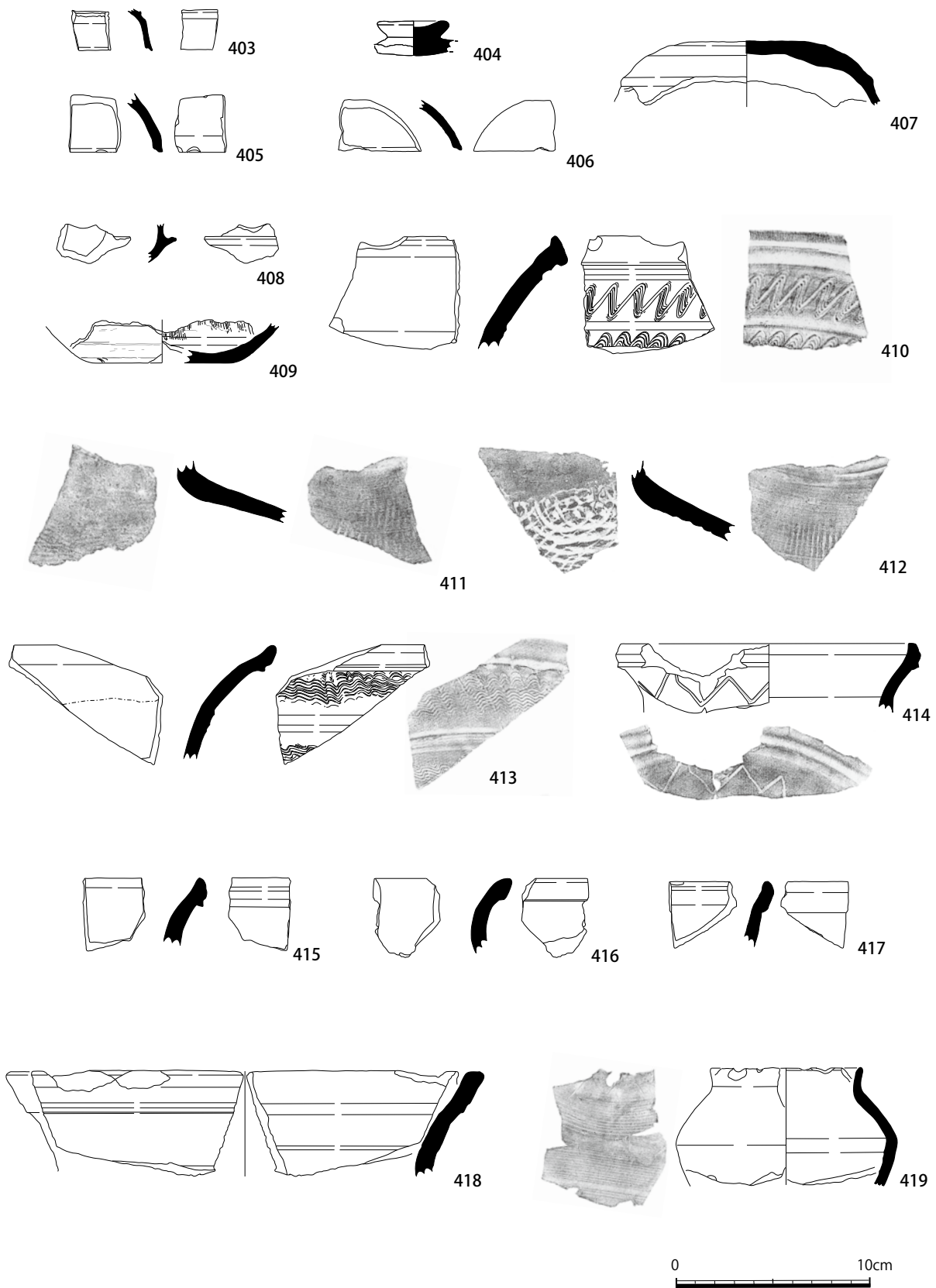
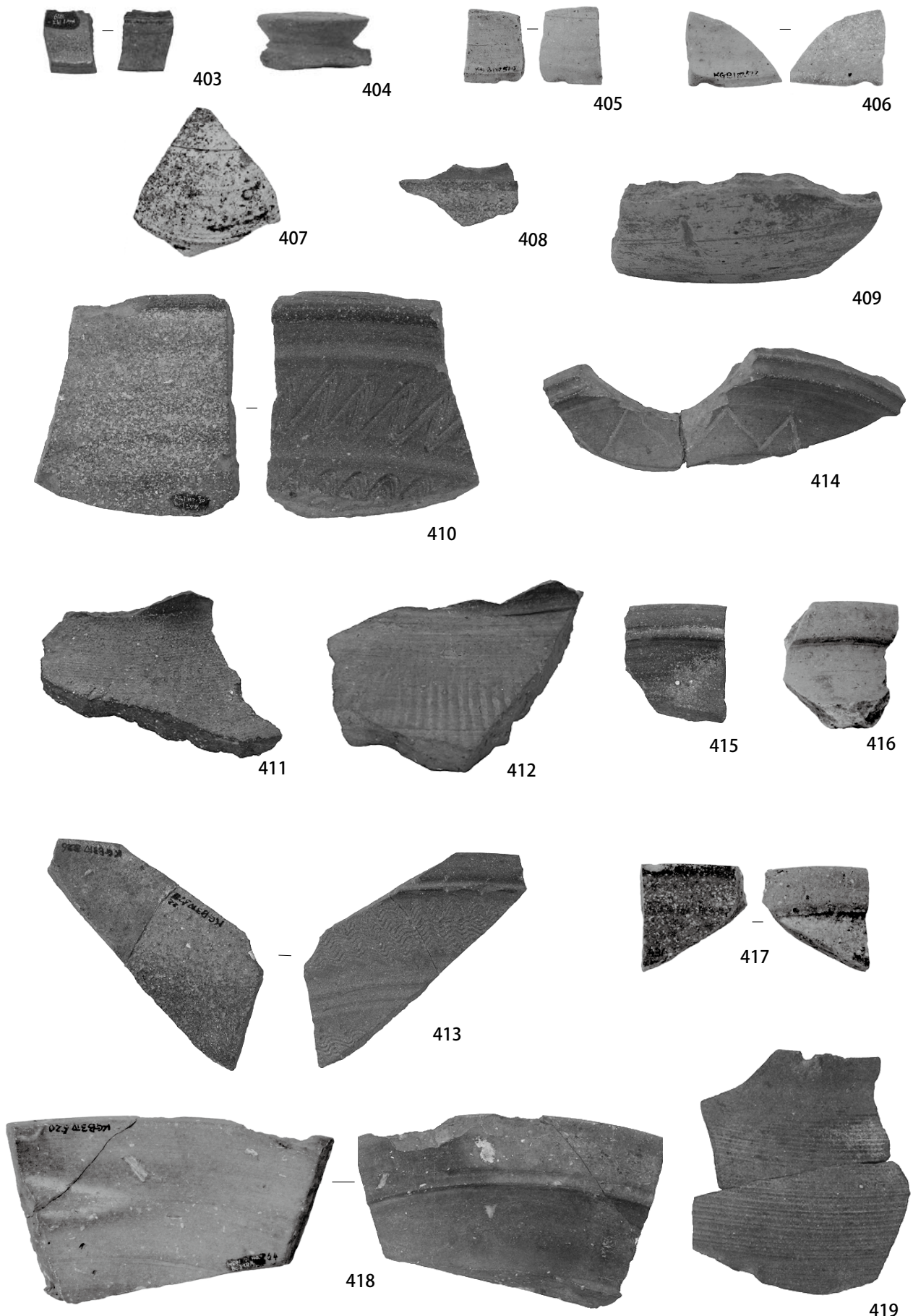


Fig. 57 4層出土須恵器(1)



PL. 55 4層出土須恵器 (1)

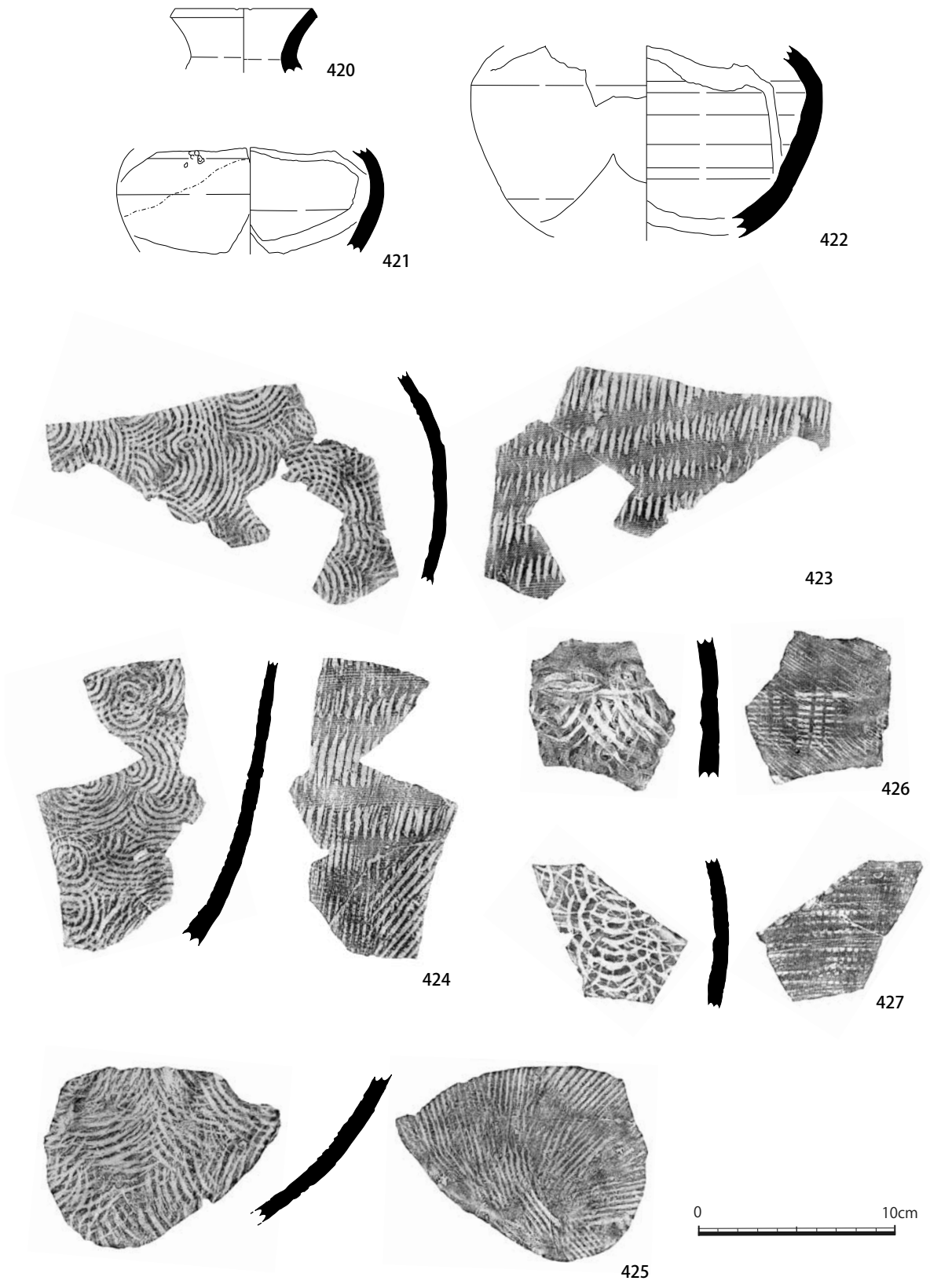
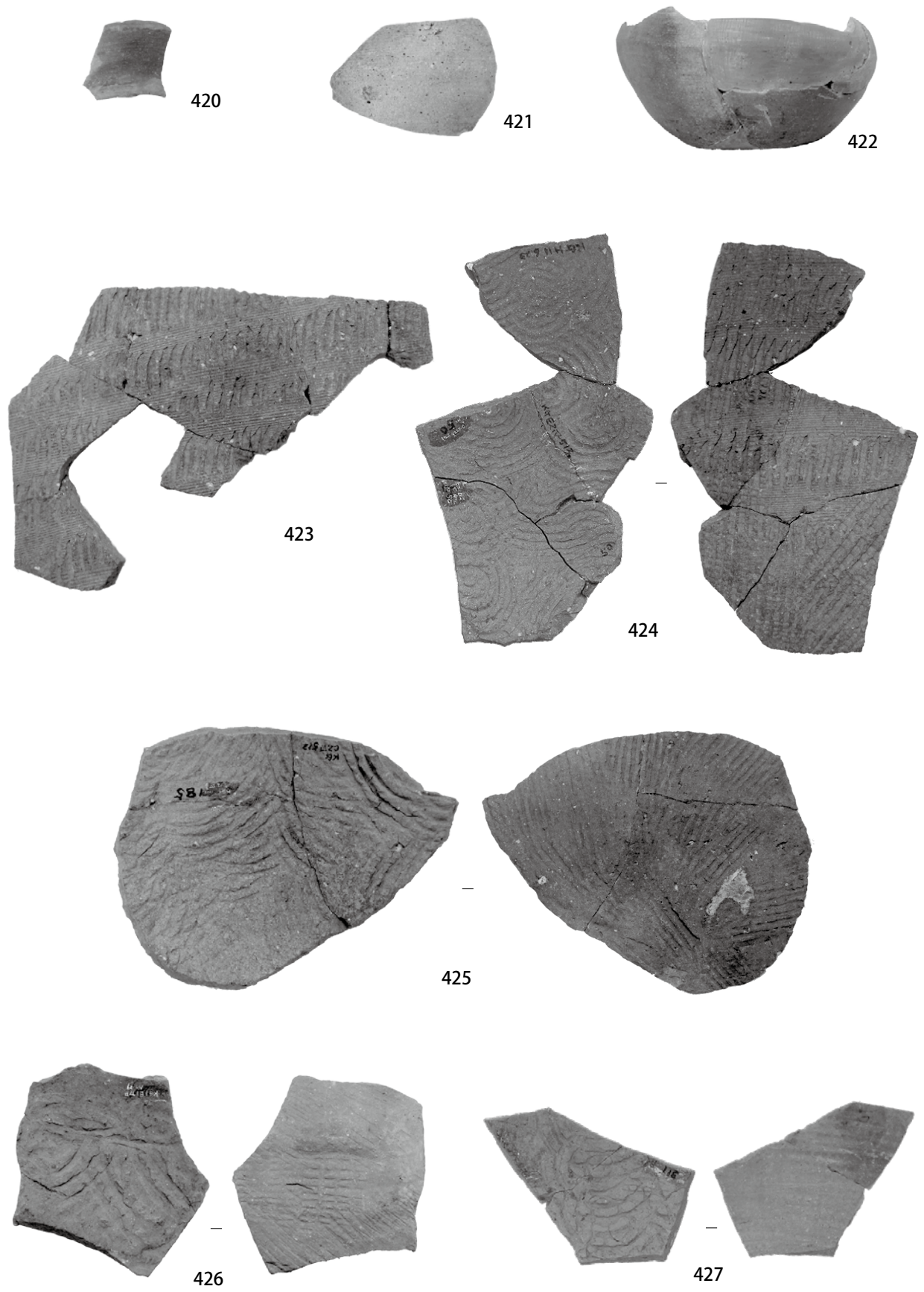


Fig. 58 4層出土須恵器(2)



PL. 56 4層出土須惠器 (2)

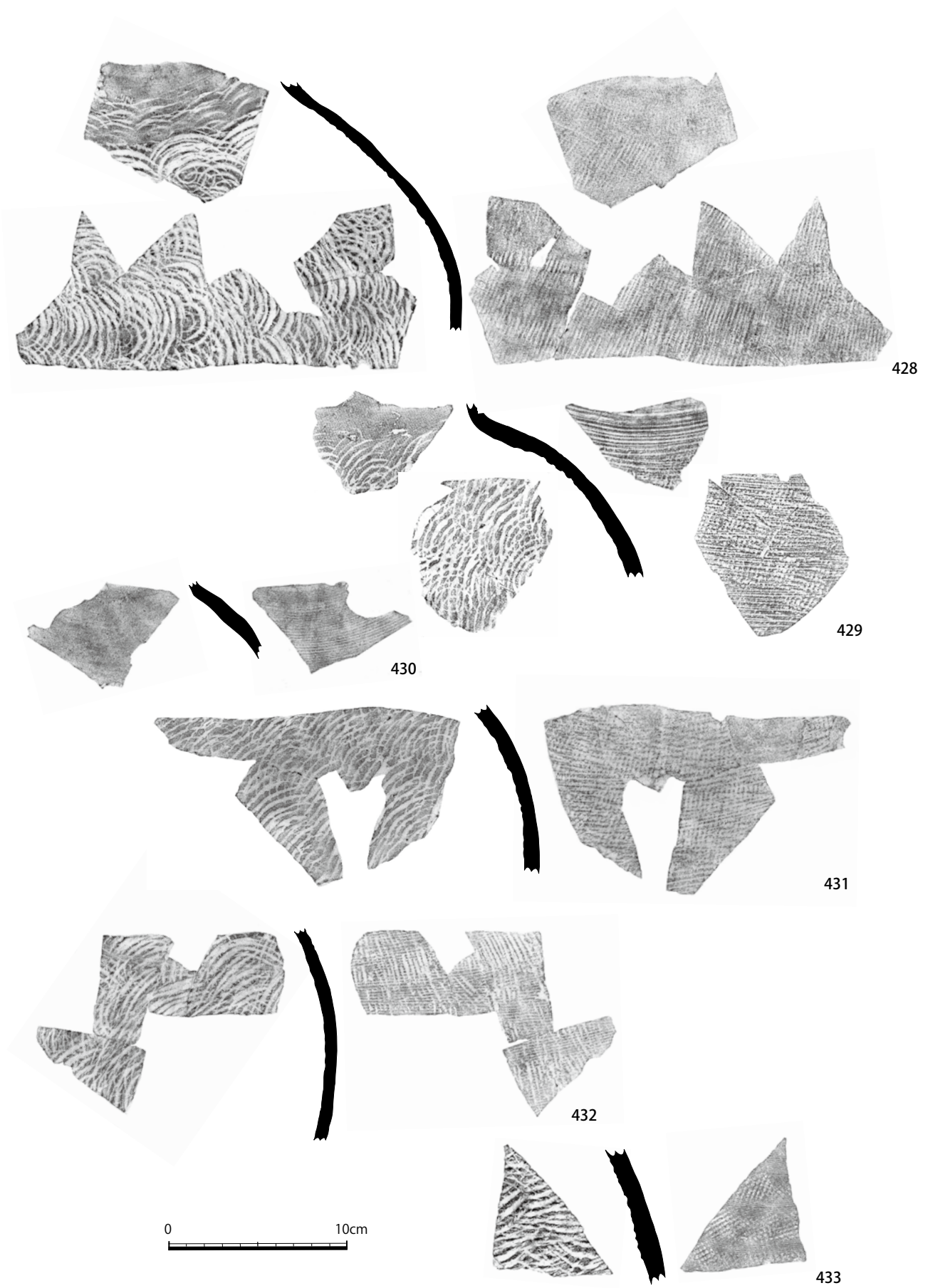
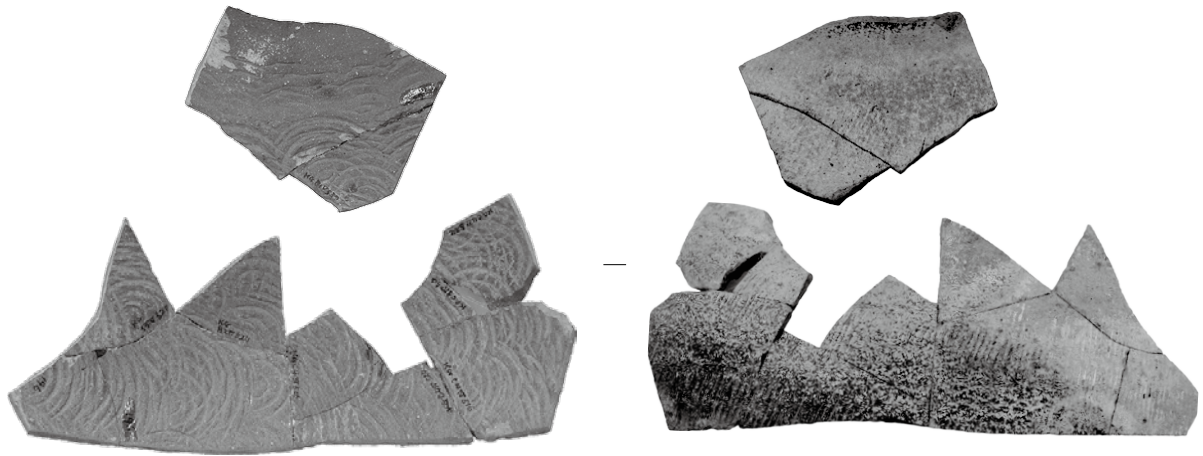
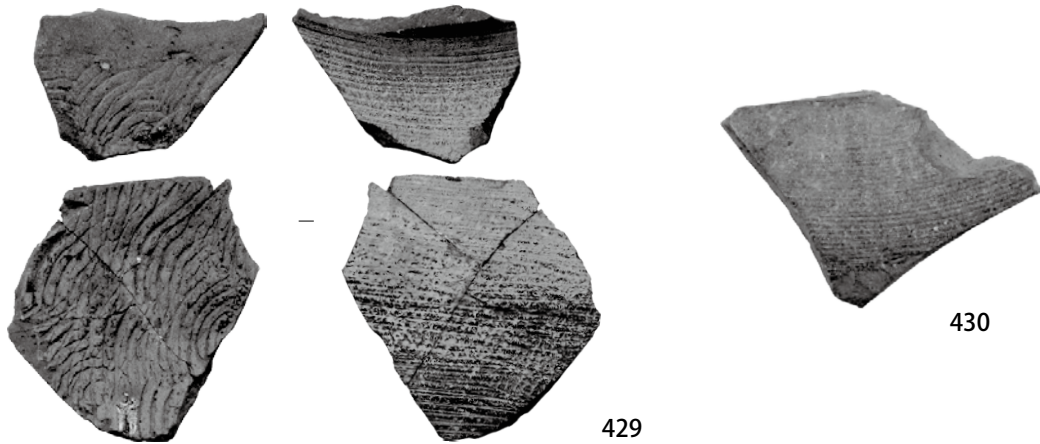


Fig. 59 4層出土須惠器 (3)

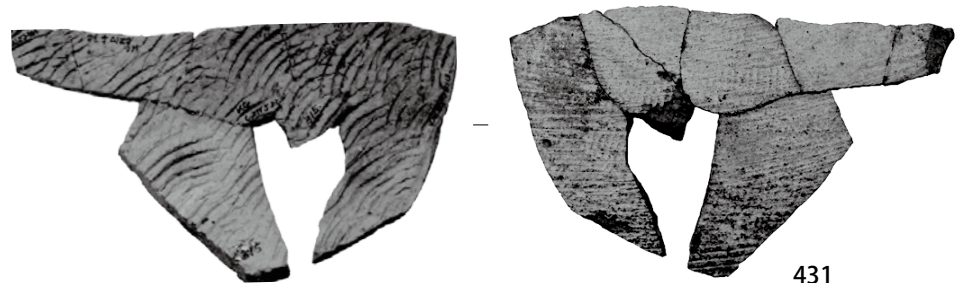


428

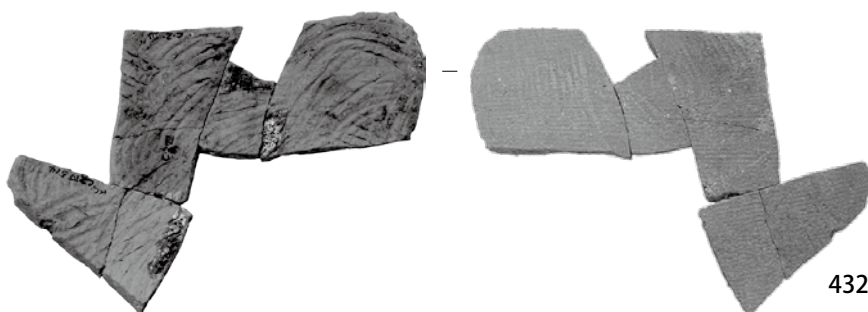


430

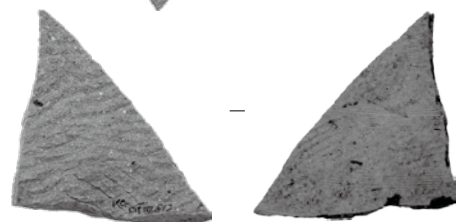
429



431



432



433

PL. 57 4層出土須恵器 (3)

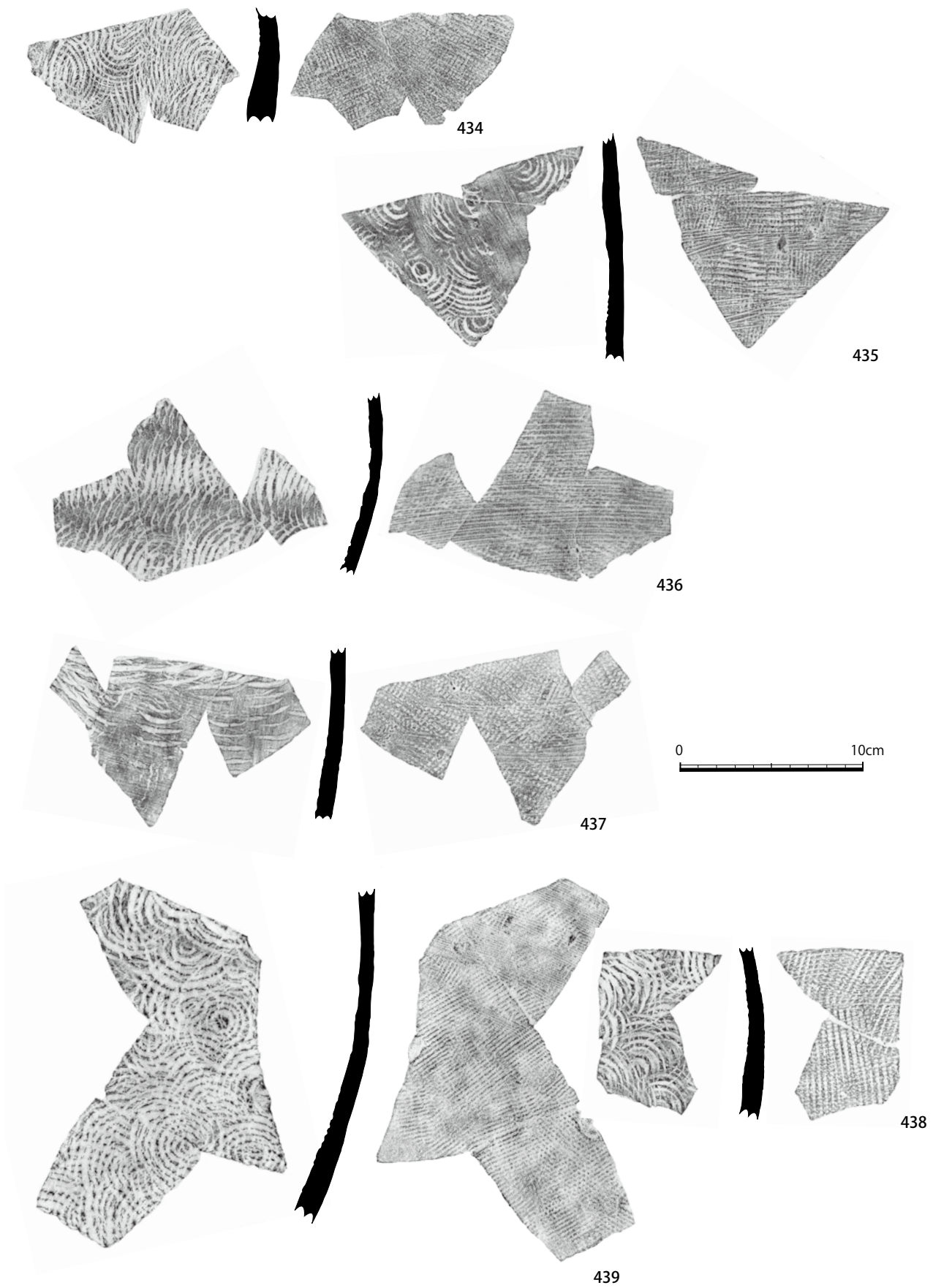
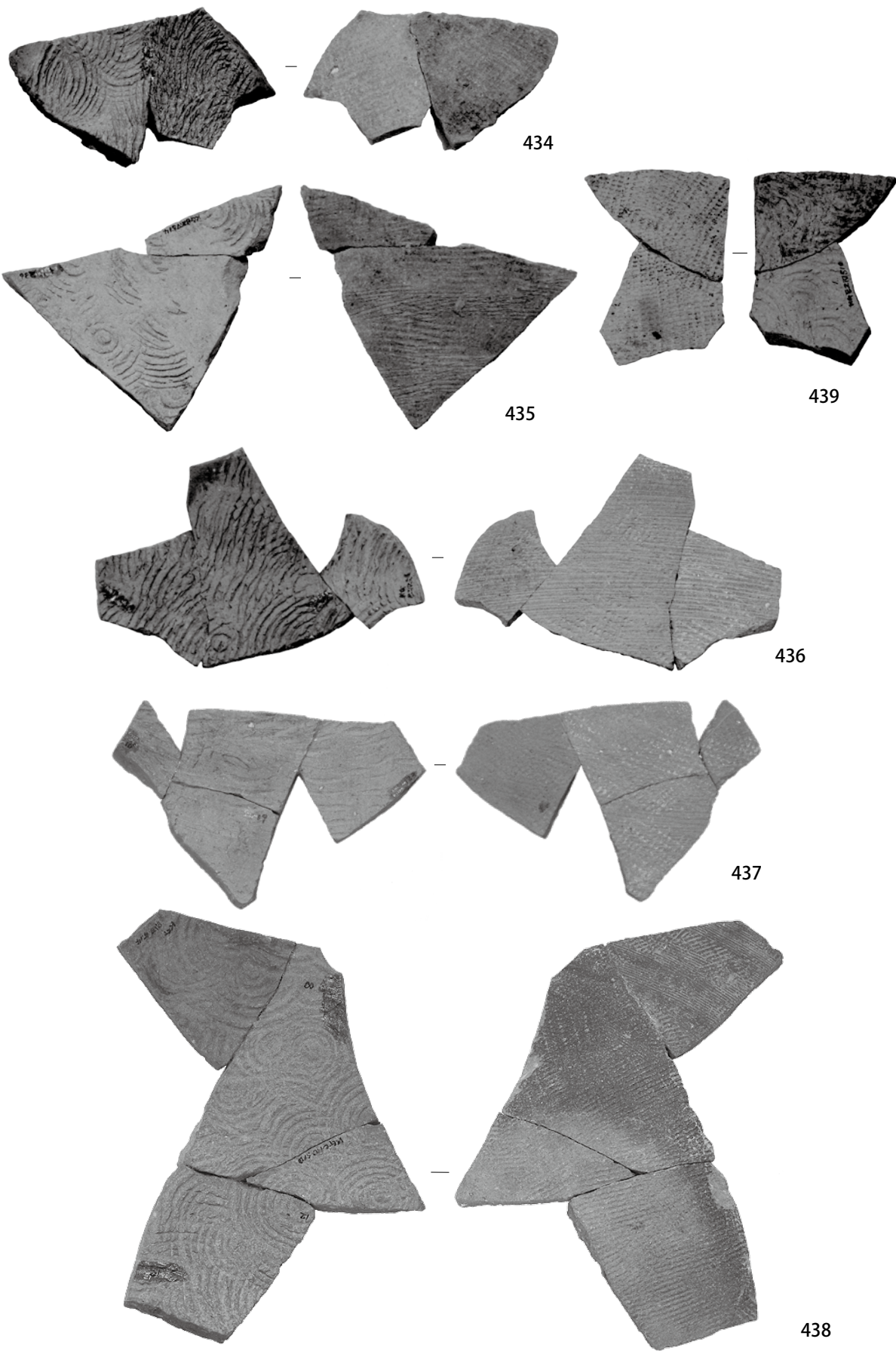


Fig. 60 4層出土須恵器(4)



PL. 58 4層出土須惠器(4)

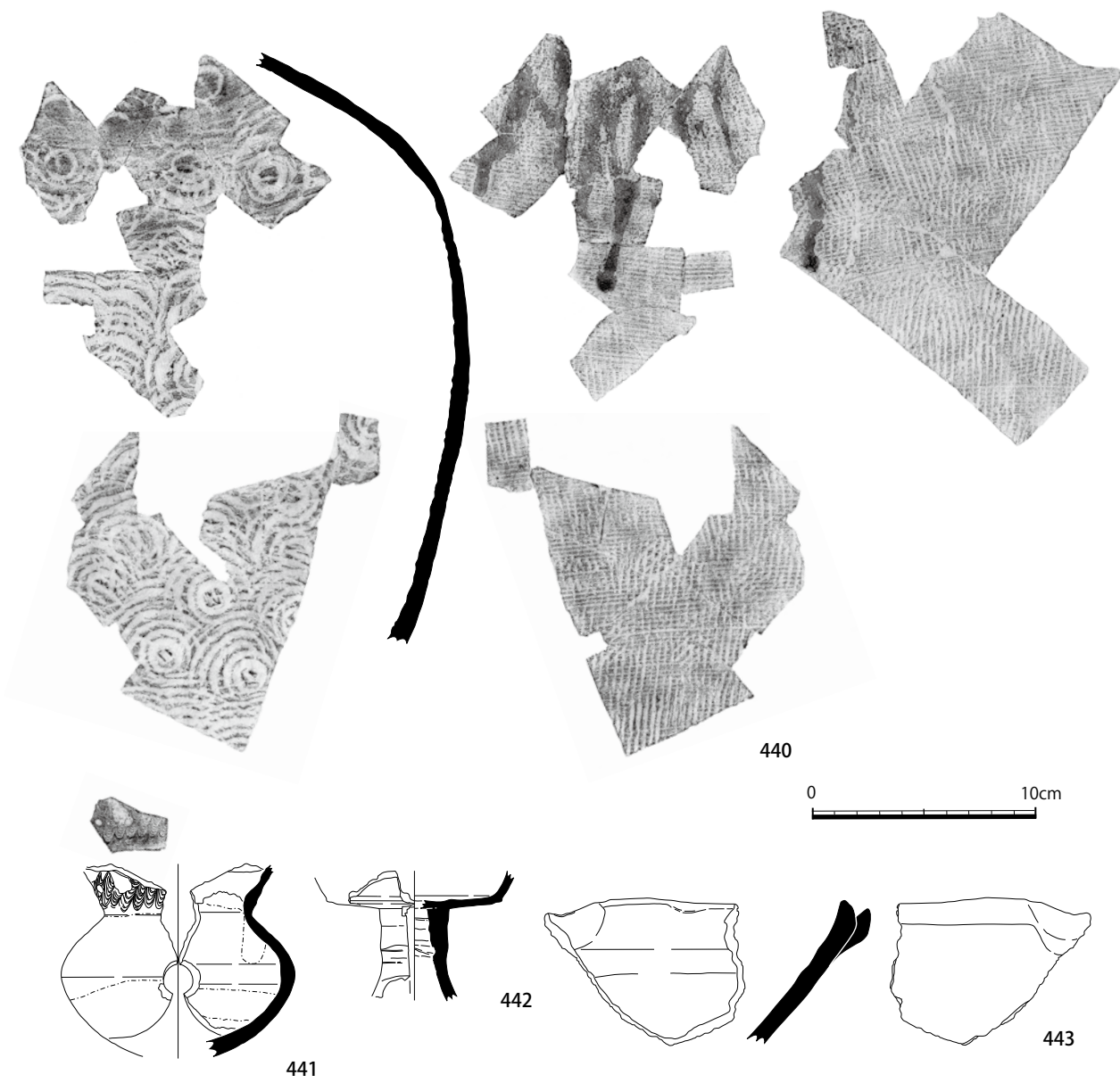


Fig. 61 4層出土須恵器(5)

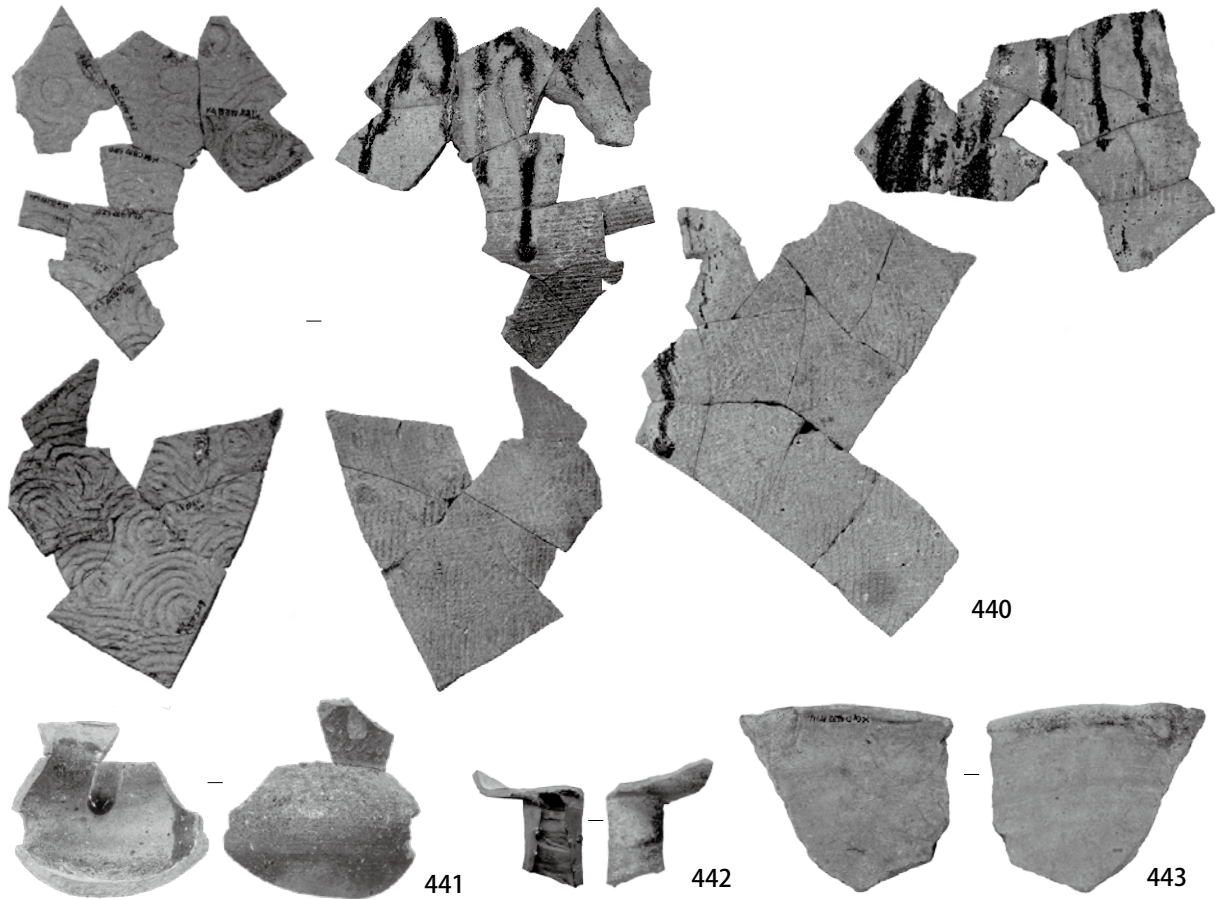
440は薄手の壺胴部であり、肩部に緑色自然釉が垂れる。その特徴から、5世紀代のI型式第2段階のものであると考えられる。441は甕であり、口縁部は欠損しているが、さほど頸～口縁部は長くないと思われ、丸い胴部を呈する形態から6世紀代と考えられる。442は高坏の坏～脚部である。脚部には透かしが認められる。口縁部が欠損しているが、坏下部が平坦で屈曲して口縁部へ伸びる形態と思われ、7～8世紀代のものであると思われる。443は片口鉢である。8世紀頃のものかと思われる。

i) 石器 (Fig.62～64 444～461)

剥片・剥片石器類は14点、磨石・凹石類は16点、砥石類は14点確認している。

444・445はガラス質が強く、不純物が多くみられる三船産に類似する黒曜石である。類似する黒曜石の剥片がもう1点出土している。444は下部は欠損しているが、矢印型に整形されている。445は右側面に剥離痕が認められる。

446～452は、扁平な安山岩や頁岩を素材とする石器類である。446は、打製石斧の基部であり、全体的に



PL. 59 4層出土須恵器（5）

風化しているが、挟り部の両側面端部は丸く摩耗している。447は、下部に両面から研磨された平滑面が認められ（PL.62）、刃部付近に刃部直交方向の線状痕も認められる。450は、扁平な両側縁辺部に二次加工がみられるほか、左側縁の縁辺部は丸みを帯びている。449・451・452は側縁部に敲打痕が認められる（PL.62）。449は長方形を呈する扁平な石器である。上下左右側縁部ともに丸くなっているが、特に左右側縁部は刃部に対して直交方向の筋状のくぼみがみられる。さらに、下部側縁部には2ヶ所挟りが施されており、24号竪穴より出土している175（Fig.34）と使用痕だけでなく形態的にも類似する。左右側面の筋状の凹みは、この石材よりも硬質の素材と接触した際に生じた可能性が高い。また、451の右側面、452の下側縁は、敲打により先端部が丸く潰れている。

以前、上述の石器類と類似する扁平な石材を素材とする大学構内遺跡出土の弥生時代中期～古墳時代にかけての横刃形石器2点の使用痕分析を行っている²³⁾。その結果、刈り取りの作業に使用された石器であることが判明している。本地点出土の石器は、452の刃部付近には光沢が認められたが、その他の石器については石器全面に光沢や摩滅が強く、特に刃部のみにも明瞭な光沢が認めらると判断できなかった。しかし、素材となる剥片の形状は以前使用痕分析を行った横刃形石器と類似しており、こうした石器の使用状況は、本来の使用目的を終えたあと、鋭利な先端部を再利用して何らかの敲打作業を行ったということが可能性のひとつとして考えられる。石器の二次利用の痕跡として、注視される事例である。

453～456は砥石である。453は、使用面ほぼ全体にわたり明瞭な光沢痕がみられる（PL.62）。また、455は先端部に穿孔されている。457・458は部分的に平坦な磨面をもつ。457は上下端部に、458は磨面と中央部に敲打部をもつ。

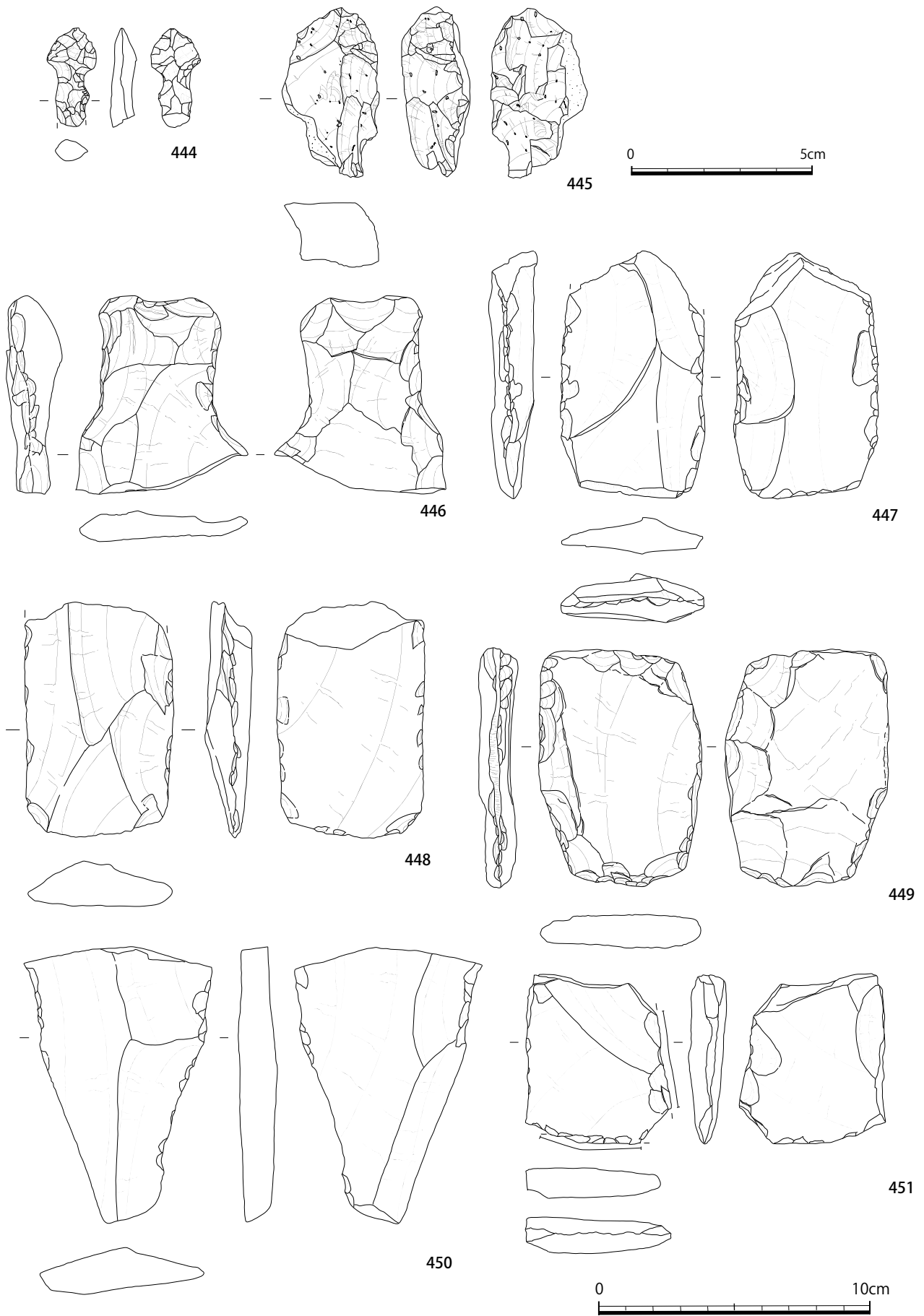
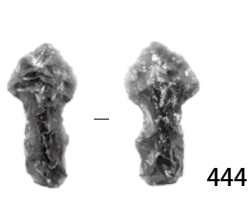
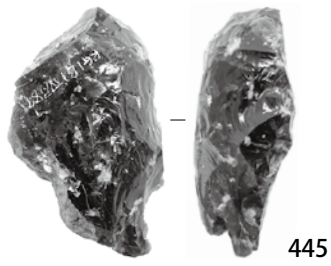


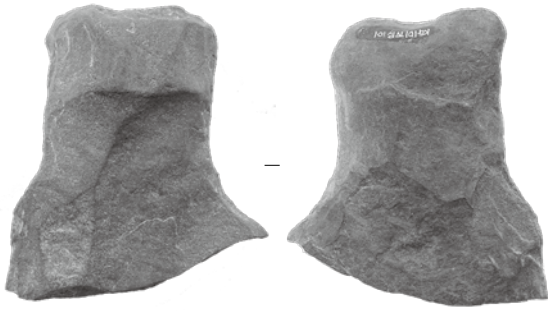
Fig. 62 4層出土石器(1)



444



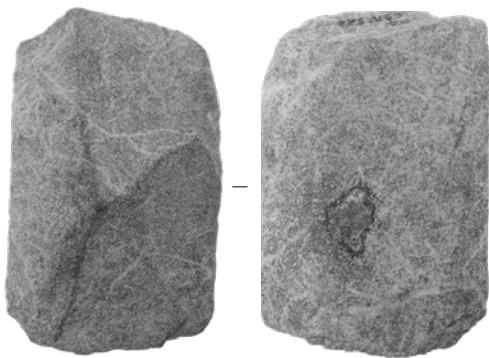
445



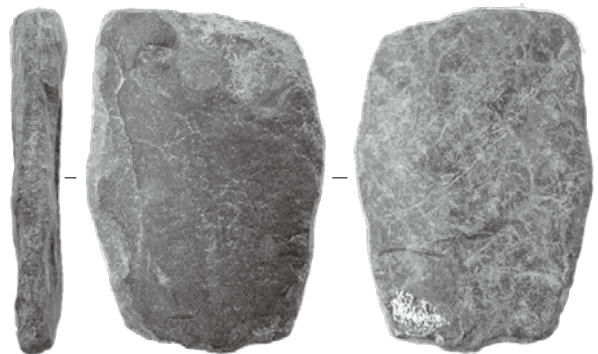
446



447



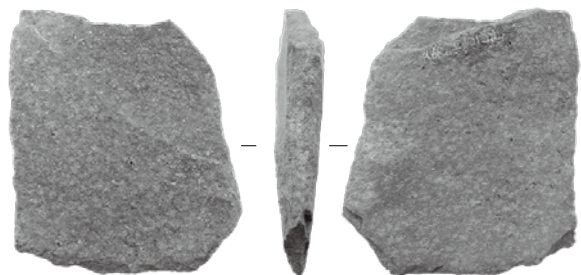
448



449



450



451

PL. 60 4層出土石器(1)

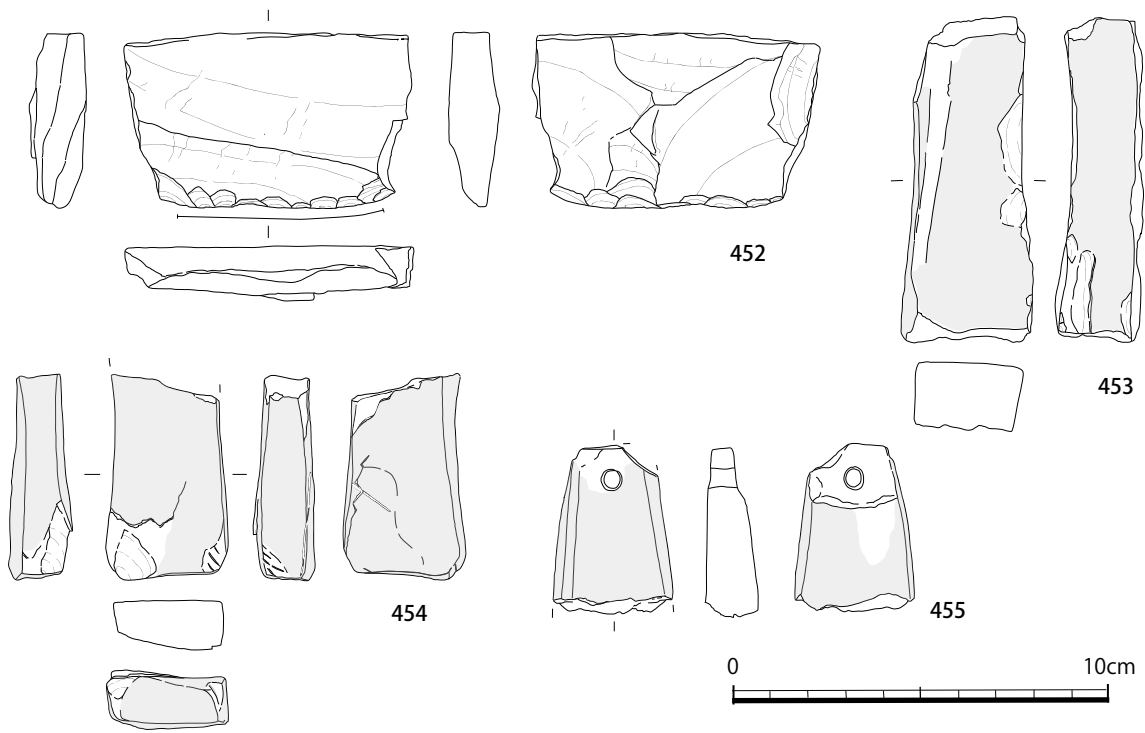
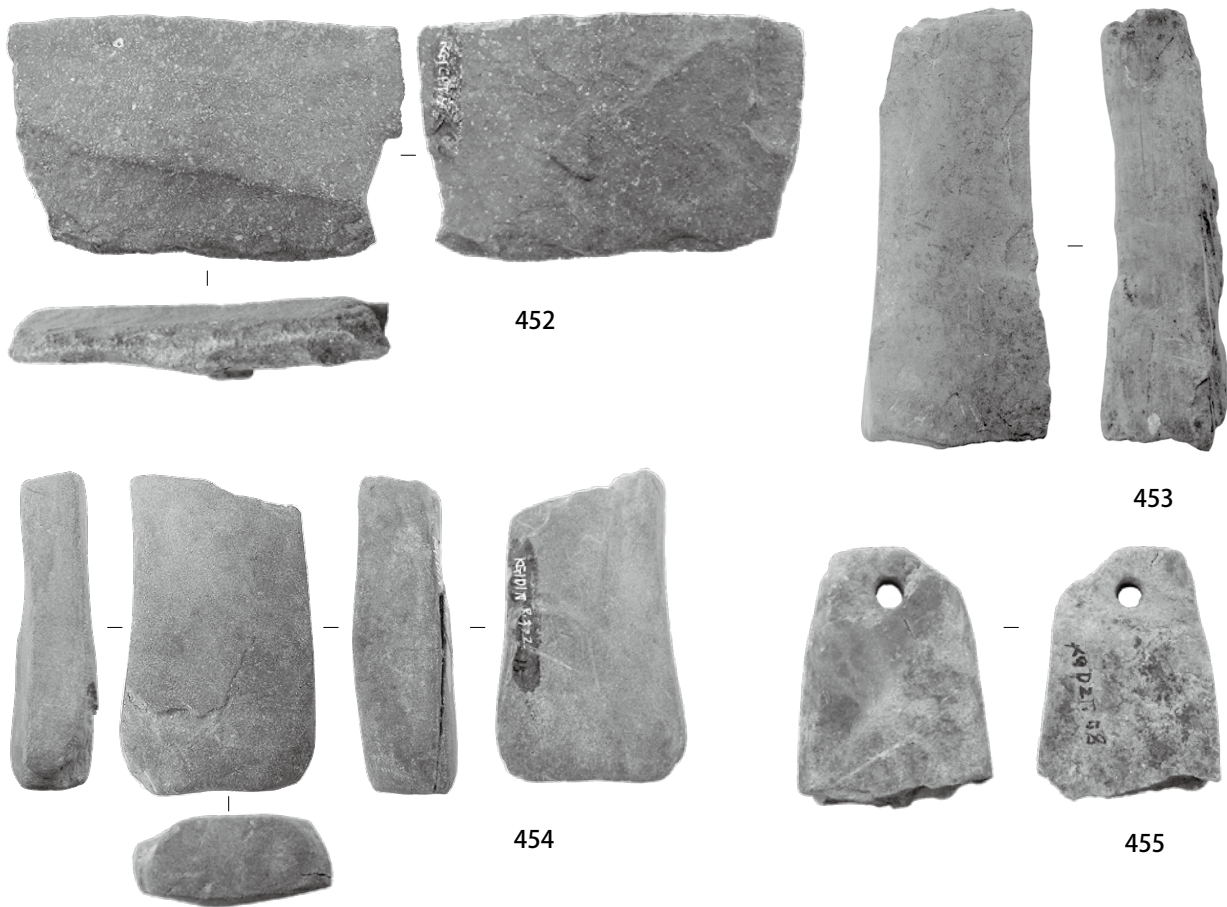
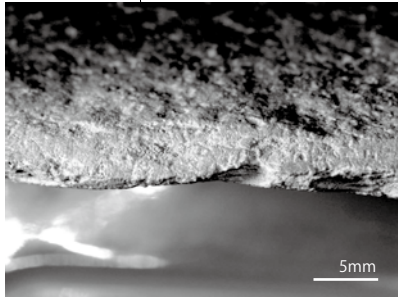
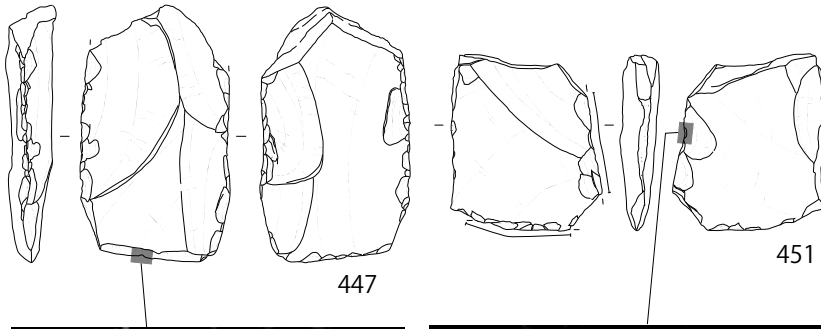


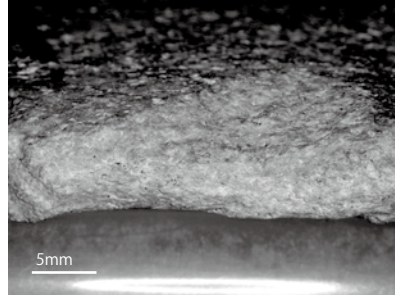
Fig. 63 4層出土石器(2)



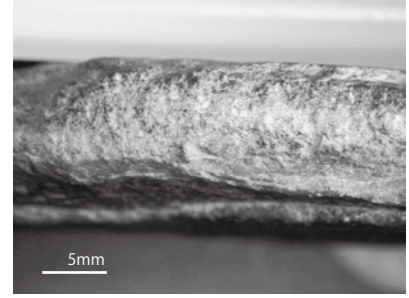
PL. 61 4層出土石器(2)



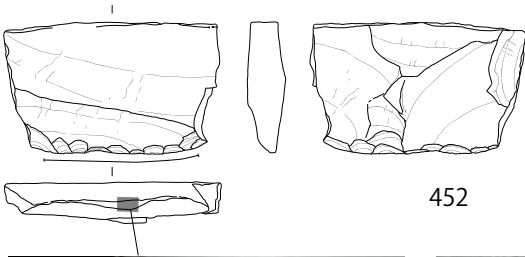
447 刃部平滑面・線状痕



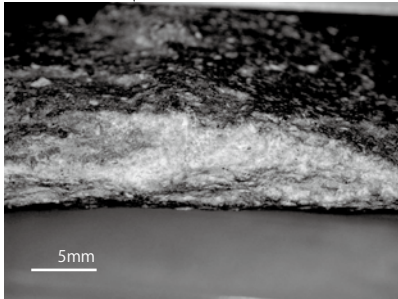
451 刃部潰れ



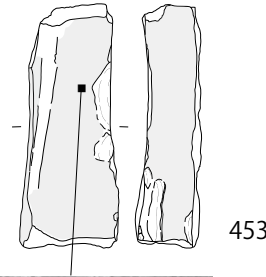
449 刃部直交方向線状痕



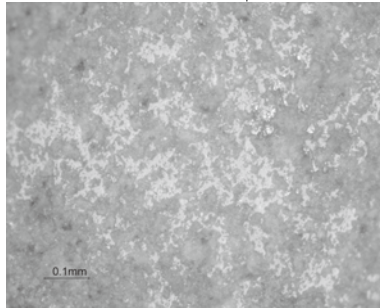
452



452 刃部潰れ



453



453 光沢



砥石類



台石・敲石類

PL. 62 4層出土石器使用痕, その他石器類

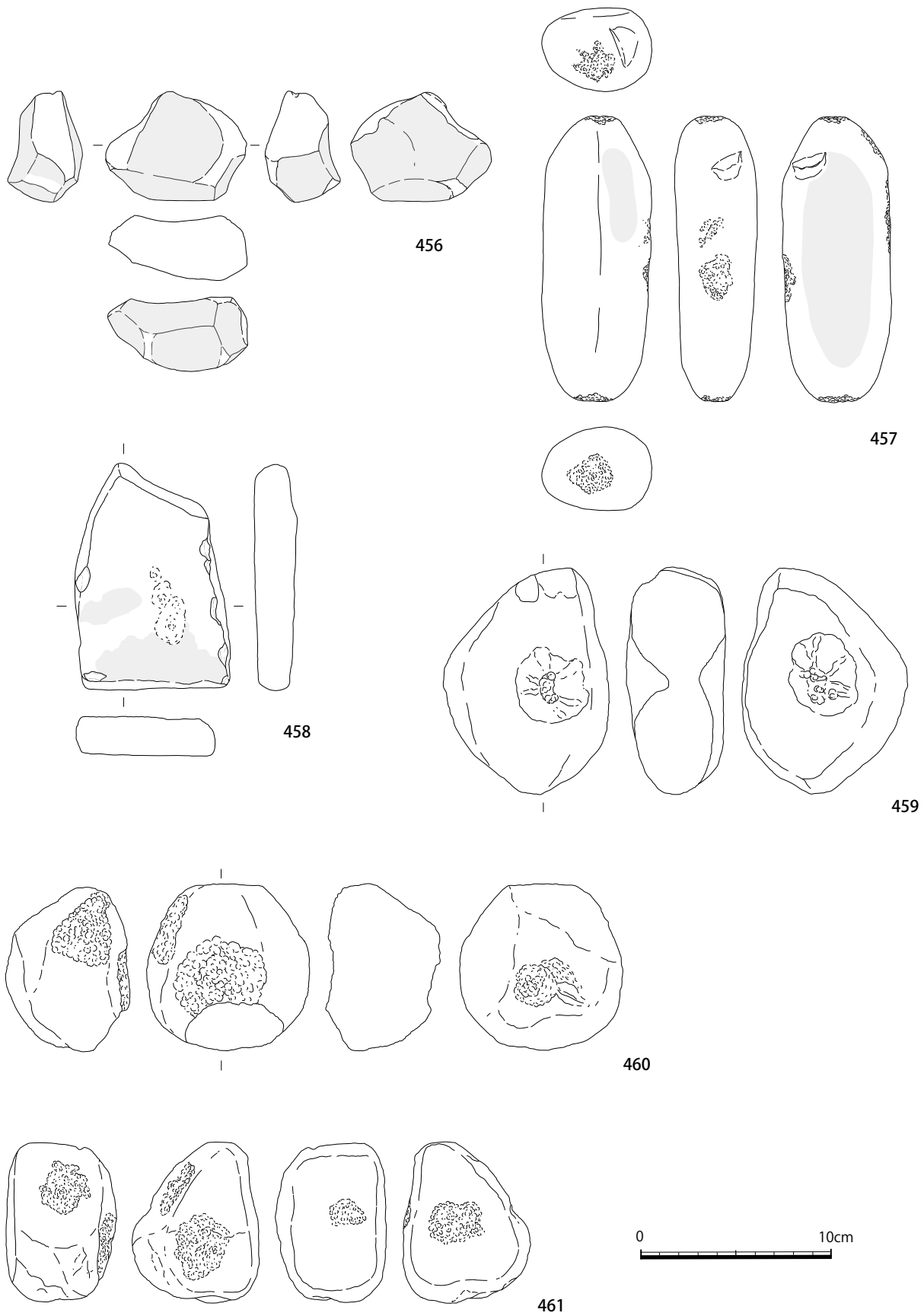
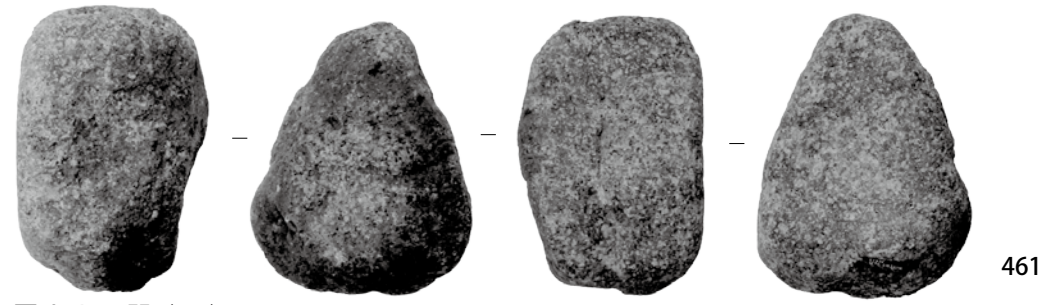
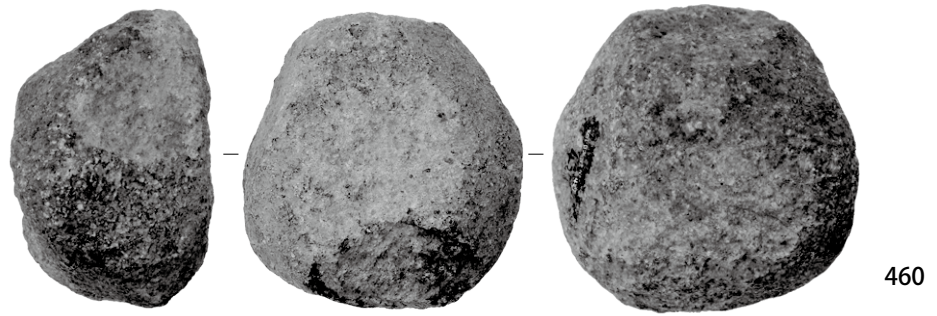
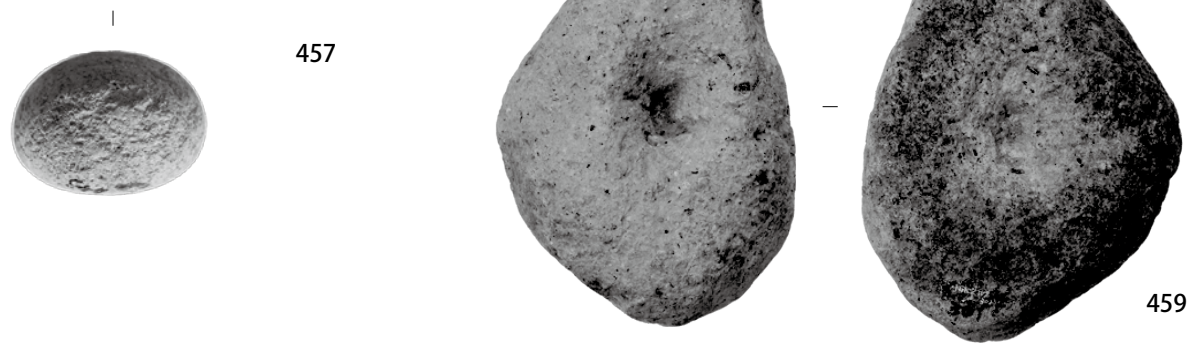


Fig. 64 4層出土石器(3)



PL. 63 4層出土石器(3)

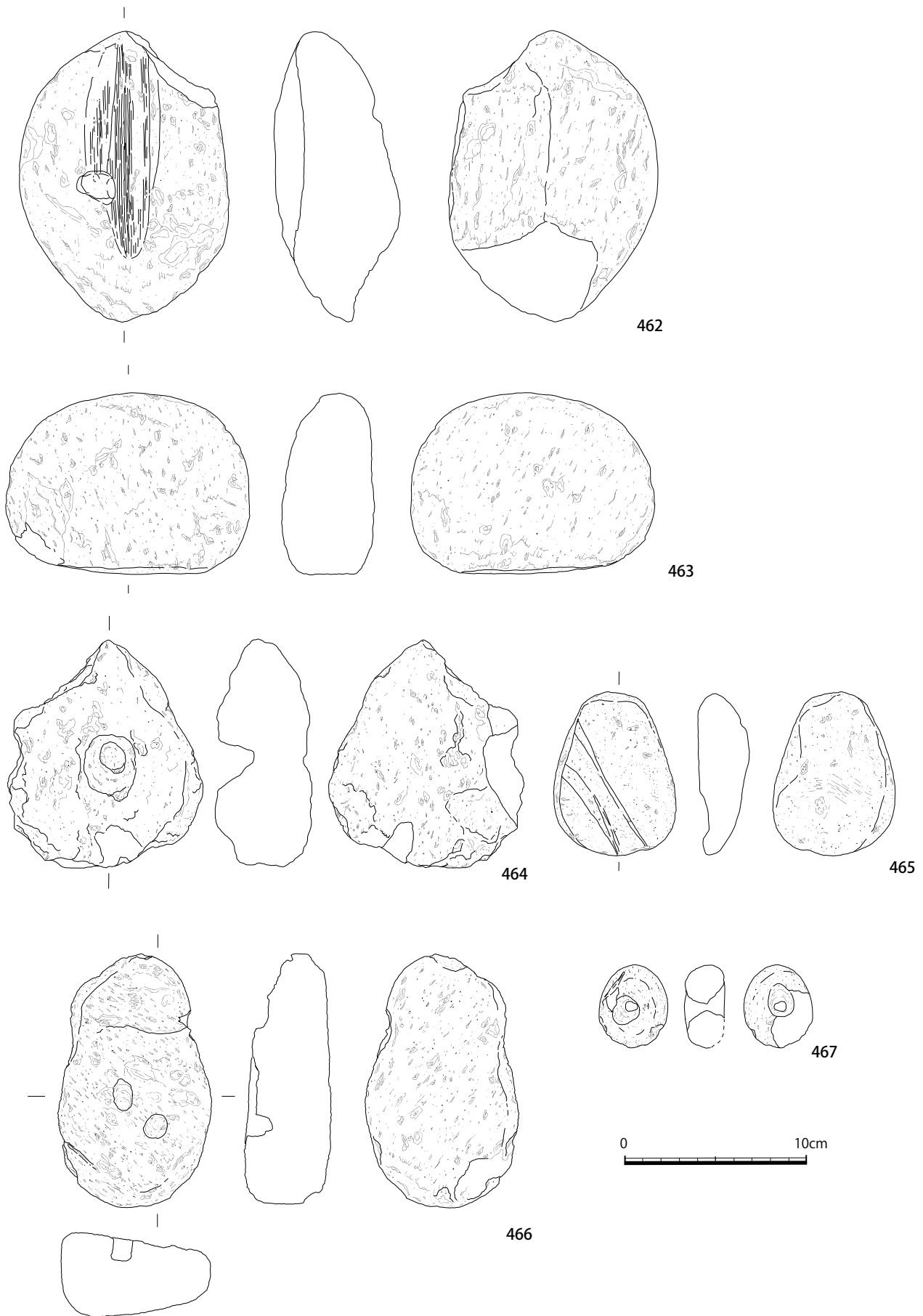
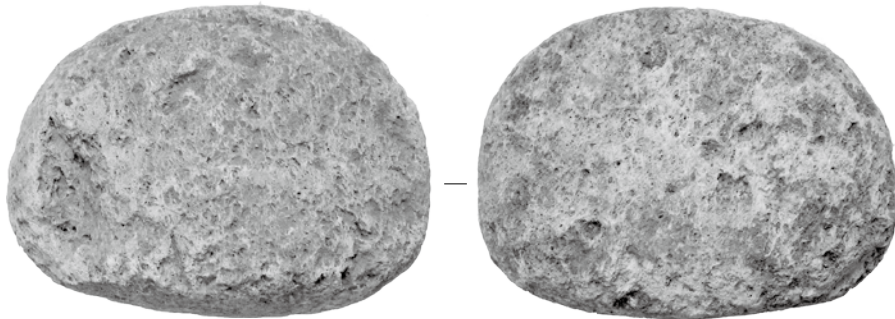


Fig. 65 4層出土石器(4) 軽石加工品



462



463



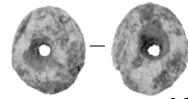
464



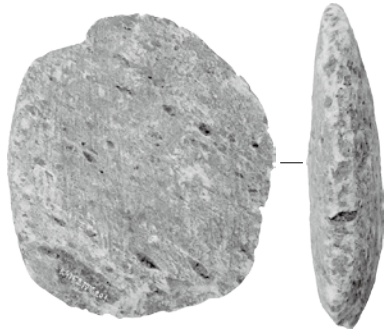
466



465



467



468



469

PL. 64 4層出土石器(4)軽石加工品

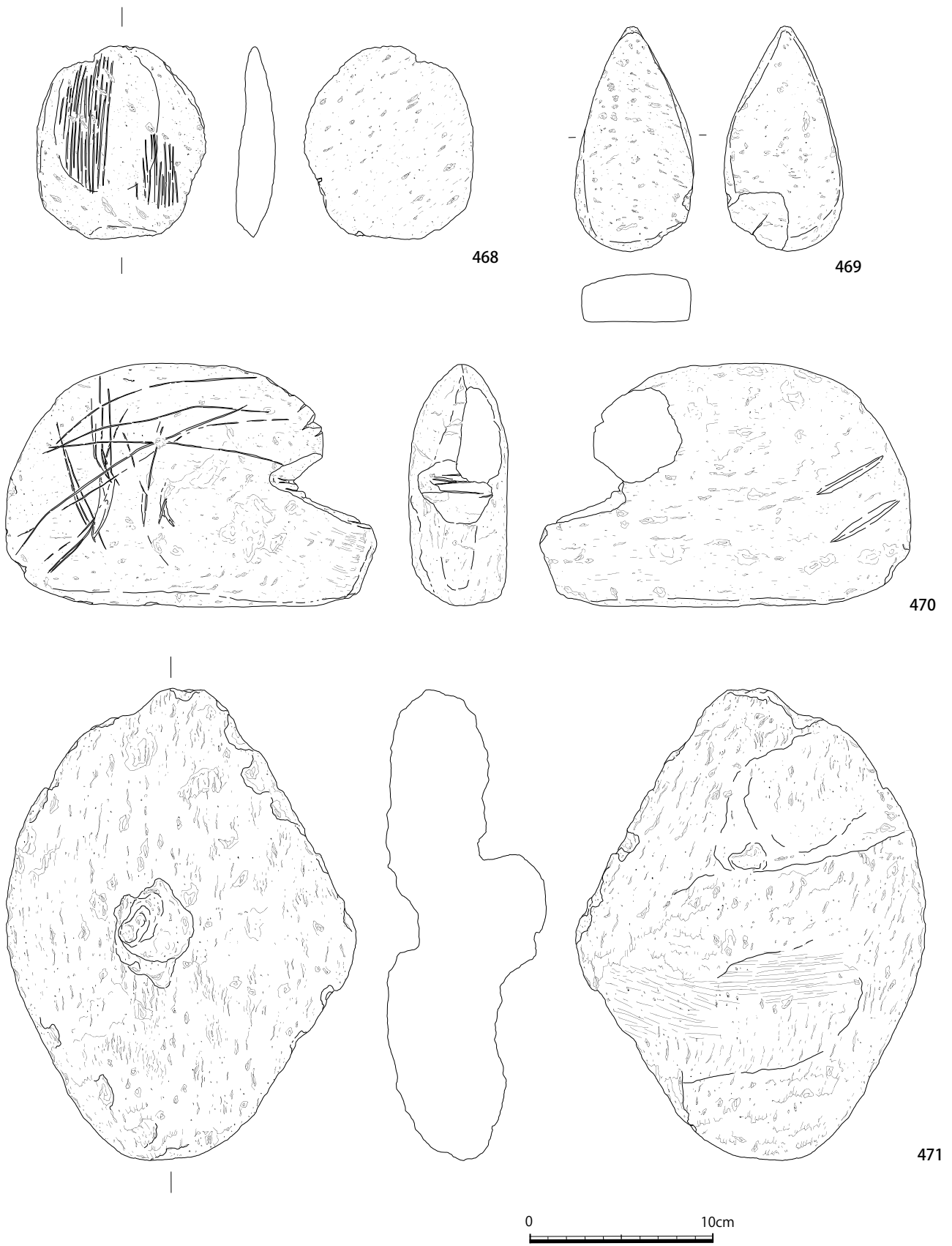
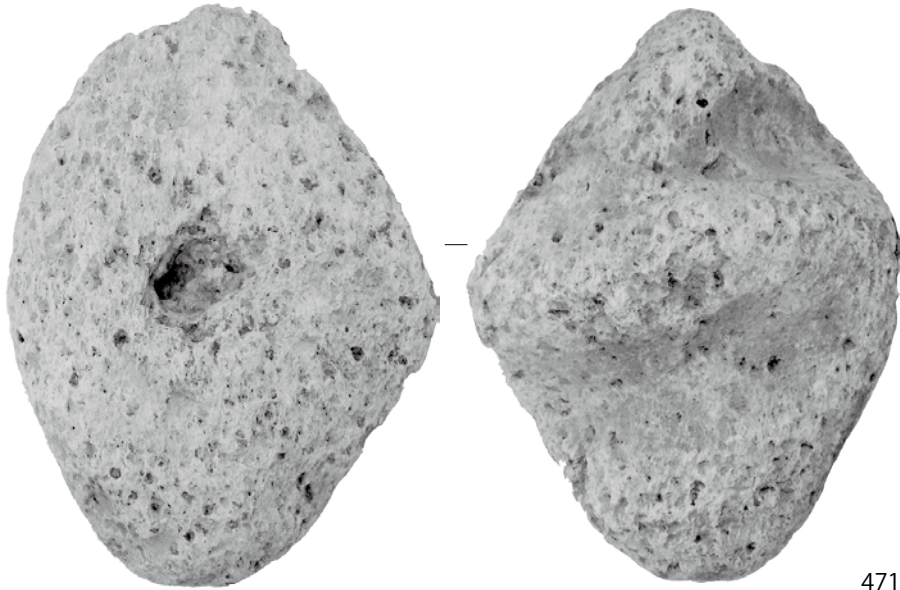


Fig. 66 4層出土石器(5) 軽石加工品



470



471



その他軽石加工品

PL. 65 4層出土石器(5) 軽石加工品

459～461は凹石である。459は表裏面の中央部に凹穴がみられる。460・461は敲打痕が4面に確認できる。また、この3点の凹石を含め合計6点の凹石のデンプン分析も行った²⁴⁾。各凹石の凹み部分から2、3ヶ所ごと試料を採集してプレパラートを作成し、観察を行ったが、デンプン粒は検出されなかった。

j) 軽石加工品 (Fig.65・66 462～471)

4層からは多くの軽石礫が出土しているが、そのほとんどは一括取上になっており、出土軽石総重量は53.2kgになる。風化して加工痕積が不明瞭なものも多いが、軽石加工品として19点を確認した。

形状としては、平坦面をもつもの、凹穴をもつもの、穿孔されたもの、沈線がみられるもの、幅広凹線がみられるもの、いわゆる魚型加工品、などがある。凹みと沈線加工が確認できるものもある(462・471)。

462は幅2cmの凹線が中央部に施される。凹線内部には断面は緩くカーブしており、細沈線が確認できる。両先端部がやや尖る形状となっている。465も幅1.5cmの凹線が斜めに施されている。凹線側の面は平坦で、凹線内には細沈線が認められる。凹穴がみられるのは、464・466・471のほか、PL.65軽石集合写真の上段左2点、下段左2点などである。466は径1×1.5cmの楕円が2ヶ所施されている。裏面はほぼ平坦である。471は、最大長26cmと大型で、表面中央部に凹みをもち裏面には幅6cmの凹線が3方向から施される。467は穿孔された楕円形の軽石加工品である。468は表面中央部は緩やかにくぼみ、沈線が認められる。裏面は、凸状に緩くカーブしている。平坦面をもつものは、469やPL.65の軽石集合写真右側上下2点などである。469は表裏面・側面ともに磨られている。先端部は尖るように作り出され、表面は凸状に緩やかにカーブし、裏面は平坦となっている。

463・470と、PL.65軽石集合写真下段右から2番目の軽石加工品は、魚形加工品と呼称されたもの²⁵⁾である。3号竪穴からも3点ほど出土しているが、その形態の特徴は、楕円形の長楕円側の一側面を平坦に磨っており、もう片側は両面から磨って側面形が刃のように尖った形状である。磨られた面を下に遺物は安定する。短楕円側に刻みが施されるものも多い。463は沈線や刻みは施されていないが、長楕円側一側面が平坦に磨られている。470は平坦面に加え、沈線や右短側面側の刻みが明瞭に確認できる。集合写真の魚形加工品も同様に、沈線と刻みが施されている。

5層包含層出土遺物

5層包含層出土遺物は、竪穴建物や溝などの遺構内出土遺物重量を加えても、全遺物出土重量の約15%である。5層も4層と同じく、篋貫式土器を主な出土土器とし、一部弥生土器が出土している。

472・473は弥生中期のものである。472は甕口縁で入来Ⅱ式に該当する。473は高坏の口縁で赤色塗布され、中期後半ものかと思われる。

474～478は甕の口縁～胴部、479～481は甕もしくは鉢の口縁部である。口縁部は、緩く外反するもの(474・475)、緩く内湾するもの(477・478)、直立するもの(476)などである。476～477は内面に接合線がみられ、477の外表面突帯上部には粘土を厚く被せた痕跡や幅3mm程度の工具痕がみられる。479・480は先端の細い工具痕が外面に残る。482・483は甕もしくは鉢の底部、484～488は台付鉢である。高さ2、3cmほどの短い脚部であるが、甕と同じく胴部のあとに脚部は別々に製作され接合され、その痕跡が確認できる(482・485・487・488)。487は脚部剥落部に指頭痕がみられる。489は平底の鉢であり、底部を平らにするために粘土が後付けされている。490・491は小型コップ状の鉢である。

492・493は壺の口縁～頸部である。いずれも口縁から頸部が短く、小ぶりの壺と思われる。

494は埴もしくは鉢である。495～498は高坏の脚部である。496・497内部は工具痕がみられる。498の脚裾部が平坦に接地する形態は、この1点のみである。499は埴の胴部である。屈曲上部であると思われる、内面に明瞭に接合線がみられ、割れ面も接合部である。

500は甕と思われる須恵器口縁部である。内面に自然釉が付着する。501は軽石加工品である。一部欠損しているが、楕円状に薄く平坦に加工されている。

Tab. 12 5層包含層出土遺物器種別個体点数

| | | A1区 | A2区 | A3区 | B1区 | B2区 | B3区 | B4区 | C1区 | C2区 | C3区 | C4区 | D1区 | D2区 | D3区 | D4区 | E1区 | E2区 | E3区 | E4区 | |
|----------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| 弥生土器 | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 甗貫式土器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 甗形土器 | 口縁部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 緩く外反 | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | |
| | 2 直立やや反 | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | 1 | 2 | | 1 | |
| | 3 緩く内湾 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | |
| | 脚台内面形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 丸く凹む | | | 2 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 平坦 | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 3 膨らみ有り | | | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 4 突起有り | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 鉢形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 直・内湾+脚 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 2 | | | | |
| 2 直・内湾+平 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| 壺形土器 | 口縁部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 直立端部外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 斜め | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | |
| | 3 緩く外反 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4 短頸 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 平底 | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | 2 凸レンズ状 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 丸底 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 突帯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 幅広突帯 | | | | 2 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | |
| 2 頸部突帯 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高坏形土器 | 坏部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 丸く内湾 | | | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 3 | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | |
| | 2 口唇やや外反 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| | 3 接合部 | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | 1 | | 3 | | | | | | |
| | 4 不明 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | 3 | | | |
| | 脚部内面 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 脚柱部充填 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | |
| | 2 中間部中空 | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | 3 | | |
| | 3 中空 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 罎形土器 | 口縁部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 直線・やや外反 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | 2 内湾 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 平底 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 ややあげ底 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 丸底 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 胴部形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 丸 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 屈曲 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |

註 22) 本報告の須恵器の年代観は、『年代のものさし—陶邑の須恵器—』2006 大阪府立近つ飛鳥博物館図録 40 に依る。

23) 寒川朋枝 2010 「付編3 鹿児島大学構内遺跡郡元団地出土の横刃形石器の使用痕分析」
『郡元団地 D-7・8 区 D・E-5 区 C-4・6 区 C-6 区』鹿児島大学埋蔵文化財調査室発掘調査報告書第 5 集

24) 石器残存デンプン分析の手法は、渋谷綾子氏の御教示による。

25) 上村俊雄ほか 1979 「大龍遺跡」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書 (1) 鹿児島市教育委員会

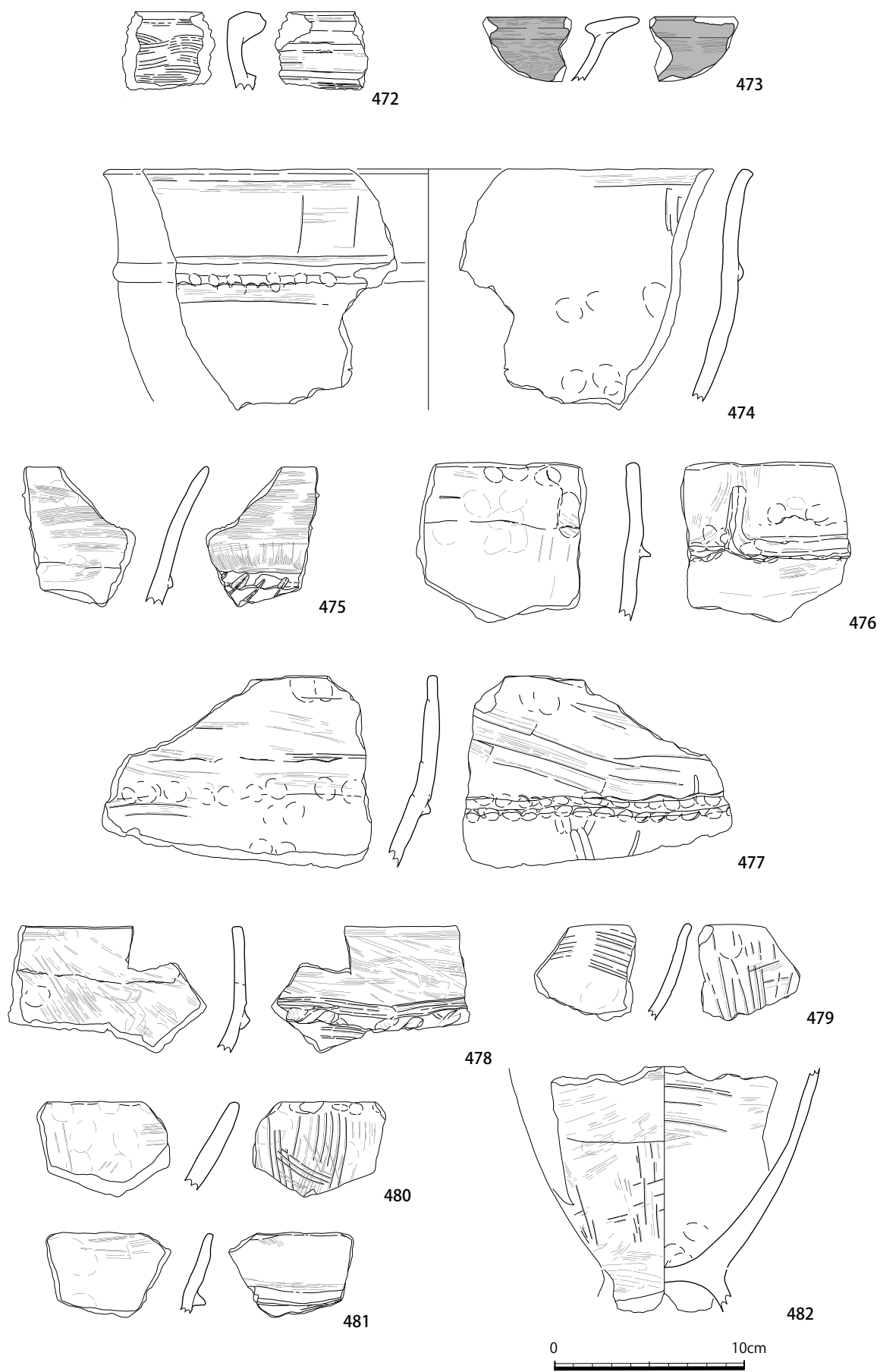
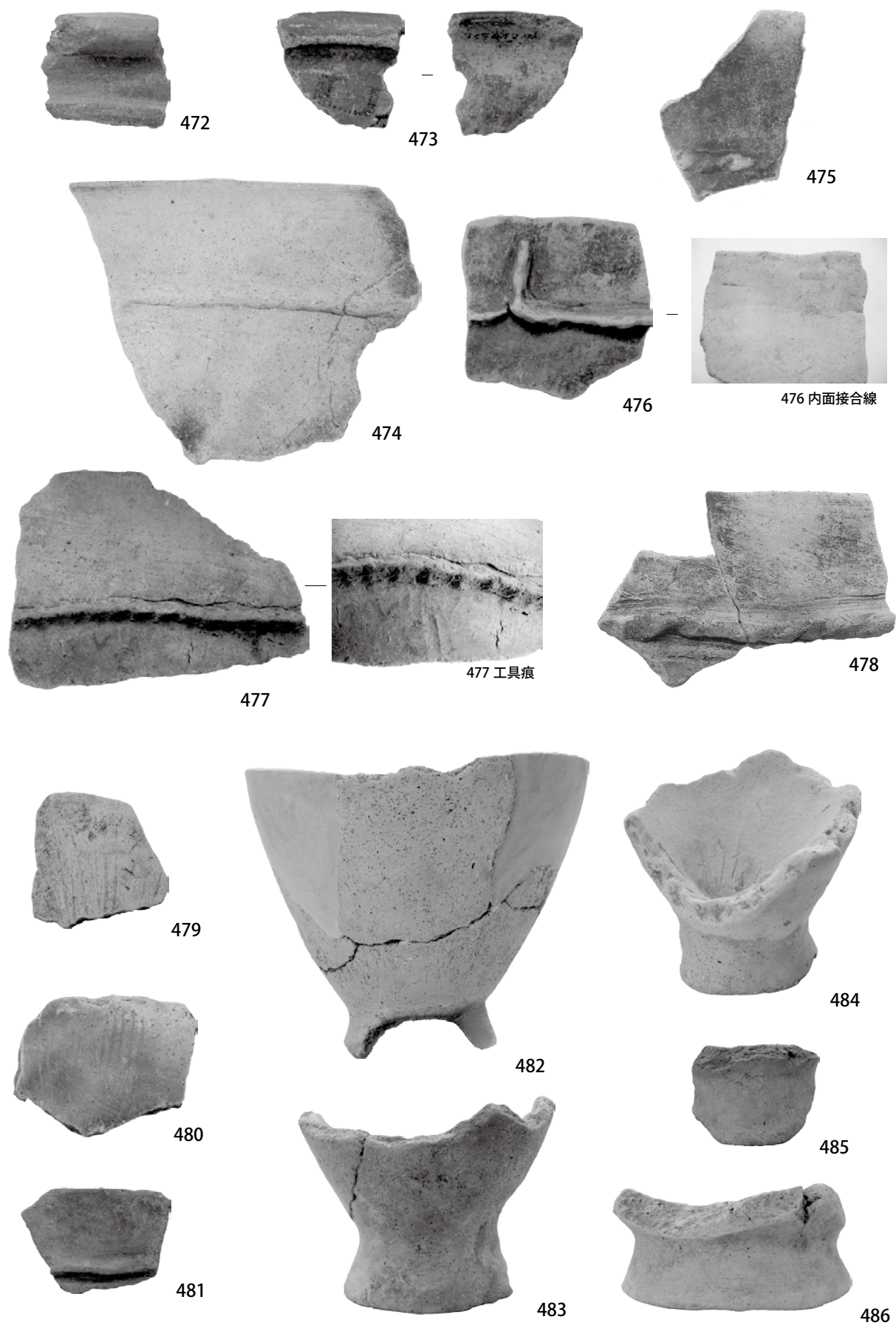


Fig. 67 5層出土土器(1)



PL. 66 5層出土土器(1)

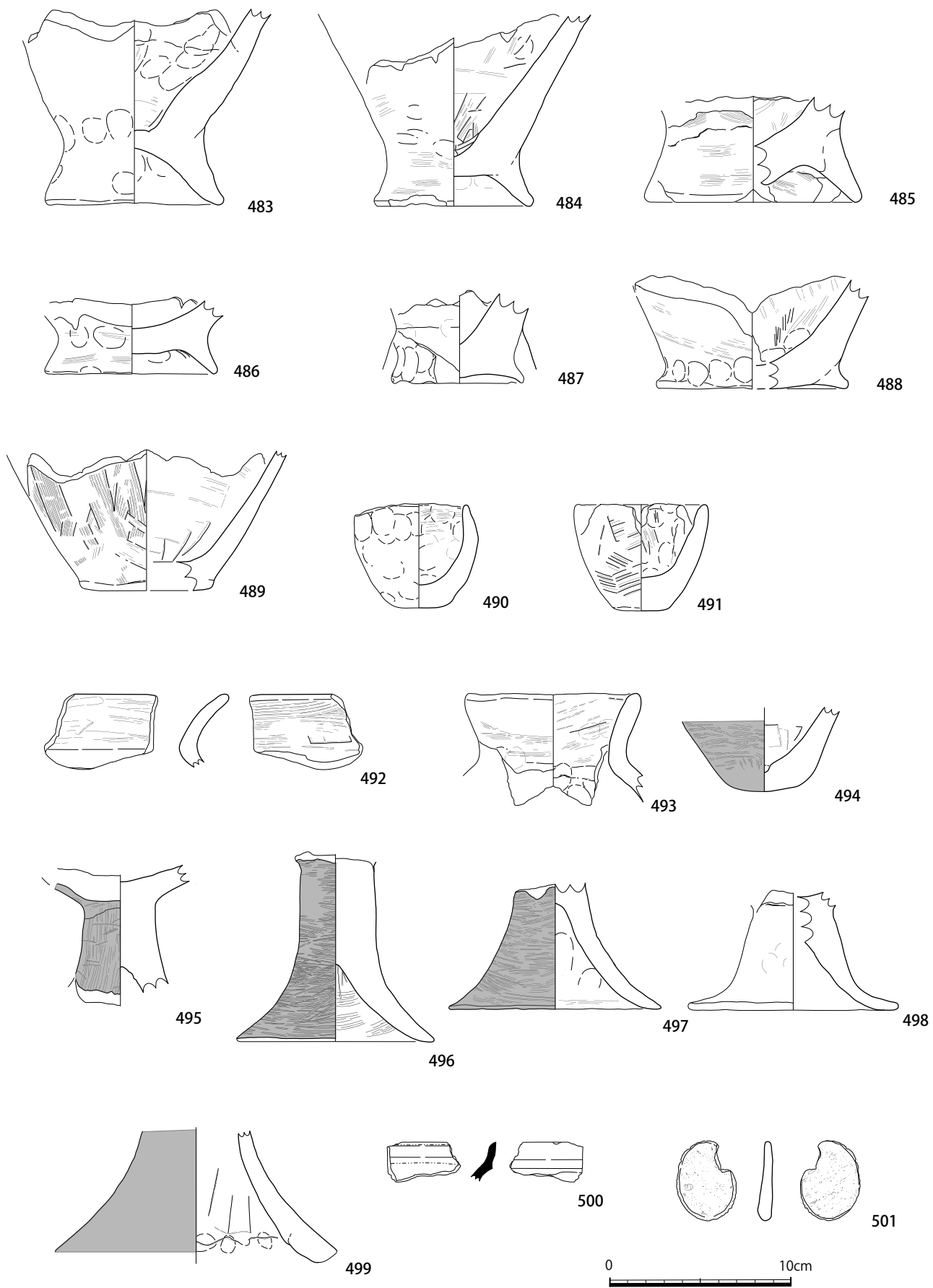
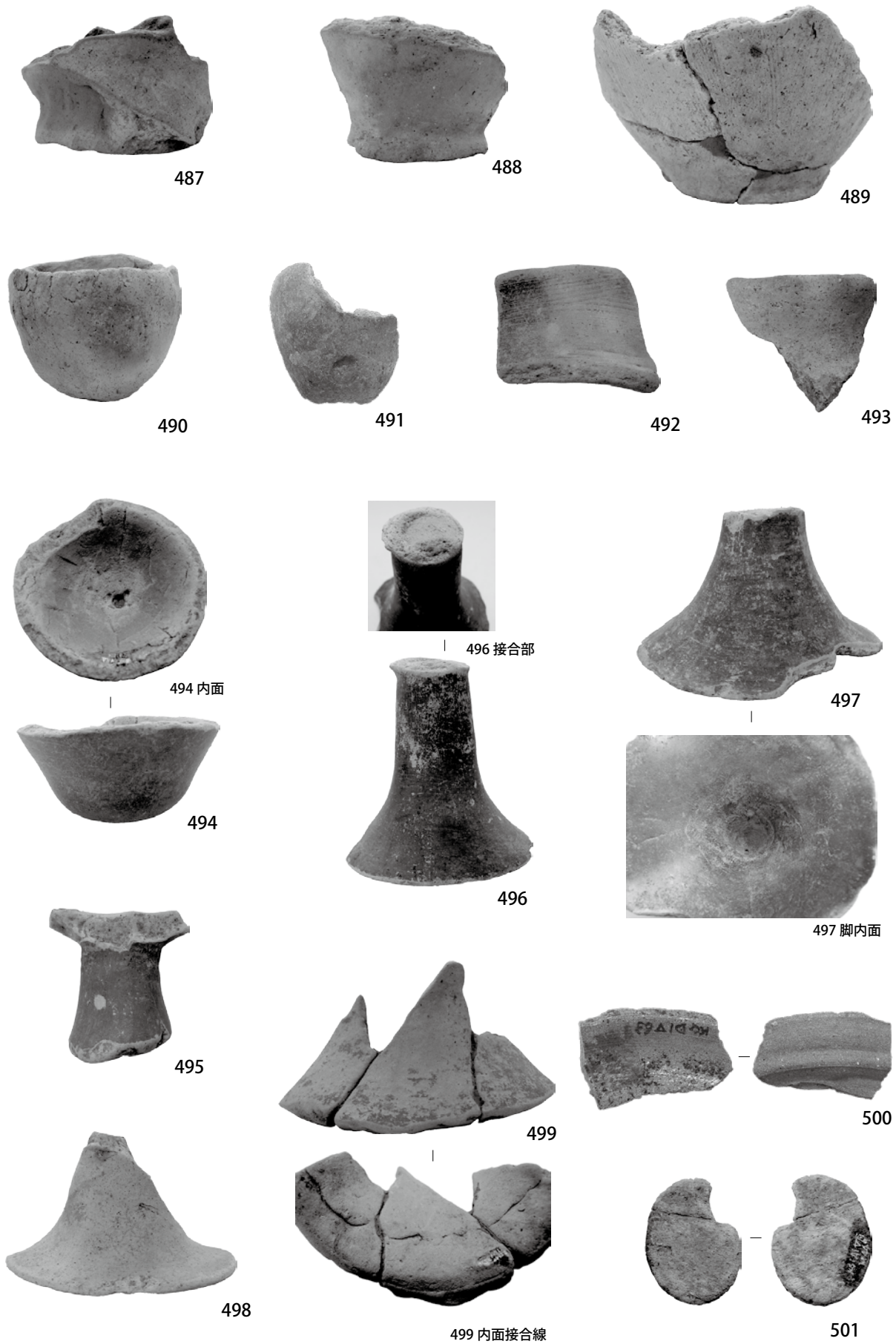


Fig. 68 5層出土土器・石器（2）



PL. 67 5層出土土器・石器(2)

Tab. 13 4層包含層出土遺物観察表

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|--------|---------|----------|--------|--------------|------------|------|---|-------------------------|--|--------------------|
| 44 | 220 | 弥生 甕 | 口縁部 | D2 | 4 | | | | 外面：にぶい黄褐色 10YR6/4, 内面：暗灰黄色 2.5Y5/2 | 角閃石, 白色粒, 石英 | 外面：ユビオサエ→ナデ(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(ー) | |
| | 221 | 弥生 甕 | 口縁部 | C2 C3 | 5 4 | | | | 外面：灰白色 10YR/1, 内面：にぶい黄褐色 10YR7/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(ー) | |
| | 222 | 弥生 甕 | 口縁部 | C3 | 4 | 5.56 | 289 | | 外面：黄灰色 2.5Y4/1, 内面：にぶい黄褐色 10YR6/3 | 石英, 角閃石, 白色粒 | 外面：ナデ(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(ー) | |
| | 223 | 弥生 甕 | 口縁部～胴上部 | C3 | 4 | | | | 外面：浅黄褐色 10YR8/2・一部黒斑有り, 内面：灰黄色 2.5Y7/2・浅黄色 2.5Y7/3, 器内：黒色 7.5Y2/1 | 石英, 白色粒, 角閃石, 赤色粒 | 外面：ナデ(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(ー)(1) | |
| | 224 | 弥生 甕 | 口縁部～胴上部 | E2 | 4 | 5.27 | 463 | | 外面：にぶい褐色 7.5YR5/3, 内面：にぶい褐色 7.5YR6/4 | 石英, 白色粒, 黒色粒, 礫 | 外面：ユビオサエ→ナデ(ー), 内面：ナデ(ー) | |
| | 225 | 古墳 甕 | 口縁部～胴下部 | C1 | 4 | 5.39 5.5 | 206 134 | | 外面：にぶい黄褐色 10YR7/3, 内面：にぶい黄褐色 10YR7/2, 器内：褐色 10YR6/1 | 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(1)(1)・ユビオサエ, 口縁部ナデ(ー), 内面：ナデ(1)(1)・ユビオサエ | 刻目突帯, 内外面接合線有り |
| | 226 | 古墳 甕 | 口縁部～胴下部 | B2 | 4 | 5.47 | 331 | | 外面：にぶい黄褐色 10YR5/3, 内面：にぶい褐色 7.5YR6/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(1)(1)(ー), 内面：ナデ(ー)(1)(1) | |
| | 227 | 古墳 甕 | 口縁部 | E2 | 4 | | | | 外面：褐色 7.5YR7/6, 内面：褐色 7.5YR7/6・灰白色 10YR8/2, 器内：黄灰色 2.5Y5/1 | 角閃石, 石英, 白色粒, 褐色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(ー) | 絡縄突帯, 内外面接合線有り, 外面 |
| | 228 | 古墳 甕 | 胴部 | B1 | 4 | | | | 外面：褐色 7.5YR6/6, 内面：にぶい褐色 7.5YR6/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(ー)→(1), 内面：ハケ(ー)・打ち込み痕有り・ナデ(ー) | 刻目突帯, 布目圧痕 |
| | 229 | 古墳 甕 | 口縁部～胴上部 | D1 | 4 | 5.56 5.39 | 33 181 | | 外面：にぶい黄褐色 10YR7/2, 内面：浅黄褐色 10YR8/3 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒, 赤色粒 | 外面：口縁部ナデ(ー), 胴部ハケ(1)・ユビオサエ, 内面：ナデ(ー)(1)・ユビオサエ | 絡縄突帯, 外面スス付着 |
| 45 | 230 | 古墳 甕か鉢 | 口縁部～胴上部 | A3 | 4 | | | | 外面：にぶい黄褐色 10YR6/3, 内面：にぶい褐色 7.5YR7/4 | 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(ー), 内面：ナデ? | 外面スス付着 |
| | 231 | 古墳 甕 | 口縁部 | A3 | 4 | 5.41 | 454 | | 外面：灰黄褐色 10YR6/2, 内面：灰白色 10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(1)→(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(ー)(1) | 外面スス付着 |
| | 232 | 古墳 甕 | 口縁部～胴上部 | B3 | 4 | | | | 外面：褐色 7.5YR6/6, 内面：にぶい黄褐色 10YR7/2 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：口縁部ナデ(ー), 胴部ナデ(1), 内面：ユビオサエ・ナデ? | |
| | 233 | 古墳 甕 | 口縁部～胴上部 | E1 | 4 | | | | 外面：浅黄褐色 10YR8/3, 内面：灰白色 2.5Y8/2・黄灰色 2.5Y5/1 | 白色粒, 角閃石, 石英, 赤色粒 | 外面：口縁部ハケ(1)→ナデ(ー), 胴部ハケ(ー), 内面：口縁部ナデ(ー), 胴部ユビオサエ・ナデ(1) | 刻目突帯 |
| | 234 | 古墳 甕 | 口縁部 | D2 | 4 | | | | 外面：浅黄褐色 10YR8/3, 内面：灰白色 10YR8/2・黄灰色 2.5Y5/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(ー), 内面：ナデ(1) | 外面スス付着 |
| | 235 | 古墳 甕 | 口縁部 | D1 | 4 | 5.56 | 33 | | 外面：にぶい褐色 7.5YR7/4 類似・一部黒斑有り, 内面：にぶい褐色 7.5YR6/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ(1), 内面：ユビオサエ・ナデ? | 絡縄突帯, 粘土貼付有り |
| | 236 | 古墳 甕 | 口縁部 | B3 | 4 | 5.56 | 378 | | 外面：灰白色 10YR8/2, 内面：灰黄褐色 10YR6/2, 器内：黄灰色 2.5Y5/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ(?), 内面：ナデ(1) | 突帯に竹管文有り |
| | 237 | 古墳 甕 | 口縁部 | B3 | 4 | 5.53 | 264 | | 外面：にぶい黄褐色 10YR7/2, 内面：浅黄褐色 10YR8/3, 器内：黄灰色 2.5Y | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(ー)(1) | 絡縄突帯, 粘土貼付有り |
| | 238 | 古墳 甕 | 口縁部 | B2 | 4 | 5.47 | 243 | | 外面：灰白色 10YR8/1, 内面：浅黄褐色 10YR8/3 | 角閃石, 白色粒, 透明粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(1) | 絡縄突帯, 外面スス付着 |
| | 239 | 古墳 甕 | 胴部 | B3 | 4 | | | | 外面：暗灰黄色 2.5Y5/2, 内面：にぶい黄褐色 10YR6/4 | 石英, 黒色粒, 白色粒, 礫 | 外面：ナデ?, 内面：ハケ(ー) | 刻目突帯 |
| 46 | 240 | 古墳 甕 | 口縁部～胴上部 | C2 C1 | 4 | | | | 外面：明赤褐色 5YR5/6, 内面：浅黄色 2.5Y7/3 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ(ー)(1), 内面：ユビオサエ・ナデ(ー)(1) | 外面スス付着 |
| | 241 | 古墳 甕 | 口縁部 | D2 | 4 | | | | 外面：浅黄褐色 10YR8/3, 内面：浅黄褐色 10YR8/3 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ(ー)(1)・ユビオサエ, 内面：ユビオサエ・ナデ(ー) | 絡縄突帯, 内外面粘土貼付補修痕有り |
| | 242 | 古墳 甕 | 口縁部 | D2 | 4 | | | | 外面：にぶい黄褐色 10YR7/2, 内面：灰黄褐色 10YR5/2 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ハケ(1)・打ち込み痕有り・ナデ(ー), 内面：ユビオサエ | 絡縄突帯, 内面接合線有り |
| | 243 | 古墳 甕 | 口縁部 | E2 | 4 | | | | 外面：褐色 5YR6/6, 内面：灰白色 10YR8/2, 器内：黄灰色 2.5Y6/1 | 角閃石, 石英, 白色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(ー) | 外面スス付着, 内面接合線有り |
| | 244 | 古墳 甕 | 口縁部 | C2 | 4 | | | | 外面：灰黄褐色 10YR4/2, 内面：灰白色 10YR8/2 類似 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(ー)(1), 内面：ユビオサエ・ナデ(1) | 絡縄突帯, 外面スス付着 |
| | 245 | 古墳 甕 | 口縁部 | B1 | 4 | | | | 外面：浅黄褐色 10YR8/3, 内面：灰白色 10YR8/2, 器内：黄灰色 2.5Y6/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(1), 内面：ユビオサエ・ナデ(1)(1) | 工具による刻目有り |
| | 246 | 古墳 甕 | 口縁部 | E2 | 4 | | | | 外面：にぶい黄褐色 10YR5/3, 内面：にぶい黄褐色 10YR5/3 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(1), 内面：ユビオサエ・ナデ? | 絡縄突帯, 外面スス付着 |
| | 247 | 古墳 甕 | 胴部 | E2 | 4 | | | | 外面：にぶい黄褐色 10YR5/3, 内面：にぶい黄褐色 10YR7/2 | 石英, 角閃石, 白色粒 | 外面：ナデ(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(1)(1) | 刻目突帯, 内外面粘土貼付有り |
| | 248 | 古墳 甕 | 口縁部～胴上部 | B2 | 4 | 5.47 | 250 | | 外面：灰白色 2.5Y8/2, 内面：浅黄褐色 10YR8/3 | 角閃石, 石英, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(ー), 内面：ユビオサエ・ナデ(ー) | 絡縄突帯, 外面スス付着 |
| | 249 | 古墳 甕 | 口縁部～胴上部 | C2 | 4 | | | | 外面：褐色：7.5YR7/6, 内面：浅黄褐色 10YR8/4 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 白色粒 | 外面：ナデ(ー)(1)・ユビオサエ, 内面：ユビオサエ・ナデ(1) | 絡縄突帯 |
| 47 | 250 | 古墳 甕か鉢 | 底部～脚部 | C3 | 4 | 5.55 | 422 | | 外面：灰白色 10YR8/1, 内面：浅黄褐色 10YR8/3, 器内：黄灰色 2.5Y6/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(ー)(1), 内面：ユビオサエ・ハケ(ー)・打込痕有り | |
| | 251 | 古墳 甕 | 脚台部 | B1 | 4 | 5.54 | 1 | | 外面：浅黄褐色 10YR8/3, 内面：浅黄褐色 10YR8/3 器内：灰白色 2.5Y7/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ(1)→(ー), 内面：胴部ナデ?, 脚台内面ユビオサエ・ナデ(ー) | |
| | 252 | 古墳 甕 | 脚台部 | E2 | 4 | 5.56 | 160 | | 外面：浅黄色 2.5Y8/3, 内面：黒褐色 2.5Y3/1, 器内：褐色 2.5YR6/6 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ハケ(1), 内面：胴部ナデ(1), 脚台内面ユビオサエ・ナデ(ー) | 脚台内面接合線有り |
| | 253 | 古墳 甕 | 底部～脚部 | B2 | 4 | 5.51 | 253 | | 外面：浅黄褐色 10YR8/3, 内面：にぶい黄褐色 10YR6/3 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(ー), 内面：胴部ナデ(1), 脚台内面ユビオサエ・ナデ(ー) | |
| | 254 | 古墳 甕 | 脚台部 | B1 | 4 | 5.61 | 3 | | 外面：褐色 7.5YR4/4, 内面：黒色 5Y2/1 | 白色礫, 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(1), 内面：脚台内面ナデ(ー) | |

Tab. 14 4層包含層出土遺物観察表

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|----|---------|--------|----------------------|------|--------------|--|---|---|---|-----------|
| 47 | 255 | 古墳 | 甕 | 胴下部～脚部 | E2 | 4 | 5.35 | 220 | 外面：灰白色 2.5Y8/2, 内面：灰白色 2.5Y8/2 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：打ち込み痕有り・ナデ(一)(一), 内面：胴部ハケ(一)・打ち込み痕有り・ユビオサエ・ナデ(?)、脚台内面ユビオサエ・ナデ(一) | 脚部剥落痕有り |
| | 256 | 古墳 | 甕 | 胴下部～脚部 | E1 | 4 | 5.57 | 164 | 外面：浅黄橙色 7.5YR8/4, 内面：灰白色 10YR8/2 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：胴部ユビオサエ・ナデ(一), 脚台ユビオサエ・ナデ(一), 内面：胴部ユビオサエ・ハケ(一) 打ち込み痕有り・ナデ(一), 脚台内面ユビオサエ・ハケ(一) | 脚部剥落痕有り |
| 48 | 257 | 古墳 | 甕 | 底部～脚部 | D2 | 4 | 5.53 | 64 | 外面：にぶい黄橙色 10YR6/4, 内面：灰黄褐色 10YR5/2 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ハケ(一)・打ち込み痕有り・ユビオサエ→ナデ(一), 内面：胴部ユビオサエ・ナデ(一), 脚台内面ユビオサエ→ナデ(一) | 内面底部コゲ付着 |
| | 258 | 古墳 | 甕 | 底部 | D1 | 4 | 5.4 | 214 | 外面：にぶい橙色 7.5YR7/3, 内面：にぶい橙色 2.5YR6/4 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒, 礫 | 外面：ナデ(一), 内面：胴部ハケ(一)・ユビオサエ, 脚台天井部ユビオサエ・ハケ(一) | 脚部剥落痕有り |
| | 259 | 古墳 | 甕 | 低部 | E2 | 4 | 5.35 | 219 | 外面：にぶい黄橙色 10YR7/4 類似, 内面：黄灰色 2.5Y6/1, 脚内面：黄灰色 2.5Y4/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(一), 内面：胴部ナデ?, 脚台天井部ユビオサエ・ナデ? | |
| | 260 | 古墳 | 甕 | 底部～脚部 | E2 | 4 | | | 外面：にぶい橙色 7.5YR7/4, 内面：浅黄橙色 7.5YR8/6 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：胴部ナデ?, 脚台ユビオサエ・ハケ(一)・打ち込み痕有り, 内面：胴部ユビオサエ・ナデ(一), 脚台内面ユビオサエ・ナデ(一)(一) | 内面底部コゲ付着 |
| | 261 | 古墳 | 甕 | 胴下部～底部 | B2 | 4 | 5.51 | 251 | 外面：浅黄橙色 10YR8/3, 内面：にぶい黄橙色 10YR6/3, 器肉：赤橙色 10R6/8 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(一) 打ち込み痕有り, 内面：胴部ナデ(一), 脚台天井部ユビオサエ→ナデ(一) | |
| | 262 | 古墳 | 甕 | 胴下部～底部 | B1 | 4 | 5.51 | 122 | 外面：灰白色 10YR8/2, 内面：浅黄橙色 10YR8/3, 器肉：灰白色 2.5Y7/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(一)(一), 内面：胴部打ち込み痕有り・ナデ(一)(一)(一), 脚台天井部ユビオサエ・ナデ(一) | 脚部剥落痕有り |
| | 263 | 古墳 | 甕か鉢 | 底部～脚部 | D2 | 4 | 5.51 | 57 | 外面：灰白色 10YR8/2, 内面：褐灰色 10YR6/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ハケ(一)・ナデ(一), 内面：胴部ユビオサエ, 脚台内面ユビオサエ・打ち込み痕有り, ナデ(一) | |
| | 264 | 古墳 | 甕 | 胴下部～底部 | D1 | 4 | 5.34 | 180 | 外面：にぶい黄橙色 10YR7/2, 内面：にぶい黄橙色 10YR7/2, 器肉：黄灰色 2.5Y6/1 | 赤色粒, 黒色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(一)(一), 内面：胴部ユビオサエ・ハケ(一)(一) 打ち込み痕有り, 脚台天井部ユビオサエ・ナデ(一) | 脚部剥落痕有り |
| | 265 | 古墳 | 甕 | 底部～脚部 | E2 | 4 | 5.6 | 49 | 外面：灰黄色 2.5Y6/2・赤 10R5/6, 内面：にぶい黄橙色 10YR6/4 | 白色粒, 黒色粒, 石英, 角閃石 | 外面：ユビオサエ・ナデ(一), 内面：胴部ユビオサエ・ナデ(一), 脚台内面ユビオサエ・ナデ(一) | 脚部剥落痕有り |
| | 266 | 古墳 | 甕 | 底部～脚部 | D1 | 4 | 5.39 | 181 | 外面：にぶい黄橙色 10YR7/3, 内面：にぶい黄橙色 10YR7/2 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：胴部ナデ(一), 脚台ユビオサエ・ハケ(一), 打ち込み痕有り, 内面：胴部ユビオサエ・ハケ(一), 脚台内面ユビオサエ・ハケ(一), 打ち込み痕有り | |
| 49 | 267 | 古墳 | 甕 | 胴下部～脚部 | B4 | 4 | 5.56 | 195 | 外面：浅黄橙色 10YR8/4, 内面：浅黄橙色 10YR8/3 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：胴部ナデ(一)(一)(一), 脚台ユビオサエ, 内面：ユビオサエ・ナデ(一)(一)(一), 脚台内面ユビオサエ→ナデ(一) | |
| | 268 | 古墳 | 甕 | 底部～脚部 | C1 | 4 | 5.61 | 14 | 外面：灰白色 10YR8/2, 内面：浅黄橙色 10YR8/3, 器肉：黄灰色 2.5Y6/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ(一)・ユビオサエ, 内面：胴部ナデ(一), 脚台内面ユビオサエ・ハケ(一)・ナデ? | |
| | 269 | 古墳 | 甕か鉢 | 胴下部～底部 | C2 | 4 | 5.52 | 343 | 外面：にぶい黄橙色 10YR7/4, 内面：橙色 7.5YR7/6 | 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 礫 | 外面：ナデ(一)(一)(一)・ユビオサエ, 内面：胴部ハケ(一)・ナデ(一), 脚台天井部ユビオサエ→ナデ(一) | 脚部剥落痕有り |
| | 270 | 古墳 | 甕 | 脚部 | E2 | 4 | 5.47 | 187 | 外面：にぶい黄橙色 10YR7/4, 内面：にぶい黄橙色 10YR7/3, 器肉：にぶい橙色 2.5YR6/4 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ, ハケ(一) 打ち込み痕有り, 内面：胴部不明, 脚台内面ユビオサエ・ナデ(一) | 脚部接合痕有り |
| | 271 | 古墳 | 甕 | 胴下部～脚部 | D2 | 4 | 5.58 | 52 | 外面：にぶい橙色 7.5YR7/3, 内面：黄灰色 2.5Y5/1 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ハケ(一)・ユビオサエ・ナデ(一), 内面：胴部ナデ(?), 脚台内面ユビオサエ・ハケ(一)・ナデ(一) 打ち込み痕有り | 内面底部コゲ付着 |
| | 272 | 古墳 | 甕 | 底部～脚部 | A3 | 4 | 5.48 | 439 | 外面：淡黄色 2.5Y8/3, 内面：浅黄橙色 10YR8/3 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(一)(一), 内面：胴部ユビオサエ・ナデ(一), 脚台天井部ユビオサエ・ナデ(一) | 内面底部コゲ付着 |
| | 273 | 古墳 | 甕 | 底部～脚部 | C3 | 4 | 5.53 | 421 | 外面：にぶい黄橙色 10YR7/2, 内面：灰白色 10YR7/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ハケ(一), 内面：胴部ナデ(一), 脚台内面ユビオサエ・ハケ(一), 打ち込み痕有り | |
| | 274 | 古墳 | 甕 | 脚部 | E2 | 4 | 5.34 | 221 | 外面：灰白色 10YR8/1 類似, 内面：灰白色 10YR8/2, 器肉：橙色 5YR6/6 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ?, 内面：ハケ(一)・打ち込み痕有り・ユビオサエ・ナデ(一)(一) | |
| | 275 | 古墳 | 甕か鉢 | 脚部 | B2 | 4 | | | 外面：にぶい黄橙色 10YR7/4, 内面：橙色 5YR7/6 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ?, 内面：ナデ? | 爪圧痕有り |
| | 276 | 古墳 | 鉢 | 完形 | E2 E2 C3 C2 | 4 | 5.41 5.53 | 172 175 | 外面：灰黄色 2.5Y7/2・灰白色 2.5Y8/1, 内面：灰白色 10YR8/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：口縁～胴部ナデ(一)(一), 脚台ユビオサエ・ナデ(一), 内面：胴部ハケ(一)・打ち込み痕有り・ユビオサエ・ナデ(一)(一), 脚台内面ユビオサエ・ナデ(一) | 脚台内面接合痕有り |
| 277 | 古墳 | 鉢 | 完形 | E2 | 4 | | | 外面：灰白色 10YR8/2 類似, 内面：黄灰色 2.5Y6/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：口縁～胴部ナデ(一)(一), 底部ユビオサエ→ナデ(一), 内面ユビオサエ・ナデ(一)(一) | | |
| 278 | 古墳 | 鉢 | 完形 | E2 | 4 | 5.34 | 222 | 外面：灰白色 2.5Y8/2, 内面：灰白色 2.5Y8/2, 器肉：黄灰色 2.5Y6/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：口縁～胴部ナデ(一)(一)(一), 底部ユビオサエ, 内面：ユビオサエ・ナデ(一) | | |
| 279 | 古墳 | 鉢 | 口縁部～胴下部 | E2 | 4 | | | 外面：浅黄橙色 10YR8/3, 内面：にぶい黄橙色 10YR/3 | 石英, 角閃石, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(一)(一), 内面：ユビオサエ・ナデ(一)(一) | 内面接合部剥落痕有り | |
| 280 | 古墳 | 鉢 | 口縁部～胴上部 | E2 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色 10YR5/3, 内面：にぶい黄褐色 10YR7/4 | 角閃石, 石英, 赤色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ?, 内面：ユビオサエ・ナデ(一) | | |
| 281 | 古墳 | 鉢 | 口縁部～胴上部 | D1 | 4 | | | 外面：灰白色 10YR8/1, 内面：灰白色 10YR8/2, 器肉：褐灰色 10YR6/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(一)(一), 内面：ユビオサエ・ナデ(一)(一) | 外面スス付着, 吹きこぼれ痕有り | |
| 282 | 古墳 | 鉢 | 口縁部～胴上部 | E3 | 4 | | | 外面：橙色 7.5YR7/6, 内面：橙色 7.5YR7/6, 器肉：黄灰色 2.5Y5/1 | 角閃石, 石英, 白色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・工具痕(一), 内面：ユビオサエ・ナデ(一)(一) | | |

Tab. 15 4層包含層出土遺物観察表

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|----|-----|---------|----------|--------|--------------|-----------|--|--------------------------|--|-------------|
| | 283 | 古墳 | 鉢 | 底部～脚部 | D2 | 4 | 5.62 | 54 | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：にぶい黄褐色10YR7/2, 器内：黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 白色礫, 石英, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (一), 内面：胴部ハケ (一) (一)・打ち込み痕有り, 脚台内面ユビオサエ・ナデ (一) | 脚台内面接合線有り |
| | 284 | 古墳 | 鉢か甕 | 底部～脚部 | E2 | 4 | | | 外面：灰白色2.5Y8/2, 内面：灰黄色2.5Y6/2, 器内：橙色2.5YR6/6 | 角閃石, 石英, 白色粒, 黒色粒 | 外面：ナデ (一) (一)・ユビオサエ, 内面：胴部ナデ (一), 脚台内面ユビオサエ・ナデ (一) | 脚台剥落痕有り |
| | 285 | 古墳 | 鉢 | 底部～脚部 | D2 | 4 | 5.55 | 63 | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：浅黄褐色10YR8/3, 器内：灰色5Y5/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (一), 内面：胴部ユビオサエ・ナデ (一), 脚台内面ユビオサエ・ナデ (一) | |
| | 286 | 古墳 | 鉢 | 底部～脚部 | B3 | 4 | 5.27 | 433 | 外面：浅黄褐色10YR8/3, 内面：灰黄褐色10YR5/2 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ→ナデ (一)・打込痕有り, 内面：剥落・ナデ? | 内面底部コゲ付着 |
| | 287 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～脚部 | D2 | 4 | 5.3 | 231 | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：浅黄褐色7.5YR8/4, 脚台内面：黄灰色2.5Y4/1 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (一), 内面：胴部ユビオサエ・ハケ (一) (一)・ナデ (一), 底部ユビオサエ | |
| 49 | 288 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | E2 | 4 | 5.59 | 46 | 外面：顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面：灰色5Y6/1 | 石英, 角閃石, 白色粒 | 外面：ナデ (一)・ミガキ (?), 内面：胴部ナデ (一) (一), 脚台天井部ユビオサエ | 赤色塗布 |
| | 289 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～脚部 | E2 | 4 | 5.56 | 160 | 外面：顔料の為 明赤褐色2.5Y5/6, 内面：灰白色2.5Y8/2 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ミガキ (?), 内面：胴部ナデ (?), 脚台内面ナデ (?) | 赤色塗布 |
| | 290 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～脚部 | C1 | 4 | 5.39 | 113 | 外面：顔料の為 赤色10R4/6, 内面：明黄褐色10YR6/6 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (一)・ミガキ (一), 脚台内面：ユビオサエ・ナデ (一) | 赤色塗布 |
| | 291 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～脚部 | E2 | 4 | | | 外面：顔料の為 赤色10R5/6 類似, 内面：にぶい黄褐色10YR7/3類似 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (一)・ミガキ (一), 内面：胴部ユビオサエ・ナデ (?), 脚台内面ユビオサエ・ナデ (一) | 外面・脚台内面赤色塗布 |
| | 292 | 古墳 | 鉢 | 底部 | C1 | 4 | 5.52 | | 外面：顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面：灰黄色2.5Y7/2 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ミガキ?, 内面：ナデ (?) | 赤色塗布 |
| | 293 | 古墳 | 鉢 | 底部～脚部 | B3 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR7/4, 内面：にぶい黄褐色10YR7/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ナデ (一), 内面：脚台内面ナデ? | |
| | 294 | 古墳 | 鉢 | 底部 | D2 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR7/4, 内面：にぶい黄褐色10YR7/2 | 角閃石, 透明粒, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (一), 内面：ユビオサエ・ナデ? | |
| | 295 | 古墳 | 鉢 | 完形 | D2 D2 | 4 4 | 5.26 5.54 | 375 67 | 外面：灰白色10YR7/4, 内面：褐灰色10YR6/1 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：口縁部ナデ (一), 胴部ナデ (一) (一)・ユビオサエ, 内面：ナデ (一) (一)・ユビオサエ・打ち込み痕有り | |
| | 296 | 古墳 | 鉢 | 完形 | B3 | 4 | 5.31 | 445 | 外面：灰白色10YR8/1, 内面：にぶい橙色5YR6/4 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：胴部ナデ (一) (一), 底部ユビオサエ, 内面：ハケ (一)・打ち込み痕有り・ユビオサエ・ナデ (一) | |
| | 297 | 古墳 | 鉢 | 完形 | E2 | 4 | 5.35 | 218 | 外面：にぶい黄褐色10YR7/3, 内面：にぶい黄褐色10YR7/3, 器内：灰色5Y4/1類似 | 角閃石, 石英, 白色粒, 黒色粒 | 外面：口縁部ユビオサエ・ナデ (一), 胴部ナデ (一) (一) (一), 内面：ユビオサエ・ハケ (一) (一)・打ち込み痕有り・ナデ (一) (一) | |
| | 298 | 古墳 | 鉢 | 完形 | D1 | 4 | 5.37 | 182 | 外面：浅黄褐色7.5YR8/4, 内面：浅黄褐色7.5YR8/4 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：口縁～胴部ナデ (一), 底部周辺ユビオサエ, 内面：ユビオサエ・ナデ (一) (一) (一) | |
| | 299 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | B3 | 4 | 5.58 | 288 | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：にぶい黄褐色10YR7/4 | 角閃石, 透明粒, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：胴部ナデ (一) (一), 底部ユビオサエ, 内面：打ち込み痕有り・ユビオサエ・ハケ (一) (一) (一) | |
| | 300 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | E2 | 4 | 5.67 | 40 | 外面：褐色10YR4/4, 内面：灰黄褐色10YR4/2 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・打込痕有り・ナデ (一) (一) (一)・ハケ (?), 内面：ユビオサエ・ハケ (一) (一) | |
| | 301 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | C2 | 4 | | | 外面：浅黄褐色10YR8/3, 内面：浅黄褐色10YR8/3 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ (一) (一), 内面：ハケ (一)・打ち込み痕有り・ユビオサエ・ナデ (?) | |
| | 302 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | C3 | 4 | | | 外面：橙色5YR7/6, 内面：にぶい橙色7.5YR7/3 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ハケ (一) (一)→ナデ (一) (一), 内面：ユビオサエ・ナデ (?) | |
| | 303 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | C3 | 4 | | | 外面：浅黄褐色10YR8/4, 内面：浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ナデ (一), 内面：ナデ (一) | |
| | 304 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | B3 | 4 | 5.59 | 275 | 外面：浅黄褐色10YR8/3・灰5Y6/1, 内面：浅黄褐色10YR8/3・灰白5Y7/1類似 | 角閃石, 石英, 軽石, 赤色粒, 黒色粒, 礫 | 外面：胴部ハケ (一)・打ち込み痕有り, 底部ユビオサエ, 内面：ハケ (一)・打ち込み痕有り・ユビオサエ・ナデ (一) | |
| 50 | 305 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | B2 A | 4 緑 | | | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (一), 底部爪痕有り, 内面：ユビオサエ・ナデ (一) (一) | |
| | 306 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | B2 | 4 | 5.47 | 250 | 外面：灰黄褐色10YR5/2, 内面：黄灰色2.5Y5/1・浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 透明粒, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (一), 内面：ユビオサエ | |
| | 307 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | E1 | 4 | 5.64 | 38 | 外面：灰白色2.5Y8/2, 内面：灰白色2.5Y8/1, 器内：黄灰色2.5Y5/1 | 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (一), 内面：ユビオサエ・ナデ (一) | |
| | 308 | 古墳 | 鉢 | 口縁部～胴下部 | D2 | 4 | | | 外面：顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面：橙色7.5YR7/6 | 白色粒, 角閃石, 石英 | 外面：ミガキ (一) (一), 内面：ナデ (一) | 赤色塗布 |
| | 309 | 古墳 | 鉢 | 完形 | B3 | 4 | | | 外面：浅黄褐色10YR8/3, 内面：にぶい黄褐色10YR6/3 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 白色粒 | 外面：胴部ナデ?, 底部ユビオサエ, 内面：ハケ (一)・打ち込み痕有り・ユビオサエ | |
| | 310 | 古墳 | 鉢 | 完形 | C1 | 4 | | | 外面：灰白色2.5Y8/1, 内面：灰黄色2.5Y6/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ→ナデ (一), 内面：ユビオサエ・ナデ (一) | |
| | 311 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | C4 | 4 | 5.59 | 88 | 外面：灰白色2.5Y8/2, 内面：灰白色2.5Y8/2・一部黒斑有り, 器内：黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 石英, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ?, 内面：ユビオサエ・ナデ (一) | |
| | 312 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | C3 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR7/4, 内面：顔料の為 明赤褐色5YR5/6 | 角閃石, 石英 | 外面：ナデ?, 内面：ユビオサエ・ナデ (一) | 赤色塗布 |
| | 313 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | D1 | 4 | | | 外面：浅黄褐色10YR8/3, 内面：浅黄褐色10YR8/4 | 軽石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (?), 内面：ユビオサエ | |
| | 314 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | D2 | 4 | | | 外面：顔料の為 明赤褐色5YR5/6, 内面：にぶい橙色7.5YR7/4 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ→ミガキ (一), 内面：ナデ (一) | 赤色塗布 |
| | 315 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | A2 | 4 | | | 外面：顔料の為 赤褐色2.5YR4/6, 内面：にぶい橙色7.5YR7/4 | 石英, 角閃石, 赤色粒, 白色粒 | 外面：ミガキ (一), 内面：ハケ (一)・打ち込み痕有り | 赤色塗布 |

Tab. 16 4層包含層出土遺物観察表

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|----|-----|---------|----------------|-------------|------|------|--|-------------------------|--|--------------------|
| | 316 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | A3 | 4 | | | 外面：灰白色2.5Y8/2, 内面：にぶい黄褐色10YR7/4 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ナデ?, 内面：ユビオサエ・ナデ(→) | 内面底部粘土貼付 |
| | 317 | 古墳 | 鉢 | 胴下部～底部 | C2 | 4 | | | 外面：浅黄褐色10YR8/3, 内面：灰黄色2.5Y7/2, 器内：黄灰色2.5Y5/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(→), 内面：ハケ(→)(\), 打ち込み痕有り | |
| 50 | 318 | 古墳 | 鉢 | 底部 | E3 | 4 | | | 外面：にぶい橙色7.5YR6/4, 内面：にぶい黄褐色10YR5/3 | 角閃石, 石英, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(→), 内面：ユビオサエ・工具によるナデ? | |
| | 319 | 古墳 | 鉢 | 胴部 | D2 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR7/3, 内面：にぶい黄褐色10YR7/2 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ(?), 内面：ユビオサエ・ナデ(→) | |
| | 320 | 古墳 | 鉢 | 完形 | B2 | 4 | 5.47 | 326 | 外面：褐灰色10YR6/1, 内面：褐灰色10YR6/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：口縁部ユビオサエ→ナデ(→), 胴部ユビオサエ, 内面：ユビオサエ・ナデ(↓) | |
| | 321 | 古墳 | 壺 | 口縁部 | B2 | 4 | 5.49 | 330 | 外面：にぶい黄褐色10YR6/3, 内面：にぶい黄褐色10YR6/3 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(→)(\), ナデ(→), 内面：ナデ(→) | |
| | 322 | 古墳 | 壺 | 口縁部 | C1 | 4 | 5.34 | 176 | 外面：にぶい黄褐色10YR7/4類似, 内面：にぶい黄褐色10YR7/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(→), 内面：ユビオサエ・ハケ(→)・ナデ(↓) | 内面粘土貼付痕有り |
| | 323 | 古墳 | 壺 | 口縁部～頸部 | C2 | 4 | | | 外面：浅黄褐色10YR8/3, 内面：浅黄褐色10YR8/3, 器内：黄灰色2.5Y5/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(\)(/)・ユビオサエ, 内面：ナデ(↓)(→) | |
| | 324 | 古墳 | 壺 | 口縁部～胴上部 | E2 | 4 | 5.4 | 173 | 外面：にぶい黄褐色10YR7/4, 内面：にぶい橙色7.5YR7/4, 器内：黄灰色2.5Y6/1 | 石英, 白色粒, 角閃石, 石英 | 外面：ナデ?, 内面：ユビオサエ・ナデ(→) | 内面粘土接合線有り |
| | 325 | 古墳 | 壺 | 口縁部 | D2 | 4 | | | 外面：灰白色10YR7/1・浅黄褐色7.5YR8/3, 内面：浅黄褐色7.5YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(→), 内面：ナデ? | |
| | 326 | 古墳 | 壺 | 口縁部～頸部 | B3 | 4 | | | 外面：橙色5YR6/6類似, 内面：橙色5YR6/6類似, 器内：灰白色2.5Y8/1 | 石英, 白色粒, 角閃石, 赤色粒 | 外面：ハケ(\)(/)・ナデ(→), 内面：ハケ(\)・ナデ(→)・ユビオサエ | |
| | 327 | 古墳 | 壺 | 口縁部～頸部 | D1 | 4 | | | 外面：灰黄褐色10YR5/2, 内面：にぶい黄褐色10YR7/2 | 白色粒, 黒色粒, 石英, 角閃石, 赤色粒 | 外面：ナデ(→), 内面：ハケ(→)・打ち込み痕有り・ユビオサエ・ナデ | |
| 51 | 328 | 古墳 | 壺 | 頸部 | E2 | 4 | 5.59 | 46 | 外面：にぶい橙色7.5YR7/4類似, 内面：にぶい橙色7.5YR7/4 | 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(→), 内面：ユビオサエ・ナデ(→)(↓) | 頸部刻目突帯 |
| | 329 | 古墳 | 壺 | 頸部 | C1 | 4 | | | 外面：橙色5YR6/6, 内面：橙色5YR6/6 | 石英, 白色粒, 白色礫, 角閃石 | 外面：ナデ(→)(\) | 頸部刻目突帯 |
| | 330 | 古墳 | 壺 | 頸部～胴上部 | E2 | 4 | | | 外面：浅黄褐色7.5YR8/4, 内面：橙色7.5YR7/6 | 白色粒, 黒色粒, 石英, 角閃石, 赤色粒 | 外面：ナデ(→)(\), 内面：ユビオサエ | 頸部刻目突帯, 外面不明種子圧痕有り |
| | 331 | 古墳 | 壺 | 頸部 | D2 D1 B1 | 4 4 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR7/3, 内面：にぶい橙色7.5YR7/4, 器内：黄灰色2.5Y4/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ハケ(\)・ナデ(?), 内面：ユビオサエ, ナデ(→) | 頸部刻目突帯 |
| | 332 | 古墳 | 壺 | 頸部～胴上部 | C3 | 4 | 5.58 | 288 | 外面：浅黄褐色10YR8/4, 内面：淡黄色2.5Y8/3・黄灰2.5Y6/1 | 石英, 角閃石, 赤色粒, 白色粒 | 外面：ナデ(→)(\)(/), 内面：ユビオサエ・ナデ(?) | 頸部絡繩突帯 |
| | 333 | 古墳 | 壺 | 口縁部～頸部 | C3 | 4 | 5.5 | 426 | 外面：にぶい黄褐色10YR7/3, 内面：にぶい黄褐色10YR7/3, 器内：黄灰色2.5Y6/1 | 石英, 角閃石, 白色粒 | 外面：ナデ(→), 内面：ナデ(→)・ユビオサエ | 内面接合線有り |
| | 334 | 古墳 | 壺 | 口縁部～胴上部 | E2 | 4 | 5.38 | 217 | 外面：灰白色2.5Y8/1・浅黄褐色10YR8/3, 内面：にぶい黄褐色10YR7/3, 器内：黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(?), 内面：ユビオサエ・ナデ(\) | |
| | 335 | 古墳 | 壺 | 口縁部～胴部 | D1 | 4 | 5.36 | 210 | 外面：灰白色10YR8/1, 内面：灰白色10YR8/1 | 白色粒, 黒色粒 | 外面：口縁部ユビオサエ・ナデ(↓)(\), 胴部ユビオサエ・ナデ(→), 内面ユビオサエ・ナデ(/)(→)(↓) | 内外面接合線有り |
| | 336 | 古墳 | 壺 | 胴部 | C2 | 4 | 5.54 | 344 | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：にぶい黄褐色10YR7/2, 器内：黄灰色2.5Y4/1 | 角閃石, 石英, 白色粒 | 外面：ナデ(→)(↓), 内面：ユビオサエ・ナデ? | 幅広突帯, 刻目組織痕有り |
| | 337 | 古墳 | 壺 | 胴部 | A2 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR7/4, 内面：にぶい橙色7.5YR6/4 | 角閃石, 石英, 赤色粒 | 外面：胴部ミガキ(→), 突帯ナデ(→), 内面：ナデ? | 外面スス付着, 沈線文・半裁竹管文 |
| | 338 | 古墳 | 壺 | 胴部 | E2 | 4 | | | 外面：灰白色10YR8/1・にぶい黄褐色10YR7/4, 内面：浅黄褐色10YR8/4 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒 | 外面：ナデ(→)・ミガキ(→), 内面：ナデ(?)・ユビオサエ? | 幅広突帯・刻目組織痕有り |
| | 339 | 古墳 | 壺 | 胴部 | B2 | 4 | 5.47 | 331 | 外面：灰黄褐色10YR5/2, 内面：灰黄色2.5Y7/2類似 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：胴部ミガキ(→), 突帯ナデ? | 斜格子文・組織痕有り |
| 52 | 340 | 古墳 | 壺 | 胴部 | C2 | 4 | 5.47 | 467 | 外面：灰黄色2.5Y7/2, 内面：灰黄色2.5Y7/2類似 | 白色粒, 角閃石, 石英 | 外面：ナデ(\)(→) | 半裁竹管文 |
| | 341 | 古墳 | 壺 | 胴部 | C4 | 4 | | | 外面：灰色5Y6/1・淡黄色2.5Y8/3, 内面：浅黄褐色10YR8/4 | 角閃石, 石英, 赤色粒 | 外面：胴部ミガキ(→), 突帯ナデ(→) | 竹管文 |
| | 342 | 古墳 | 壺 | 胴部 | A3 | 4 | | | 外面：灰白色2.5Y8/2, 内面：灰白色2.5Y8/2類似 | 角閃石, 白色粒, 石英 | 外面：ナデ(→), 内面：ユビオサエ・ナデ(→) | へラ描き鋸歯文・竹管文 |
| | 343 | 古墳 | 壺 | 胴部 | D1 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR5/3, 内面：にぶい黄褐色10YR7/2類似 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ(→)(\), 内面：磨滅により不明 | 半裁竹管文 |
| | 344 | 古墳 | 壺 | 胴部 | E2 | 4 | | | 外面：浅黄褐色10YR8/4, 内面：灰黄色2.5Y7/2 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒 | 外面：ナデ(→)(\)(/) | 刻目突帯文 |
| | 345 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | B3 | 4 | 5.36 | 333 | 外面：にぶい黄褐色10YR7/3, 内面：灰白色2.5Y7/1類似 | 石英, 黒色粒, 赤色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(→)(\)(/), 内面：ユビオサエ・ナデ(\)(/)(↓) | |
| | 346 | 古墳 | 壺か鉢 | 胴下部～底部 | C3 | 4 | 5.63 | 74 | 外面：浅黄褐色10YR8/4, 内面：灰白色2.5Y8/2, 器内：黄灰色2.5Y5/1 | 石英, 角閃石, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ハケ(↓)(/)(/), 打ち込み痕有り・ナデ(→)(↓)(/), 内面：磨滅により不明 | |
| 53 | 347 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | E2 | 4 | 5.47 | 187 | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(↓)(/), 内面：ユビオサエ・ナデ(↓)(/) | |
| | 348 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | C1 | 4 | 5.57 | 27 | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ナデ(\)(/), 内面：ユビオサエ・ハケ(→)・打ち込み痕有り→ナデ(\) | |

Tab. 17 4層包含層出土遺物観察表

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|----|-----|--------|----------|--------|--------------|------------|--|---------------------------|---|----------------|
| | 349 | 古墳 | 壺か鉢 | 胴下部～底部 | D2 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR6/3, 内面：にぶい黄褐色10YR6/3 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 白色粒, 礫, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (?), 内面：ユビオサエ・ナデ (→) (↖) | |
| | 350 | 古墳 | 壺か鉢 | 胴下部～底部 | C1 C2 | 4 3 | 5.57 | 25 | 外面：浅黄色2.5Y7/3類似・黄灰色2.5Y4/1, 内面：淡黄色2.5Y8/3 | 石英, 角閃石, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (→), 内面：ユビオサエ・ナデ (→) | |
| | 351 | 古墳 | 壺か鉢 | 胴下部～底部 | D3 | 4 | | | 外面：橙色7.5YR6/6, 内面：にぶい橙7.5YR6/4 | 角閃石, 石英, 白色粒, 黒色粒, 赤色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(→)(↖), 内面：ユビオサエ・ナデ(↖) | |
| | 352 | 古墳 | 壺か鉢 | 胴下部～底部 | D1 | 4 | 5.58 | 36 | 外面：浅黄褐色10YR8/3, 内面：灰白色2.5Y8/2 | 石英, 角閃石, 白色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (→), 内面：ハケ (→) (↖)・打ち込み痕有り・ナデ (↖) | |
| | 353 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | A2 | 4 | 5.31 | 434 | 外面：にぶい黄褐色10YR7/3, 内面：にぶい黄褐色10YR7/2類似 | 角閃石, 透明粒, 白色粒, 赤色粒 | 外面：ナデ?, 内面：ユビオサエ・ナデ (↖) | |
| | 354 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | D2 | 4 | 5.38 | 227 | 外面：黄灰色2.5Y4/1・淡黄色2.5Y8/3, 内面：黄灰色2.5Y4/1・灰黄色2.5Y6/2 | 石英, 白色粒, 角閃石, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ハケ ()・打ち込み痕有り→ナデ (), 内面：ハケ (↖)・打ち込み痕有り・ユビオサエ→ナデ (↖) (↖) | |
| 53 | 355 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | D1 | 4 | 5.37 | 143 | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：浅黄褐色10YR8/3, 器肉：黄灰色2.5Y5/1 | 石英, 角閃石, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (?), 内面：ユビオサエ・ナデ? | |
| | 356 | 古墳 | 壺 | 底部 | C2 | 4 | 5.54 | 316 | 外面：橙色7.5YR7/6, 内面：浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 黒色礫, 石英, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ハケ (↖)・打ち込み痕有り・ユビオサエ・ナデ (→), 内面：底部ユビオサエ | |
| | 357 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | E2 | 4 | 5.56 5.53 | 42 175 | 外面：灰白色2.5Y8/2, 内面：浅黄色2.5Y7/3, 器肉：黄灰色2.5Y6/1 | 石英, 角閃石, 白色粒, 褐色粒 | 外面：ユビオサエ・ミガキ () (↖), 内面：ユビオサエ・ナデ () | |
| | 358 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | E1 | 4 | 5.42 | 216 | 外面：にぶい褐色7.5YR5/4, 内面：にぶい橙色7.5YR6/4 | 角閃石, 白色粒, 白色礫, 褐色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(↖)(→), 内面：ハケ (→) () | |
| | 359 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | B2 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR7/3, 内面：黄灰色2.5Y7/1類似 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ユビオサエ・ハケ () (→) (↖), 内面：ユビオサエ・ナデ () | |
| | 360 | 古墳 | 壺 | 胴下部～底部 | C3 | 4 | 5.36 | 105 | 外面：にぶい褐色7.5YR7/4, 内面：浅黄褐色7.5YR8/4 | 白色礫, 黒色礫, 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ(→)(↖), 内面：ユビオサエ・ハケ (→)・打ち込み痕有り | |
| | 361 | 古墳 | 高環 | 坏部 | E1 | 4 | 5.55 | 165 | 外面：顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面：褐色5YR7/6 | 石英, 角閃石, 白色粒, 赤色粒 | 外面：ミガキ (→) (↖), 内面：ナデ? 赤色塗布 | |
| | 362 | 古墳 | 高環 | 坏部 | E1 | 4 | 5.57 | 157 | 外面：顔料の為 赤褐色10R4/4・磨滅, 内面：灰黄色2.5Y7/2 | 角閃石, 石英, 白色粒 | 外面：ミガキ (→) (↖), 内面：ケズリ風ナデ (→) (↖) | 赤色塗布 |
| | 363 | 古墳 | 高環 | 坏部 | B2 | 4 | 5.51 | 251 | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：灰白色10YR8/2 | 角閃石, 透明粒, 黒色粒 | 外面：ナデ (→), 内面：ナデ (→) | |
| | 364 | 古墳 | 高環 | 坏部 | D2 | 4 | 5.54 5.53 | 151 150 | 外面：顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面：灰白色2.5Y7/1 | 石英, 角閃石, 白色粒, 赤色粒 | 外面：ミガキ (→) (↖), 内面：ナデ? 赤色塗布 | |
| | 365 | 古墳 | 高環 | 坏部～脚部 | E1 | 4 | 5.42 | 215 | 外面：橙色5YR7/6・浅黄褐色7.5YR8/4, 杯内面：橙色5YR6/6 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：坏部ミガキ(→), 脚部ミガキ(), 裾部ミガキ(→), 内面：坏部ユビオサエ・ミガキ(→), 脚部内面ケズリ風ナデ(→) | |
| | 366 | 古墳 | 高環 | 坏部 | C3 | 4 | 5.57 | 193 | 外面：顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面：にぶい黄褐色10YR7/3・にぶい褐色7.5YR7/4 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ミガキ (→), 内面：ナデ (?) 赤色塗布 | |
| | 367 | 古墳 | 高環 | 口縁部 | D1 | 4 | 5.5 | 208 | 外面：にぶい黄褐色10YR6/4類似, 内面：にぶい黄褐色10YR6/3類似, 器肉：灰白色10YR8/2 | 石英, 角閃石, 白色粒 | 外面：ミガキ (→), 内面：ミガキ (→) | 内外面スス付着, 連点文有り |
| | 368 | 古墳 | 高環 | 口縁部 | D1 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR6/3類似・黄灰色2.5Y4/1, 内面：黒褐色2.5Y3/2・にぶい黄褐色10YR7/3 | 石英, 白色粒 | 外面：ミガキ (→), 内面：ミガキ? | |
| 54 | 369 | 古墳 | 高環 | 口縁部 | D2 | 4 | | | 外面：にぶい黄褐色10YR7/4・一部黒斑有り, 内面：灰黄色2.5Y7/2 | 石英, 角閃石, 白色粒, 黒色粒 | 外面：ミガキ (→), 内面：ナデ? 連点文有り | |
| | 370 | 古墳 | 高環 | 坏部 | C1 | 4 | 5.31 | 204 | 外面：顔料の為 赤褐色2.5YR4/8・にぶい黄褐色10YR7/3, 内面：黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ミガキ (→), 内面：ユビオサエ・ナデ? 赤色塗布 | |
| | 371 | 古墳 | 高環 | 坏部 | A3 | 4 | 5.48 | 452 | 外面：顔料の為 褐色2.5YR6/6, 内面：浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ (→), 内面：ナデ (→) | 赤色塗布, 坏部剥落痕有り |
| | 372 | 古墳 | 高環 | 坏部 | E2 | 4 | 5.42 | 171 | 外面：顔料の為 赤褐色2.5YR4/6, 内面：にぶい褐色5YR7/4・にぶい黄褐色10YR7/3 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒, 黒色粒 | 外面：ハケ (→)・打ち込み痕有り・ナデ (→) (↖), 内面：ナデ? | 赤色塗布 |
| | 373 | 古墳 | 高環 | 坏部 | D2 | 4 | 5.47 | 225 | 外面：顔料の為 赤褐色5YR4/6, 内面：黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒, 黒色粒 | 外面：ミガキ (→), 内面：ナデ? 外面赤色塗布, 脚部剥落痕有り | |
| | 374 | 古墳 | 高環 | 坏部 | C2 | 4 | 5.52 | 341 | 外面：顔料の為 にぶい赤褐色2.5YR4/4, 内面：灰白色2.5Y8/1 | 石英, 白色粒 | 外面：ミガキ (→) (↖), 内面：ナデ (→) | 赤色塗布 |
| | 375 | 古墳 | 高環 | 坏部 | C2 | 4 | | | 外面：顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面：浅黄褐色7.5YR8/3, 器肉：灰黄色2.5Y6/2 | 赤色粒, 黒色粒, 石英, 白色粒 | 外面：ミガキ (→), 内面：ユビオサエ・ナデ (→) | 赤色塗布 |
| | 376 | 古墳 | 高環 | 坏部～脚部 | C2 | 4 | 5.5 | 336 | 外面：顔料の為 明赤褐色2.5Y5/6, 内面：浅黄褐色10YR8/4類似 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ミガキ (→), 内面：胴部ケズリ風ナデ (→), 脚部内面ナデ (→) | 赤色塗布 |
| | 377 | 古墳 | 高環 | 脚部 | B2 | 4 | 5.52 | 246 | 外面：灰黄褐色10YR6/2, 内面：浅黄褐色10YR8/3類似 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ミガキ (), 内面：胴部ナデ?, 脚部内面：ユビオサエ | |
| | 378 | 古墳 | 高環 | 脚部 | B2 | 4 | 5.36 | 435 | 外面：顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面：灰白色2.5Y7/1類似 | 角閃石, 白色粒, 透明粒 | 外面：ミガキ (→), 内面：ハケ (↖)→ナデ (→) | 赤色塗布 |
| 55 | 379 | 古墳 | 高環 | 脚部 | D2 | 4 | 5.43 | 152 | 外面：顔料の為 赤褐色10R4/6, 内面：にぶい褐色7.5YR7/4 | 石英, 黒色粒, 角閃石, 白色粒, 赤色粒 | 外面：ミガキ (→), 内面：ハケ (→) 打ち込み痕あり→ナデ (→) | 赤色塗布 |
| | 380 | 古墳 | 高環 | 脚部 | D1 | 4 | | | 外面：顔料の為 にぶい赤褐色2.5YR4/4, 内面：灰黄色2.5Y7/2 | 石英, 白色粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面：ミガキ () (→), 内面ユビオサエ・ナデ? | 赤色塗布 |

Tab. 18 4層包含層出土遺物観察表

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|-----|------|-------|----------|----|-------------|------------|---|-------------------------|--|-------------------|
| | 381 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | D1 | 4 | 5.35 | 211 | 外面:顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面:灰白色2.5Y7/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ミガキ(), 内面:工具ナデ(-) → ナデ(-) | 赤色塗布 |
| | 382 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | C3 | 4 | 5.52 | 423 | 外面:顔料の為 赤褐色2.5YR4/8, 内面:にぶい黄褐色10YR7/4 | 石英, 角閃石, 白色粒, 赤色粒 | 外面:ミガキ(-), 内面:ナデ(-) | 赤色塗布 |
| | 383 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | D3 | 4 | 5.23 | 233 | 外面:浅黄褐色10YR8/4, 内面:浅黄褐色10YR8/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ナデ(-), 内面:坏部ナデ(-), 脚部内面ハケ(-) () ・打ち込み痕有り → ナデ(-) | |
| | 384 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | D2 | 4 | 5.48 | 60 | 外面:顔料の為 赤褐色2.5YR4/6, 内面:にぶい黄褐色10YR7/4 | 石英, 角閃石, 赤色粒, 黒色粒 | 外面:ミガキ() (-), 内面:ナデ(-) | 赤色塗布 |
| | 385 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | E2 | 4 | 5.59 | 41 | 外面:顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面:にぶい橙色7.5YR7/4, 器内:灰色5Y5/1 | 石英, 白色粒, 角閃石, 赤色粒, 黒色粒 | 外面:ミガキ(-) (/), 内面:ユビオサエ・ハケ(/) ・ナデ(-) | 赤色塗布 |
| | 386 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | B3 | 4 | 5.58 | 276 | 外面:顔料の為 赤色10R5/6・浅黄褐色10YR8/3, 内面:黄灰色2.5Y5/1 | 白色礫, 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ミガキ() ?, 内面:胴部ナデ?, 脚部内面:工具痕有り | 赤色塗布 |
| | 387 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | D1 D2 | 4 | 5.5 | 147 | 外面:顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面:にぶい黄褐色10YR7/3 | 石英, 白色粒, 黒色粒 | 外面:ミガキ(-) (/), 内面:ユビオサエ・ナデ(-) | 赤色塗布 |
| | 388 | 古墳 | 高坏 | 脚部 | C1 C2 | 4 | 5.56 | 28 | 外面:顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面:黄灰色2/5Y5/1 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒 | 外面:ミガキ(-), 内面:ナデ(-) | 赤色塗布 |
| 55 | 389 | 古墳 | 埴 | 口縁部 | C3 C2 | 4 | | | 外面:顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面:にぶい黄褐色10YR7/4 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ミガキ(-), 内面:ハケ(-) (\) ・打ち込み痕有り → ナデ? | 赤色塗布 |
| | 390 | 古墳 | 埴 | 口縁部 | A3 | 4 | | | 外面:顔料の為 赤褐色2.5YR4/6, 内面:にぶい橙色7.5YR7/4 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ミガキ() → ミガキ(\), 内面:ユビオサエ・ナデ? | 赤色塗布 |
| | 391 | 古墳 | 埴 | 口縁部 | D1 | 4 | | | 外面:顔料の為 明赤褐色5YR5/6, 内面:にぶい黄褐色10YR7/3類似 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面:ミガキ(-), 内面:ナデ(-) | 赤色塗布 |
| | 392 | 古墳 | 埴 | 胴部 | D1 | 4 | | | 外面:顔料の為 にぶい橙色2.5YR6/4, 内面:灰白色10YR8/2類似 | 石英, 角閃石, 白色粒, 黒色粒 | 外面:ミガキ(-), 内面:ナデ? | 赤色塗布 |
| | 393 | 古墳 | 埴 | 胴部 | C1 D1 | 4 | 5.5 5.47 | 149 148 | 外面:顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面:黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 赤色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面:ミガキ(-) → ミガキ(\), 内面:ユビオサエ・ナデ(\) | 赤色塗布 |
| | 394 | 古墳 | 埴 | 胴部 | E2 | 4 | | | 外面:顔料の為 明赤褐色2.5YR5/6, 内面:灰白色2.5Y7/1 | 角閃石, 白色粒, 赤色粒 | 外面:ミガキ(-) (/), 内面:ハケ(-) ・打ち込み痕有り・ユビオサエ | 赤色塗布, 胴部 接合痕有り |
| | 395 | 古墳 | 埴 | 胴部 | D2 | 4 | 5.53 | 150 | 外面:顔料の為 にぶい赤褐色2.5YR5/6, 内面:にぶい黄褐色10YR7/3 | 石英, 黒色粒, 角閃石, 赤色粒 | 外面:ミガキ(-), 内面:ユビオサエ・ナデ(-) | 赤色塗布 |
| | 396 | 古墳 | 埴 | 胴部~底部 | C2 | 4 | 5.49 | 339 | 外面:顔料の為 赤褐色5YR4/6, 内面:浅黄褐色10YR8/3, 器内:黄灰色2.5Y6/1 | 白色粒, 黒色粒, 赤色粒 | 外面:ミガキ(-), 内面:ユビオサエ・ナデ(-) | 外面・内面底部 赤色塗布 |
| | 397 | 古墳 | 埴 | 底部 | D2 | 4 | 5.27 | 376 | 外面:にぶい黄褐色10YR7/4, 黒斑有り, 内面:にぶい黄褐色10YR6/2 | 石英, 角閃石, 赤色粒, 白色粒 | 外面:ミガキ(/), 内面:ユビオサエ・ナデ(-) | 内面底部粘土貼付 |
| | 398 | 古墳 | 甔 | 底部 | C2 | 4 | | | 外面:にぶい黄褐色10YR7/2, 黒斑有り, 内面:にぶい黄褐色10YR7/2, 器内:黄灰色2.5Y5/1 | 角閃石, 石英, 白色粒, 黒色粒, 赤色粒 | 外面:ナデ(-) (\), 内面:ハケ(\) ・打ち込み痕有り → ナデ(-) | |
| | 399 | 古墳 | 不明 | 胴部 | C2 | 4 | | | 外面:にぶい黄褐色10YR7/3, 内面:にぶい黄褐色10YR7/4類似, 器内:黄灰色2.5Y6/1 | 角閃石, 石英, 白色粒, 赤色粒, 黒色粒 | 外面:ナデ(-), 内面:ユビオサエ・ナデ(-) | |
| 56 | 400 | 古墳 | 有孔製品 | | C1 | 4 | | | 外面:顔料の為 赤褐色5YR4/6, 内面:黄褐色2.5Y7/2 | 石英, 赤色粒 | 外面:ミガキ?, 内面:ナデ? | 赤色塗布, 穿孔 有り |
| | 401 | 古墳 | 羽口 | | C2 | 4 | | | 外面:灰色N6/0・灰白色2.5Y8/2, 内面:にぶい赤褐色5YR4/4・黄褐色7.5YR7/8 | 石英, 白色粒, 角閃石 | 外面:ナデ(-), 内面:ナデ(-) | ガラス質附着, 高坏転用 |
| | 402 | 古墳 | 羽口 | | C1 | 4 | | | 外面:浅黄褐色10YR8/3, 内面:にぶい橙色2.5YR6/4, 器内:黄灰色2.5Y6/1 | 石英, 角閃石, 白色粒 | 外面:ナデ? | ガラス質附着, 高坏転用 |
| | 403 | 須恵器 | 蓋 | 口縁部 | A2 | 4 | | | 外面:灰白色N8/0, 内面:灰白色N7/0 | 黒色粒, 白色粒, 赤色粒 | 外面:回転ナデ, 内面:回転ナデ | |
| | 404 | 須恵器 | 蓋 | つまみ部 | C4 | 4 | | | 外面:灰色N6/6類似, 内面:灰色7.5Y6/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面:回転ナデ, 内面:ナデ | |
| | 405 | 須恵器 | 蓋 | 口縁部 | B1 | 4 | | | 外面:灰白色N7/0, 内面:灰白色N7/0類似 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:回転ナデ, 内面:回転ナデ | |
| | 406 | 須恵器 | 蓋 | 口縁部 | B1 | 4 | | | 外面:灰白色N8/0, 内面:灰白色N7/0 | 白色粒, 黒色粒 | 外面:回転ナデ, 内面:回転ナデ | |
| | 407 | 須恵器 | 蓋 | 胴部 | C3 D3 | 4 | 5.47 | 298 | 外面:灰白色N8/0・灰白色N6/0, 内面:灰色N6/0類似 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:回転ナデ・ヘラケズリ, 内面:回転ナデ | 外面自然袖附着 |
| | 408 | 須恵器 | 坏 | 胴部 | D2 | 4 | 5.37 | 232 | 外面:灰色7.5Y6/1, 内面:暗灰黄色2.5Y5/2 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:ナデ, 内面:回転ナデ | |
| | 409 | 須恵器 | 坏 | 底部 | D1 | 4 | | | 外面:灰黄色2.5Y7/2, 内面:にぶい黄褐色10YR6/4 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:回転ナデ, 内面:ハケメ() ・回転ナデ | |
| 57 | 410 | 須恵器 | 甕 | 口縁部 | C1 | 4 | 5.55 | 30 | 外面:灰色N4/0, 内面:灰黄色2.5Y6/2 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:回転ナデ・櫛描波状文, 内面:回転ナデ | |
| | 411 | 須恵器 | 甕 | 頸部~肩部 | D1 | 4 | 5.46 | 140 | 外面:灰色N6/0, 内面:灰色N5/0 | 白色粒 | 外面:平行タタキ→回転ナデ, 内面:タタキ→回転ナデ | |
| | 412 | 須恵器 | 甕 | 頸部~肩部 | C2 | 4 | | | 外面:灰白色N7/0, 内面:灰色N6/0 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:平行タタキ→回転ナデ, 内面:同心円文タタキ→回転ナデ | |
| | 413 | 須恵器 | 壺 | 口縁部 | B3 | 4 | | | 外面:黄灰色2.5Y5/1, 内面:にぶい黄色2.5Y6/3・灰色5Y4/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:回転ナデ・櫛描波状文, 内面:ナデ | 内面自然袖附着 |
| | 414 | 須恵器 | 壺 | 口縁部 | D1 | 4 | | | 外面:灰色7.5Y4/1, 内面:灰色7.5Y5/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:回転ナデ・鋸歯文, 内面:回転ナデ | |
| | 415 | 須恵器 | 壺 | 口縁部 | D2 | 4 | | | 外面:黄灰色2.5Y5/1, 内面:黄灰色2.5Y6/1 | 白色粒 | 外面:回転ナデ, 内面:ナデ | |
| | 416 | 須恵器 | 壺 | 口縁部 | D2 | 4 | | | 外面:灰白色N7/0, 内面:灰白色7.5Y7/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面:回転ナデ, 内面:回転ナデ | |

Tab. 19 4層包含層出土遺物観察表

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|-----|------|---------|--|-----------------------|-------------------------------------|---------------------------------|--|--------------|---------------------------------|----------|
| 57 | 417 | 須恵器 | 壺 | 口縁部 | C2 | 4 | 5.34 | 431 | 外面：灰色 N7/6, 内面：灰色 5Y5/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：回転ナデ, 内面：ナデ | |
| | 418 | 須恵器 | 壺か脚台 | 口縁部 | B3 | 4 | 5.54 | 264 | 外面：灰色 N5/0, 内面：灰色 N6/0 | 白色粒 | 外面：回転ナデ, 内面：回転ナデ | |
| | 419 | 須恵器 | 壺 | 口縁部～胴下部 | D2 | 4 | | | 外面：灰色 N5/0, 内面：灰色 N5/0 | 白色粒 | 外面：回転ナデ, 内面：回転ナデ | |
| | 420 | 須恵器 | 壺 | 口縁部 | C2 | 4 | | | 外面：黄灰色 2.5Y5/1, 内面：黄灰色 2.5Y6/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：回転ナデ, 内面：回転ナデ | |
| | 421 | 須恵器 | 壺 | 胴部 | C2 | 4 | 5.51 | 366 | 外面：灰白色 5Y7/1, 内面：灰白色 2.5Y7/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：回転ナデ, 内面：回転ナデ | 外面自然袖付着 |
| | 422 | 須恵器 | 壺 | 胴部 | B4 B1 B1 | 4 3 4 | 5.59 | 199 | 外面：灰色 7.5Y5/1, 内面：灰色 7.5Y6/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：回転ナデ, 内面：回転ナデ | |
| 58 | 423 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | B3 C3 C1 | 4 | 5.49 5.52 | 270 286 | 外面：灰色 N6/0, 内面：灰色 N6/0 | 白色粒 | 外面：平行タタキ→ハケメ, 内面：同心円文タタキ | |
| | 424 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | H11 E2 D2 | 4 4 | 5.6 | 50 | 外面：灰色 N6/0類似, 内面：灰色 N6/0 | 白色粒 | 外面：平行タタキ→ハケメ・格子文タタキ, 内面：同心円文タタキ | |
| | 425 | 須恵器 | 甕? | 胴下部 | E2 C2 | 4 | 5.38 | 185 | 外面：灰色 5Y5/1, 内面：灰色 N6/0 | 白色粒 | 外面：平行・格子文タタキ, 内面：同心円文タタキ | |
| | 426 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | E1 | 4 | 5.62 | 39 | 外面：灰白色 N7/0, 内面：灰色 5Y6/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：格子文タタキ→ハケメ, 内面：同心円文タタキ | |
| | 427 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | C2 | 4 | 5.53 | 317 | 外面：灰白色 N7/0類似, 内面：灰白色 N7/0類似 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：格子文タタキ→ナデ, 内面：同心円文タタキ | |
| 59 | 428 | 須恵器 | 甕? | 頸部～胴上部 | B4 A3 B1 B2 C3 | 4 4 5 4 4 | 5.58 5.43 | 196 451 | 外面：灰白色 5Y8/1, 内面：灰色 5Y5/1 | 白色粒, 黒色粒 | 外面：平行タタキ→ハケメ, 内面：同心円文タタキ | |
| | 429 | 須恵器 | 甕? | 頸部～胴上部 | C1 C2 | 4 | 5.56 5.42 | 10 475 | 外面：灰白色 N8/0, 内面：灰色 7.5Y5/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：格子文タタキ→ハケナデ, 内面：同心円文タタキ→ナデ | |
| | 430 | 須恵器 | 甕? | 胴上部 | C2 | 4 | 5.5 | 335 | 外面：灰色 N6/0, 内面：灰色 N6/0 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：回転ナデ, 内面：回転ナデ | |
| | 431 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | C2 | 4 | 5.55 | 315 | 外面：灰白色 5Y8/1, 内面：灰色 N6/0 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：格子文タタキ→ハケナデ, 内面：同心円文タタキ→ナデ | |
| | 432 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | C1 C2 | 4 4 | 5.56 5.5 | 126 371 | 外面：灰白色 N7/1, 内面：灰色 7.5Y6/1 | 白色粒 | 外面：格子文タタキ→ハケナデ, 内面：同心円文タタキ→ナデ | |
| | 433 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | D1 | 4 | | | 外面：灰色 5Y6/1, 内面：黄灰色 2.5Y6/1 | 黒色粒, 白色粒, 石英 | 外面：格子文タタキ→ハケナデ, 内面：同心円文タタキ | |
| | 434 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | C2 | 4 | 5.5 5.56 | 335 359 | 外面：灰色 N6/0, 内面：灰色 5Y6/1 | 白色粒 | 外面：格子文タタキ, 内面：同心円文タタキ | |
| | 435 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | B2 | 4 | 5.47 | 236 | 外面：灰色 N6/0, 内面：灰白色 N7/0類似 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：格子文タタキ→ハケメ, 内面：同心円文タタキ→ナデ | |
| 60 | 436 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | B1 C2 B2 | 5.59 4 4 | 5.42 | 8 430 | 外面：灰色 N5/0, 内面：灰色 N6/0 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：格子文タタキ→ハケメ, 内面：同心円文タタキ→ナデ | |
| | 437 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | C1 C1 B1 | 4 4 | 5.56 5.55 5.51 | 10 19 123 | 外面：灰色 N5/0, 内面：灰色 N6/0 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：格子文タタキ→ハケメ, 内面：同心円文タタキ→ナデ | |
| | 438 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | B1 | 4 | 5.59 5.59 | 8 12 | 外面：灰色 N6/0, 内面：灰白色 N7/0 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：平行タタキ→ハケメ, 内面：同心円文タタキ→ナデ | |
| | 439 | 須恵器 | 甕? | 胴部 | E2 | 4 | | | 外面：灰白色 N8/0, 内面：灰白色 N8/0 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：格子文タタキ, 内面：同心円文タタキ | |
| 61 | 440 | 須恵器 | 壺 | 胴上部～胴下部 | B4 B2 B2 B3 B3 A3 C3 | 4 | 5.58 5.5 5.47 5.52 5.53 | 196 245 249 256 258 | 外面：釉暗オリーブ灰色 2.5GY3/1・灰白色 10Y8/1・灰色 5Y5/1, 内面：灰白色 7.5Y7/1類似 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：平行タタキ→ハケナデ, 内面：同心円文タタキ→ナデ | 肩部自然袖付着 |
| | 441 | 須恵器 | 甕 | 頸部～胴下部 | B2 D2-3 E4 | 4 | | | 外面：灰色 7.5Y4/1, 内面：灰色 7.5Y6/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：回転ナデ・櫛描波状文, 内面：ナデ | 内外面自然袖付着 |
| | 442 | 須恵器 | 高坏 | 坏部～脚部 | D1 | 5 4 | | | 外面：灰色 5Y5/1・灰白 5Y7/1, 内面：灰色 5Y5/1 | 黒色粒, 白色粒 | | 透かし有り |
| | 443 | 須恵器 | 鉢 | 口縁部 | D2 | 4 | | | 外面：灰色 N6/0, 内面：灰色 7.5Y6/1 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：回転ナデ, 内面：回転ナデ | |

Tab. 20 4・5層包含層出土遺物観察表

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上 No | サイズ(最大長×最大幅×最大厚) | 重量 | 調整・加工痕・使用痕 | 備考 |
|----------|-----|----|--------|-----|----|------|-------|-----------------------|------------|-----------------|------------|
| | 444 | 石器 | 異形石器 | E3 | 4 | | | 長2.7×幅1.3×厚0.7 (cm) | 重量; 1.7g | | 黒曜石 (三船類似) |
| | 445 | 石器 | 二次加工剥片 | B1 | 4 | | | 長4.6×幅2.7×厚1.8 (cm) | 重量; 21.8g | | 黒曜石 (三船類似) |
| | 446 | 石器 | 石斧 | D1 | 4 | | | 長7.2×幅6.2×厚2.1 (cm) | 重量; 86.4g | 抉り部 | 頁岩 |
| 62 | 447 | 石器 | 石斧 | C2 | 4 | | | 長8.5×幅5.2×厚1.6 (cm) | 重量; 78.7g | 刃部線状痕有り | 安山岩 |
| | 448 | 石器 | 石斧 | C3 | 4 | | | 長8.6×幅5.5×厚1.6 (cm) | 重量; 99.1g | | 頁岩 |
| | 449 | 石器 | 二次加工剥片 | C1 | 4 | | | 長8.7×幅5.9×厚1.7 (cm) | 重量; 109.7g | 刃部直交方向線状痕有り | 頁岩 |
| | 450 | 石器 | 二次加工剥片 | 不明 | 不明 | | | 長10.1×幅6.4×厚1.3 (cm) | 重量; 89g | | 安山岩 |
| | 451 | 石器 | 二次加工剥片 | C4 | 4 | | | 長5.9×幅5.2×厚1.3 (cm) | 重量; 52.5g | 刃部潰れ有り | 安山岩 |
| | 452 | 石器 | 二次加工剥片 | C1 | 4 | | | 長4.6×幅7.5×厚1.5 (cm) | 重量; 73.7g | 刃部潰れ有り | 安山岩 |
| 63 | 453 | 石器 | 砥石 | D2 | 4 | 5.37 | 228 | 長8.6×幅3.4×厚2.2 (cm) | 重量; 77.5g | 光沢面有り | 硬質砂岩 |
| | 454 | 石器 | 砥石 | D1 | 4 | | | 長5.4×幅3.2×厚1.7 (cm) | 重量; 38.7g | | 硬質砂岩 |
| | 455 | 石器 | 砥石 | D2 | 4 | | | 長4.5×幅3.2×厚1.3 (cm) | 重量; 26.1g | 穿孔有り | 硬質砂岩 |
| | 456 | 石器 | 砥石 | B2 | 4 | 5.24 | 470 | 長5.7×幅7.2×厚3.3 (cm) | 重量; 156g | 磨面カーブ有り | 凝灰岩 |
| | 457 | 石器 | 磨石敲石 | C3 | 4 | 5.31 | 443 | 長14.9×幅5.6×厚4.4 (cm) | 重量; 560g | | 安山岩 |
| 64 | 458 | 石器 | 台石 | C4 | 4 | 5.53 | 85 | 長11.9×幅8.3×厚2.4 (cm) | 重量; 390g | 敲打痕有り | 安山岩 |
| | 459 | 石器 | 凹石 | C2 | 4 | 5.53 | 301 | 長11.6×幅8.7×厚4.9 (cm) | 重量; 535g | | 安山岩 |
| | 460 | 石器 | 凹石 | D2 | 4 | 5.23 | 427 | 長8.6×幅8.5×厚5.7 (cm) | 重量; 490g | | 凝灰岩 |
| | 461 | 石器 | 凹石 | C1 | 4 | 5.57 | 13 | 長8.3×幅6.6×厚5.7 (cm) | 重量; 420g | | 安山岩 |
| | 462 | 石器 | 軽石加工品 | B3 | 4 | 5.56 | 378 | 長15.9×幅11.5×厚6.8 (cm) | 重量; 240g | 有溝 | |
| | 463 | 石器 | 軽石加工品 | — | — | | | 長10×幅13.4×厚5.1 (cm) | 重量; 195g | 磨面有り (魚形) | |
| 65 | 464 | 石器 | 軽石加工品 | — | — | | | 長12.6×幅10.8×厚5.3 (cm) | 重量; 235g | 凹穴有り | |
| | 465 | 石器 | 軽石加工品 | — | — | | | 長9×幅6.7×厚2.8 (cm) | 重量; 58.6g | 凹み有り | |
| | 466 | 石器 | 軽石加工品 | — | — | | | 長14.1×幅8.5×厚4.8 (cm) | 重量; 141g | 凹穴・沈線有り | |
| | 467 | 石器 | 軽石加工品 | B3 | 4 | 5.53 | 262 | 長4.5×幅3.7×厚2.1 (cm) | 重量; 8.1g | 有孔円形 | |
| | 468 | 石器 | 軽石加工品 | E2 | 4 | | | 長10.5×幅9.2×厚2 (cm) | 重量; 68.4g | 磨面有り | |
| 66 | 469 | 石器 | 軽石加工品 | 攪乱 | | | 538 | 長12.2×幅6.5×厚6 (cm) | 重量; 58.9g | 磨面有り | |
| | 470 | 石器 | 軽石加工品 | C | — | 4.98 | | 長13.2×幅20.2×厚5.4 (cm) | 重量; 280g | 磨面・沈線・刻み有り (魚形) | |
| | 471 | 石器 | 軽石加工品 | — | — | | | 長25.6×幅19×厚8.7 (cm) | 重量; 830g | 凹穴・凹溝有り | |

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上 No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|----|-----|---------|-----|----|------|-------|---|-----------------------------|---|--------------|
| | 472 | 弥生 | 甕 | 口縁部 | D2 | 5 | | | 外面: にぶい橙色7.5YR6/4, 内面: にぶい橙色7.5YR6/4, 器肉: 黄灰色2.5Y6/1 | 石英, 角閃石, 白色粒, 黒色粒 | 外面: ナデ (—), 内面: ハケ (—) | |
| | 473 | 弥生 | 高坏 | 口縁部 | C1 | 5 | | | 外面: 顔料の為 赤褐色2.5YR4/6, 内面: 顔料の為 赤褐色2.5YR4/6, 器肉: にぶい黄褐色10YR7/3 | 白色粒, 石英, 黒色粒 | 外面: ミガキ?, 内面: ミガキ (—) | 赤色塗布 |
| | 474 | 古墳 | 甕 | 口縁部~胴上部 | C2 | 5 | 5.21 | 457 | 外面: にぶい橙色7.5YR7/4, 内面: 灰白色10YR8/1, 器肉: 灰色: 5Y4/1 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: 口縁部ハケ (—)・打ち込み痕有り→ナデ (—), 突帯周辺ナデ (—), 胴部ナデ?, 内面: 口縁部ナデ (—), 胴部ユビオサエ・ナデ? | 刻目突帯 |
| | 475 | 古墳 | 甕 | 口縁部~胴上部 | E4 | 5 | | | 外面: 黒色7.5YR2/1, 内面: にぶい橙色7.5YR7/4, 器肉: 浅黄褐色10YR8/3 | 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ナデ () → (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (—) | 刻目突帯 |
| | 476 | 古墳 | 甕 | 口縁部~胴上部 | B2 | 5 | | | 外面: にぶい黄褐色10YR8/3, 内面: 浅黄褐色10YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—)(), 内面: ユビオサエ・ナデ (—)(\) | 絡縄突帯, 外面スス付着 |
| 67 | 477 | 古墳 | 甕 | 口縁部~胴上部 | D2 | 5 | 5.22 | 468 | 外面: にぶい黄褐色10YR7/2, 内面: にぶい黄褐色10YR7/3, 器肉: 褐灰色10YR6/1 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒, 透明粒, 赤色粒 | 外面: ハケ (\)・ユビオサエ・工具痕 (), 内面: 痕 (), 内面: ユビオサエ・ナデ (—) | 絡縄突帯, 外面スス付着 |
| | 478 | 古墳 | 甕か鉢 | 口縁部~胴上部 | E4 | 5 | | | 外面: にぶい黄褐色10YR7/3, 内面: 橙色5YR7/6, 器肉: 褐灰色7.5YR5/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・ハケ (—)(\), 内面: ユビオサエ・ハケ (—)(\) | 刻目突帯, 外面スス付着 |
| | 479 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~胴上部 | E2 | 5 | | | 外面: 浅黄褐色10YR8/3, 内面: 灰白色10YR8/2, 器肉: 黄灰色2.5Y5/1 | 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面: ユビオサエ・工具痕 (), 内面: ユビオサエ・ハケ (\) | |
| | 480 | 古墳 | 鉢 | 口縁部 | C4 | 5 | | | 外面: 灰白色10YR7/1, 内面: 灰白色10YR8/2, 器肉: 褐灰色10YR5/1 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 透明粒, 赤色粒 | 外面: 口縁部ユビオサエ, 胴部ハケ () → (\), 内面: ユビオサエ・ナデ (—) | |
| | 481 | 古墳 | 鉢 | 口縁部~胴上部 | B2 | 5 | | | 外面: 橙色5YR6/6, 内面: にぶい黄褐色10YR7/2 | 軽石, 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒, 石英 | 外面: ユビオサエ・ナデ (—), 内面: ユビオサエ・ナデ (—)(\) | |
| | 482 | 古墳 | 鉢 | 胴上部~脚部 | C2 | 5 | 5.28 | 476 | 外面: 灰白色10YR8/1, 内面: 灰白色10YR8/2 | 角閃石, 黒色粒, 透明粒, 赤色粒 | 外面: 胴部ケズリ風ナデ () → ナデ (\), 脚台ナデ (—)・ミガキ (—) 内面: ユビオサエ・ハケ (—)・打ち込み痕有り→ナデ (\), 脚台内面ナデ (—) | 脚部剥落痕有り |

Tab. 21 5層包含層出土遺物観察表

| Fig. No. | No. | 種別 | 器種 | 部位 | 出土区 | 層位 | 標高 | 取上No | 色調 | 混和材 | 調整 | 備考 |
|----------|-----|-----|-------|--------|----------------|--------|------|------|--|-----------------------------|--|---------------|
| | 483 | 古墳 | 甕か鉢 | 胴部～脚部 | B3 | 5 | 5.08 | 458 | 外面：淡橙色5YR8/4, 内面：にぶい橙色7.5YR7/4, 器肉：灰白色10YR8/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ→ナデ (—), 内面：胴部ユビオサエ・ナデ (\\) (〃), 脚台内面ユビオサエ・ナデ (—) | |
| | 484 | 古墳 | 鉢 | 胴部～脚部 | A3 | 5 | 5.13 | 453 | 外面：にぶい橙色7.5YR7/4, 内面：浅黄橙色7.5YR8/3, 器肉：灰白色7.5YR8/1 | 軽石, 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面：脚台ユビオサエ・ナデ (—), 胴部磨滅により不明瞭, 内面：胴部ハケ ()・打ち込み痕有り・ユビオサエ, 脚台内面ユビオサエ・ナデ (—) | |
| | 485 | 古墳 | 甕か鉢 | 底部～脚部 | E1 | 5 | | | 外面：にぶい黄橙色10YR7/3, 内面：にぶい黄橙色10YR7/2, 器肉：黄灰色2.5YR6/1 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒, 透明粒, 礫 | 外面：ユビオサエ→ナデ (—), 内面：胴部ミガキ風ナデ () (〃), 脚台内面ナデ (—) | 脚台内面接合痕有り |
| | 486 | 古墳 | 鉢 | 底部～脚部 | E1 | 5 | | | 外面：浅黄橙色10YR8/3, 内面：灰白色10YR8/2 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (—), 内面：胴部丁寧なナデ (?), 脚台内面ユビオサエ→ハケ (—)・打ち込み痕有り | |
| | 487 | 古墳 | 甕か鉢 | 底部 | C2 | 5 | 5.21 | 457 | 外面：灰白色10YR8/1, 内面：にぶい黄橙色10YR7/2, 器肉：橙色2.5YR7/8 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ→ナデ (—), 内面：胴部ユビオサエ・ナデ (?), 脚台天井部ユビオサエ→ナデ (—) | 脚部剥落痕有り |
| | 488 | 古墳 | 鉢 | 底部 | E1 | 5 | | | 外面：橙色2.5YR7/6, 内面：にぶい黄橙色10YR7/3, 器肉：褐灰色10YR6/1 | 軽石, 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ (—)・ユビオサエ, 内面：ユビオサエ・ナデ () | |
| | 489 | 古墳 | 鉢 | 底部 | 表探 C2 B1 | 4 5 | 5.21 | 474 | 外面：浅黄橙色10YR8/3, 内面：灰白色10YR8/1 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：胴部ハケ () (\\) (〃), 底部ユビオサエ, 内面：ユビオサエ・ハケ (—)・打ち込み痕有り→ナデ (?) | |
| | 490 | 古墳 | 鉢 | 完形 | B3 | 5 | 5.15 | 440 | 外面：灰白色10YR8/2, 内面：褐灰色10YR6/1 | 角閃石, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ?, 内面：ユビオサエ→ナデ (—) | |
| 68 | 491 | 古墳 | 鉢 | 完形 | E4 | 5 | | | 外面：灰黄褐色10YR5/2, 内面：にぶい黄橙色10YR6/2 | 角閃石, 石英, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ユビオサエ・ナデ (\\) (〃), 内面：ハケ (—)・打ち込み痕有り・ユビオサエ→ナデ () | |
| | 492 | 古墳 | 壺 | 口縁部 | B2 | 5 | | | 外面：にぶい橙色7.5YR7/6, 内面：橙色5YR7/6 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ハケ (—)→ハケ (〃), 内面：ナデ (—) | |
| | 493 | 古墳 | 壺 | 口縁部 | B1 | 5 | 5.21 | 474 | 外面：にぶい黄橙色10YR7/2, 内面：にぶい橙色7.5YR7/4 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ナデ (—), 内面：口縁部ナデ (—) (〃), 胴部ユビオサエ | |
| | 494 | 古墳 | 埴 | 胴下部～底部 | E2 | 5 | 5.28 | 464 | 外面：顔料の為 赤褐色10R5/4, 内面：灰白色10YR8/2 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ミガキ (—), 内面：ハケ (—)・打ち込み痕工具痕有り→ユビオサエ | 赤色塗布 |
| | 495 | 古墳 | 高環 | 環部～脚部 | B3 | 5 | 5.14 | 438 | 外面：顔料の為 赤色10R5/6, 内面：灰白色10YR7/1 | 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：環部ミガキ (—), 脚部ミガキ ()→ミガキ (—), 内面：環部ユビオサエ・ナデ?, 脚部内面工具痕有り | 赤色塗布 |
| | 496 | 古墳 | 高環 | 脚部 | E2 | 5 | 5.27 | 463 | 外面：顔料の為 暗赤色10R3/6, 内面：浅黄橙色10YR8/3 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ミガキ (—), 内面：工具痕有り・ナデ (—) | 赤色塗布 |
| | 497 | 古墳 | 高環 | 脚部 | E2 | 5 | 5.2 | 469 | 外面：顔料の為 赤色10R4/6, 内面：黒色2.5YR2/1, 器肉：灰白色7.5YR8/1 | 角閃石, 石英, 赤色粒, 白色粒 | 外面：ミガキ (—), 内面：ハケ (—)・打ち込み痕有り・ユビオサエ→ナデ () (—) | 赤色塗布 |
| | 498 | 古墳 | 高環 | 脚部 | B3 | 5 | 5.18 | 442 | 外面：浅黄橙色10YR8/3, 内面：浅黄橙色10YR8/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒 | 外面：ナデ (—) (〃), 内面：ユビオサエ・ナデ (?) 裾部ナデ (—) | |
| | 499 | 古墳 | 埴 | 胴部 | B3 | 5 | 5.08 | 458 | 外面：顔料の為 赤褐色2.5YR5/4, 内面：にぶい黄橙色10YR7/3 | 角閃石, 赤色粒, 黒色粒, 白色粒, 透明粒 | 外面：ミガキ?, 内面：ハケ (—)・打ち込み痕有り・ユビオサエ | 赤色塗布, 内面接合痕有り |
| | 500 | 須恵器 | 壺 | 口縁部 | D1 | 5 | | | 外面：灰色 N5/0, 内面：灰色 N6/0 | 黒色粒, 白色粒 | 外面：回転ナデ, 内面：回転ナデ | 内面自然袖付着 |
| | 501 | 石器 | 軽石加工品 | | A1 | 5 | 5.3 | 449 | 長4.4×幅3.4×厚0.8 重量:2.4g | | 楕円形 | |

7. 総括

7-1. 各遺構の特徴

4層上面遺物集積遺構

4層上面には、土器片や須恵器片、石器や礫、軽石などが敷きつめられたように出土している。本調査区に隣接する郡元団地J・K-3・4区総合研究棟建設に伴う調査において、調査区中央部に径約5mの塚状の土器集積遺構が確認されている。本調査区で出土した4層上面の遺物小片もその広がり的一部分と思われる。出土遺物のほとんどは篋貫式土器であるが、須恵器のなかには8世紀代のものも含まれていることから、遺構自体は古墳時代より新しい時期のものと考えられる。

5層上面検出遺構 - 竪穴建物跡群、溝

本調査地点では、360㎡内に29基の竪穴建物跡を検出した。切り合って検出されたものが多いが、全て平面は方形プランを呈すると思われる。また、18号竪穴は19号竪穴の張り出し部の可能性もある。張り出し部をもつ竪穴建物は、隣接するJ・K-3・4区総合研究棟建設に伴う調査においても検出されている¹⁾。遺構内より出土する土器は古墳時代後半期の篋貫式土器が主体を占める。

主柱穴は、2・5・6・11・19号竪穴建物跡などにみられるように、四隅に方形に並ぶ4本柱と思われるもののほか、10号竪穴建物跡のように炉を挟んで南北に2本ずつ4本柱が並ぶものがみられる。竪穴建物の残存する一辺長は、短いものから2.78m(15号・短軸)、3.44m(27号)、3.5m(29号)、4.12m(19号)、4.16m(20号)、4.4m(5号)、4.52m(10号)のものがみられ²⁾、このことから本調査区の方形プランの竪穴建物跡の規模は約8～20㎡と類推される。

床面には、白砂を敷く特徴のあるものが4基(2・5・10・20号)みられるほか、竪穴内のほぼ中央部に炭化物が広がる竪穴建物も多く、何回か床面を敷き直して使用していることが確認できる。また、10・20号竪穴建物跡では、竪穴中央部炭化物集中域の中心部に埋設土器炉が設置されている。

竪穴の切り合い関係から構築期間を推測すると、調査区北側では、12号→11・13・14号→10号と少なくとも三時期、調査区南側では、7・9・24号→8号と少なくとも二時期、調査区南東隅では、17号→18・19号→20号の少なくとも三時期、調査区南西隅では6号→5号の二時期、調査区中央部C・D-2・3区でも少なくとも二時期の竪穴建物構築時期がある。本調査区では、B・C-2・3区の一部を除く調査区北側・南側・南東・南西の各約50㎡の範囲内で、少なくとも2、3度にわたる建て替えを行っていることが分かる。

溝状遺構は、周辺調査区(郡元団地I・J-4区共同溝埋設に伴う発掘調査)においてさらに北東方向に伸びていることが確認されている(Fig.69)³⁾。検出面は5層上面であるが、4層掘り下げ中の写真ではD-1区の溝の位置に遺物が点在していることが確認できる(PL4中央右写真参照)。

7-2. 出土遺物

遺構内出土遺物

出土土器は古墳時代後半期の篋貫式土器が大半を占める。15号竪穴建物跡上層出土遺物(109～136)や28号竪穴建物跡出土遺物(184～206)は、調査時には4層遺物として取り上げられていたものであり、Fig.43包含層出土遺物地点にも示している。本報告で再整理するにあたり、遺構埋土内出土遺物の可能性があると考え、遺構内出土遺物の項で報告している。

遺物の特異な出土状況を示す事例として、28号竪穴建物跡床面付近より並んで出土したNo.199～201土器がある。201は壺の口縁部～頸部であるが、口縁部側を下にして出土している。その隣に200の完形壺が横倒しの状態で出土し、さらに隣には199の鉢が据えられたような状況で出土する。本調査区に隣接する郡元団地J・K-3・4区総合研究棟建設に伴う調査においても、高坏脚部と台付鉢の脚台を合わせて横倒しの状態で竪穴建物内より出土しているものがあるほか、同時期の特異な遺構内出土状況として、鹿児島市大龍遺跡⁴⁾、始良市萩原遺跡⁵⁾、肝属町東田遺跡⁶⁾などの事例がある。南九州の古墳時代におけるこうした特殊な事例についてはすでに検討されており⁷⁾、本調査地点出土事例も、古墳時代後半期に壺の口縁部の破片を筒状に残して器台状に利用する事例である可能性が高い。また、28号竪穴建物上層においても、193の小型の壺の胴部～底部が横倒しの状

態で出土する傍ら、197は外面が下になった状態で出土している。197は口縁部～胴部下部はほぼ全径残存するが、胴部下部～脚台部は周辺部にみられない。さらに上層では、184の台付鉢が据えられたように出土し、その約50cm東側には壺2個体分が横倒しで出土している。

包含層出土遺物

遺物出土地点はFig.43で示しているが、このほか一括取上による遺物も多い。4・5層とも篋貫式土器が主体を占めるが、全形の判明するものは少なく、器種の比率を判断することも困難であったが、相対的には甕・鉢類が主体を占め、高坏、壺、埴の順に器種比率は減少する。

出土土器の様相は、郡元団地K・L-5・6区中央図書館C・D・E地点の溝出土篋貫式土器の様相と類似する⁸⁾。甕口縁は、内湾するものは少なく、直立もしくは外に開く形状が多い。甕や鉢の一部には、ススが付着したものや、変色し火を受けたと思われるものがあり、口縁部に筋状の吹きこぼれ痕がみられるものもある(11・197・281)。壺は形状が明瞭ではないが、幅広突帯をもつ大型のもの、頸部の短い小型のものがあると思われる。高坏は、坏と脚の接合部の観察から、脚上部の円柱部を坏部に差し込む形で製作されていることが分かる。また、高坏坏部に比べ脚円柱部が多数出土している(4層:坏部片150点・脚部片487点、5層:坏部片30点・脚部片21点)。高坏は赤色塗布されているものが9割にのぼるが、4層出土高坏66点、5層出土高坏6点は、赤色が塗布されていない。しかし、この約1割の赤色塗布されていない高坏も、表面部分の素地自体がうすい橙色に発色しているものが少数ある。時期はやや異なるが、日置市吹上町辻堂原遺跡出土土器の一部には、顔料を含まない白スリップ(化粧土)の事例が指摘されており⁹⁾、類似例として注意が必要である。また、全ての器種で粘土貼付痕が散見され、なかには内外面同じ位置に両側から粘土を貼り付けているものがある。ひび割れの補修をした痕跡と思われる。

本地点には多くの軽石礫が持ち込まれており、そのほとんどは加工痕はみられないが、なかには穿孔、凹穴、沈線、凹線などの明瞭な加工痕が認められるものがある。なかでも特徴的な形態を示すものとして、52・463・470がある。これは大龍遺跡¹⁰⁾で魚形石器と呼称されたものであり、形態としては一長側縁を平坦に整形し、もう一長側縁には稜が認められ、短側縁側には刻みが施されるものや沈線で加工されるものである。鹿児島市喜入町西船子遺跡¹¹⁾、指宿市宮の前遺跡¹²⁾などでも出土しており、その用途は不明であるが、ややサイズに大小はあるものの形態的には規格性がうかがえるため、何らかの機能を意識した形態であると思われる。そのほかの本調査地点出土石器は、剥片石器、砥石、凹石などがある。剥片石器には、扁平な剥片石器の縁辺部が潰れているもの(451・452)や、縁辺刃部に平行する線状痕がみられるもの(175・449)がある。郡元団地では石斧を転用した剥片石器が出土している¹³⁾ほか、イネ科植物草本類の株刈り具と判明した横刃形石器¹⁴⁾も出土しており、こうした石器類が本来の使用目的を終えたあと、鋭利な縁辺部を再利用して何らかの敲打作業が行われた、いわゆる石器の二次利用事例の可能性が考えられる。

註 1) 3) 中村直子・新里貴之 2003「鹿児島大学構内遺跡郡元団地における古墳時代の様相」

『九州前方後円墳築造周縁域における古墳時代社会の多様性』九州前方後円墳研究会 2003年度 第6回大会

2) 松永幸男・黒木綾子・有馬孝一・平田信芳・中村耕治 1992「付編 釘田第一地点(鹿児島大学教養部)遺跡発掘調査報告―遺構及び遺構出土遺物編―」『南九州地域における原始・古代の諸様相に関する総合的研究』

4) 出口浩・吉永正史・中村直子・宮里諭子・上村律子 2001『大龍遺跡』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(33)

5) 平田信芳・青崎和憲・中村耕治『萩原遺跡Ⅱ』始良町教育委員会

6) 青崎和憲 1980『東田遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(16) 鹿児島県立埋蔵文化財センター

7) 中村直子 2004「住居跡およびその周辺における土器出土状況の特殊な事例について - 南九州古墳時代を中心として -」鹿児島考古第38号 pp.65-80

8) 中村直子・新里貴之 2005『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報19』鹿児島大学埋蔵文化財調査室

9) マリア・シノトウ、ラーデグント・ホッフバウアー 2000「鹿児島県吹上町辻堂原遺跡の成川式土器の鉱物学的研究」『人類史研究』vol.12 pp.91-104 人類史研究会

10) 上村俊雄ほか 1979『大龍遺跡』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(1) 鹿児島市教育委員会

- 11) 旭慶男・井ノ上秀文 1986 『西船子遺跡』 鹿児島県指宿郡喜入町埋蔵文化財発掘調査報告書 (2)
- 12) 弥栄久志・中島哲朗 1981 『宮之前遺跡』 指宿市埋蔵文化財調査報告書 (5)
- 13) 前掲 19) 参照
- 14) 寒川朋枝 2010 「付編 鹿児島大学構内遺跡郡元団地出土の横刃形石器の使用痕分析」 『鹿児島大学構内遺跡』 鹿児島大学埋蔵文化財調査室調査報告書 第 5 集

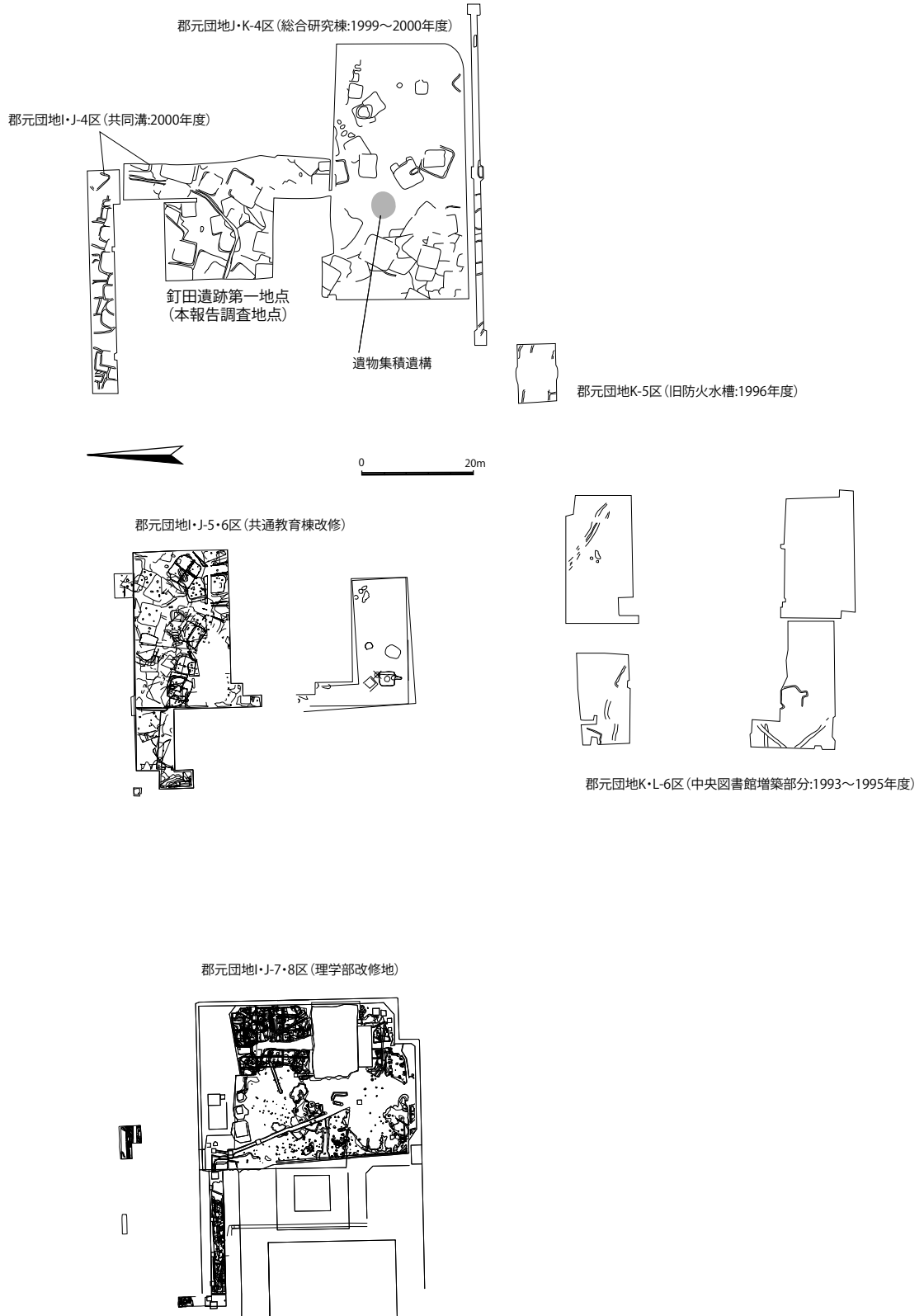


Fig. 69 釘田遺跡第1地点周辺の遺構配置図

付編 レプリカ法による釘田遺跡第一地点出土土器の圧痕調査

真邊 彩（熊本大学埋蔵文化財調査室）

寒川朋枝（鹿児島大学埋蔵文化財調査室）

I. 遺跡の調査と概要

遺跡名：釘田遺跡第1地点（鹿児島大学構内遺跡郡元団地J-4区）

所在地：鹿児島県鹿児島市郡元21-24

調査期間：昭和50年4月28日～7月5日

担当者：平田信芳・中村耕治・吉永正史

時期：弥生時代中期～古墳時代を中心とする笹貫式

立地：沖積平野

II. 対象資料および調査法

1. 調査資料

圧痕調査対象とした資料は、本遺跡から出土した弥生時代中期～古墳時代後期を中心とする笹貫式期に相当する土器である。土器の観察およびレプリカの作成は鹿児島大学埋蔵文化財調査室にて寒川が行い、レプリカの電子顕微鏡観察は熊本大学にて真邊が行なった。圧痕整理番号は鹿児島大学郡元団地釘田地点のアルファベット頭文字をとり「KKK0001～」とした。

2. レプリカ法の作業手順

本遺跡で行った圧痕調査および調査後の作業手順は、以下のとおりである。なおレプリカ法の作業手順は、比佐陽一郎・片多雅樹両氏が考案した方法（比佐・片多2005）に基づくものである。

- ① 肉眼および実体顕微鏡により土器圧痕部を観察し、植物・昆虫・貝等圧痕の可能性のあるものを抽出する。
- ② 圧痕部を水で洗浄する。
- ③ 離型剤（アセトン・パラロイドB-75溶液）を圧痕部に塗布し、シリコーンゴム：ブルーミックス（または東芝シリコーンTSE350）を圧痕部に充填する。
- ④ やや硬化したブルーミックス（または硬化剤CE-621を加えて攪拌した東芝シリコーン）をマウント¹⁾に盛り、圧痕部と接合して硬化させる。
- ⑤ 硬化後、レプリカを取り外し、圧痕部の離型剤をアセトンで洗浄する。
- ⑥ 作成したレプリカを走査電子顕微鏡²⁾（SEM）で観察・撮影し、同定する。

III. 調査結果（図・表）

観察した資料は総重量396kgである。うちレプリカを作成したのは7点であり、そのうち植物種子圧痕の可能性が高いものは4点であった。また、底部に繊維状の圧痕が多数みられるものもあり、レプリカを作成し部分的に電子顕微鏡での観察を行なった。本報告では種が同定できなかったものも全て提示しており、大方のご教示を請うものである。この他、肉眼および実体顕微鏡観察においてイネ圧痕の可能性のあるものが2点確認されているが、本調査でのレプリカの作成およびSEM観察は行っていない。イネの形状および表面組織については図版の現生資料のSEM画像を参照されたい。

1. イネ圧痕（KKK0001）（図-1）

圧痕を持つ土器は甕形土器の脚部片であり、内外面はナデ調整である。外面に圧痕が確認される。

レプリカのSEM観察によると全体的な組織の残りは良くないが、一部に顆粒状突起が確認されることや形状からイネ圧痕と考えられる。レプリカは長さ（長軸）6.18mm（残長）、幅（短軸）3.18mmをはかる。

2. イネ圧痕 (KKK0002) (図-2)

圧痕を持つ土器は埴形土器かと思われる底部片であり、内面にはハケ目工具による横方向の条痕が残る。外面に圧痕が確認される。

レプリカの SEM 観察によると、表面に 2 条の筋とその間に顆粒状突起が確認されることから、イネ圧痕と考えられる。レプリカは長さ 6.31mm、幅 3.48mm をはかる。

3. イネ圧痕 (KKK0005) (図-3)

壺形土器の底部片であり (No.121)、内面は工具ナデ、外面はナデ調整であり、内外面底部には指頭痕が認められる。底部内面に圧痕が確認される。

レプリカの SEM 観察によると、上記した KKK0001・0002 と同様の特徵からイネ圧痕と考えられる。両端部は欠損しているものの、顆粒状突起は他の 2 点に比べて明瞭である。レプリカは長さ 5.72mm (残長)、幅 3.19mm (残長) をはかる。

4. 不明種子圧痕 (KKK0006) (図-4)

圧痕を持つ土器 (No.330) は、壺形土器の頸～胴部片である。内外面はナデ調整、内面には粘土接合痕がみられ、接合痕には指頭痕がみられる。外面に圧痕が確認される。

レプリカの SEM 観察によると、頂部 (画像右側) がやや尖る円形をしており、全体的に扁平で中央部に稜がみられる。また、頂部と反対側の端部には着点と思われる突起が確認されることから種子の可能性がある。表面の細かい組織は観察できない。レプリカは長さ 5.34mm、幅 4.02mm をはかる。

5. 底部圧痕 (図-5)

圧痕を持つ土器は鉢形土器であり (No.297)、ユビ・工具によりナデ調整され、外面には粘土がなでつけられた痕跡が残る。圧痕は底部外面つまり底面に確認され、繊維状の組織が底面全体に確認される。

レプリカの SEM 観察によると、細長い繊維状の組織や植物片と思われるものが確認される。詳細な組織や形状が不明なため、同定には至らなかった。本資料と同様に土器底面に繊維状の圧痕が多数みられた例として、鹿児島県甑島中町馬場遺跡出土の古墳時代の壺形土器があり、SEM 観察により籾殻および小穂軸である可能性が指摘されている (大西ほか 2010)。

| 番号 | 出土地点 | 出土層位 | 土器型式 | 圧痕の種類 | 報告書番号 |
|---------|------|------|------|-------|--------|
| KKK0001 | D4 区 | IV層 | 笹貫式か | イネ | — |
| KKK0002 | B1 区 | IV層 | 笹貫式か | イネ | — |
| KKK0005 | B3 区 | IV層 | 笹貫式 | イネ | No.121 |
| KKK0006 | E2 区 | IV層 | 笹貫式 | 不明種子 | No.330 |
| 底部圧痕 | E2 区 | IV層 | 笹貫式 | 穂軸か | No.297 |

IV. まとめ

鹿児島大学構内遺跡は、弥生時代の水田遺構をはじめ古墳時代の集落など、当時の生活の痕跡が多数確認されている。本調査では、イネ圧痕が最も多く検出されている。弥生時代以降のイネ籾圧痕の存在についてはこれまで多数認識されていたが、より確実な同定結果を得るためにもレプリカ法での観察が必要といえる。今後は悉皆調査を含めた継続的な調査から、雑穀類やマメ科植物類といった栽培植物の存在についても検証を行ない、当該期の植物利用の一端を解明していきたい。

本稿は、遺跡の概要および土器の特徴についての記載は寒川が担当し、レプリカ作成は真邊、寒川、中村直子、大西智和、河野裕次が行った。レプリカの観察結果の記載および図版作成は真邊が担当した。圧痕の同定については、小畑弘己氏 (熊本大学埋蔵文化財調査室) のご教示を賜った。また、今回の調査には小畑弘己氏が研究代表者として受けている 2009・2010 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 A (課題番号 20242022) 「レプリカ・セム法による極東地域先史時代の植物栽培化過程の実証的研究」の一部を使用した。

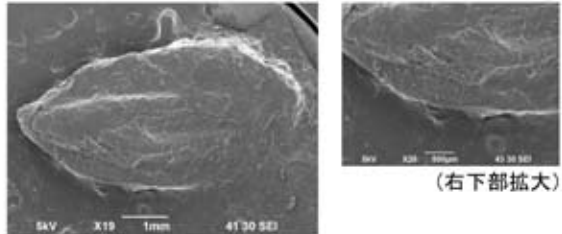
註 1) 本調査では、マウントとして走査電子顕微鏡用ピンタイプ試料台を使用した。

2) 本調査で用いた器材は、日本電子製 JCM-5700 型走査電子顕微鏡である。

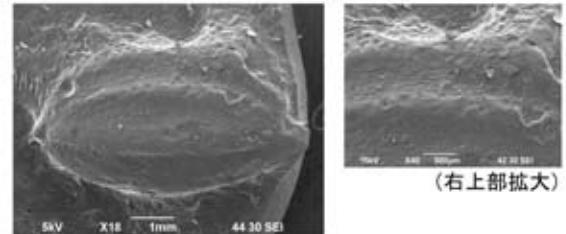
参考文献 大西智和・真邊彩・中村直子・寒川朋枝・鐘ヶ江賢二 2010「鹿児島県甌島の弥生・古墳時代における食用植物に関する考察」『日本植生史学会第 25 回大会講演要旨集』 pp.46-47

比佐陽一郎・片多雅樹 2005『土器圧痕レプリカ法による転写作業の手引き』福岡市埋蔵文化財センター

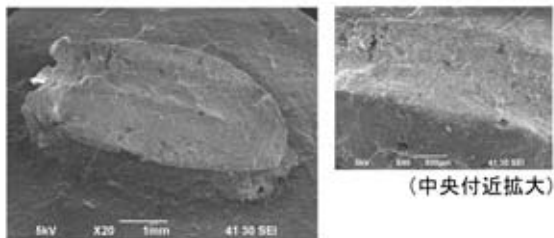
1. イネ圧痕 (KKK0001)



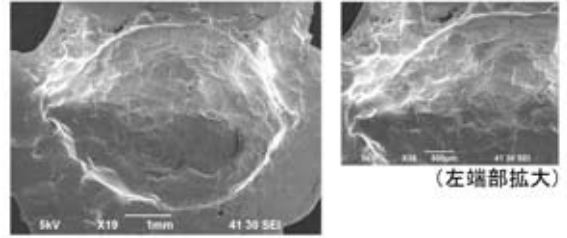
2. イネ圧痕 (KKK0002)



3. イネ圧痕 (KKK0005)



4. 不明種子圧痕 (KKK0006)



5. 底部圧痕

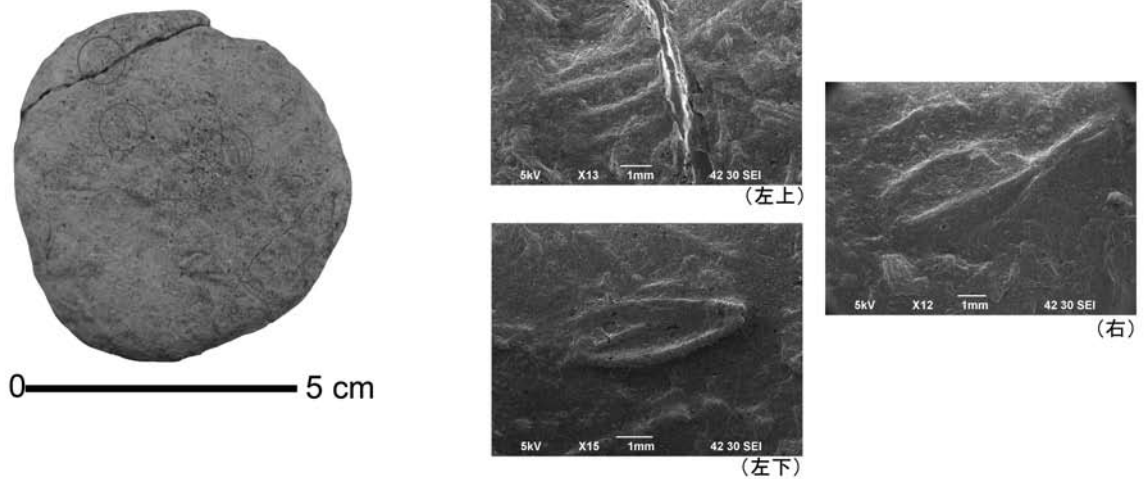
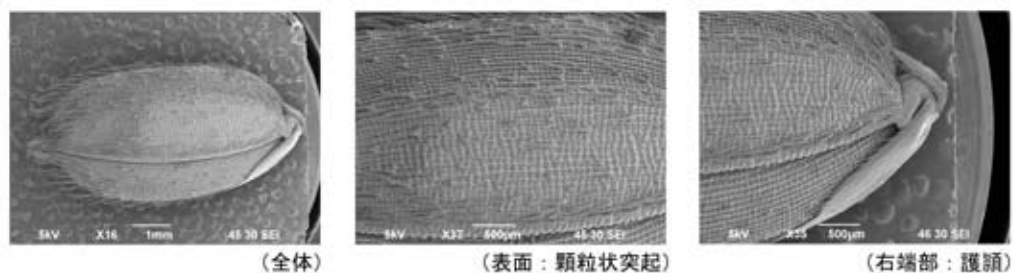


Fig. レプリカ SEM 画像

【参考資料：現生イネのSEM画像】



鹿児島大学埋蔵文化財調査室発掘調査報告書 第6集

鹿児島大学構内遺跡
釘田遺跡第一地点
(鹿児島大学構内遺跡郡元団地J-4区)

2011年3月発行

編集・発行 鹿児島大学埋蔵文化財調査室
鹿児島市郡元一丁目21-24
TEL 099-285-7270

印刷 溯上印刷株式会社
鹿児島市南栄3-1-6
TEL 099-268-1002
